

**第3期白河市子ども子育て支援事業計画ニーズ調査・  
子どもの生活実態調査・  
ヤングケアラー実態調査報告書**

令和6年3月

白河市

# 目次

1. 調査概要.....	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査対象と調査方法.....	1
1.3 回答状況.....	1
1.4 調査期間.....	1
1.5 生活困窮状況の集計.....	2
1.6 その他.....	2
2. 保護者調査.....	3
2.1 子どもと子育て家庭の状況.....	3
2.2 保護者の就労状況・職場の両立支援.....	15
2.3 定期的な教育・保育の利用（就学前児童保護者のみ）.....	26
2.4 子育て支援事業・一時的な預かり事業.....	32
2.5 放課後の過ごし方.....	37
2.6 子どもとの関わり方・家庭でのことなど.....	42
2.7 子どもの育ちを取り巻く環境.....	72
3. 子ども本人調査.....	85
3.1 子どもと家庭の状況.....	85
3.2 通学や学校でのこと・勉強のことなど.....	87
3.3 放課後の過ごし方・生活習慣など.....	98
3.4 居場所・悩みごと.....	105
3.5 今の気持ち・思っていることなど.....	117
3.6 家族お世話.....	128
4. 若年調査.....	133
4.1 回答者の状況.....	133
4.2 今の気持ちや状況.....	154
4.3 現在の生活状況など.....	163

# 1. 調査概要

## 1.1 調査の目的

白河市では、「子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の改定をはじめ市の子育て支援施策や子どもの育成支援の方向性を示す計画策定のため、子育て家庭の生活状況を把握するとともに、市の子育て支援施策等に対する保護者（就学前児童・小学生（1～3年）・小学5年生・中学2年生・高校生等）、子ども本人（小学5年生・中学2年生・高校生等）及び18～39歳の市民の意見・要望をうかがい、計画に反映させるため、本調査を実施した。

## 1.2 調査対象と調査方法

対 象	調査方法
就学前児童保護者	郵送により配布・回収。
小学生（1～3年）保護者	郵送により配布・回収。
小学5年生保護者	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
中学2年生保護者	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
高校生等保護者	郵送により配布・回収。
小学5年生	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
中学2年生	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
高校生等	郵送により配布・回収。
若年（18～39歳の市民）	郵送により配布・回収。

## 1.3 回答状況

	就学前児童保護者	小学生保護者	小学5年生保護者	中学2年生保護者	高校生等保護者	小学5年生	中学2年生	高校生等	若年
配布数	1,500件	500件	453件	505件	500件	453件	505件	500件	1,000件
回答数	714件	239件	363件	417件	186件	363件	417件	186件	193件
回答率	47.6%	47.8%	80.1%	82.6%	37.2%	80.1%	82.6%	37.2%	19.3%

## 1.4 調査期間

- 1) 保護者、子ども調査：令和6年3月1日～18日
- 2) 若年調査：令和6年3月15日～27日

## 1.5 生活困窮状況の集計

本調査では、小学5年生・中学2年生・高校生等調査では、保護者と子どもの回答から、(1)の世帯の可処分所得と世帯人数による分布により所得状況を把握するとともに、家計の逼迫リスク子どもの体験や所有物を把握し、生活困窮のリスクを集計した。

「低所得」「家計の逼迫」「子どもの体験や所有物の欠如」の定義は、次のとおりである。

①低所得	世帯の可処分所得(収入による可処分所得+児童手当等の支給額等)と世帯人数から、低所得のリスクを区分。国民生活基礎調査の困窮の区分を参考にしているが、厚生労働省発表の子どもの相対的貧困率の算出方法と可処分所得の把握方法が異なる箇所がある。(参考:2人世帯 175 万円未満、3人世帯 210 万円未満、4人世帯 245 万円未満、5人世帯 275 万円未満等)
②家計の逼迫	5項目(電気・ガス・水道の公共料金、食料・衣類の購入)について、経済的な理由で払えなかった、または買えなかったことが1つ以上ある場合
③子どもの体験や所有物の欠如	子どもの体験や所有物など8項目(博物館等に行く、スポーツ観戦等に行く、キャンプ等に行く、海水浴に行く、遊園地等に行く、子どもの年齢に合った本、子ども用のスポーツ用品・おもちゃ、自宅で宿題ができる場所)のうち、経済的な理由でしていない、ないなどで欠如する項目が2つ以上ある場合

①②③で2つ以上の要素に該当 = **困窮家庭**      1つの要素に該当 = **周辺家庭**

該当しない世帯 = **その他の世帯** と分類している。(その他には無回答等により分類できない世帯を含む。)

世帯構成別や所得別、生活困窮別等のクロス集計を行い、傾向がみられる点を記載している。

①「低所得」に該当する世帯は 8.8%と少ないが、②「家計の逼迫」、③「子どもの体験や所有物の欠如」を含む2つ以上の要素に該当する「困窮家庭」と「周辺家庭」を集計したところ、その割合を合わせると 23.4%となっている。

相対的貧困率(貧困線に満たない割合)としては、本調査の①低所得に該当する世帯が参考となり、本市においては 8.8%となっている。なお、わが国の子どもの貧困率は国民生活基礎調査では新基準で平成30年 14.0%、令和3年が 11.5%となっている。

所得[%]		
全 体	低所得に該当する世帯	低所得世帯には該当しない世帯
966	85	881
100.0	8.8	91.2

生活困窮状況[%]			
全 体	困窮家庭	周辺家庭	その他の家庭
966	59	167	740
100.0	6.1	17.3	76.6

## 1.6 その他

- 1) 集計結果の値は、少数点2位を四捨五入して小数点1位で表記しており、合計が100%とならないことがある。
- 2) 調査票の回答選択肢が長いものについては、一部省略している表記している箇所がある。
- 3) 報告書用のグラフに問番号を付しており、調査票と異なる箇所や順番通りでない箇所がある。

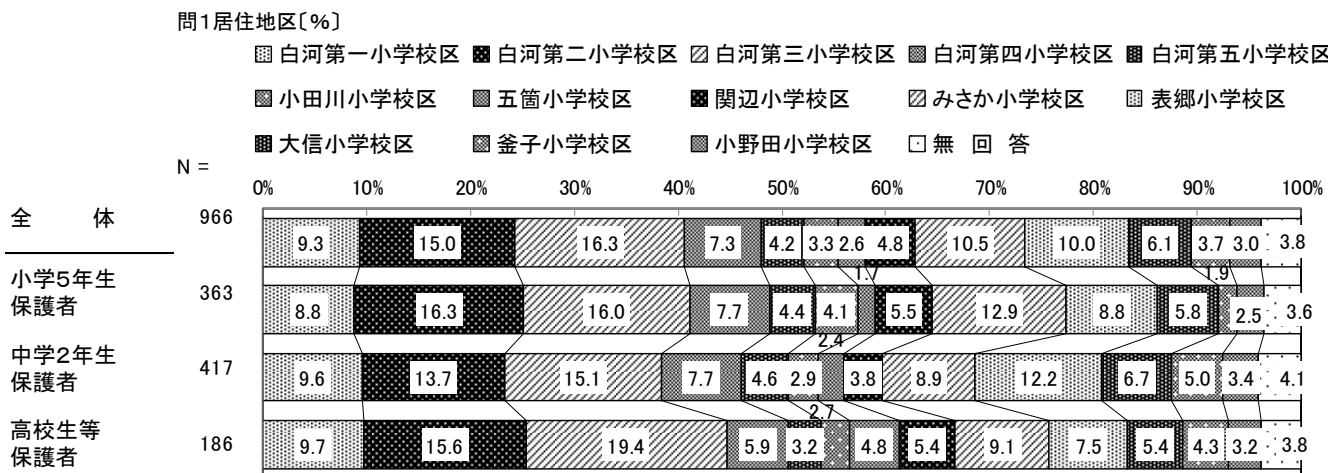
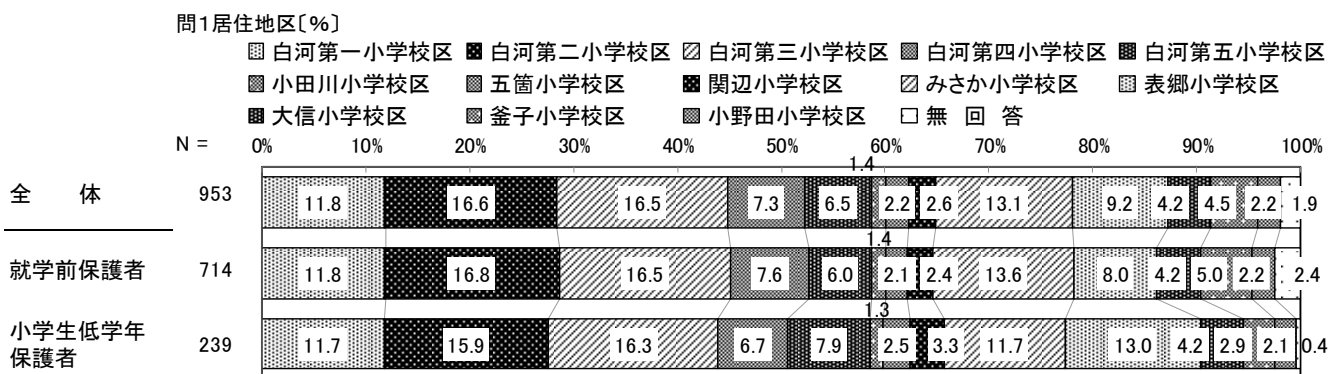
## 2. 保護者調査

### 2.1 子どもと子育て家庭の状況

問 お住まいの地区は次のうちどちらですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「白河第二小学校区」が 16.6%、「白河第三小学校区」16.5%、「みさか小学校区」が 13.1%、「白河第一小学校区」が 11.8%、「表郷小学校区」が 9.2%と多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「白河第三小学校区」が 16.3%、「白河第二小学校区」が 15.0%、「みさか小学校区」が 10.5%、「表郷小学校区」が 10.0%、「白河第一小学校区」が 9.3%となっている。



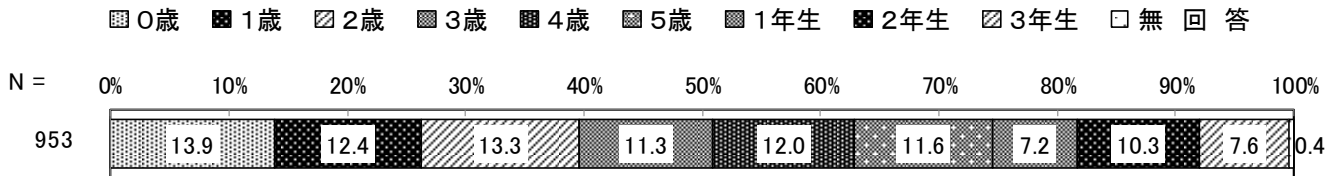
問 お子さんの年齢（令和5年4月1日現在）をお答えください。（就学前児童保護者のみ）  
 お子さんの学年（令和6年2月1日現在）をお答えください。（小学生保護者のみ）

就学前児童保護者は、「0歳」が13.9%、「2歳」が13.3%、「1歳」が12.4%、「4歳」が12.0%、「5歳」が11.6%、「3歳」が11.3%である。

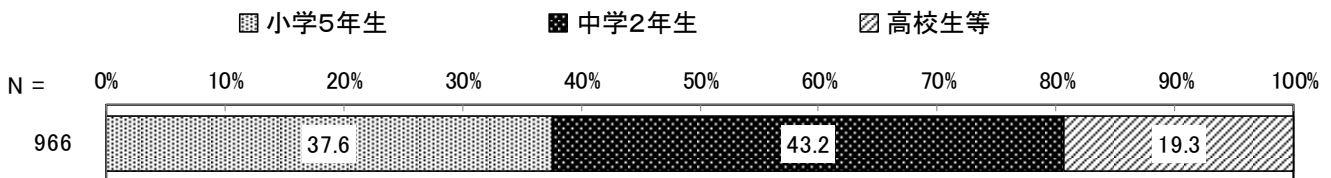
小学生保護者は、「2年生」が10.3%、「3年生」が7.6%、「1年生」が7.2%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「小学5年生」が37.6%、「中学2年生」が43.2%、「高校生等」が19.3%となっている。

問2子どもの年齢・学年（令和5年4月1日現在）〔%〕



子どもの年齢・学年（令和5年4月1日現在）〔%〕

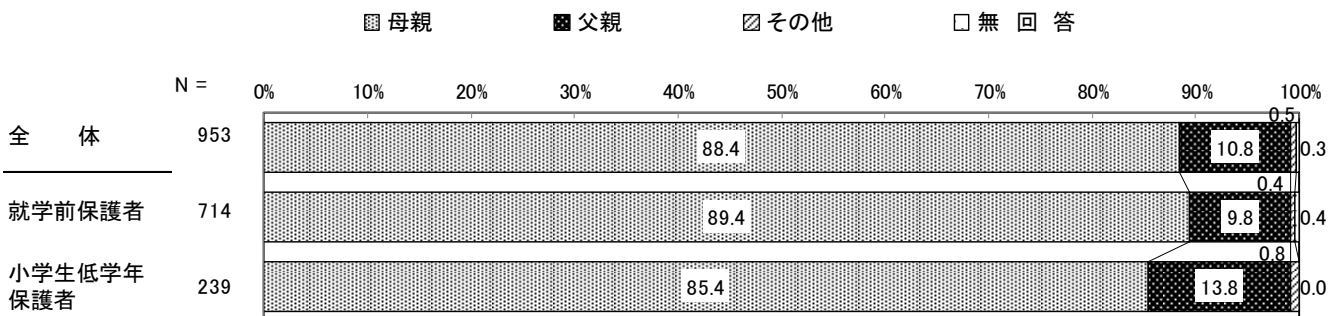


問 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

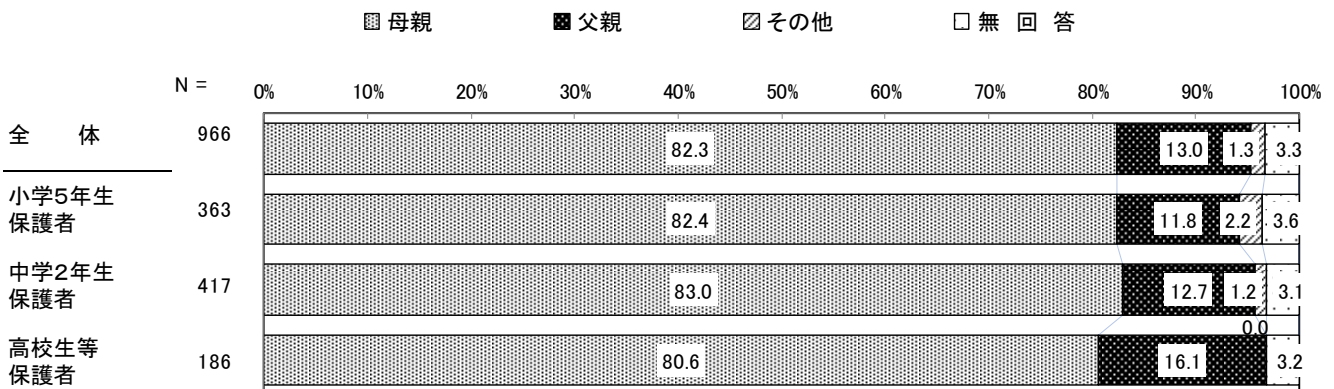
就学前児童・小学生保護者全体では、「母親」が88.4%、「父親」が10.8%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「母親」が82.3%、「父親」が13.0%である。

問3回答者〔%〕



問2回答者〔%〕

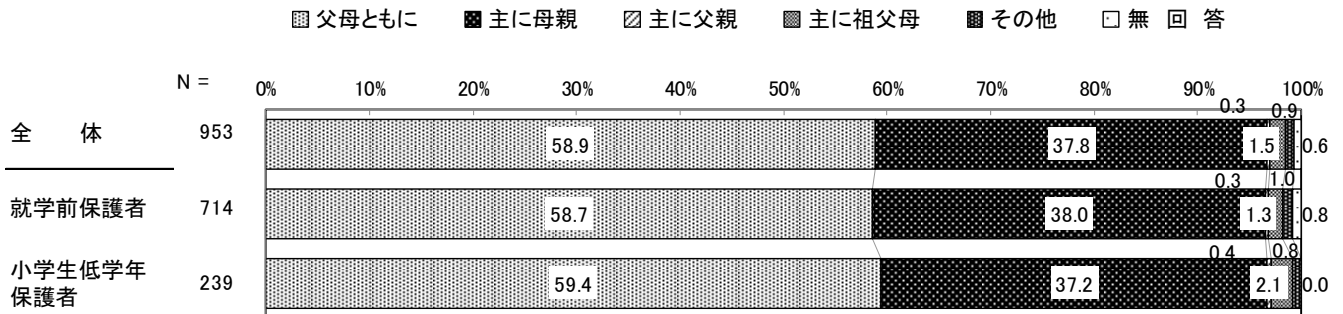


問 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。

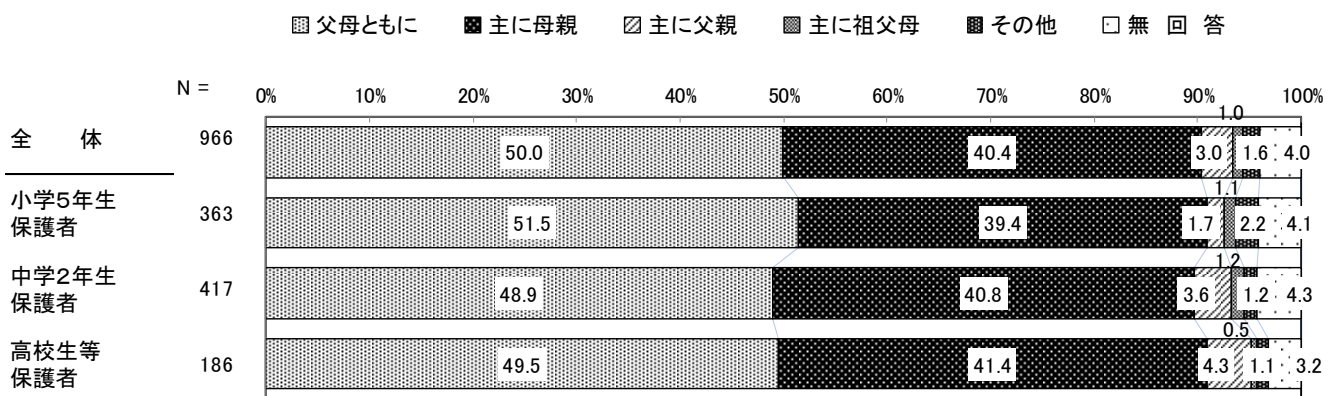
就学前児童・小学生保護者全体では、「父母ともに」が 58.9%と半数を超え、「主に母親」が 37.8%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「父母ともに」が 50.0%、「主に母親」が 40.4%である。

問4主な育児者〔%〕



問3主な育児者〔%〕



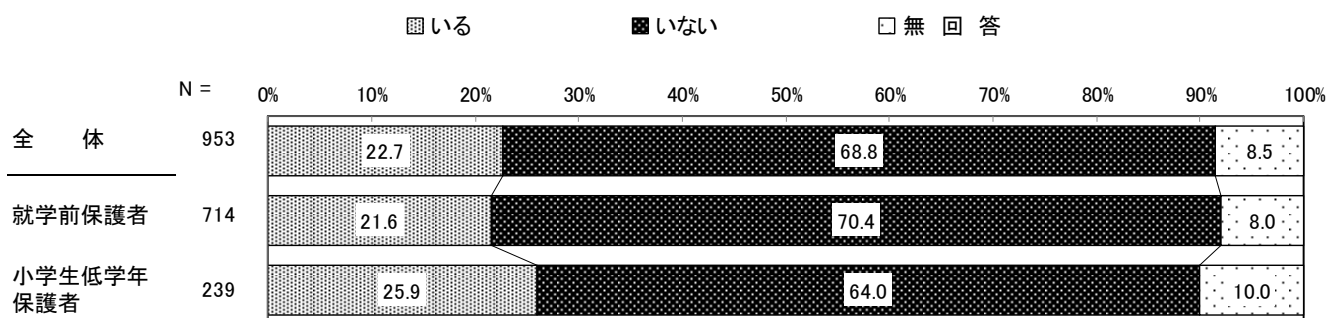
問 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「母親」が96.6%、「父親」が90.3%、「祖母」が22.7%、「祖父」は18.3%、姉・兄は「1人」が37.3%、「2人」が14.3%、妹・弟は「1人」が14.7%である。同居家族の合計は「4人」が32.7%、「3人」が22.8%、世帯構成は、「親と子の2世代世帯」が73.1%、「祖父母等と親子の3世代世帯」が24.1%となっている。

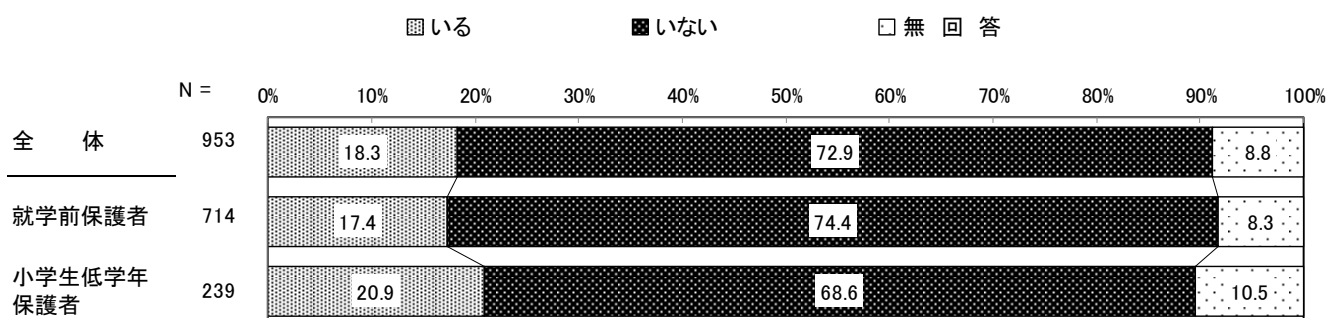
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「母親」が89.5%、「父親」が81.7%、「祖母」が26.3%、「祖父」は19.3%、姉・兄は「1人」が39.0%、「2人」が10.0%、妹・弟は「1人」が32.8%である。同居家族の合計は「4人」が32.0%、「5人」が22.5%、世帯構成は、「親と子の2世代世帯」が64.6%、「祖父母等と親子の3世代世帯」が27.8%となっている。

【就学前児童・小学生保護者】

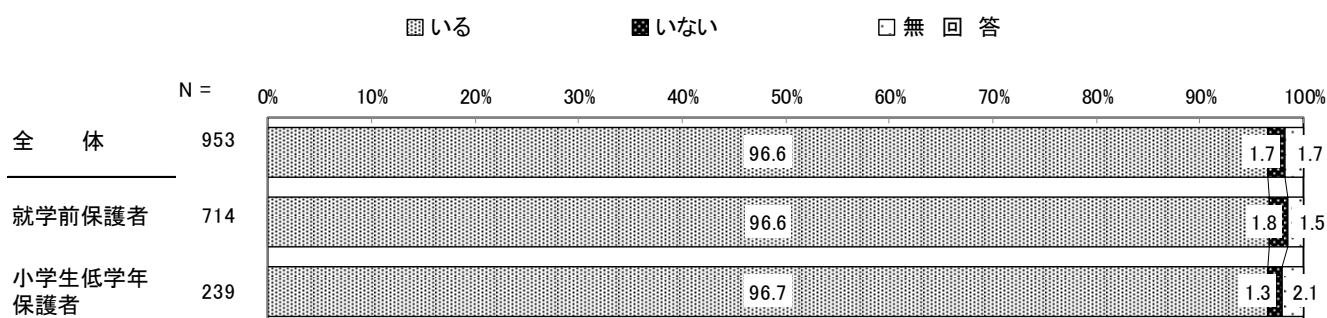
問5同居家族a) 祖母[%]



問5同居家族b) 祖父[%]

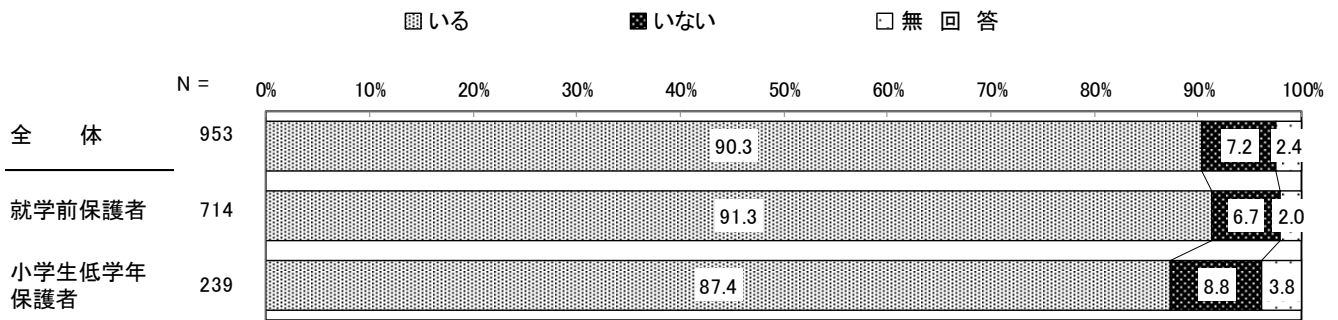


問5同居家族c) 母親[%]

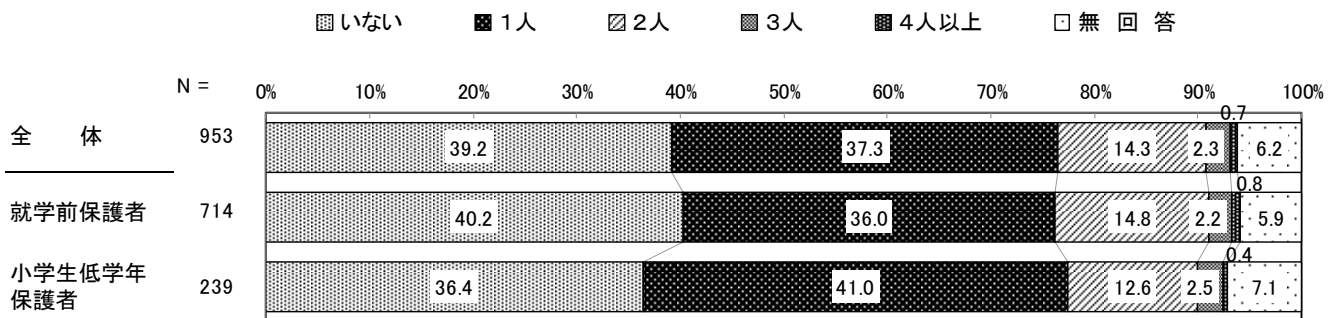




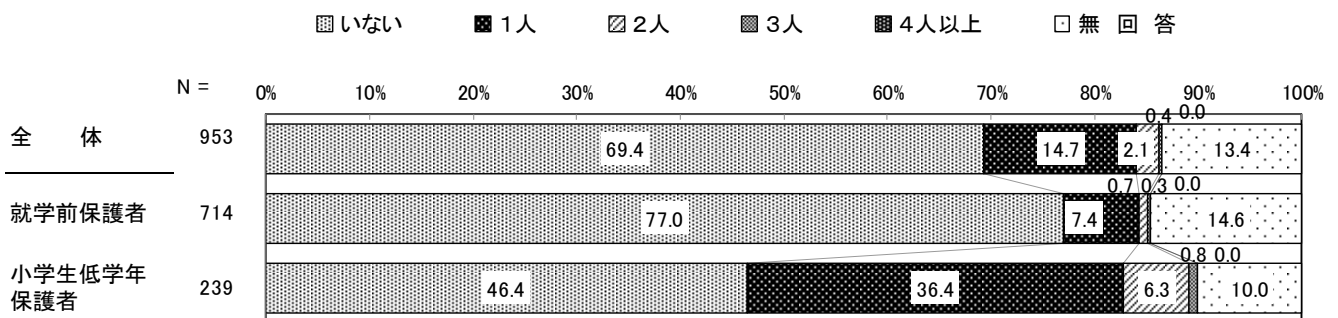
問5同居家族d) 父親[%]



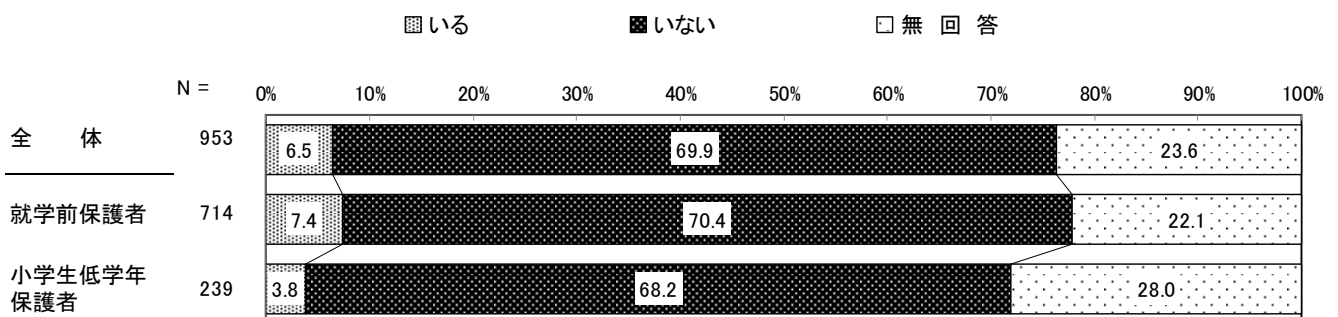
問5同居家族e) 姉・兄[%]



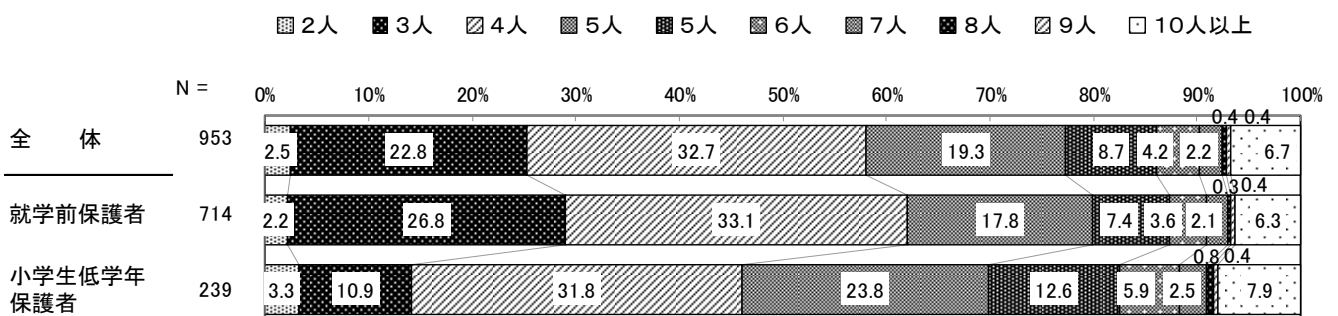
問5同居家族f) 妹・弟[%]



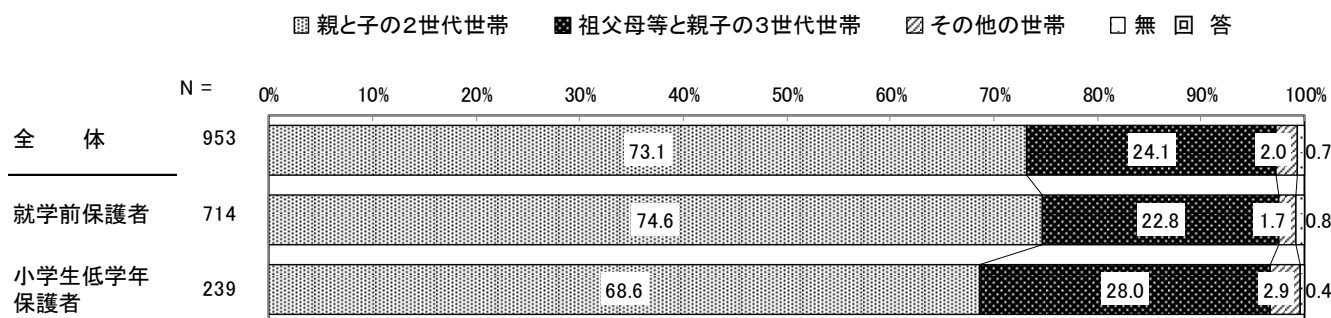
問5同居家族g) その他[%]



問5同居家族人数h) 合計[%]

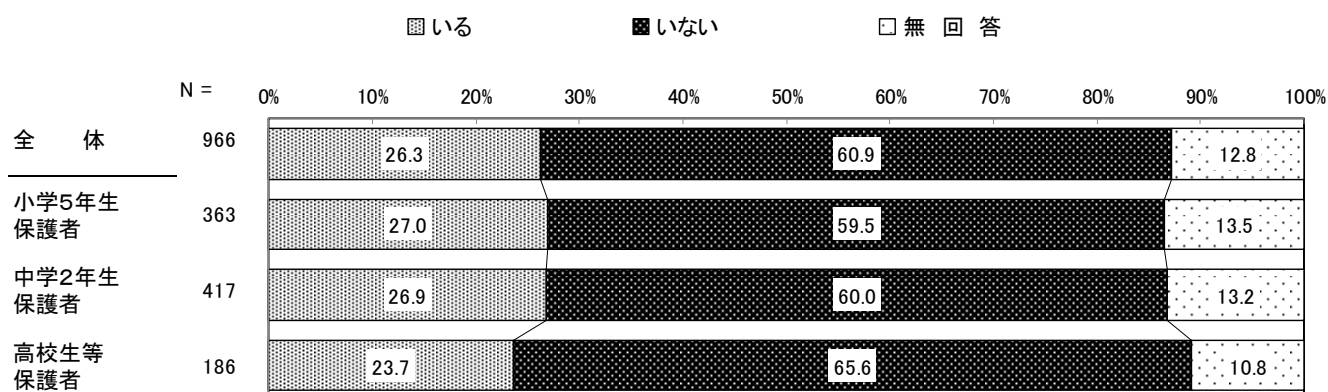


問5世帯構成[%]

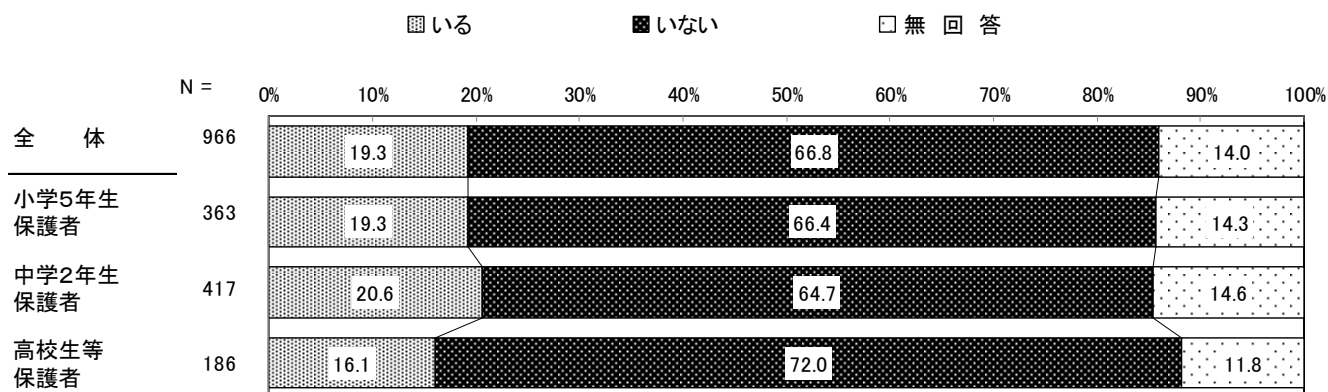


【小学5年生・中学2年生・高校生等保護者】

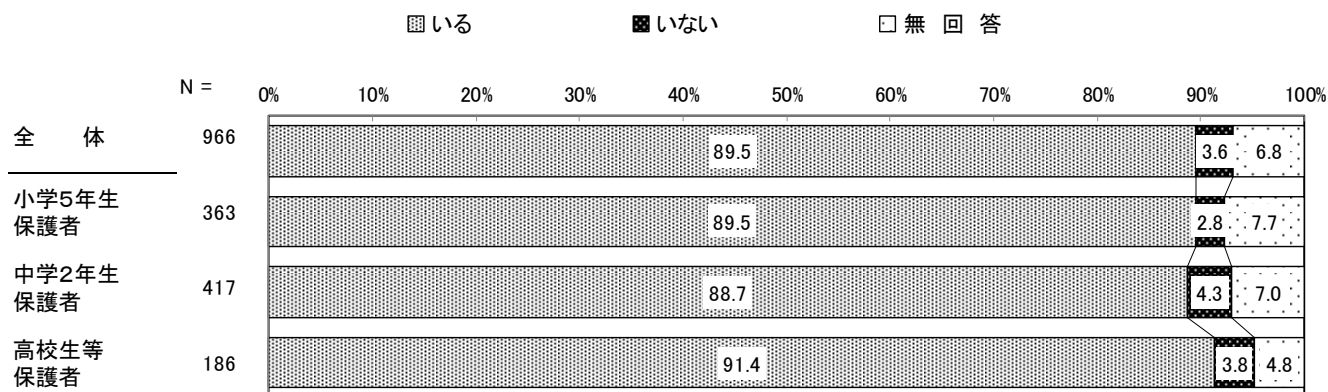
問4同居家族a) 祖母[%]



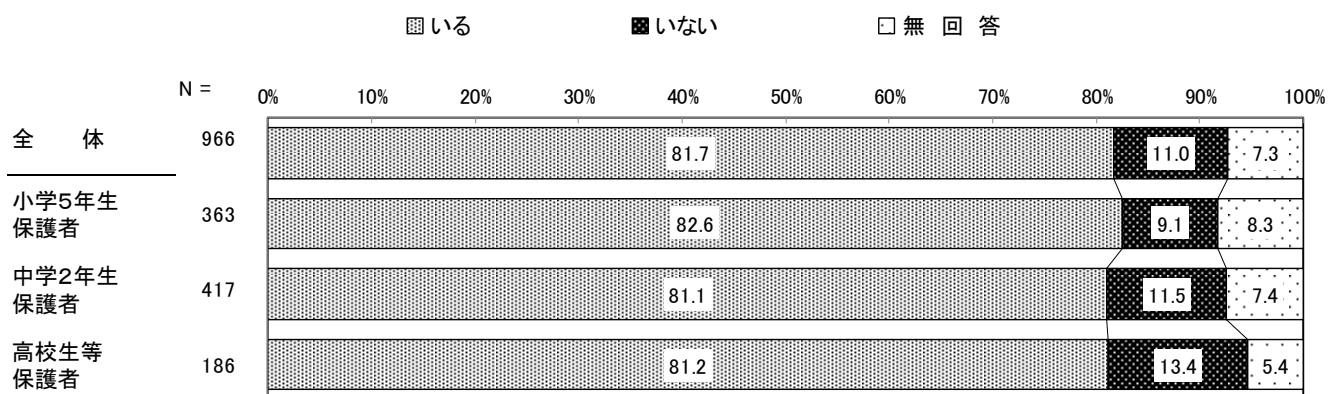
問4同居家族b) 祖父[%]



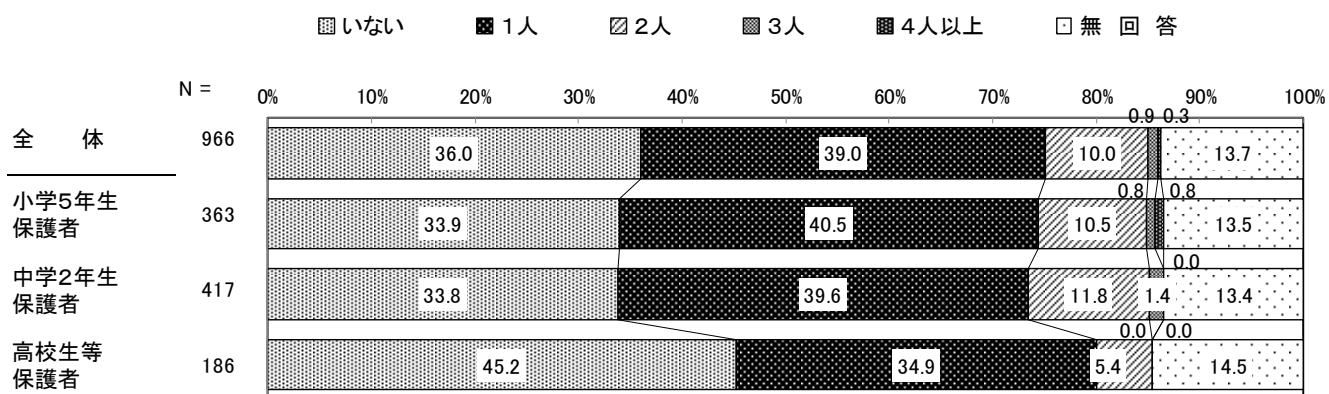
問4同居家族c) 母親[%]



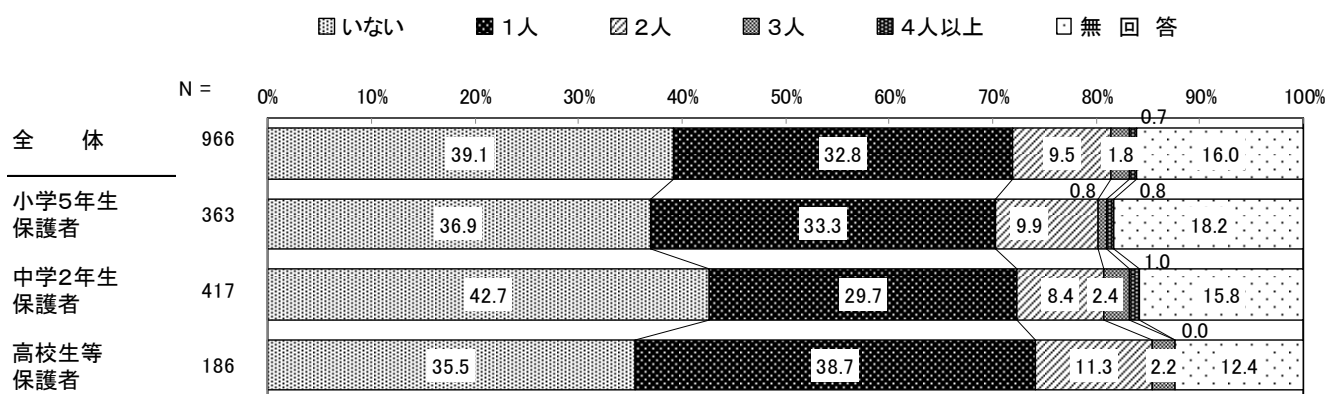
問4同居家族d) 父親〔%〕



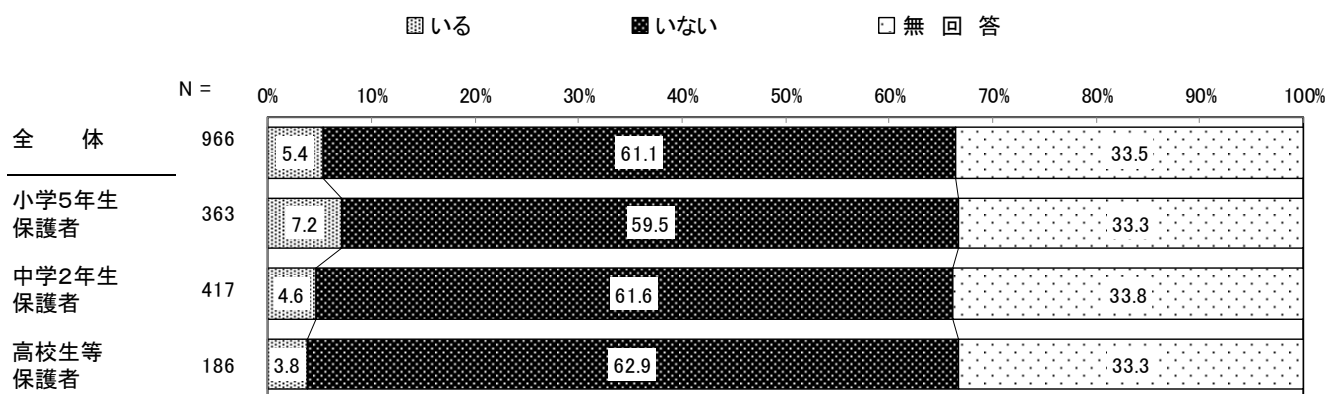
問4同居家族e) 姉・兄〔%〕



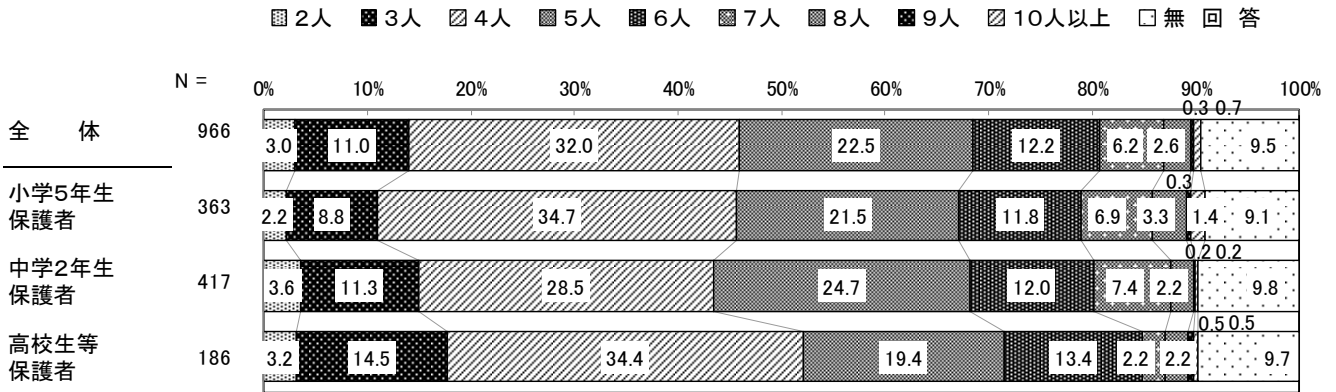
問4同居家族f) 妹・弟〔%〕



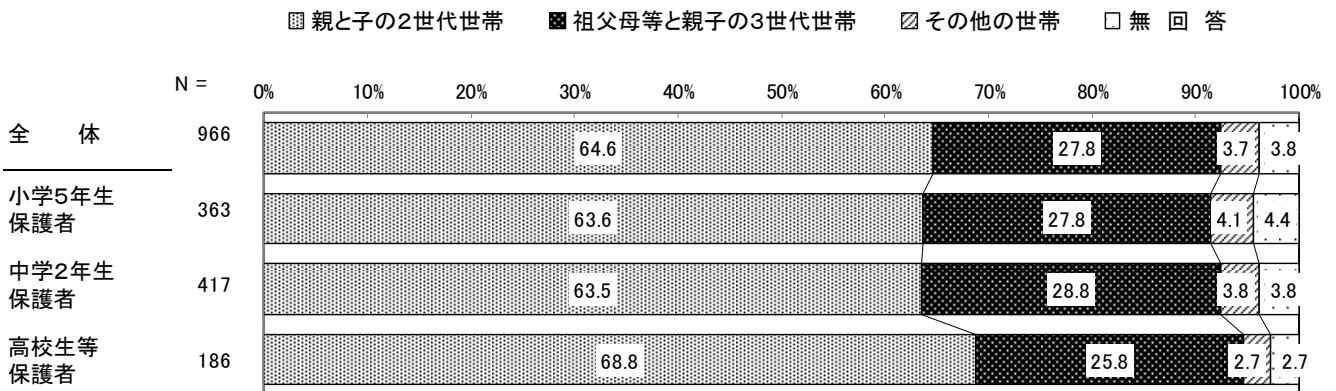
問4同居家族g) その他〔%〕



問4同居家族人数h)合計[%]



問4世帯構成[%]

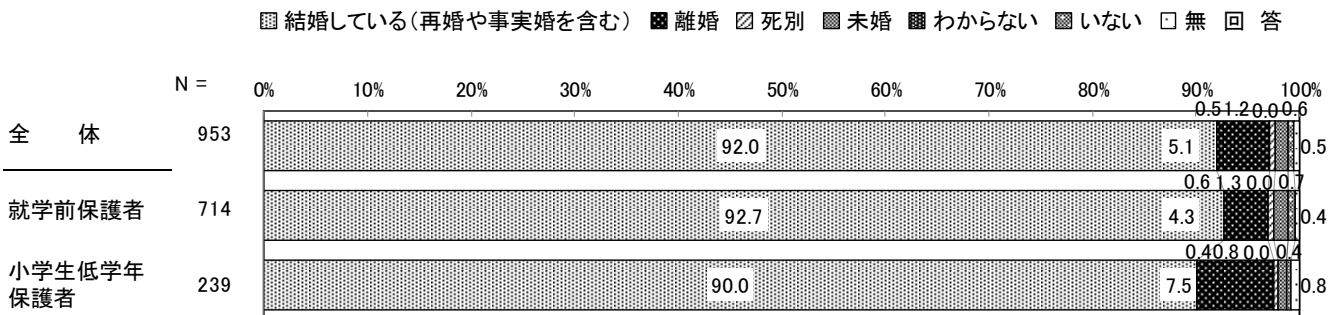


問 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

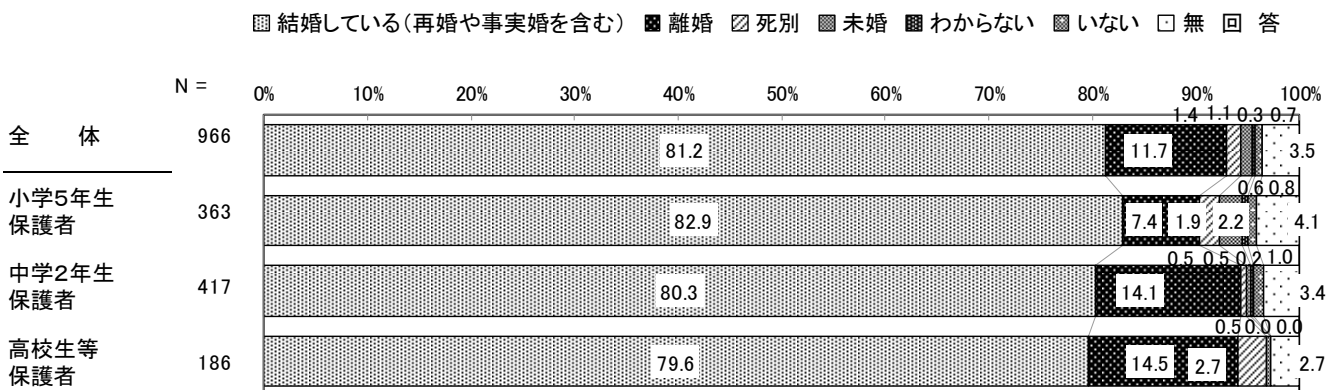
就学前児童・小学生保護者全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が92.0%とほとんどで、「離婚」が5.1%、「未婚」が1.2%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が81.2%、「離婚」が11.7%、「死別」が1.4%、「未婚」が1.1%である。

問6親の婚姻状況[%]



問5親の婚姻状況[%]

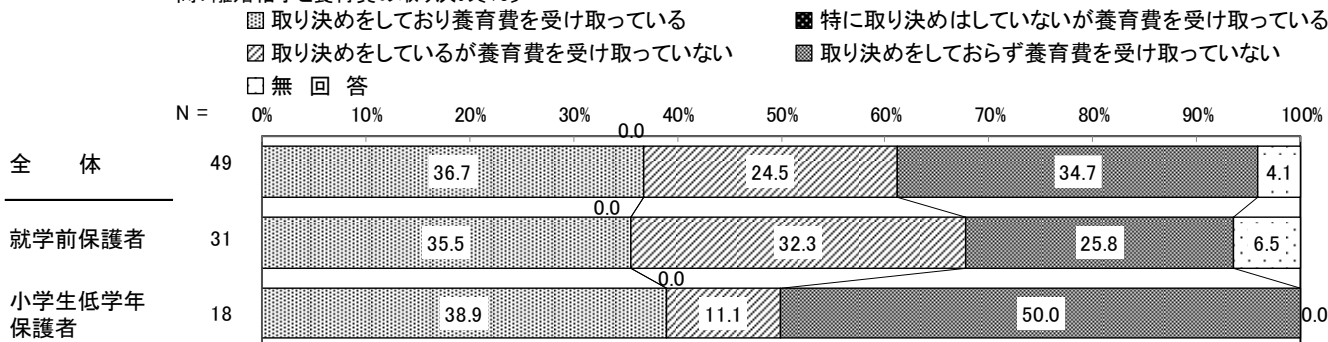


問 前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。

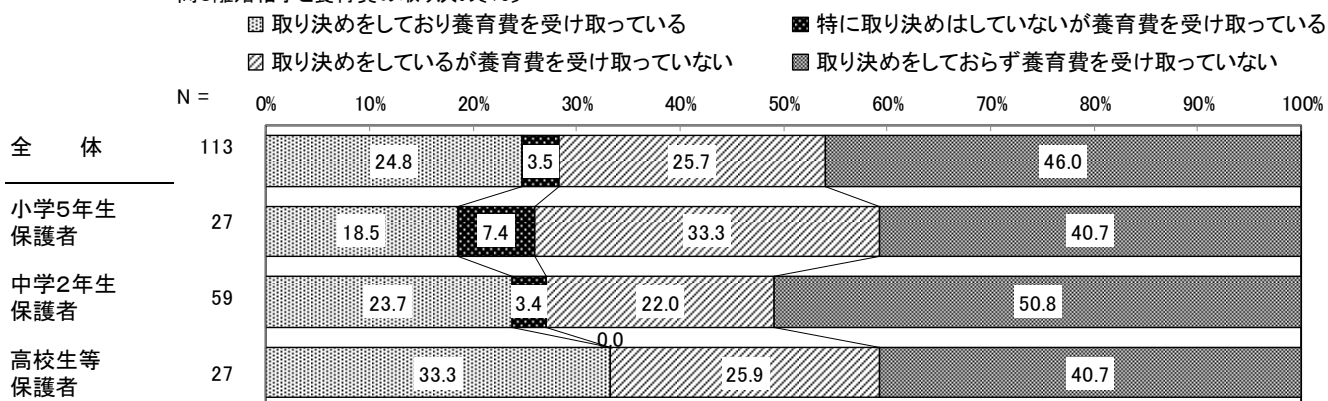
就学前児童・小学生保護者全体では、「取り決めをしており養育費を受け取っている」が 36.7%、「取り決めをしておらず養育費を受け取っていない」が 34.7%と多く、「取り決めをしているが養育費を受け取っていない」が 24.5%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「取り決めをしておらず養育費を受け取っていない」が 46.0%と多く、「取り決めをしているが養育費を受け取っていない」が 25.7%、「取り決めをしており養育費を受け取っている」が 24.8%となっている。

問7離婚相手と養育費の取り決め[%]



問6離婚相手と養育費の取り決め[%]

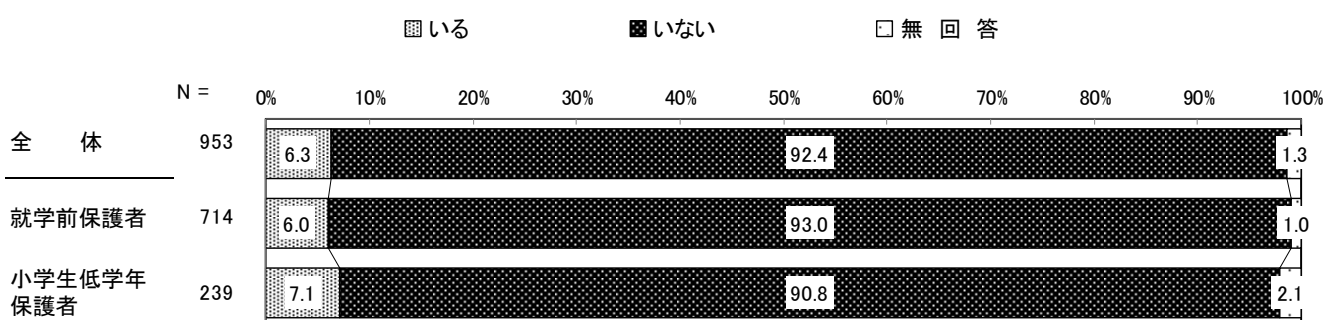


問 お子さんと同じ居しているご家族の中に、高齢であつたり障がいがあつたりするなど、介護が必要な方はいますか。

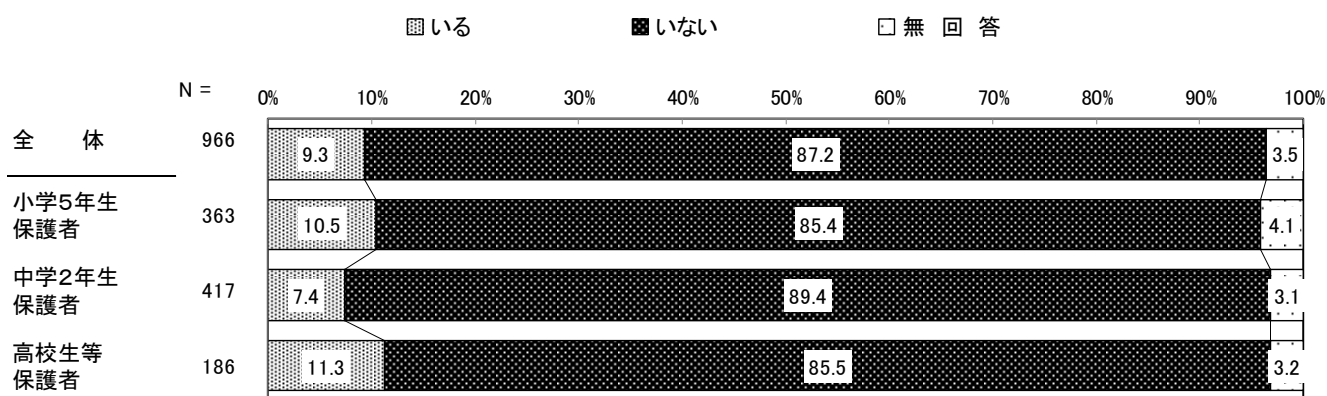
就学前児童・小学生保護者全体では、「いる」が 6.3%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「いる」が 9.3%である。

問8高齢や障がい介護が必要な家族等[%]



問7高齢や障がいで介護が必要な家族等[%]

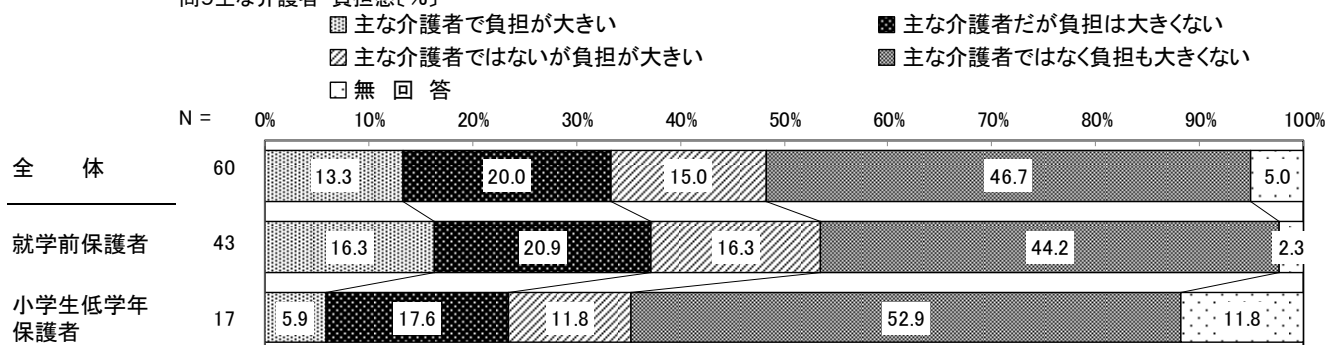


問 前問で「いる」を選んだ場合、あなたは主な介護者ですか。また、負担は大きいですか。

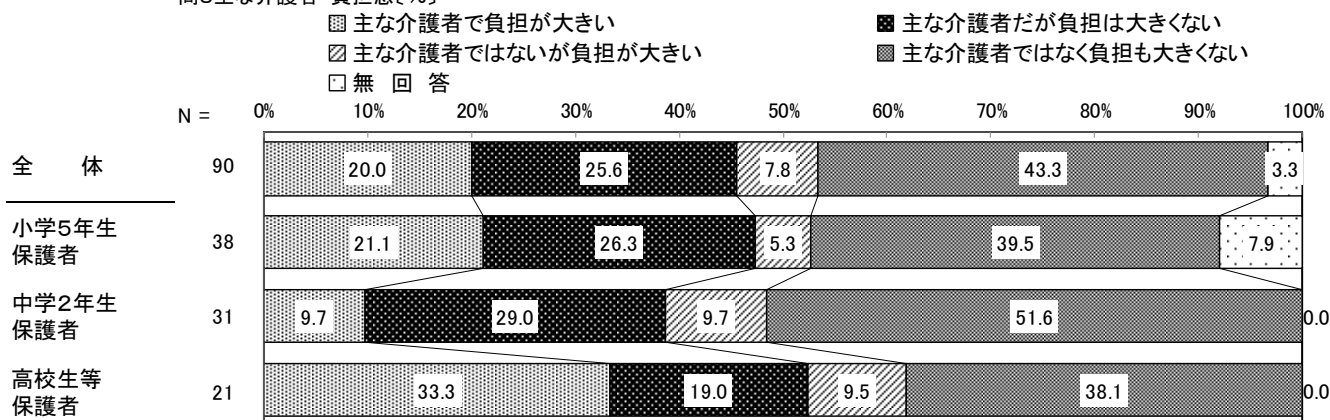
就学前児童・小学生保護者全体では、「主な介護者ではなく負担も大きくない」が 46.7%と多く、「主な介護者だが負担は大きくない」が 20.0%である。就学前児童保護者で「主な介護者で負担が大きい」が 16.3%と小学生保護者より多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「主な介護者ではなく負担も大きくない」が 43.3%と多く、「主な介護者だが負担は大きくない」が 25.6%、「主な介護者で負担が大きい」が 20.0%である。中学2年生保護者は「主な介護者ではなく負担も大きくない」が 51.6%、高校生等保護者は「主な介護者で負担が大きい」が 33.3%となっている。

問9主な介護者・負担感[%]



問8主な介護者・負担感[%]

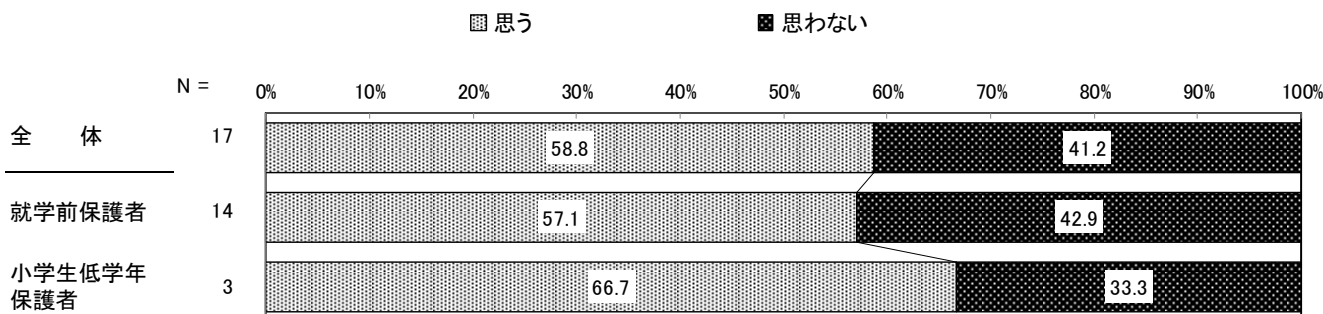


問 前問で「主な介護者で負担が大きい」または「主な介護者ではないが負担が大きい」を選んだ場合、介護や家事の負担がお子さんにかかっていると思いますか。

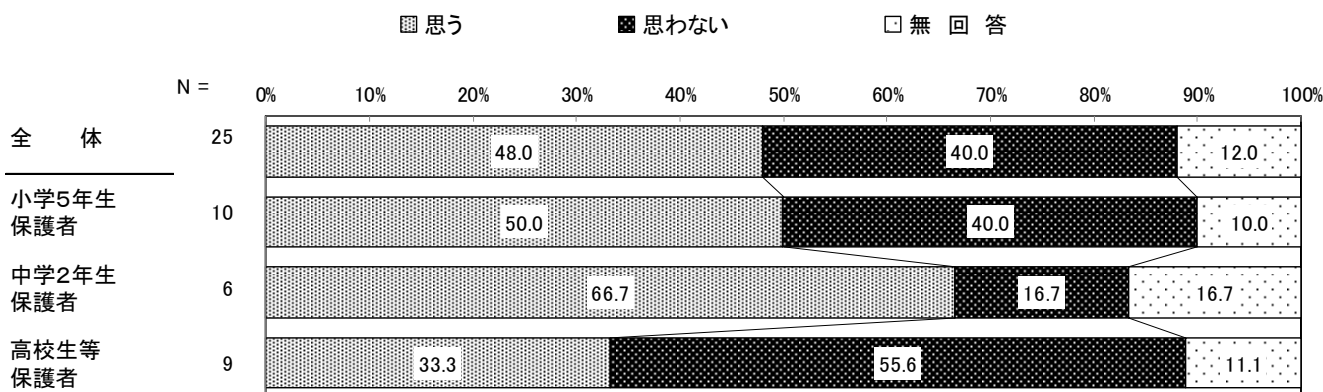
就学前児童・小学生保護者全体では、「思う」が58.8%と多く、「思わない」が41.2%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「思う」が48.0%と多く、「思わない」が40.0%である。回答数が少ないが、中学2年生保護者は「思う」が66.7%となっている。

問10子どもへの介護・家事負担の影響[%]



問9子どもへの介護・家事負担の影響[%]

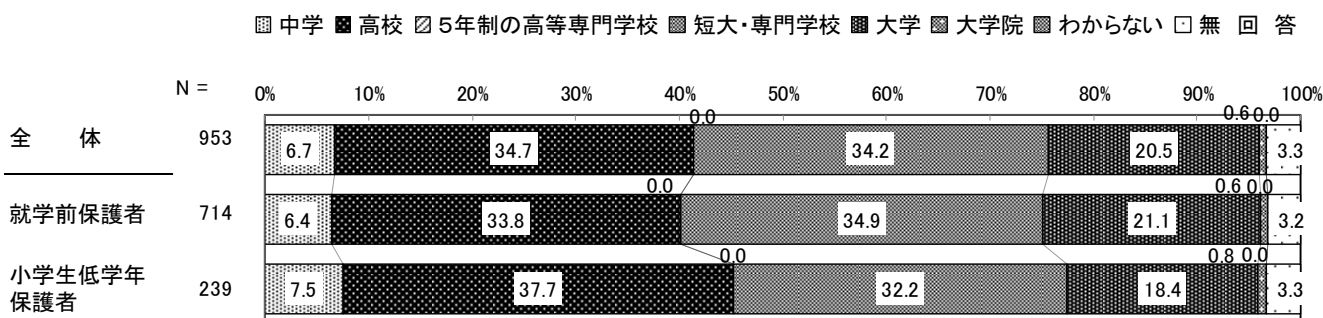


問 保護者の方が卒業・修了した学校をお答えください。

母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「高校」が34.7%、「短大・専門学校」が34.2%と多く、「大学」が20.5%である。

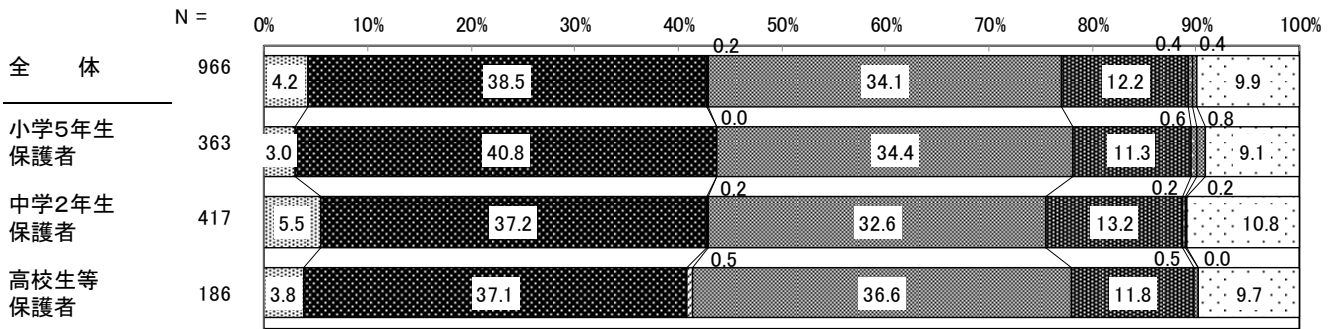
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「高校」が38.5%、「短大・専門学校」が34.1%、「大学」が12.2%である。

問11保護者の最終学歴・母親[%]



問10保護者の最終学歴・母親[%]

■ 中学 ■ 高校 ■ 5年制の高等専門学校 ■ 短大・専門学校 ■ 大学 ■ 大学院 ■ わからない □ 無 回答

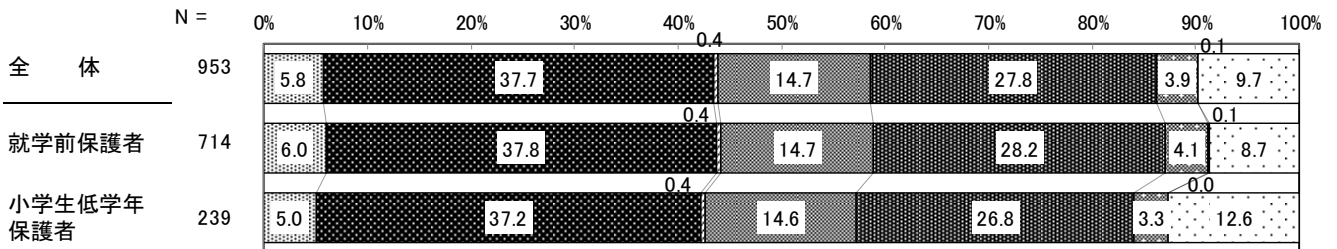


父親は、就学前児童・小学生保護者全体で「高校」が 37.7%と多く、「大学」が 27.8%、「短大・専門学校」が 14.7%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「高校」が 42.3%、「大学」が 20.1%、「短大・専門学校」が 11.8%である。

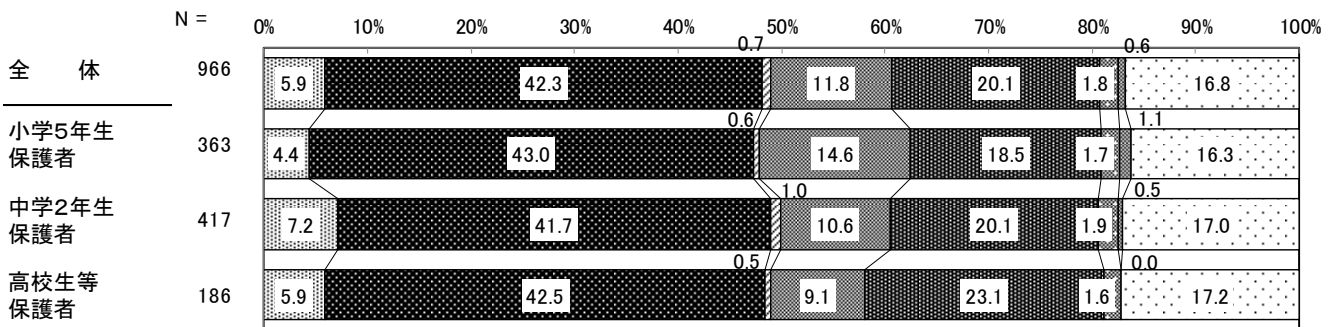
問11保護者の最終学歴・父親[%]

■ 中学 ■ 高校 ■ 5年制の高等専門学校 ■ 短大・専門学校 ■ 大学 ■ 大学院 ■ わからない □ 無 回答



問10保護者の最終学歴・父親[%]

■ 中学 ■ 高校 ■ 5年制の高等専門学校 ■ 短大・専門学校 ■ 大学 ■ 大学院 ■ わからない □ 無 回答



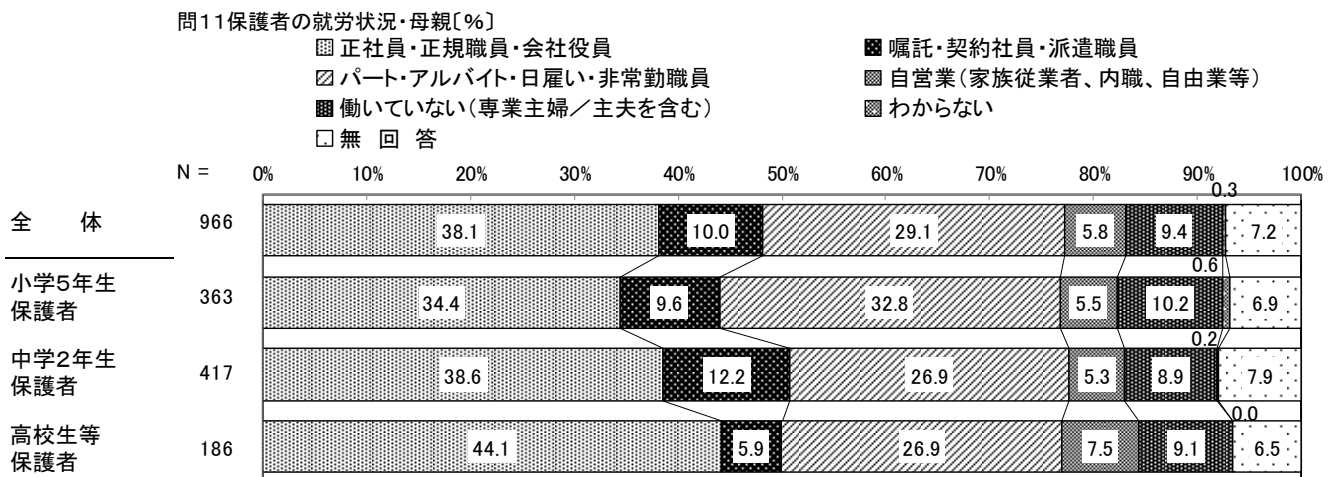
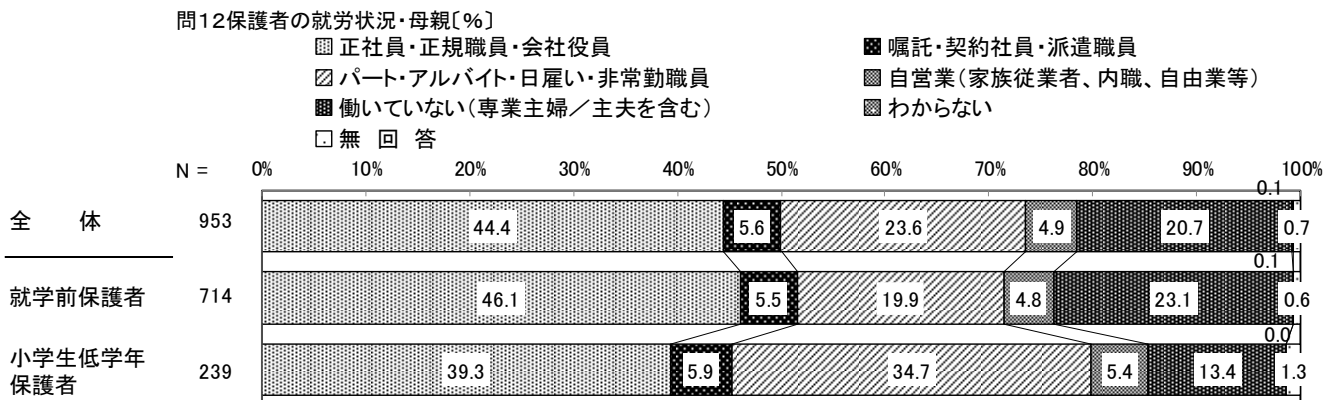


## 2.2 保護者の就労状況・職場の両立支援

問 保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

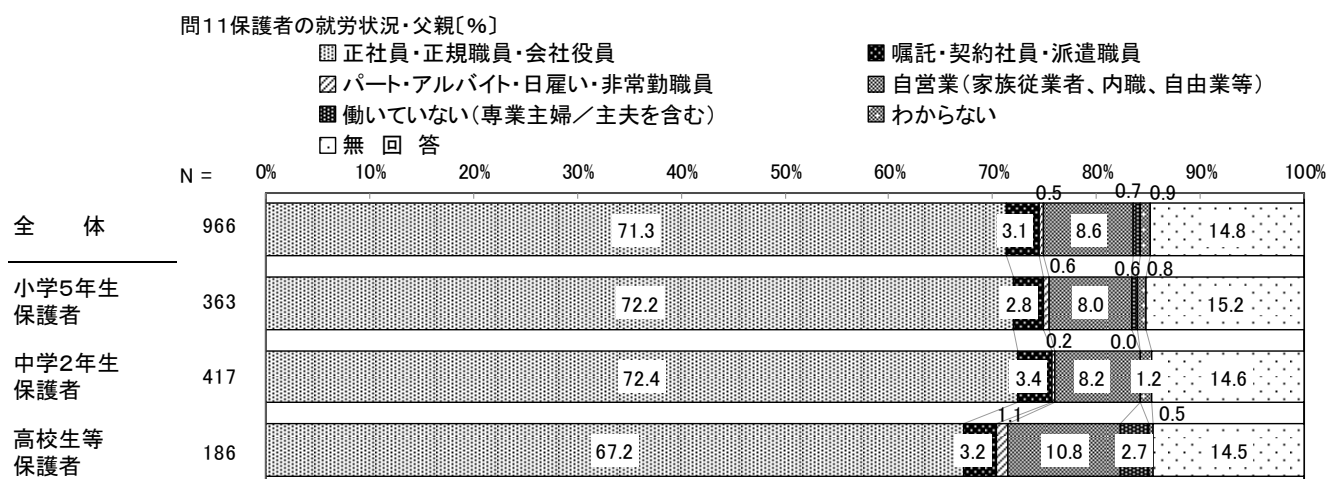
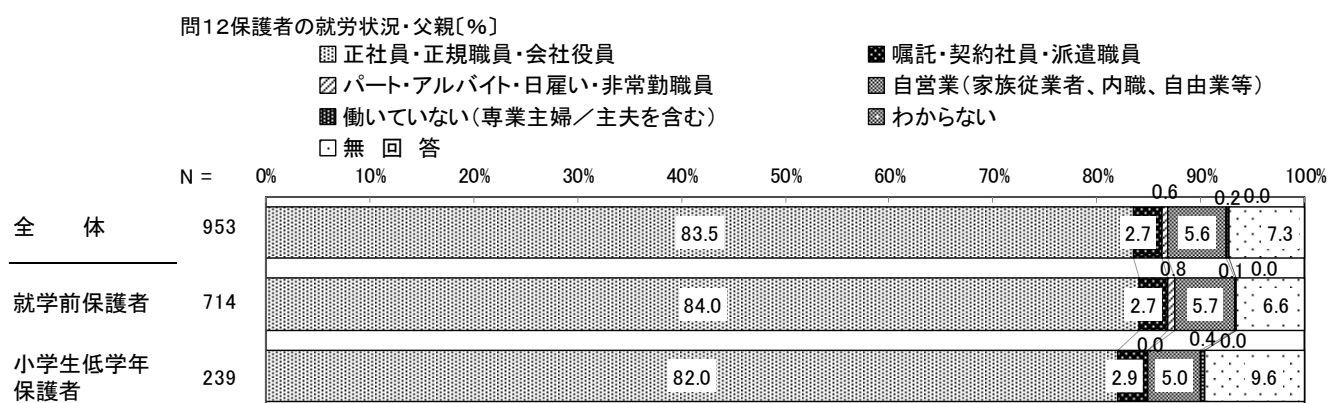
母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「正社員・正規職員・会社役員」が 44.4%と多く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 23.6%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 20.7%である。就学前児童保護者は「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 23.1%と小学生保護者の 13.4%より多く、小学生保護者は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 34.7%と多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が 38.1%と多く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 29.1%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が 10.0%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 9.4%である。年代が上がると「正社員・正規職員・会社役員」が多く、高校生等保護者は 44.1%となっている。



父親は、就学前児童・小学生保護者全体で「正社員・正規職員・会社役員」が 83.5%とほとんどである。

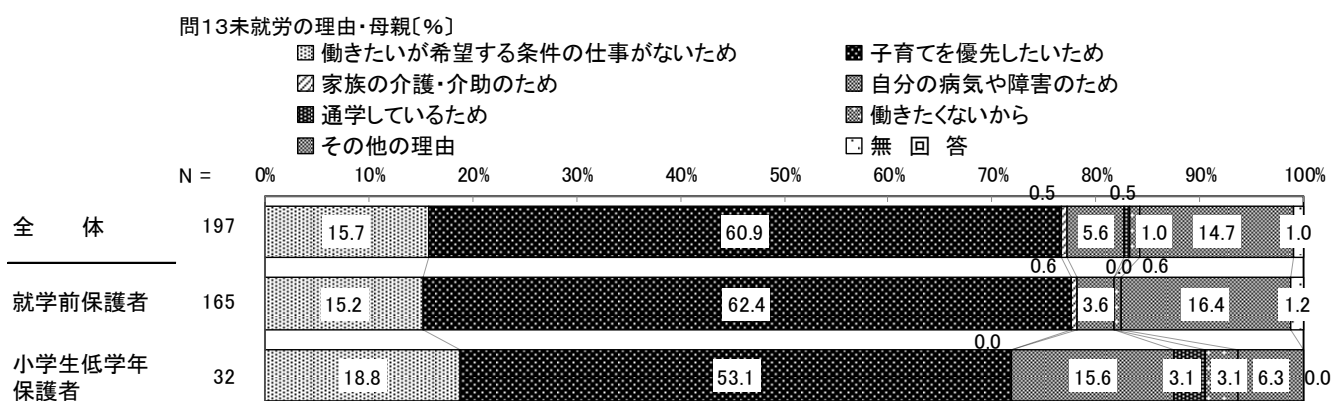
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が 71.3%となっている。



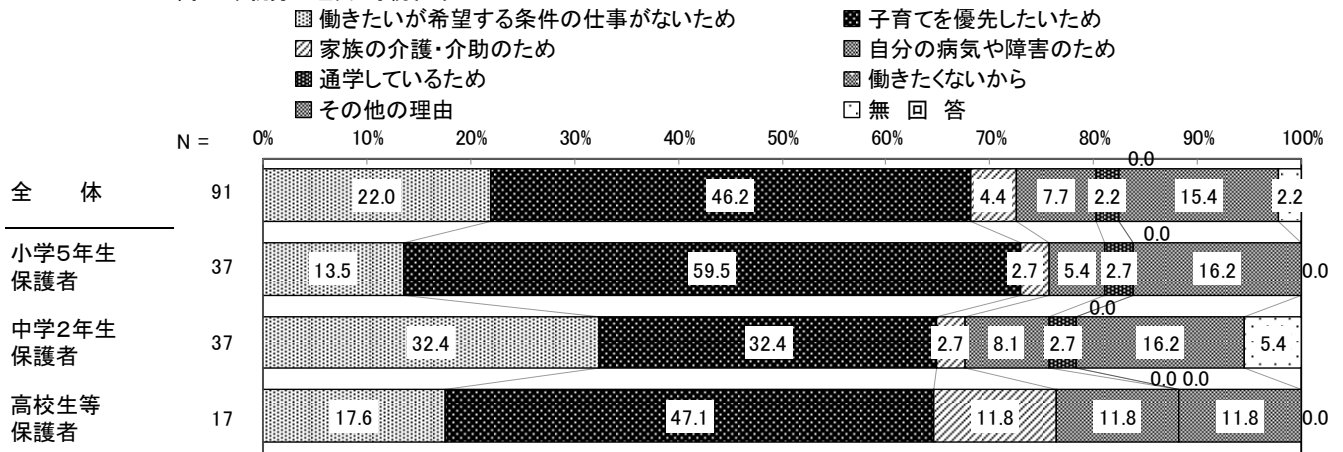
問 前問で「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」を選んだ場合、働いていない主な理由を教えてください。

母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「子育てを優先したいため」が 60.9%と多く、「働きたいが希望する条件の仕事がないため」が 15.7%である。小学生保護者で「自分の病気や障害のため」が 15.6%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「子育てを優先したいため」が 46.2%と多く、「働きたいが希望する条件の仕事がないため」が 22.0%である。中学2年生保護者は他の年代より「働きたいが希望する条件の仕事がないため」が 32.4%と多く、「子育てを優先したいため」が 32.4%と少なくなっている。



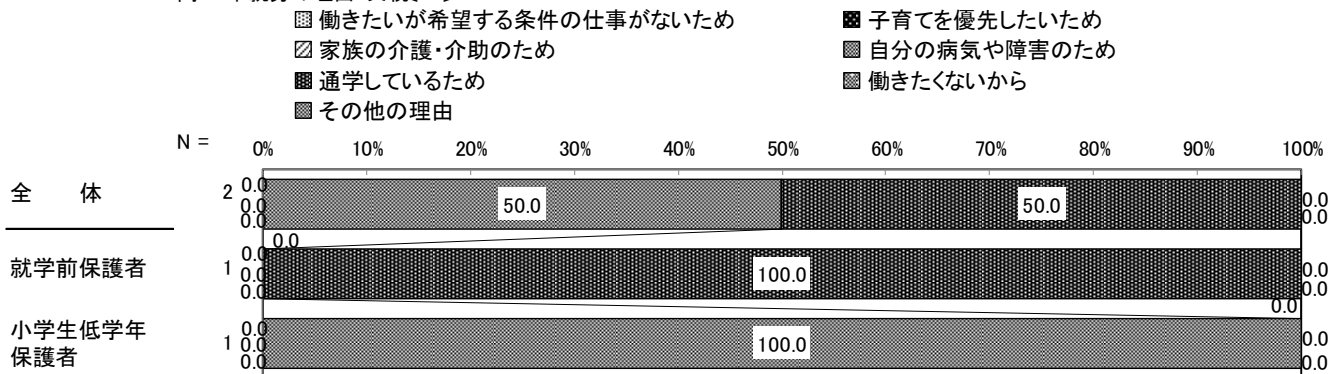
問12未就労の理由・母親[%]



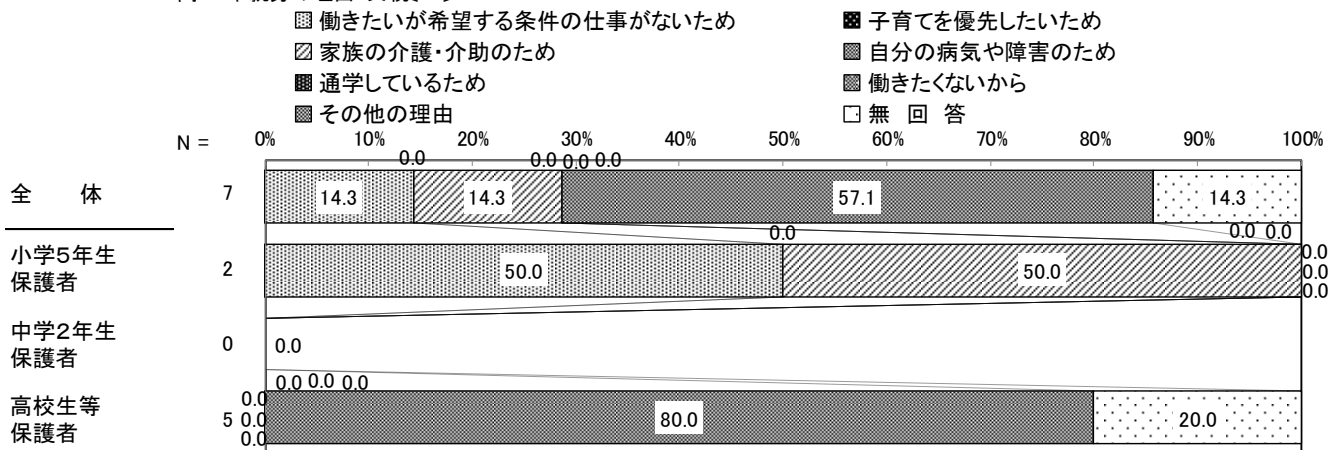
父親は、就学前児童・小学生保護者全体で回答数が少なく、「自分の病気や障害のため」「通学しているため」がみられる。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体も回答数が少なく、「働きたいが希望する条件の仕事がないため」「家族の介護・介助のため」がみられる。

問13未就労の理由・父親[%]



問12未就労の理由・父親[%]



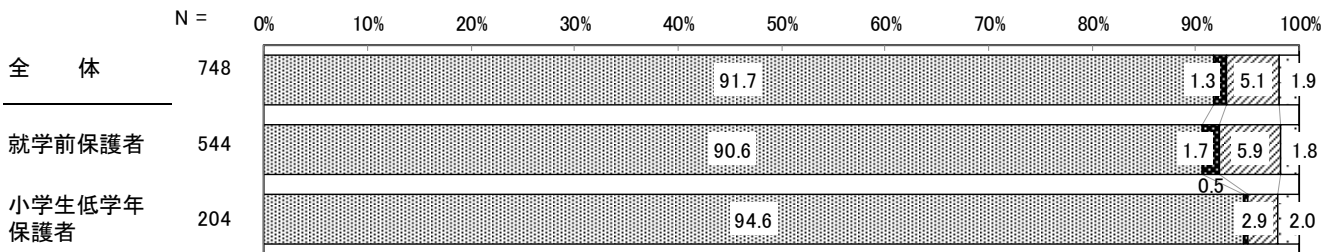
(保育園に入れなかったため、求職中であるなど)

問 現在働いている場合、普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。

母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「主に昼間の就労」が91.7%と多くを占めている。  
 小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「主に昼間の就労」が86.7%である。

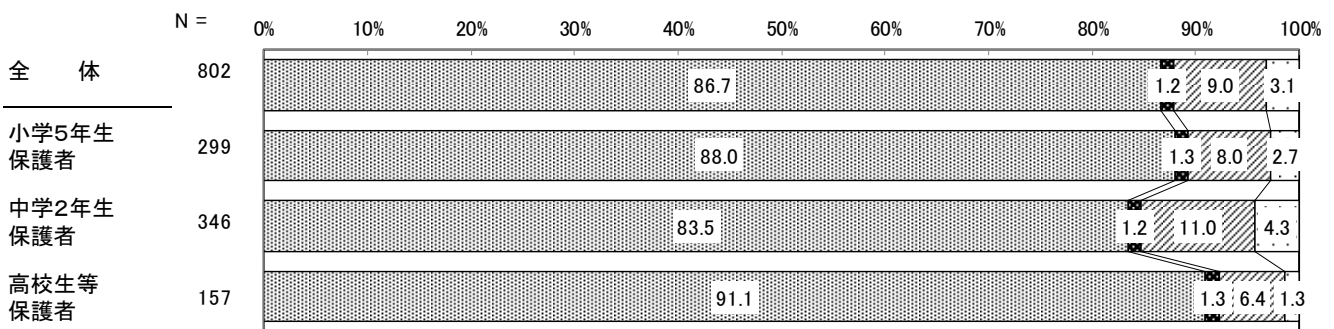
問14 普段の就労時間帯・母親[%]

■ 主に昼間の就労 ■ 主に夜間の就労 ▨ 昼間・夜間の就労、いずれもある □ 無回答



問13 普段の就労時間帯・母親[%]

■ 主に昼間の就労 ■ 主に夜間の就労 ▨ 昼間・夜間の就労、いずれもある □ 無回答

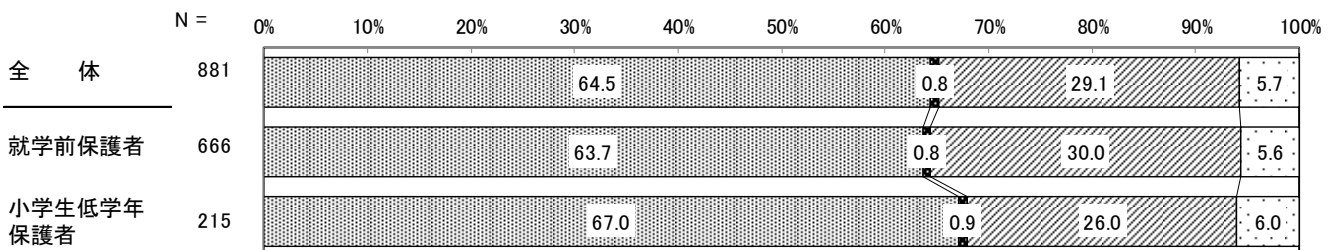


父親は、就学前児童・小学生保護者全体で「主に昼間の就労」が64.5%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が29.1%である。

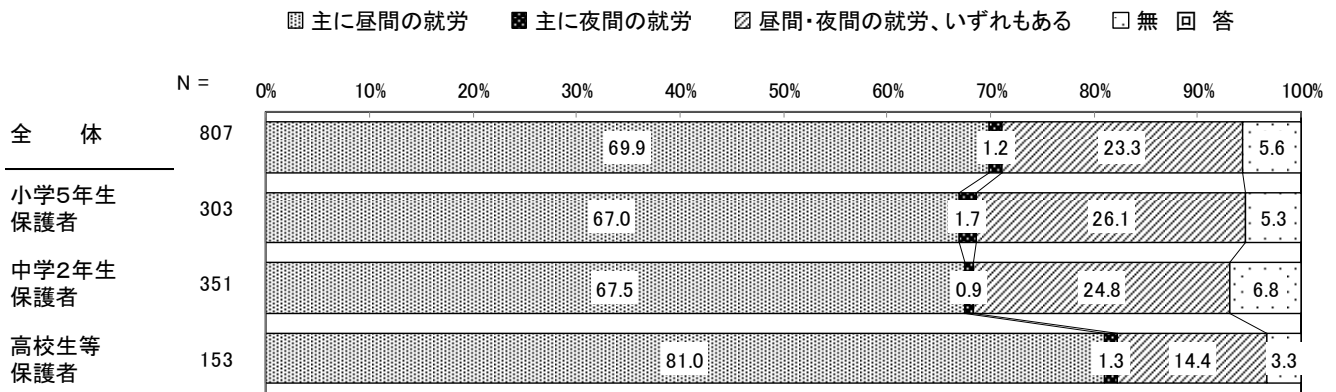
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「主に昼間の就労」が69.9%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が23.3%である。

問14 普段の就労時間帯・父親[%]

■ 主に昼間の就労 ■ 主に夜間の就労 ▨ 昼間・夜間の就労、いずれもある □ 無回答



問13 普段の就労時間帯・父親〔%〕

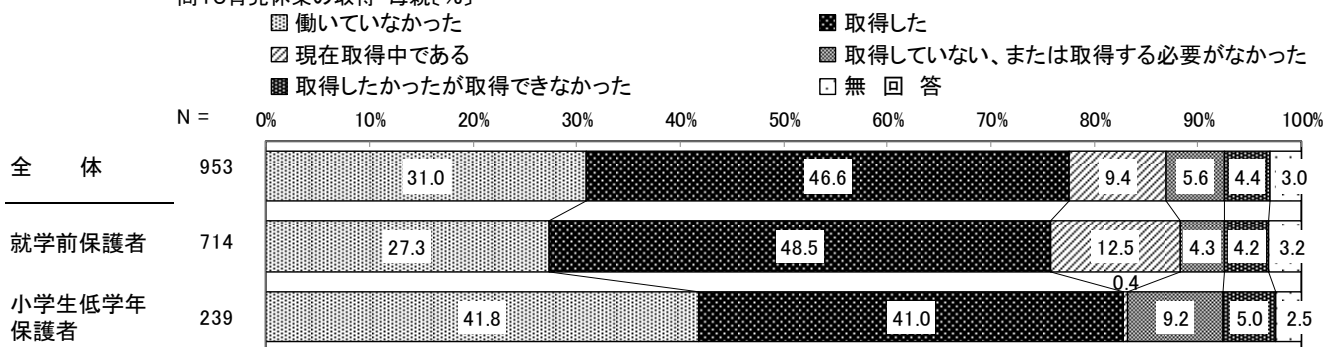


問 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(就学前児童・小学生保護者のみ)

母親は、全体では『取得した』（「取得した」と「現在取得中である」の計、以下同様）が 56.0%と多く、「働いていなかった」が 31.0%、「取得していない、または取得する必要がなかった」と「取得したかったが取得できなかった」がそれぞれ 5%前後である。小学生保護者は「働いていなかった」が 41.8%と多くなっている。

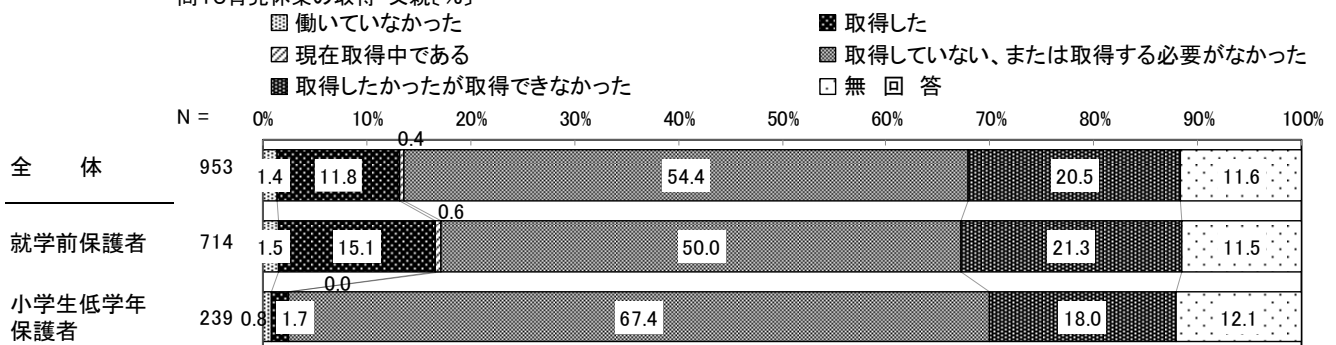
所得別では、低所得に該当する世帯で「働いていなかった」が 42.3%となっている。

問15 育児休業の取得・母親〔%〕



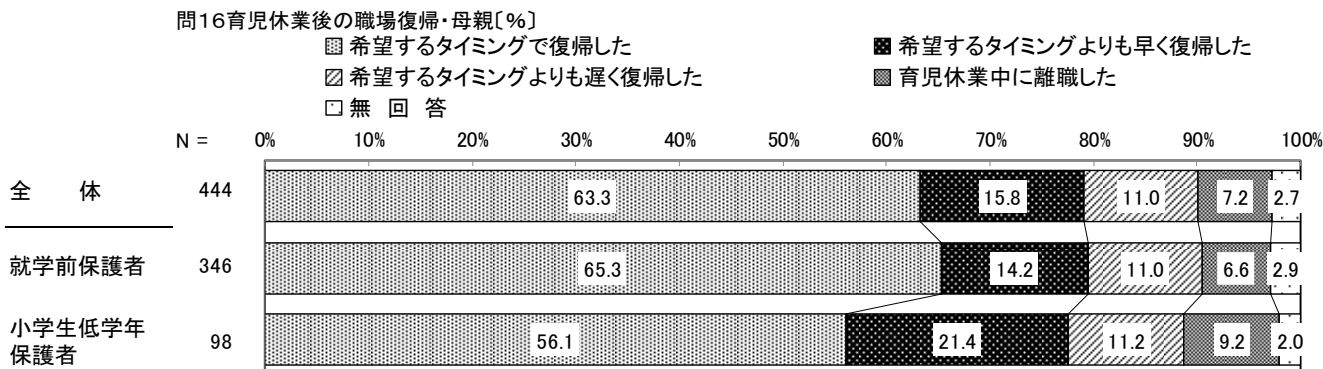
父親は、全体では「取得していない、または取得する必要がなかった」が 54.4%と半数を占め、「取得したかったが取得できなかった」が 20.5%、『取得した』は 12.2%である。

問15 育児休業の取得・父親〔%〕

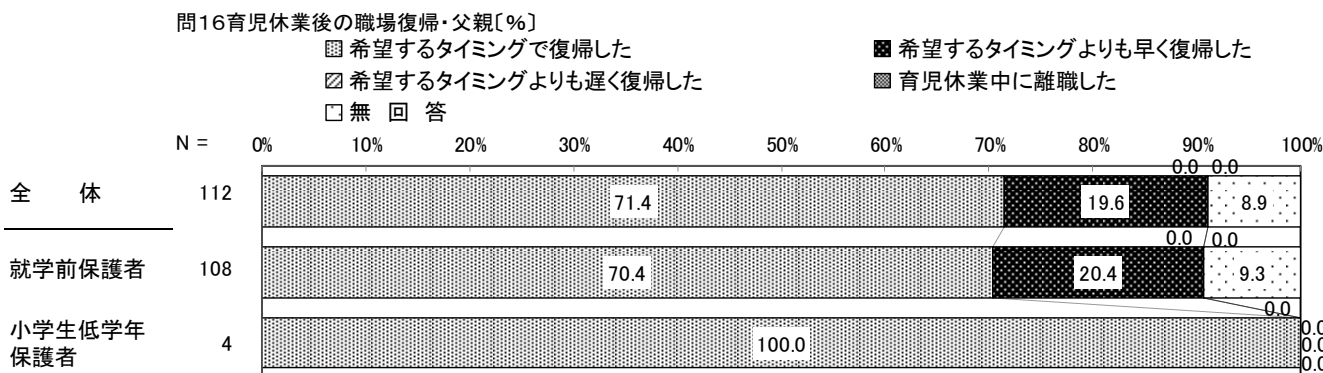


問 前問で「取得した」を選んだ場合、育児休業後、職場に復帰しましたか。併せて復帰時のお子さんの年齢もお書きください。(就学前児童・小学生保護者のみ)

母親は、全体では「希望するタイミングで復帰した」が 63.3%と多く、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が 15.8%、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」が 11.0%である。就学前児童保護者は、「希望するタイミングで復帰した」が 65.3%と小学生保護者の 56.1%より多くなっている。

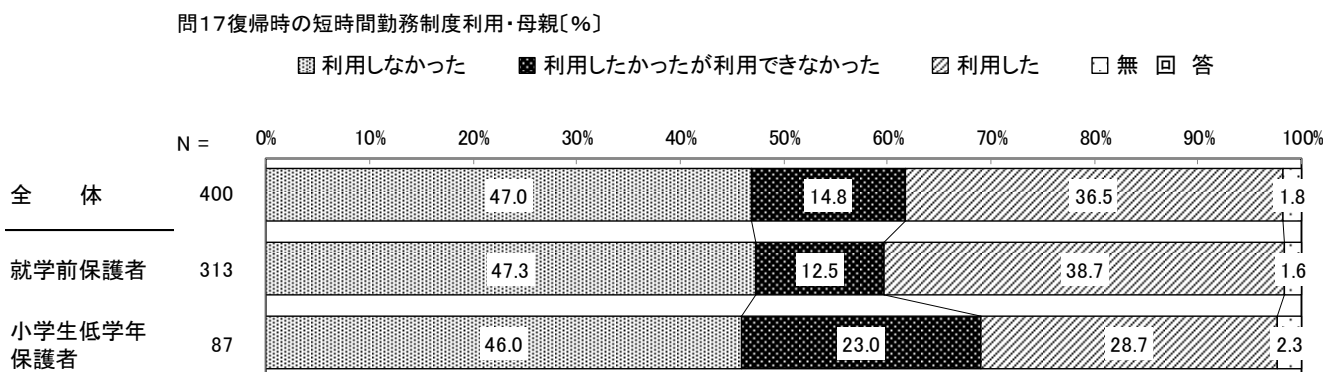


父親は、全体では「希望するタイミングで復帰した」が 71.4%と多く、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が 19.6%である。



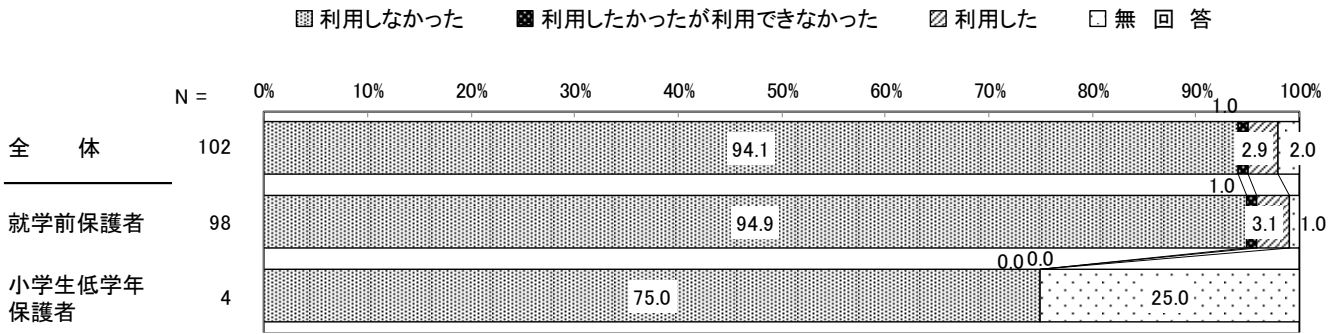
問 前問で「希望するタイミングで復帰した」、「希望するタイミングよりも早く復帰した」、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」を選んだ場合、職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(就学前児童・小学生保護者のみ)

母親は、全体では「利用しなかった」が 47.0%と多く、「利用した」が 36.5%、「利用したかったが利用できなかった」が 14.8%である。小学生保護者は「利用したかったが利用できなかった」が 23.0%と多くなっている。



父親は、全体では「利用しなかった」が94.1%とほとんどである。

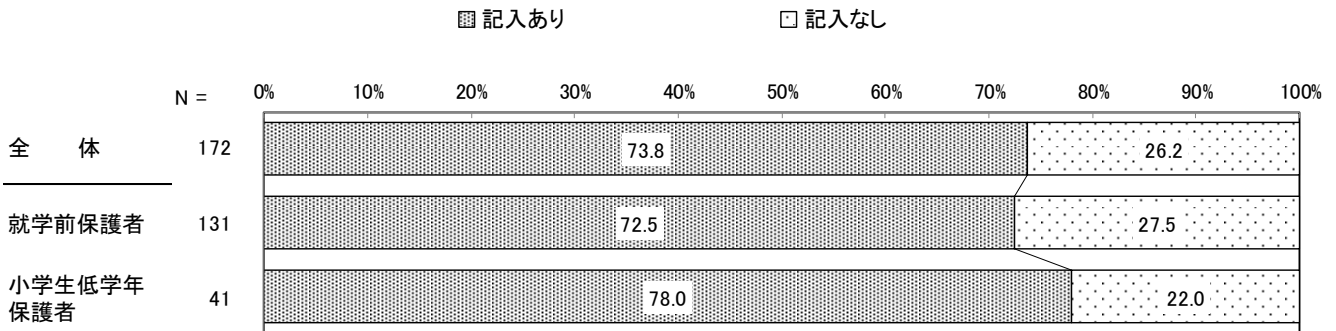
問17復帰時の短時間勤務制度利用・父親[%]



問 前問で「希望するタイミングよりも早く復帰した」、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」、「育児休業中に離職した」を選んだ場合、その理由をお書きください。(就学前児童・小学生保護者のみ)

全体では、「記入あり」が73.8%である。内容としては、「保育園に入れなかったため」、「職場の都合のため（人員不足、規則等）」、「保育園に入園しやすいタイミングを選んだ」などの意見がみられる。

問18利用しなかった理由[%]



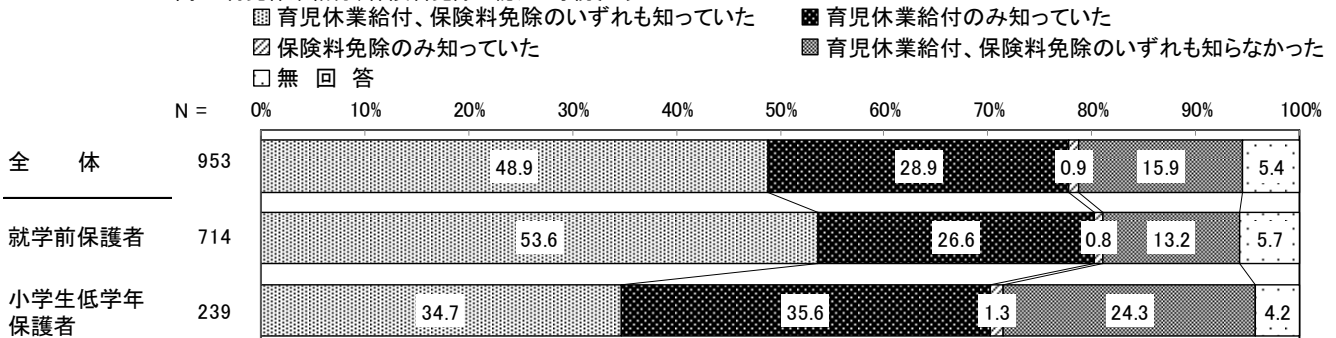
問 育児休業給付、保険料免除について知っていましたか。(就学前児童・小学生保護者のみ)

母親は、全体では「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が48.9%と多く、「育児休業給付のみ知っていた」が28.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が15.9%である。就学前児童保護者は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が53.6%と小学生保護者の34.7%より多くなっている。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がともに28%程度となっている。

所得別では、低所得に該当する世帯で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が34.6%となっている。

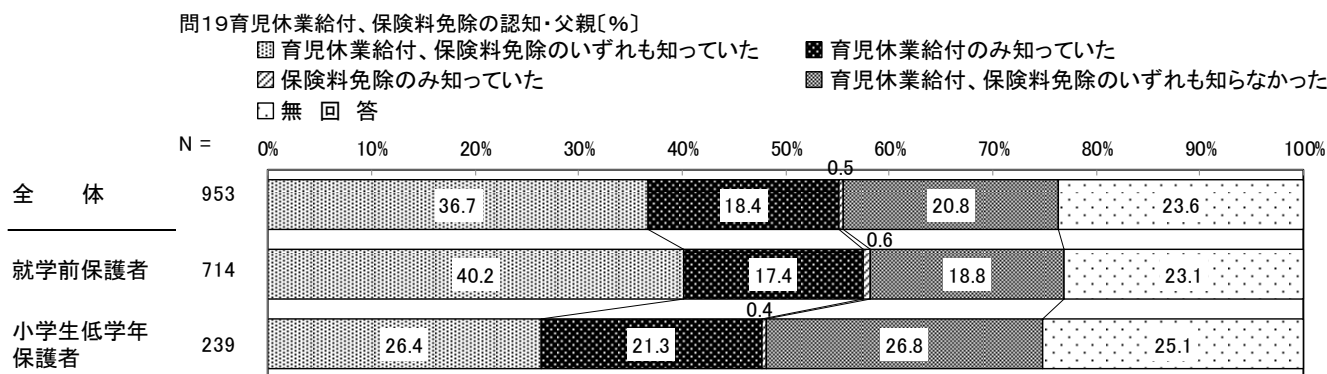
問19育児休業給付、保険料免除の認知・母親[%]



父親は、全体では「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 36.7%と多く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 20.8%、「育児休業給付のみ知っていた」が 18.4%である。就学前児童保護者は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 40.2%と小学生保護者の 26.4%より多くなっている。

家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 26.5%となっている。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 30.7%となっている。



## 問 現在働いている場合、あなたの職場についてお答えください。

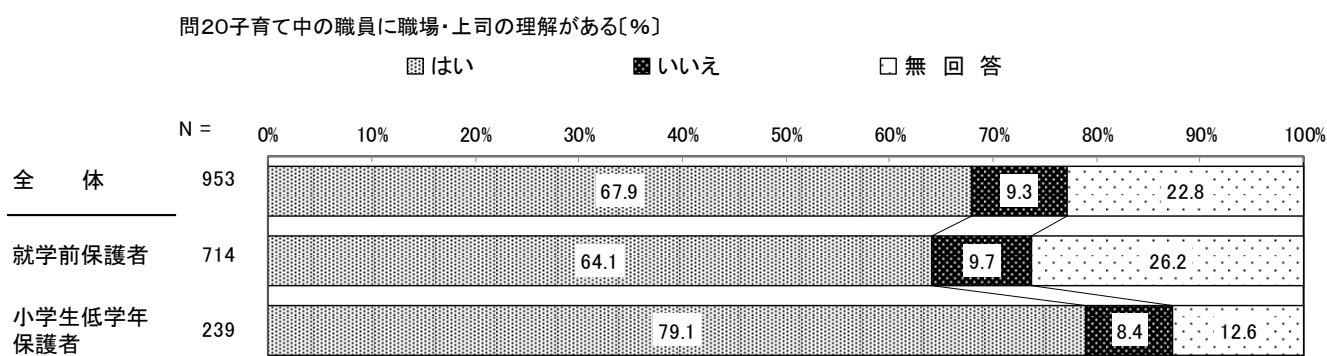
### 【就学前児童・小学生保護者】

全体では、「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」は 67.9%、「仕事の継続・キャリアの障害になっていると思う」は 34.9%、「休暇がとりやすい」は 55.6%が「はい」と回答している。

小学生保護者は、「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」が 79.1%、「休暇がとりやすい」は 64.4%と就学前児童保護者より「はい」が多くなっている。

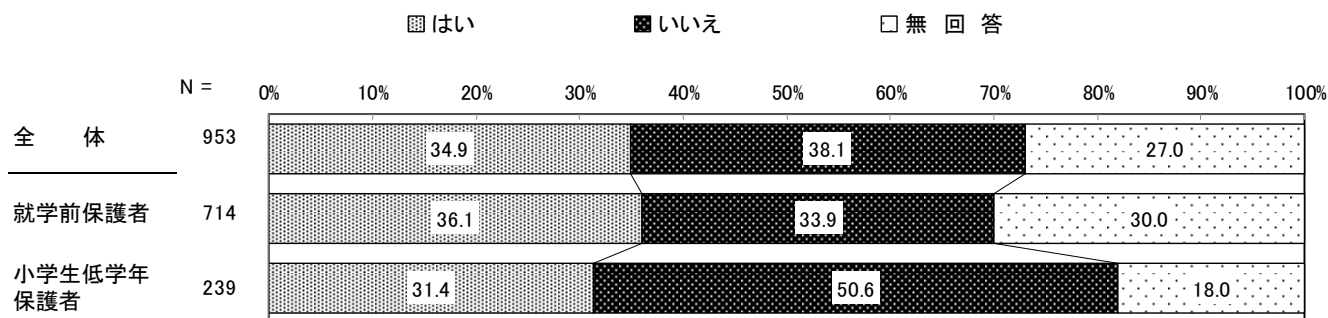
保護者の就業状況別では、共働き世帯で「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」は 81.2%、「休暇がとりやすい」は 66.6%が「はい」と回答している。

保育学童の利用者は、「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」は 77.8%、「休暇がとりやすい」は 65.6%が「はい」と回答している。

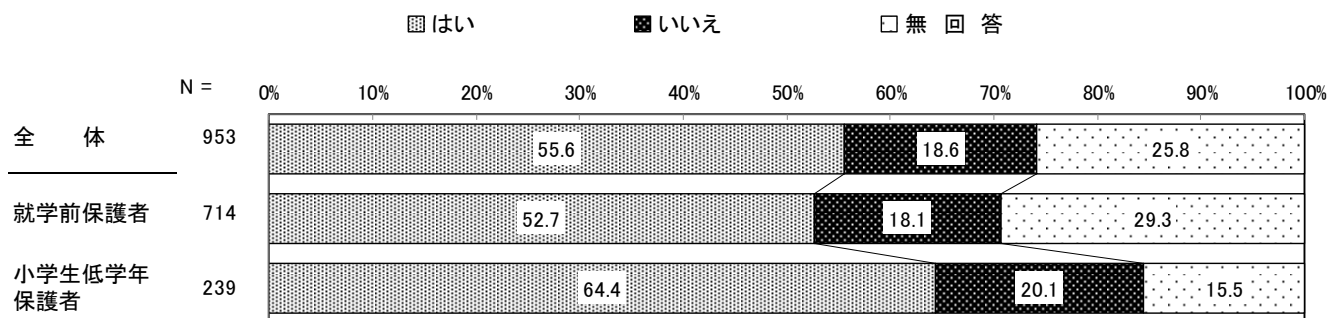




問20仕事の継続・キャリアの障害になっていると思う[%]



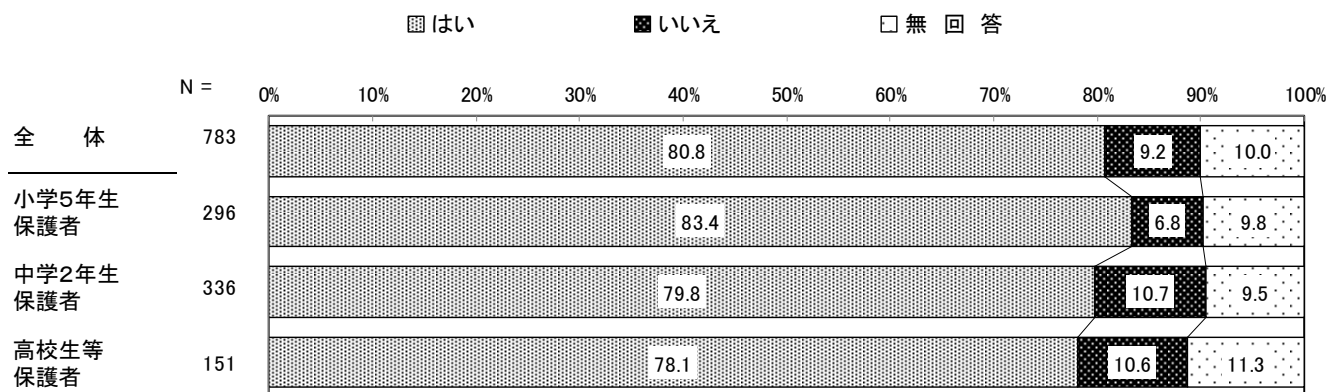
問20休暇がとりやすい[%]



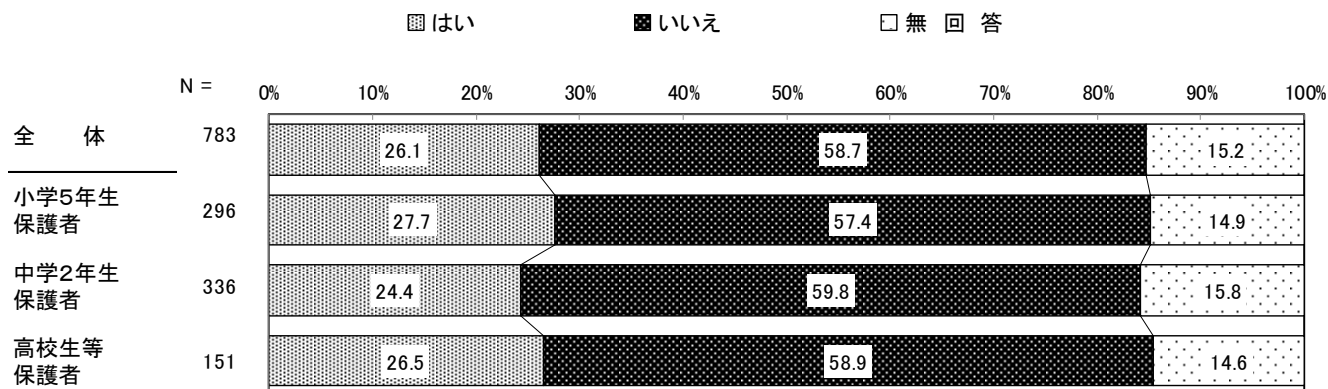
### 【小学5年生・中学2年生・高校生等保護者】

全体では、「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」は 80.8%、「仕事の継続・キャリアの障害になっていると思う」は 26.1%、「休暇がとりやすい」は 64.5%が「はい」と回答している。小学生5年生保護者は、「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」が 83.4%、高校生等保護者は、「休暇がとりやすい」が 68.9%と「はい」がやや多くなっている。

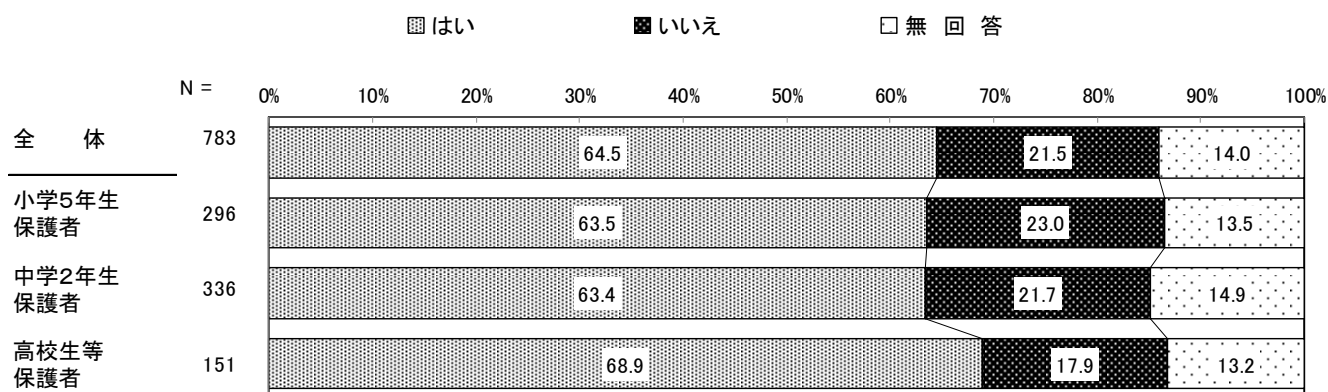
問14子育て中の職員に職場・上司の理解がある[%]



問14仕事の継続・キャリアの障害になっていると思う[%]



問14休暇がとりにやすい[%]



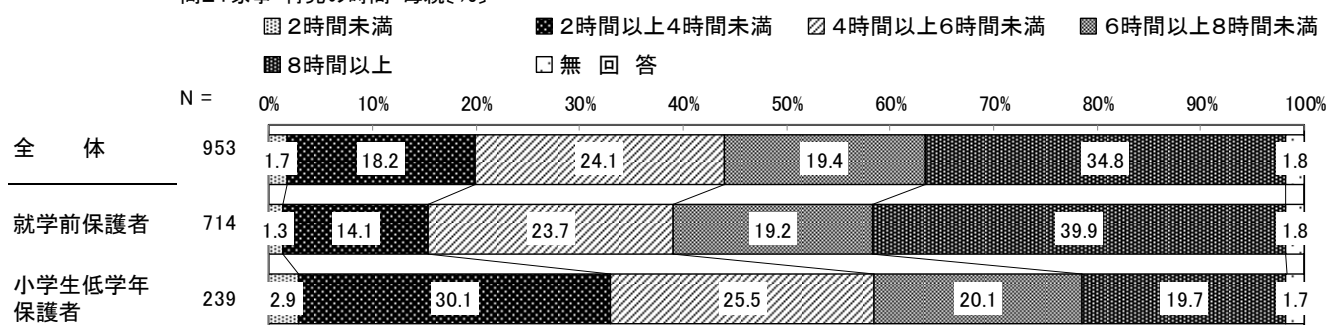
問 家事・育児の時間は1日あたり平均してどれくらいですか。

母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「8時間以上」が34.8%と多く、「4時間以上6時間未満」が24.1%、「6時間以上8時間未満」が19.4%、「2時間以上4時間未満」が18.2%である。就学前児童保護者は「8時間以上」が39.9%となっている。

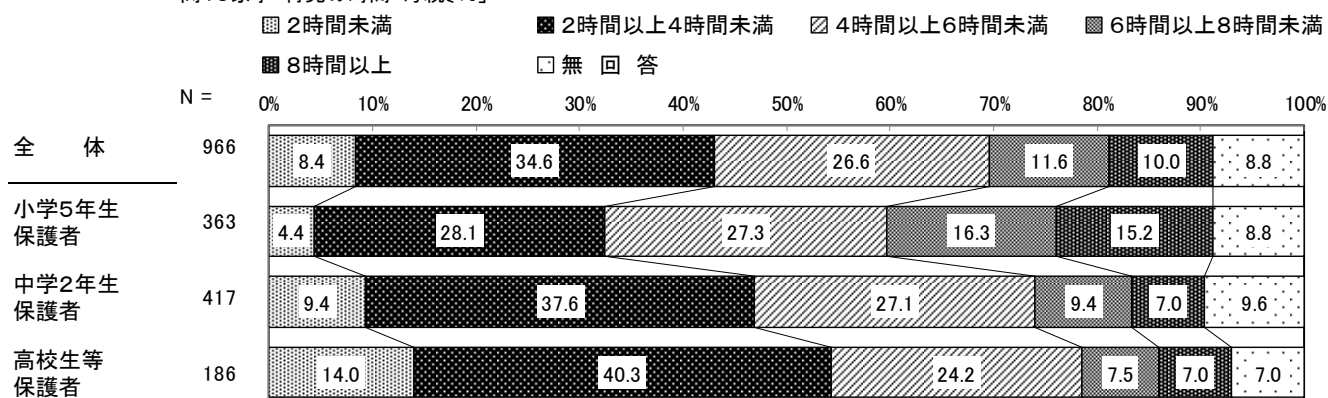
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「8時間以上」が74.6%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「2時間以上4時間未満」が34.6%と多く、「4時間以上6時間未満」が26.6%、「6時間以上8時間未満」が11.6%である。4時間未満の回答は年代が上がると多く、6時間以上の回答は小学5年生保護者が他の年代より多くなっている。

問21家事・育児の時間・母親[%]



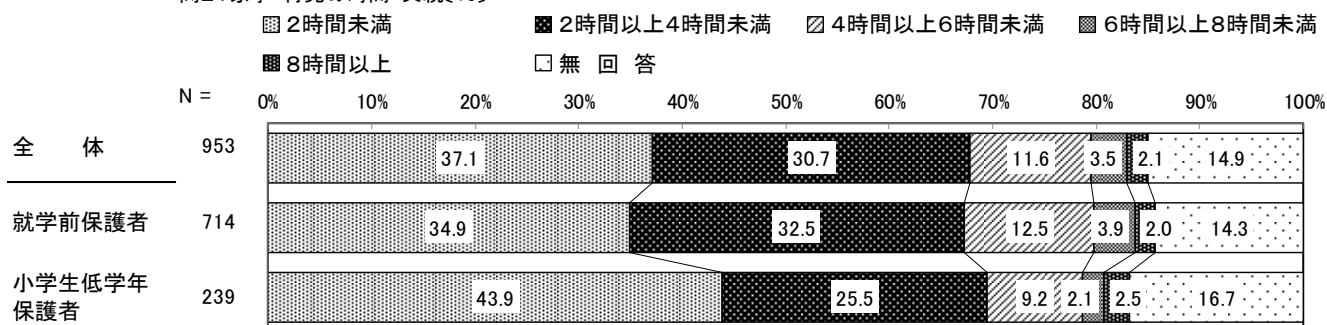
問15家事・育児の時間・母親[%]



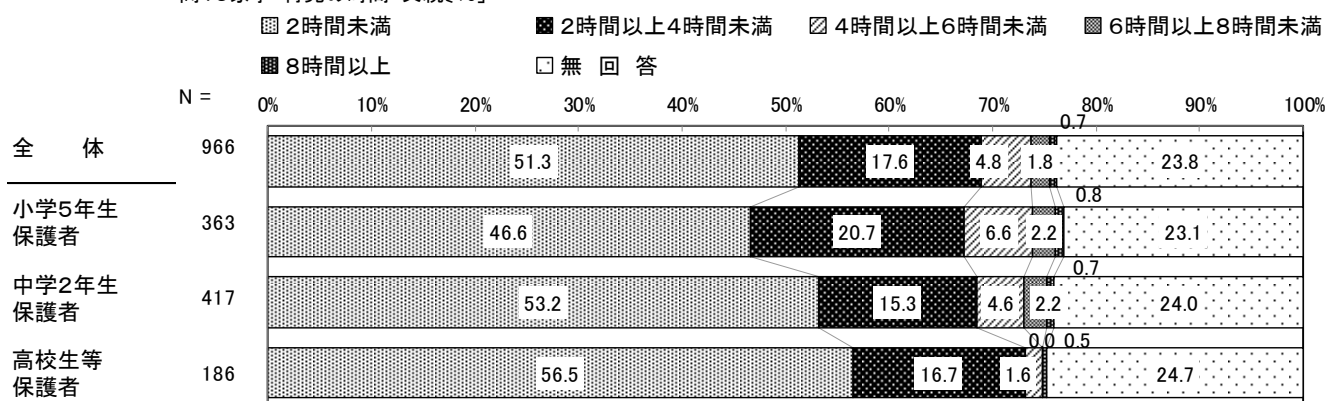
父親は、就学前児童・小学生保護者全体で「2時間未満」が37.1%、「2時間以上4時間未満」が30.7%と多く、「4時間以上6時間未満」が11.6%である。小学生保護者は「2時間未満」が43.9%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「2時間未満」が51.3%、「2時間以上4時間未満」が17.6%である。小学5年生保護者は「2時間未満」が46.6%と他の年代より少なくなっている。

問21家事・育児の時間・父親[%]



問15家事・育児の時間・父親[%]

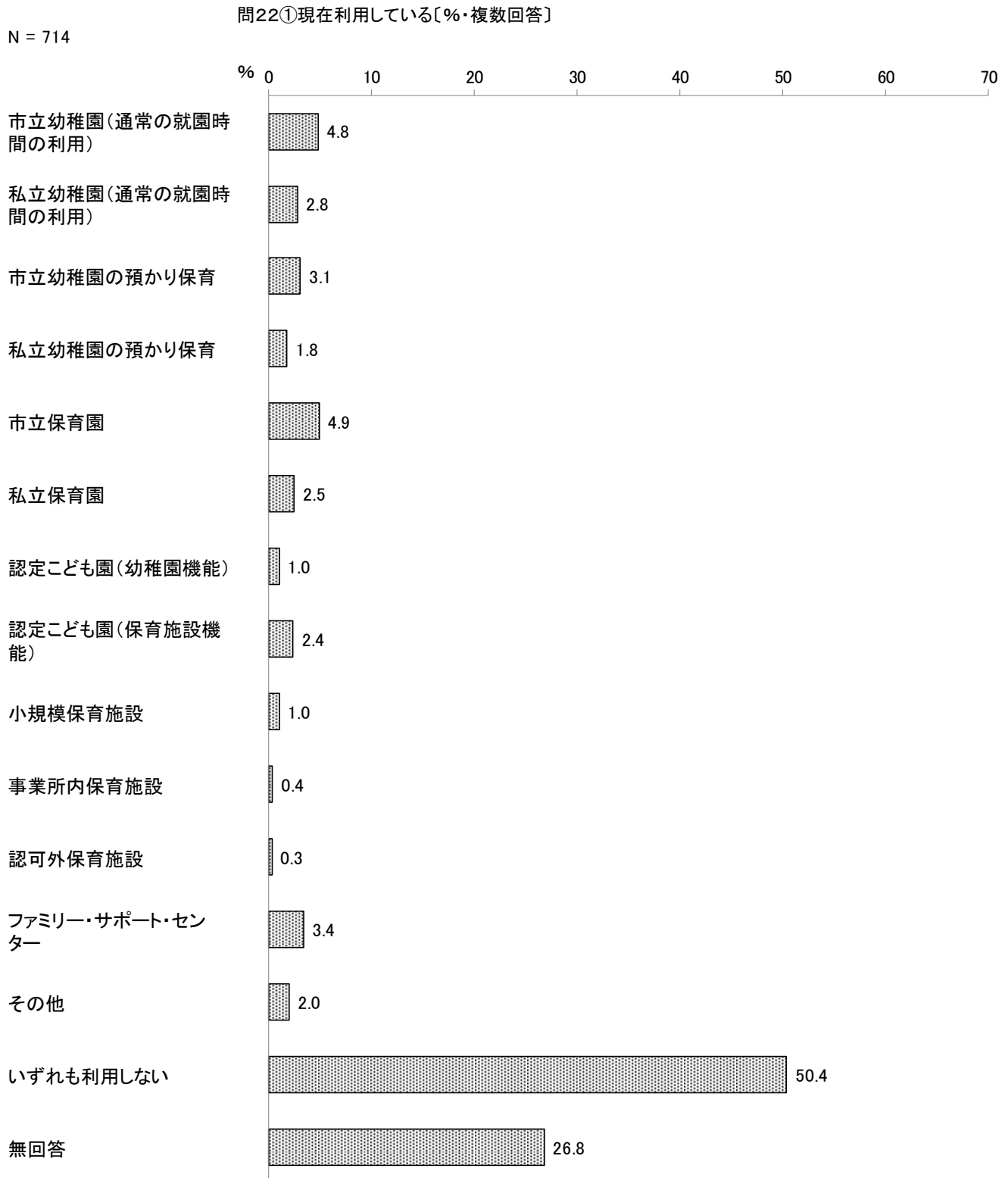


## 2.3 定期的な教育・保育の利用(就学前児童保護者のみ)

問 ①現在の利用状況と②今後の利用希望について、お答えください。

### 1)現在の利用状況

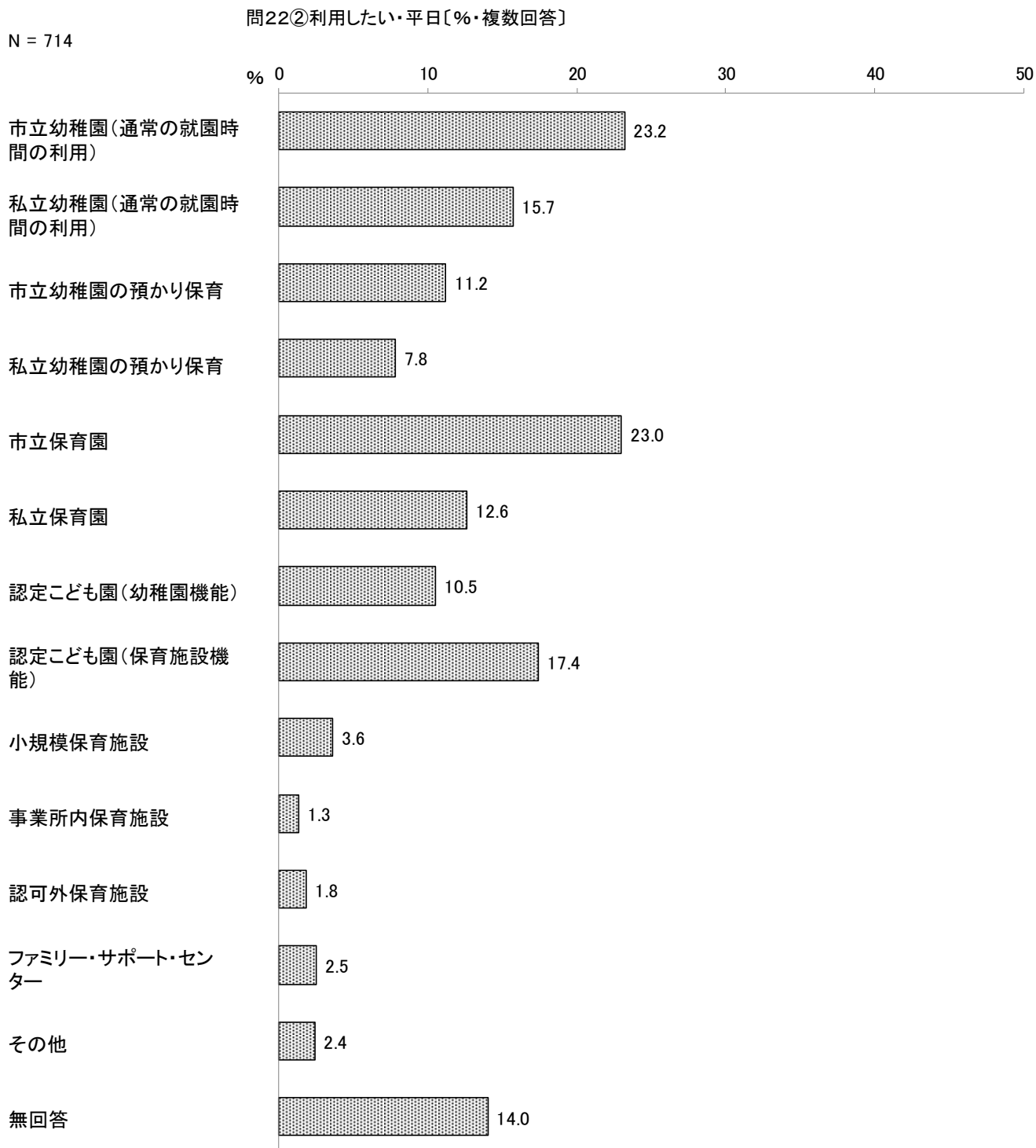
全体では、「市立保育園」が 4.9%、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 4.8%、「ファミリー・サポート・センター」が 3.4%で「いずれも利用しない」が 50.4%である。



## 2)今後の利用希望

### ①平日

全体では、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が23.2%、「市立保育園」が23.0%と多く、「認定こども園（保育施設機能）」が17.4%、「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が15.7%、「私立保育園」が12.6%、「市立幼稚園の預かり保育」が11.2%、「認定こども園（幼稚園機能）」が10.5%である。

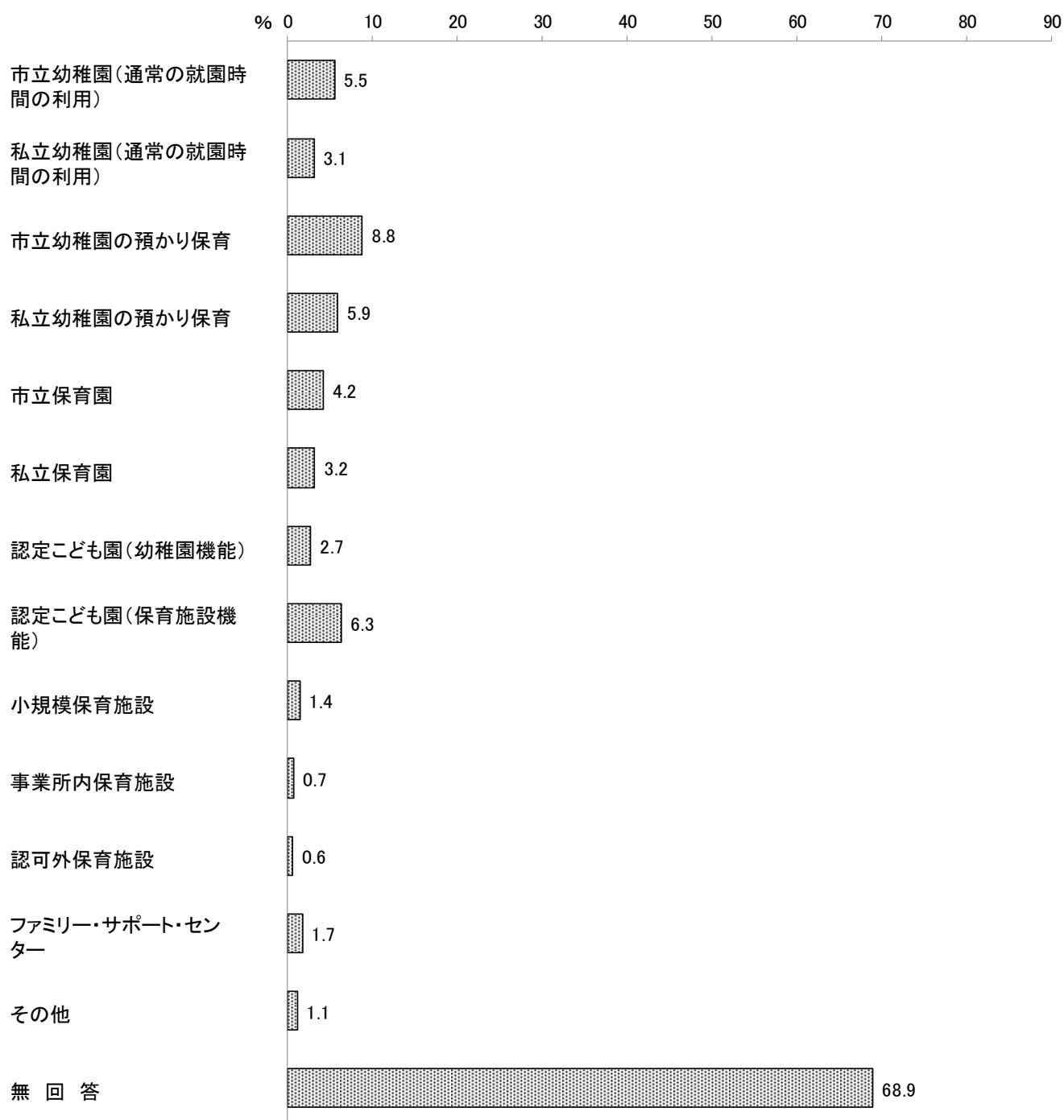


②長期休暇期間中

全体では、「市立幼稚園の預かり保育」が 8.8%、「認定こども園（保育施設機能）」が 6.3%、「私立幼稚園の預かり保育」が 5.9%などとなっている。

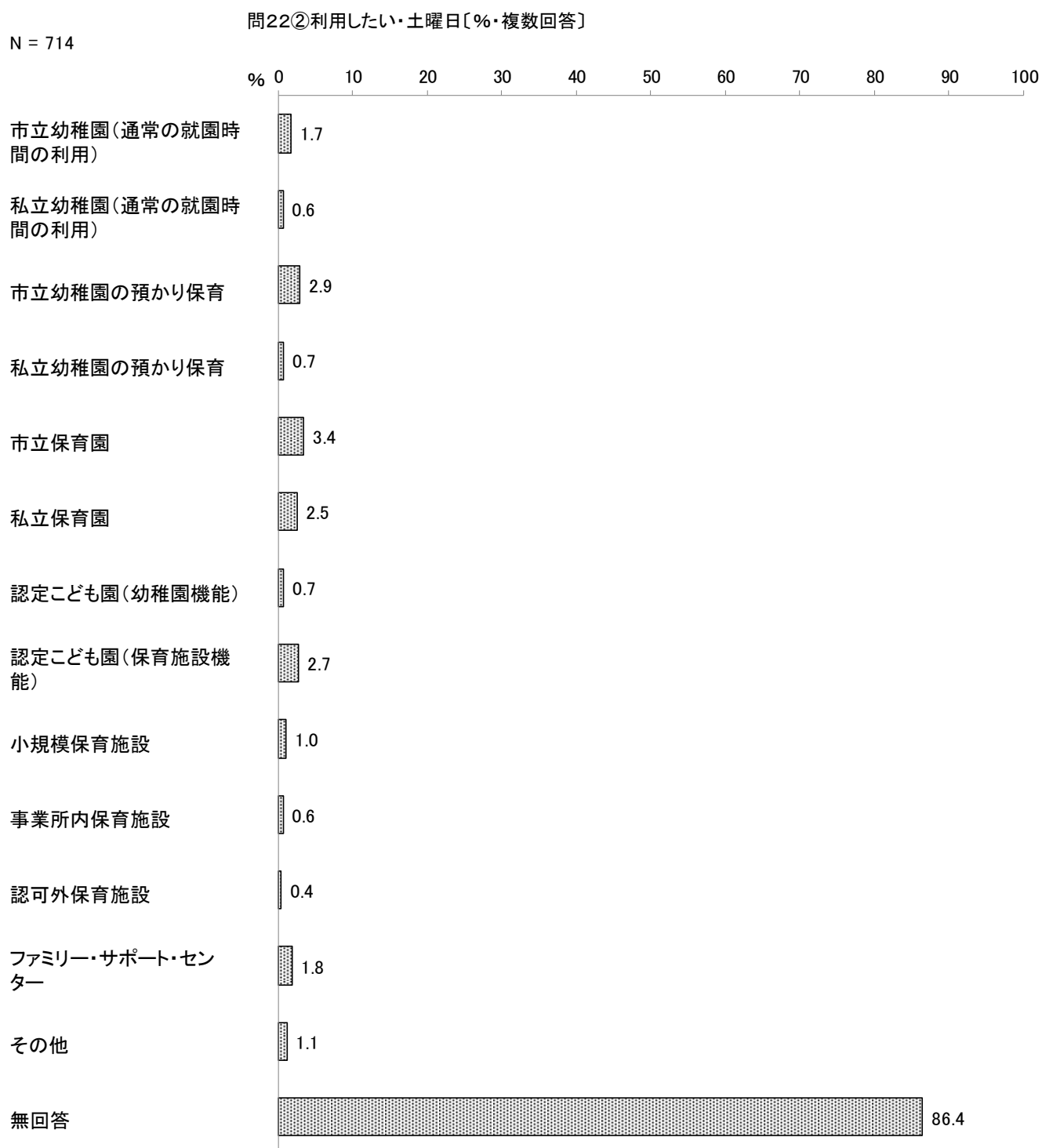
問22②利用したい・長期休暇中[%・複数回答]

N = 714



### ③土曜日

全体では、「市立保育園」が3.4%、「市立幼稚園の預かり保育」が2.9%、「認定こども園（保育施設機能）」が2.7%、「私立保育園」が2.5%、「ファミリー・サポート・センター」が1.8%、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が1.7%などとなっている。

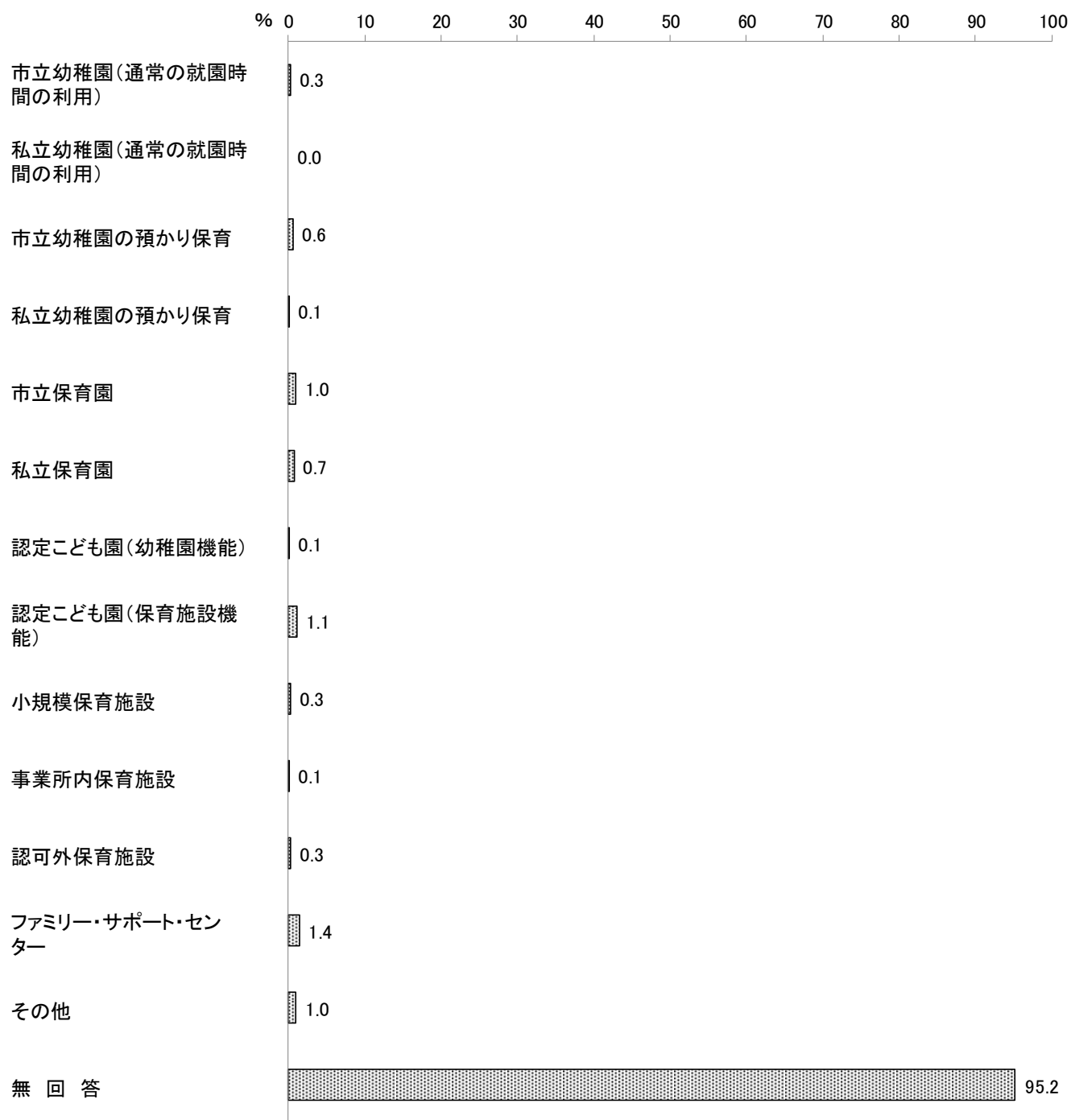


④日曜・祝日

全体では、「ファミリー・サポート・センター」が 1.4%、「認定こども園（保育施設機能）」が 1.1%、「市立保育園」が 1.0%などとなっている。

問22②利用したい・日曜日[%・複数回答]

N = 714

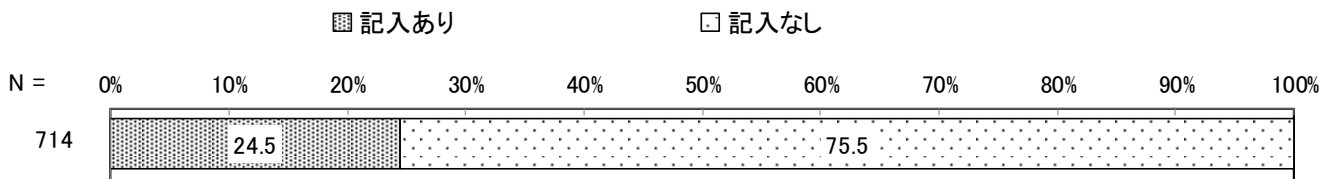




問 利用にあたって要望・改善してほしいところがあればお書き下さい。

「記入あり」が 24.5%である。内容としては、「理由を問わない預かりの希望」、「預かり保育時間・期間の延長」、「保育料の低減」などの意見がみられる。

問23要望・改善してほしいこと[%]

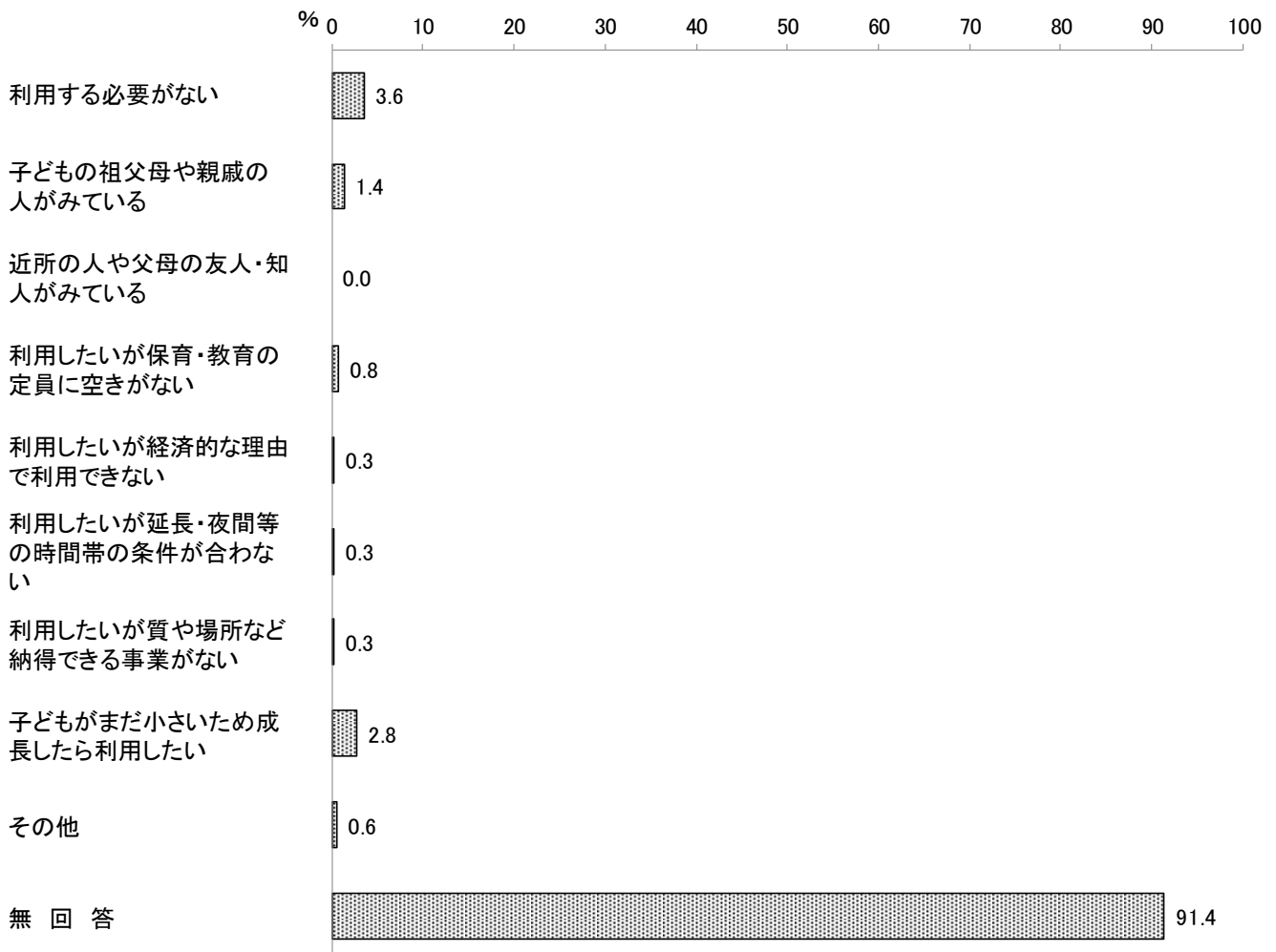


問 現在教育・保育事業を利用していない場合、利用していない理由は何ですか。

全体では、「利用する必要がない」が 3.6%、「子どもがまだ小さいため成長したら利用したい」が 2.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 1.4%となっている。

問24未利用の理由[%・複数回答]

N = 360



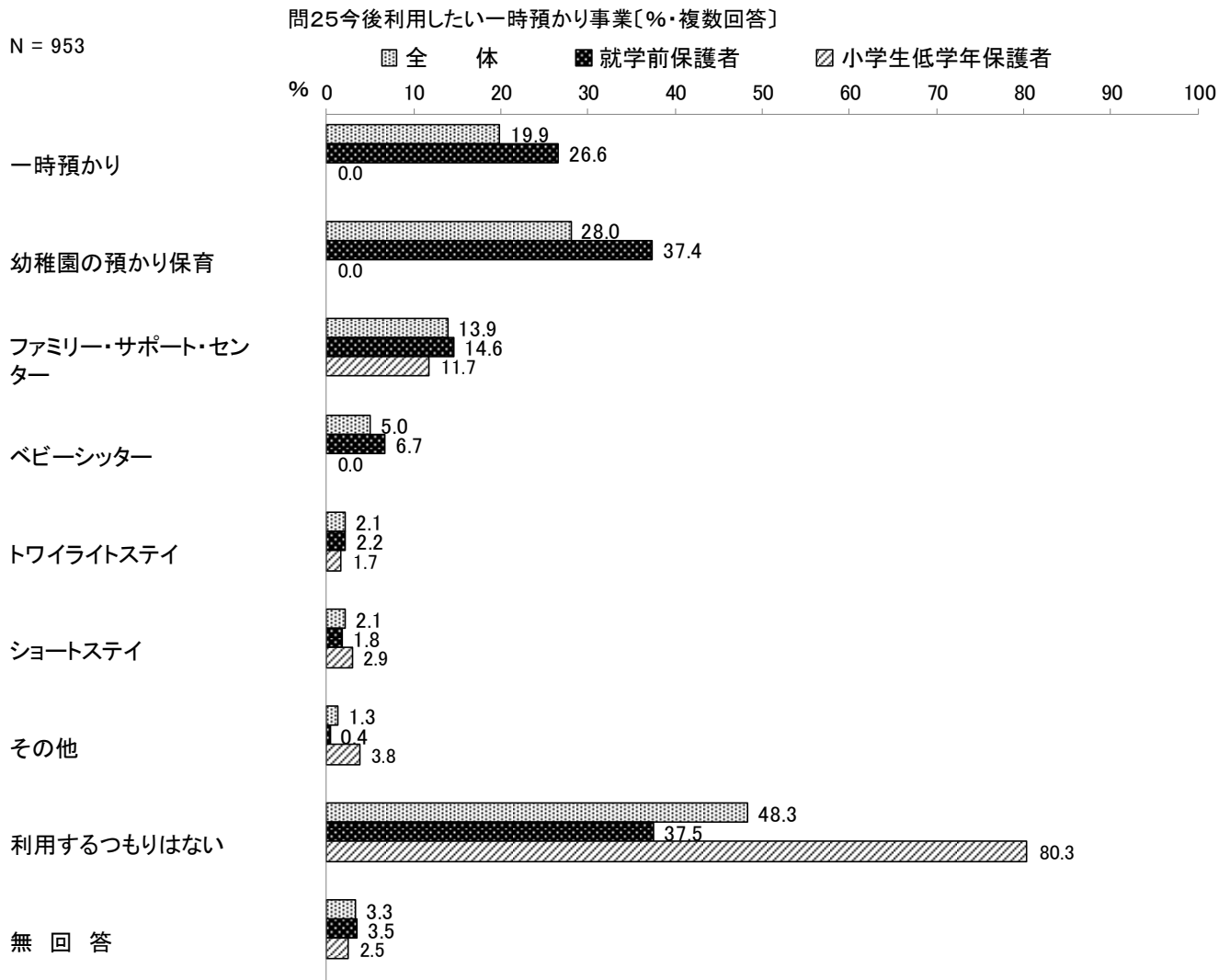
## 2.4 子育て支援事業・一時的な預かり事業

### (1) 一時預かり事業

問 今後利用したい一時預かり事業（就学前児童保護者のみ）、「不定期に」利用したい事業（小学生保護者のみ）はありますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「利用するつもりはない」が48.3%で、「幼稚園の預かり保育」が28.0%、「一時預かり」が19.9%、「ファミリー・サポート・センター」が13.9%となっており、小学生保護者で「利用するつもりはない」が80.3%と多くなっている。

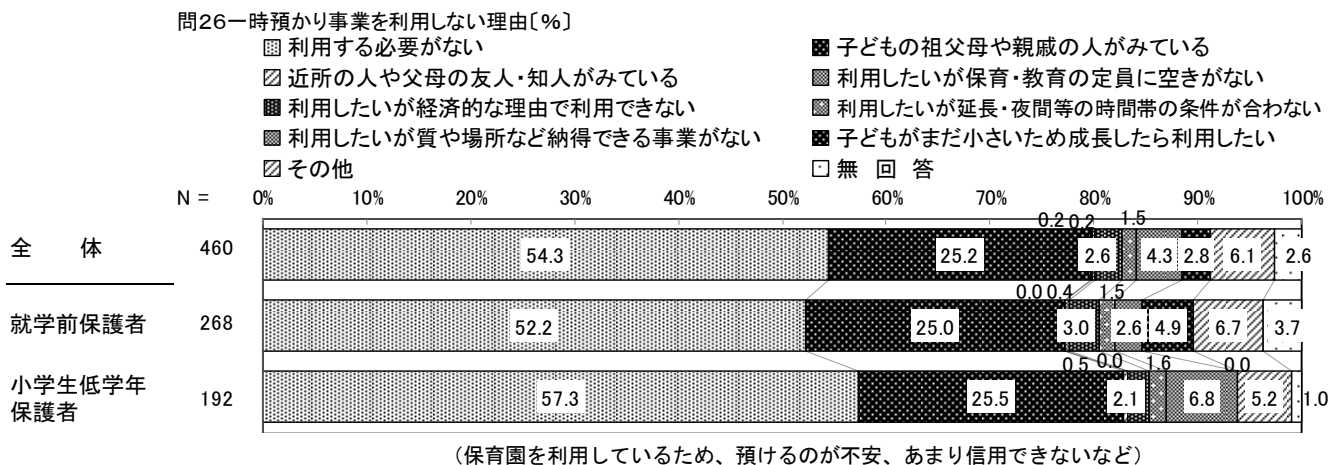
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「一時預かり」が30.7%となっている。



問 前問で「利用するつもりはない」を選んだ場合、一時預かり事業の利用を希望しない理由は何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「利用する必要がない」が 54.3%と多く、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 25.2%である。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「利用する必要がない」が 68.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」は 15.5%となっている。

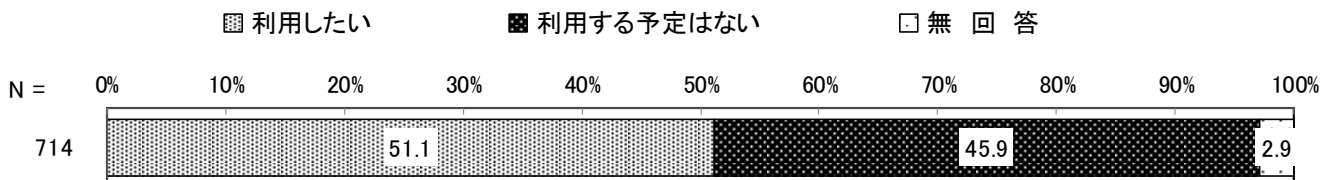


問 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、利用したいと思いますか。(就学前児童保護者のみ)

「利用したい」が 51.1%、「利用する予定はない」が 45.9%と同程度になっている。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「利用したい」が 62.0%となっている。

問27「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向[%]



## (2)地域子育て支援事業(ひろば事業等)

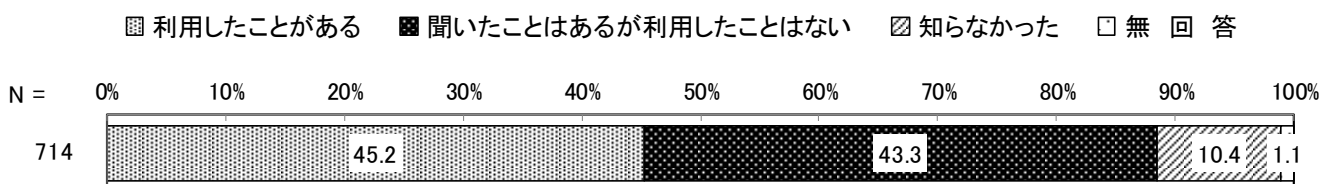
問 現在、市では親子の交流の場として、ひろば事業を行っています。これらの取組を知っていましたか。また、利用したことがありますか。(就学前児童保護者のみ)

### 1)子育てひろば

「利用したことがある」が 45.2%、「聞いたことはあるが利用したことはない」が 43.3%と同程度で、「知らなかった」が 10.4%である。

保育の利用者は「利用したことがある」が 58.3%となっている。

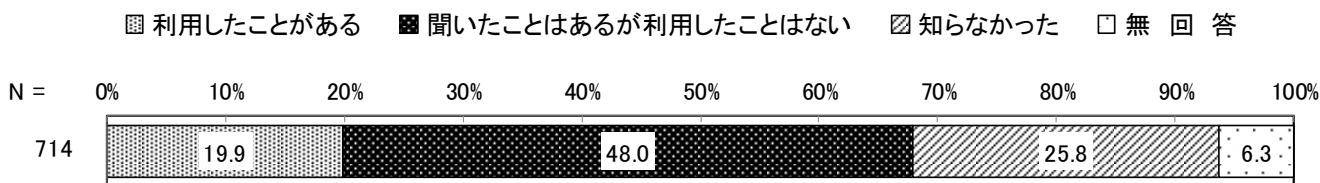
問28子育てひろばの利用等[%]



## 2)出張ひろば(大信保健センター、東図書館、サンフレッシュ白河)

「聞いたことはあるが利用したことはない」が 48.0%と多く、「知らなかった」が 25.8%、「利用したことがある」が 19.9%である。

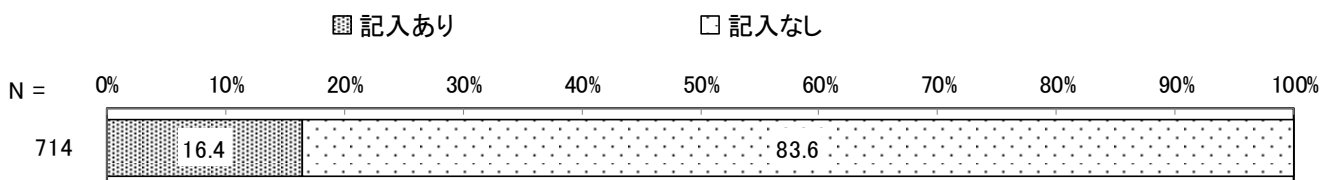
問28出張ひろばの利用等[%]



## 問 子育て広場について、ご意見があればお書きください。(就学前児童保護者のみ)

子育て広場についての意見は、「記入あり」が 16.4%である。内容としては、「職員の対応」、「利用可能曜日・時間の延長」、「遊具や設備の改善」などの意見がみられる。

問28—1 子育て広場についての意見[%]



## (3)子どもの病気の際の対応(就学前児童・小学生・小学5年生保護者のみ)

問 お子さんが病気やけが(で通園できない※就学前児童保護者のみ)をした場合に、どのような事業を利用したいと思いますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「利用したいと思わない」が 50.5%と多く、「小児科に併設した施設で保育する事業(病児保育)」が 38.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 12.5%である。小学生低学年保護者は「利用したいと思わない」が 61.5%と多くなっている。

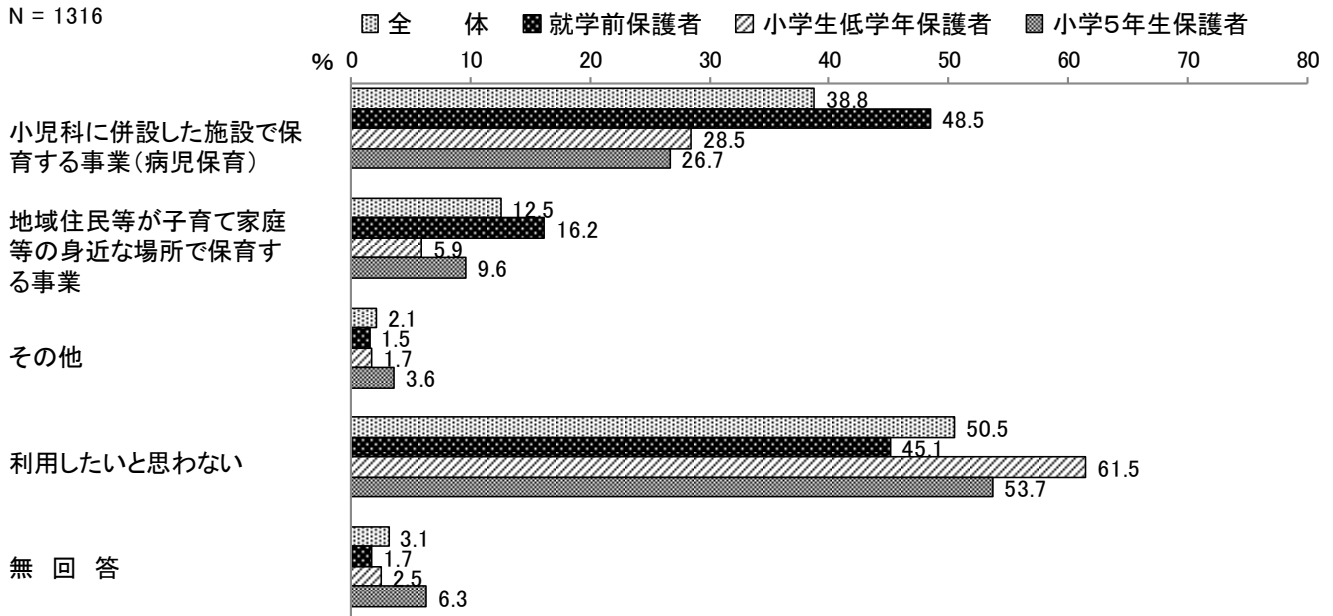
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「利用したいと思わない」が 58.7%となっている。

所得別では、低所得に該当する世帯で「小児科に併設した施設で保育する事業(病児保育)」が 59.0%となっている。

小学5年生保護者は、「利用したいと思わない」が 53.7%と多く、「小児科に併設した施設で保育する事業(病児保育)」が 26.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 9.6%となっている。

問29通園・通学できない時に利用したい事業〔%・複数回答〕※小学5年生保護者のみ単一回答

N = 1316



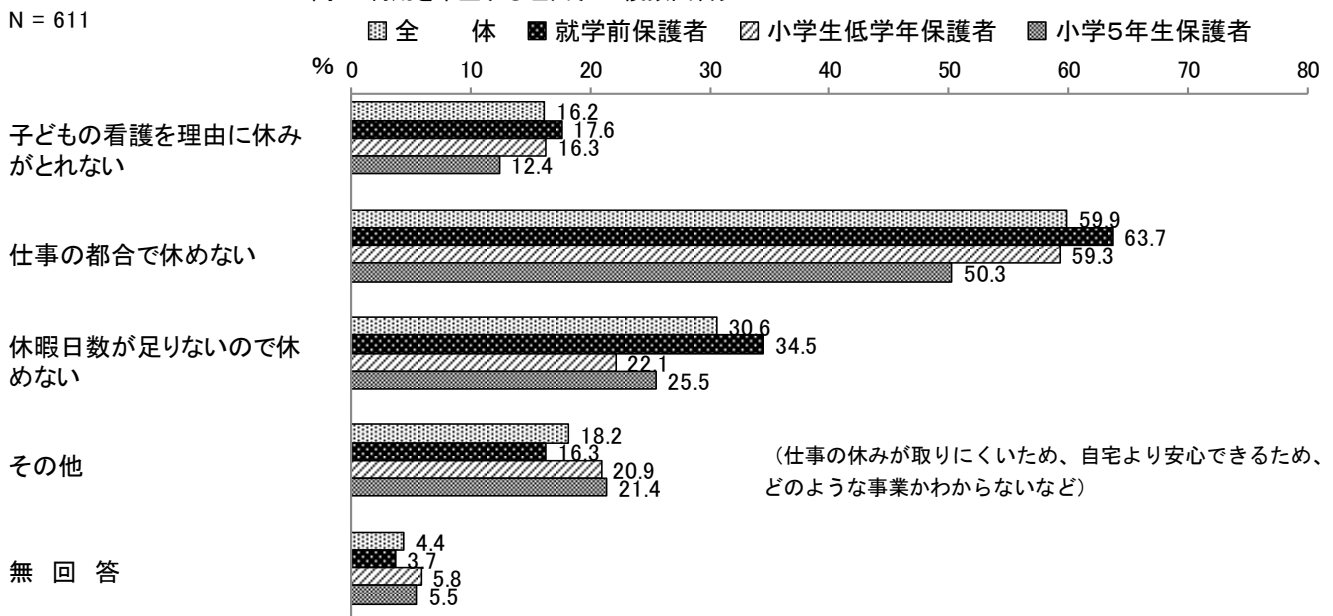
問 前問で「小児科に併設した施設で保育する事業（病児保育）」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」、「その他」を選んだ場合、事業の利用を希望する理由は何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「仕事の都合で休めない」が 59.9%と多く、「休暇日数が足りないので休めない」が 30.6%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 16.2%である。

小学5年生保護者は、「仕事の都合で休めない」が 50.3%、「休暇日数が足りないので休めない」が 25.5%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 12.4%である。

問30利用を希望する理由〔%・複数回答〕

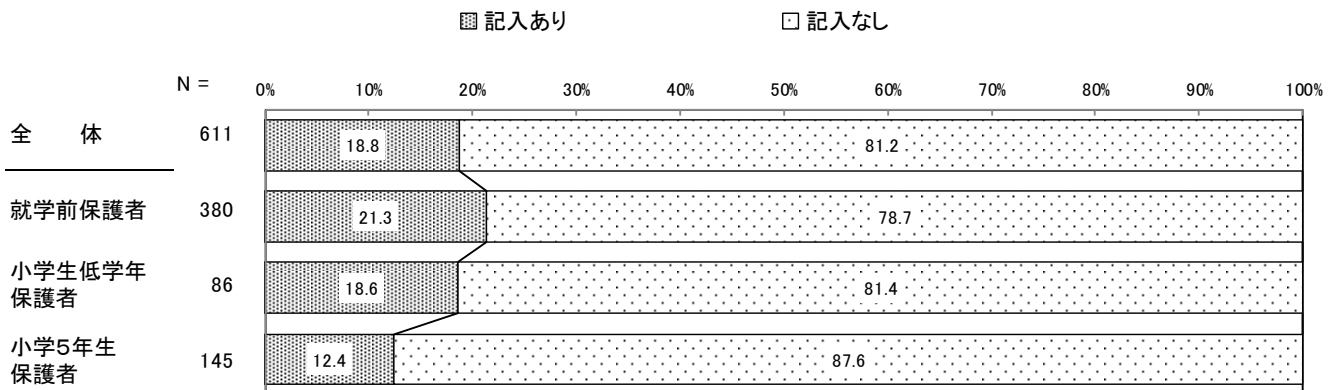
N = 611



問 利用にあたって希望することがあればお書きください。

全体で 18.8%が「記入あり」である。内容としては、「利用枠、施設の拡大」、「手続きの見直し」などの意見がみられる。

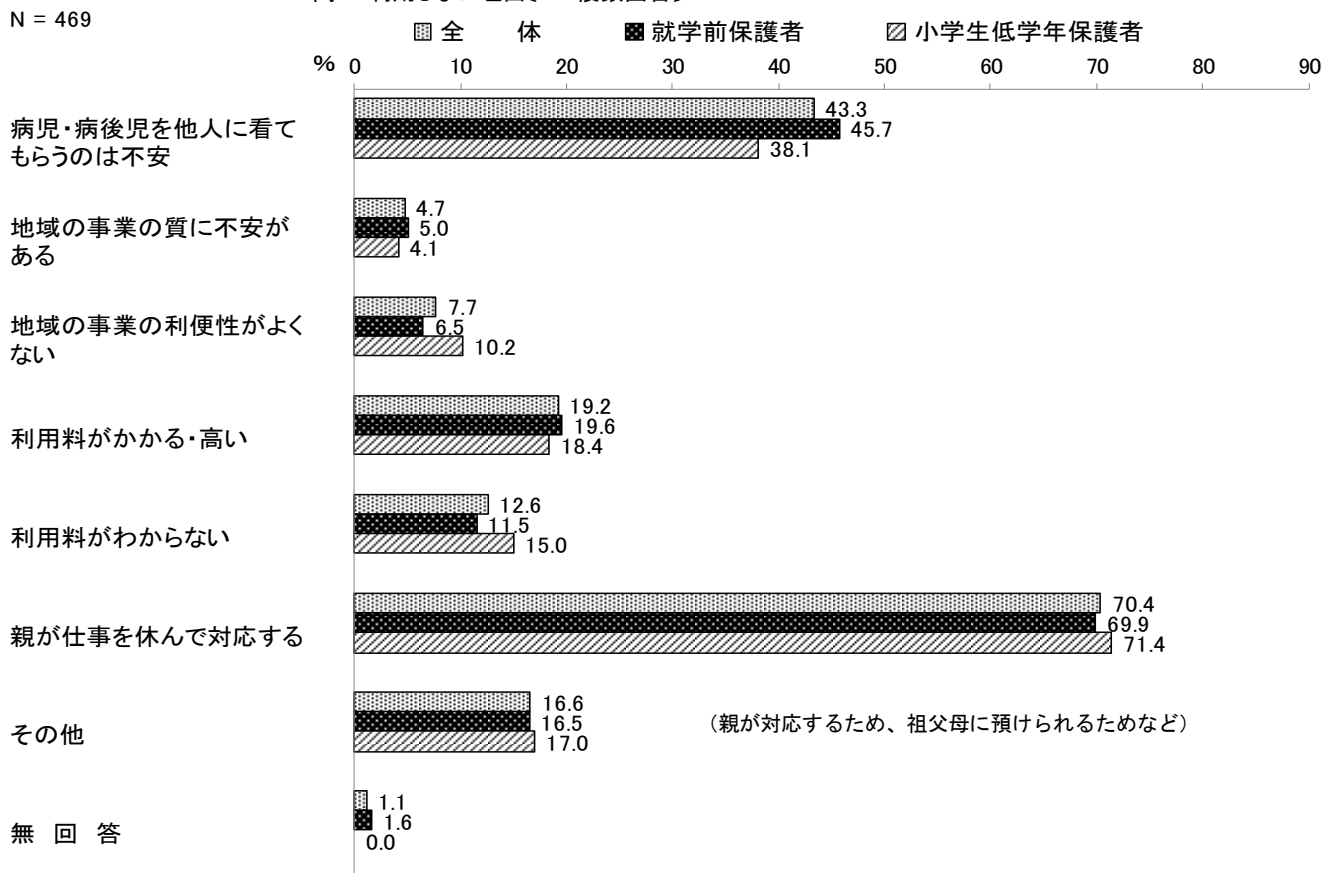
問30—1 利用にあたって希望すること[%]



問 前問で「利用したいと思わない」を選んだ場合、利用したいと思わない理由は何ですか。(就学前児童・小学生保護者のみ)

全体では「親が仕事を休んで対応する」が 70.4%と多く、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 43.3%、「利用料がかかる・高い」が 19.2%、「利用料がわからない」が 12.6%である。就学前児童保護者は「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 45.7%と小学生保護者より多くなっている。

問31利用しない理由[%・複数回答]



## 2.5 放課後の過ごし方

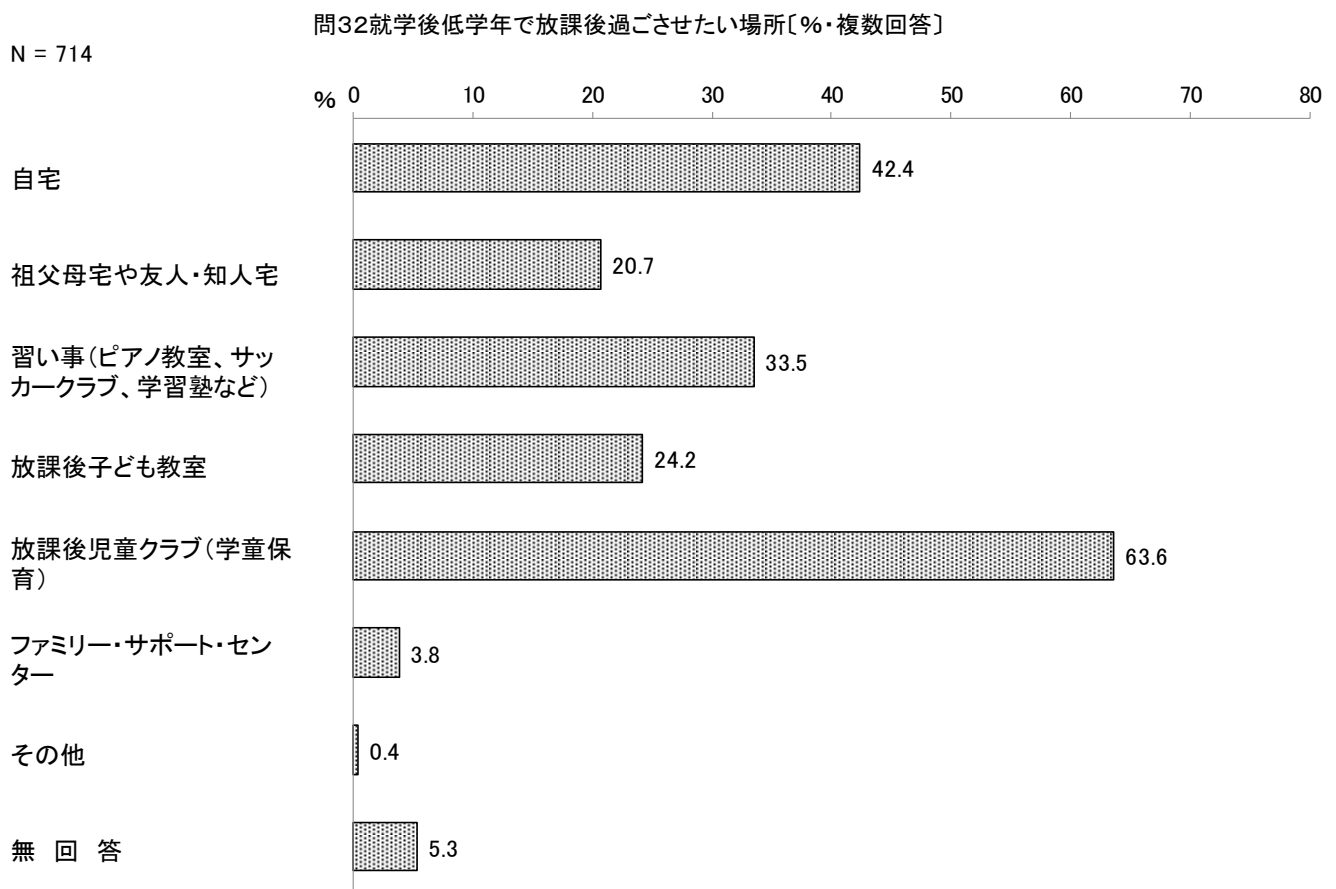
### (1)就学後の放課後の過ごし方(就学前児童保護者のみ)

問 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の内は、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

#### 1)放課後

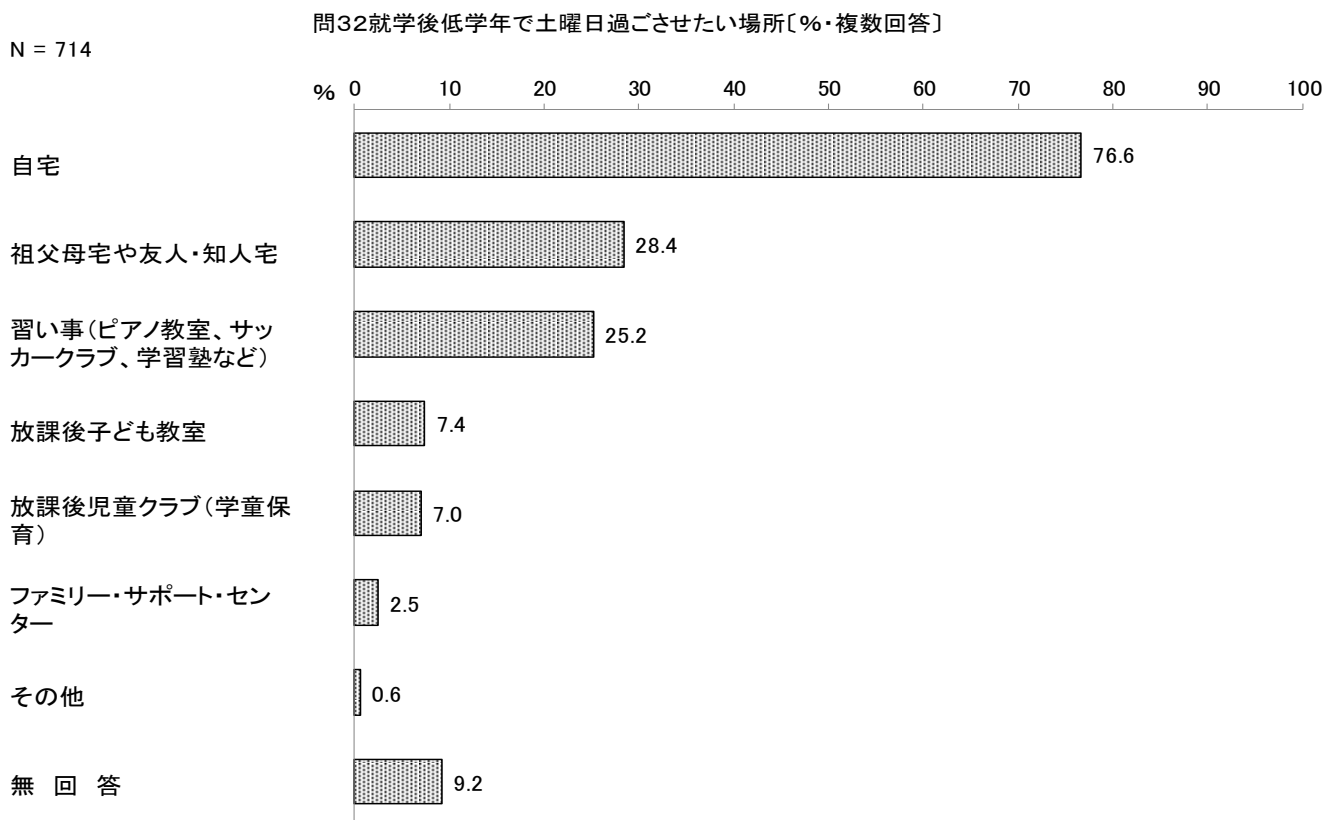
「放課後児童クラブ（学童保育）」が63.6%と多く、「自宅」が42.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が33.5%、「放課後子ども教室」が24.2%である。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「自宅」が69.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は39.2%となっている。



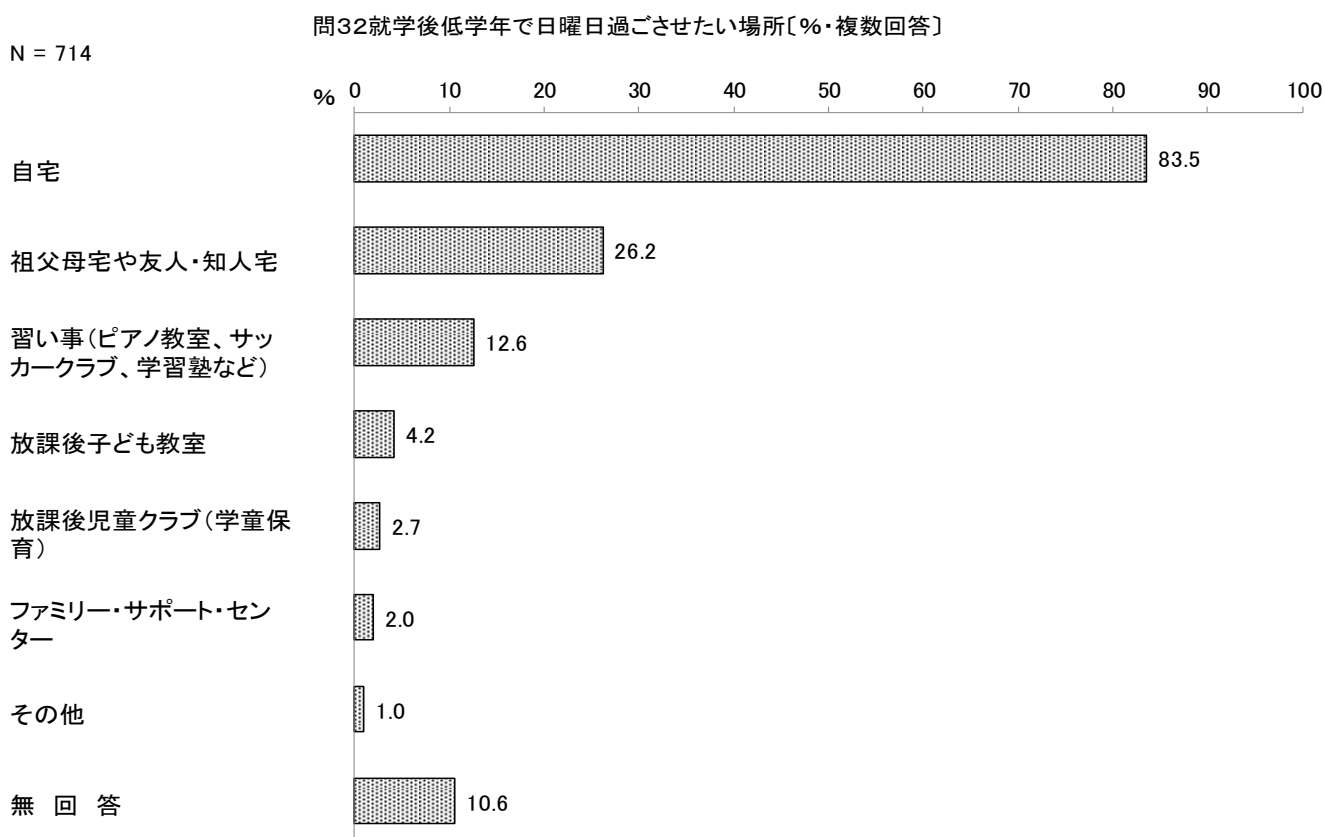
## 2)土曜日

「自宅」が 76.6%と多く、「祖父母宅や友人・知人宅」が 28.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 25.2%である。



## 3)日曜・祝日

「自宅」が 83.5%と多く、「祖父母宅や友人・知人宅」が 26.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 12.6%である。





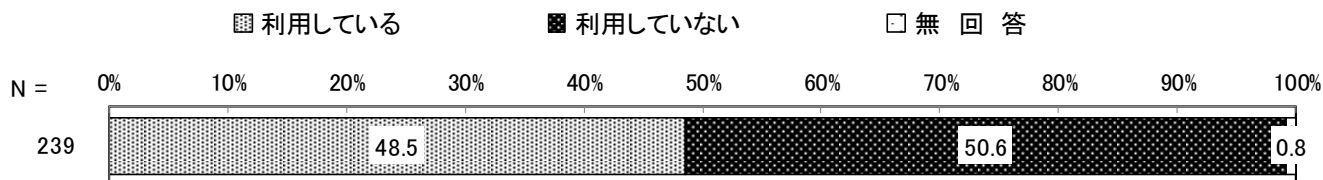
## (2)小学生の放課後の過ごし方(小学生保護者のみ)

問 現在、放課後児童クラブを利用していますか。

「利用していない」が50.6%、「利用している」が48.5%と同程度である。

家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「利用している」が38.8%となっている。

問22小学生・放課後児童クラブの利用[%]



問 お子さんの放課後の過ごし方で、小学校低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）では、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。(小学生保護者のみ)

### 1)小学校低学年

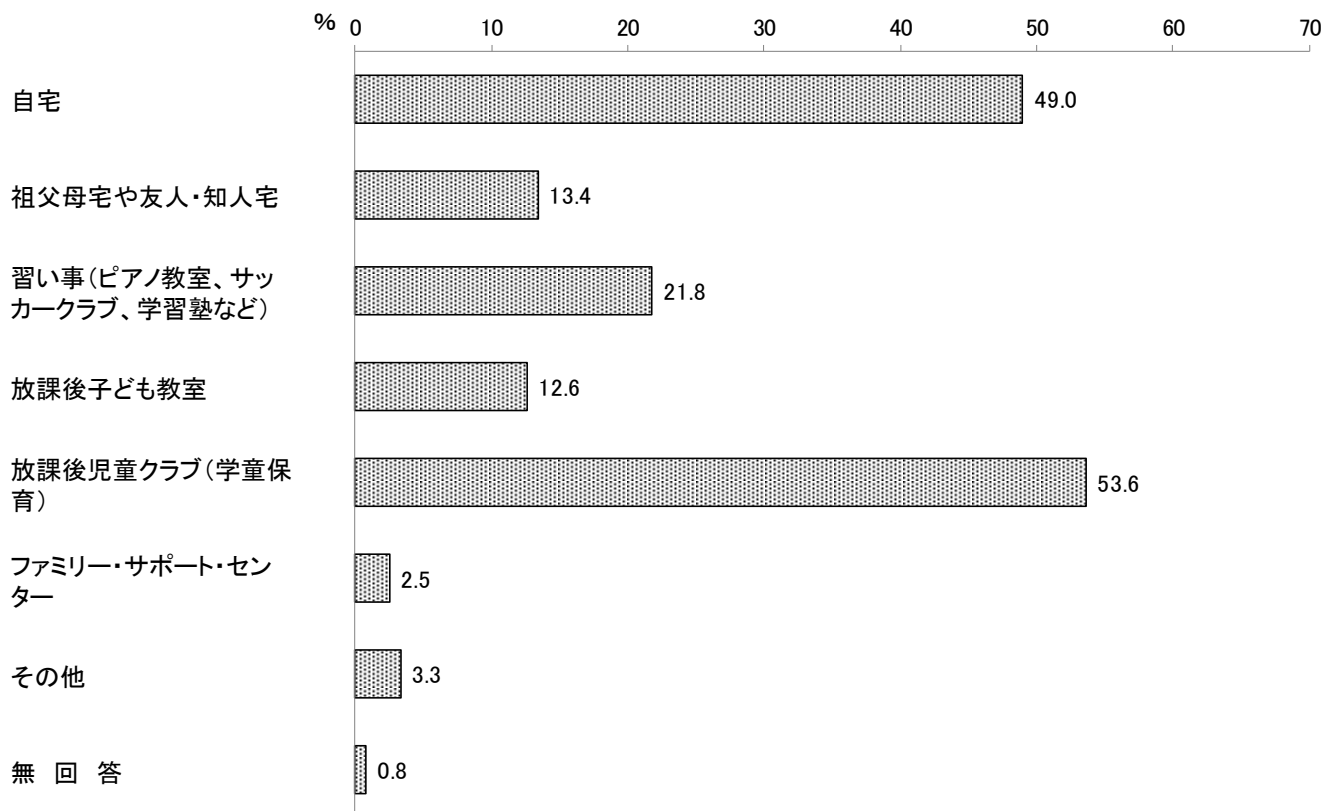
小学生保護者が低学年で放課後過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が53.6%、「自宅」が49.0%と多く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が21.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が13.4%、「放課後子ども教室」が12.6%である。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「自宅」が93.5%となっている。

保育学童の利用者は、放課後児童クラブ（学童保育）が92.2%、非利用者は「自宅」が75.6%と回答している。

問22小学生・低学年で放課後過ごさせたい場所[%・複数回答]

N = 239

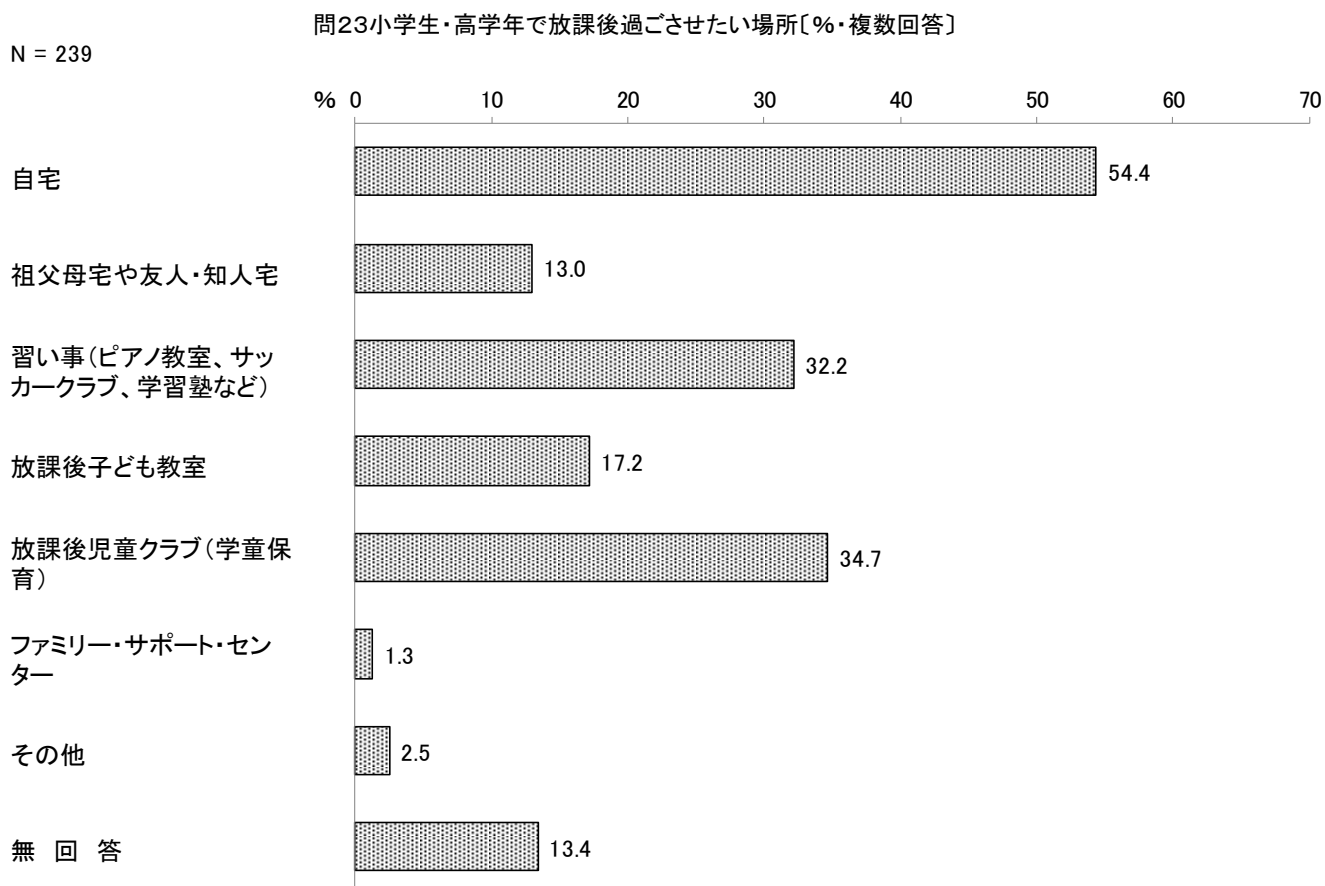


## 2)小学校高学年

小学生保護者が高学年で放課後過ごさせたい場所は、「自宅」が 54.4%と半数を超え、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 34.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 32.2%、「放課後子ども教室」が 17.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 13.0%である。

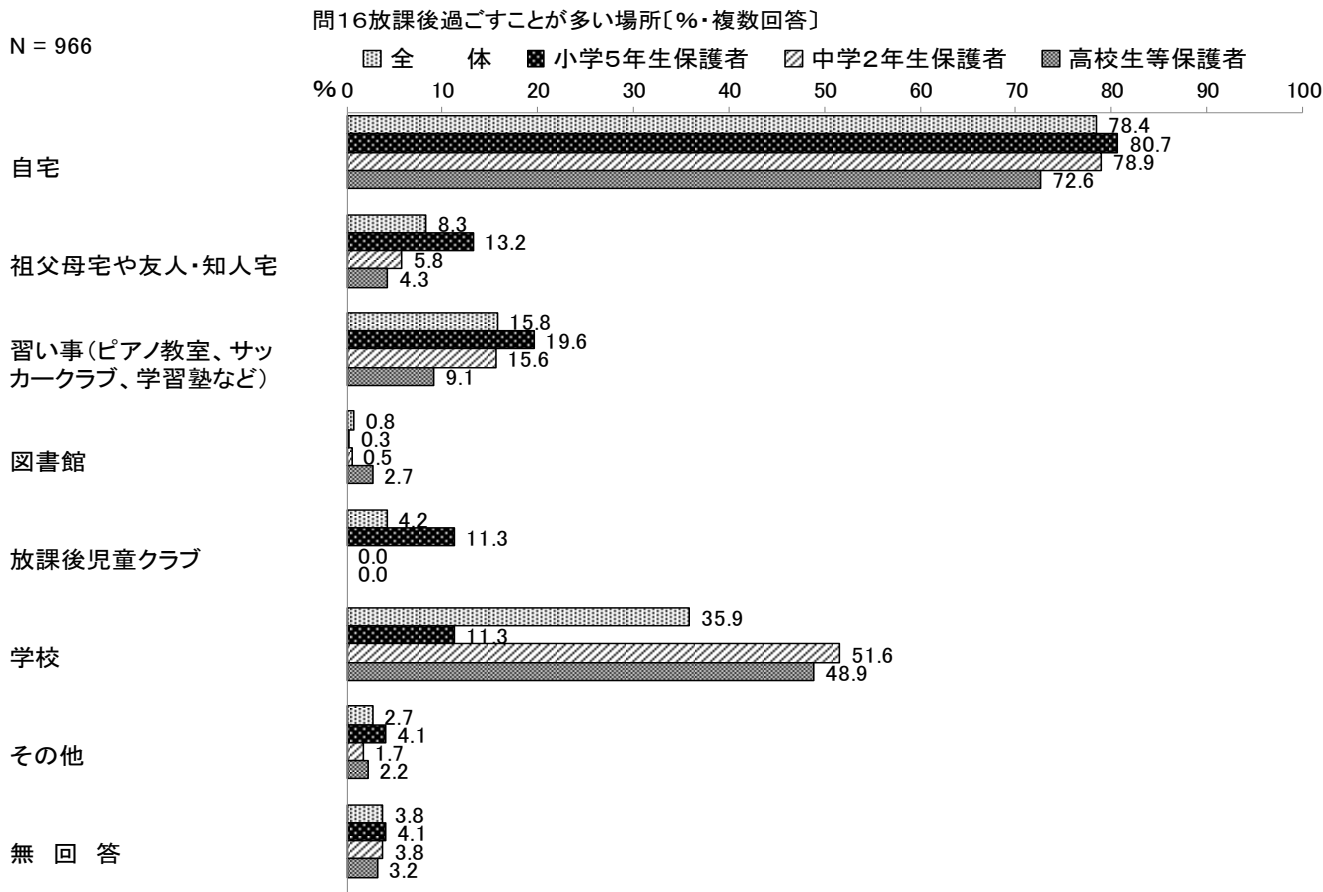
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「自宅」が 64.5%となっている。

保育学童の利用者は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 56.9%と回答している。



問 お子さんは放課後どこで過ごすことが多いですか。(小学5年生・中学2年生・高校生等保護者のみ)

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「自宅」が78.4%と多く、「学校」が35.9%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が15.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が8.3%である。中学2年生・高校生等保護者は、「学校」が50%前後と多くなっている。



## 2.6 子どもとの関わり方・家庭でのことなど

### (1)家庭でのこと

問 次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

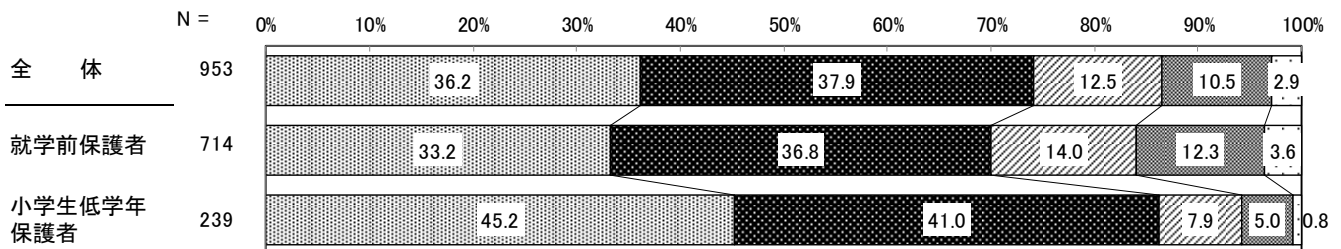
#### 1)テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

就学前児童・小学生保護者全体では、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の計、以下同様）が 74.1%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計、以下同様）が 23.0%である。小学生保護者で『あてはまる』が 86.2%と多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『あてはまる』が 57.9%、『あてはまらない』が 37.6%である。年代が上がると『あてはまる』が少なくなり、小学5年生保護者が 74.7%、中学2年生保護者が 55.7%、高校生等保護者が 30.1%となっている。

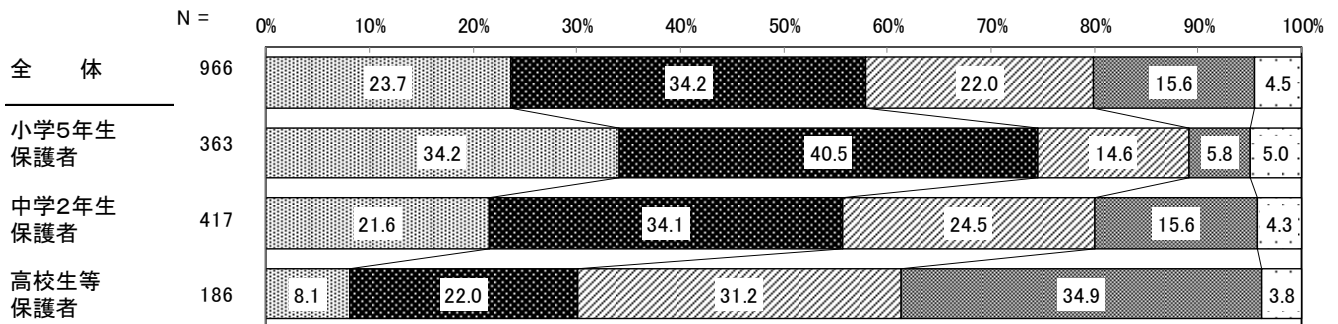
問33ゲーム・インターネット等の視聴時間等を決めている[%]

■ あてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ どちらかといえばあてはまらない  
■ あてはまらない □ 無回答



問17ゲーム・インターネット等の視聴時間等を決めている[%]

■ あてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ どちらかといえばあてはまらない  
■ あてはまらない □ 無回答



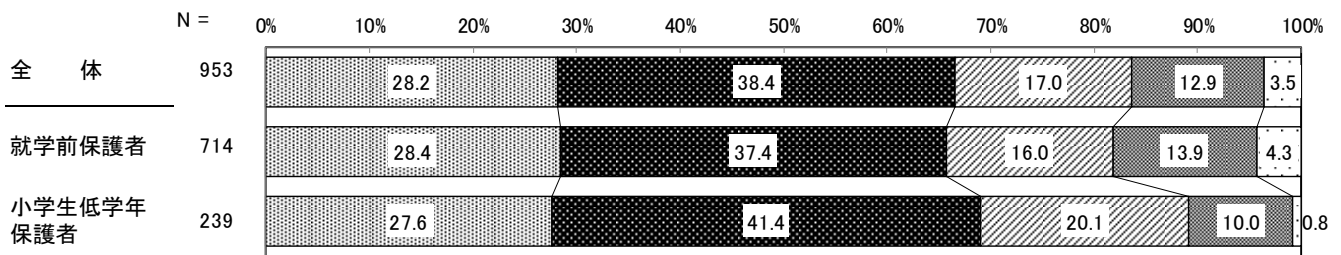
#### 2)子どもに本や新聞を読むように勧めている

就学前児童・小学生保護者全体では、『あてはまる』が 66.6%、『あてはまらない』が 29.9%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『あてはまる』が 50.7%、『あてはまらない』が 44.8%である。年代が上がると『あてはまる』が少なくなり、高校生等保護者は 39.2%となっている。

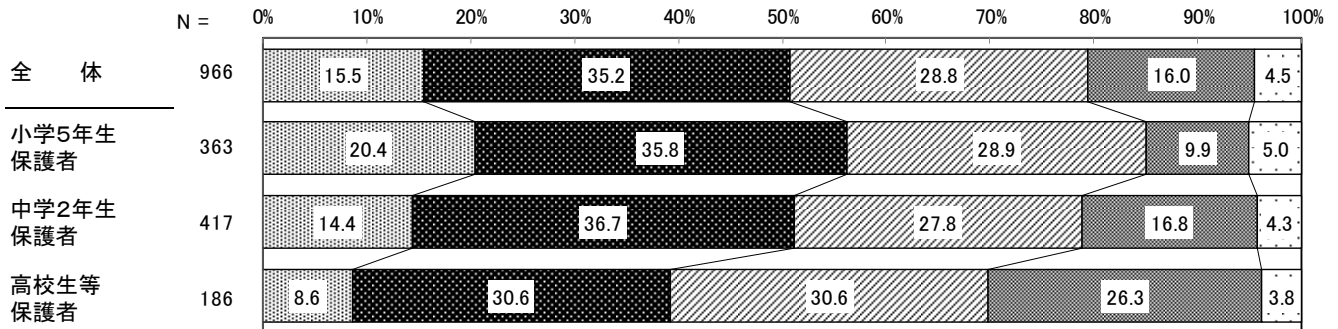
問33本や新聞を読むように勧めている[%]

あてはまる                       どちらかといえばあてはまる                       どちらかといえばあてはまらない  
 あてはまらない                       無回答



問17本や新聞を読むように勧めている[%]

あてはまる                       どちらかといえばあてはまる                       どちらかといえばあてはまらない  
 あてはまらない                       無回答



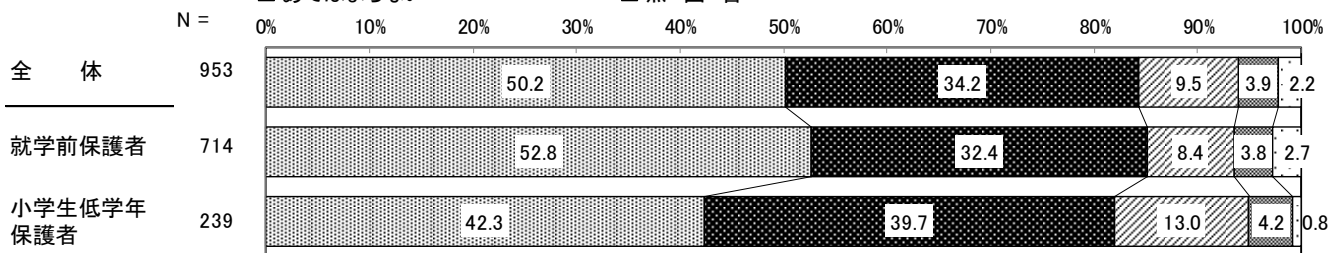
### 3)子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

就学前児童・小学生保護者全体では、『あてはまる』が 84.4%と多く、『あてはまらない』が 13.4%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『あてはまる』が 71.5%、『あてはまらない』が 23.9%である。

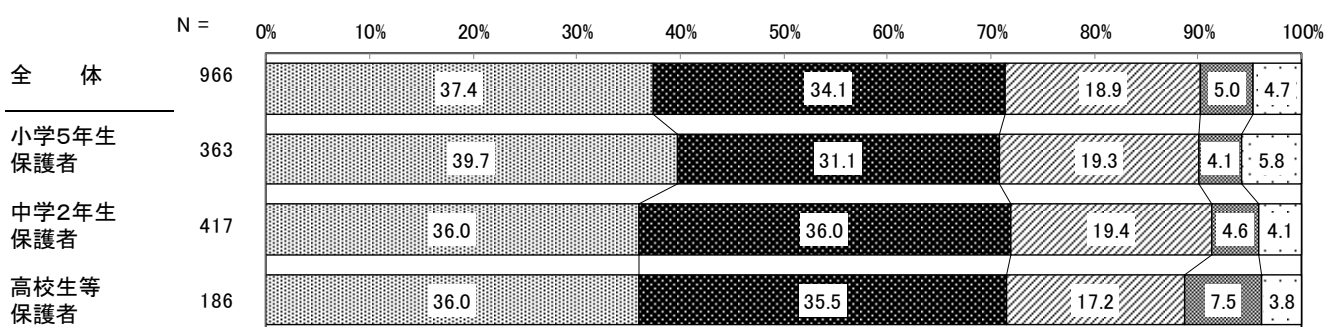
問33小さいころ絵本の読み聞かせをしていた[%]

あてはまる                       どちらかといえばあてはまる                       どちらかといえばあてはまらない  
 あてはまらない                       無回答



問17小さいころ絵本の読み聞かせをしていた[%]

あてはまる                       どちらかといえばあてはまる                       どちらかといえばあてはまらない  
 あてはまらない                       無回答

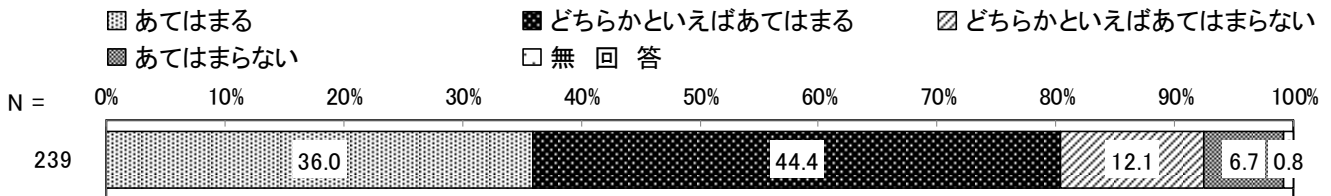


#### 4)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる(就学前児童保護者以外)

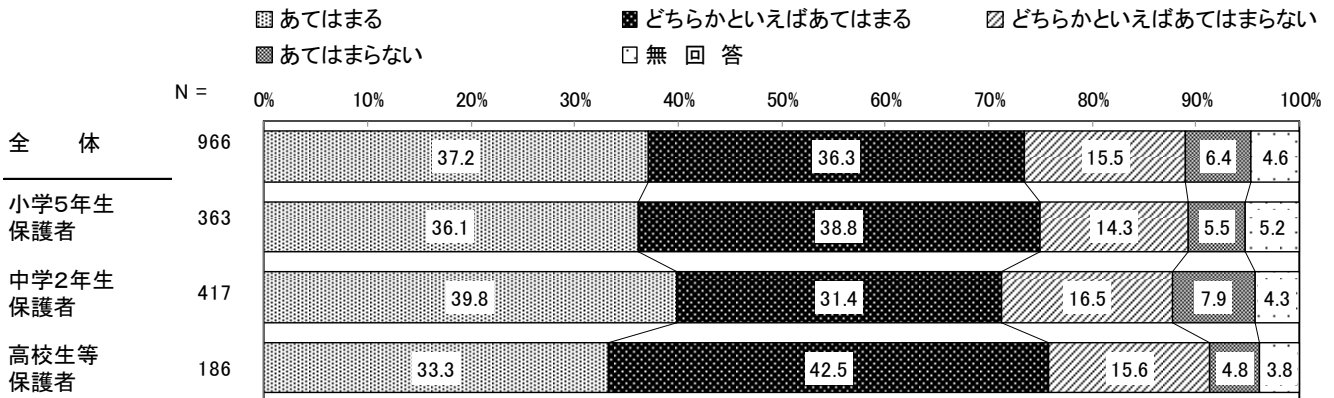
小学生保護者は、『あてはまる』が80.4%、『あてはまらない』が18.8%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『あてはまる』が73.5%、『あてはまらない』が21.9%である。

問33勉強や成績のことについて話をしてくれる[%]



問17勉強や成績のことについて話をしてくれる[%]



## (2)学校の行事等

問 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

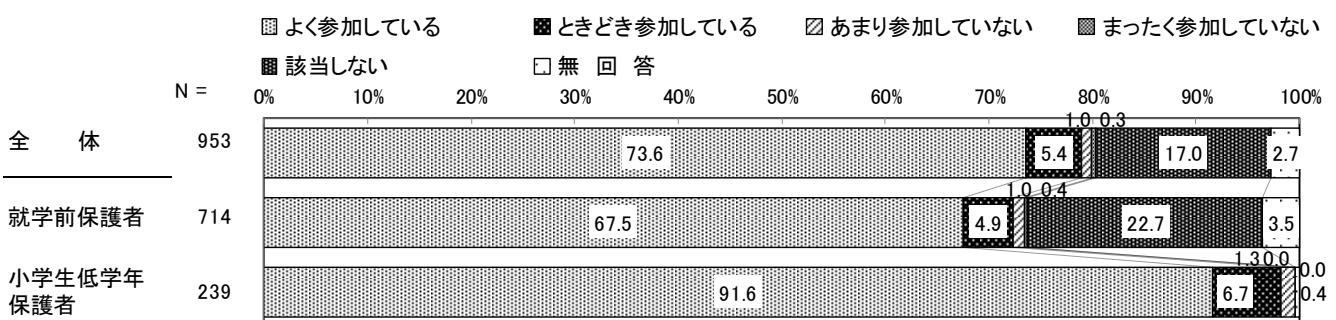
### 1)保育参観・授業参観や運動会などの学校行事への参加

就学前児童・小学生保護者全体では、『参加している』（「よく参加している」と「ときどき参加している」の計、以下同様）が79.0%、『参加していない』（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の計、以下同様）が1.3%である。小学生保護者は98.3%とほとんどが『参加している』と回答している。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で『参加している』が63.5%となっている。

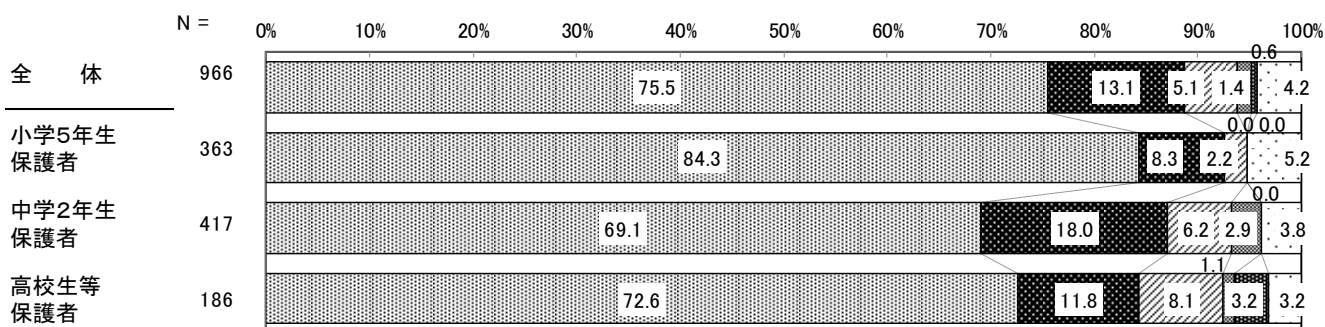
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『参加している』が88.6%、『参加していない』が6.5%である。

問34保育参観や運動会などの行事への参加[%]



問18授業参観や運動会などの行事への参加[%]

よく参加している    ときどき参加している    あまり参加していない    まったく参加していない  
 該当しない    無回答



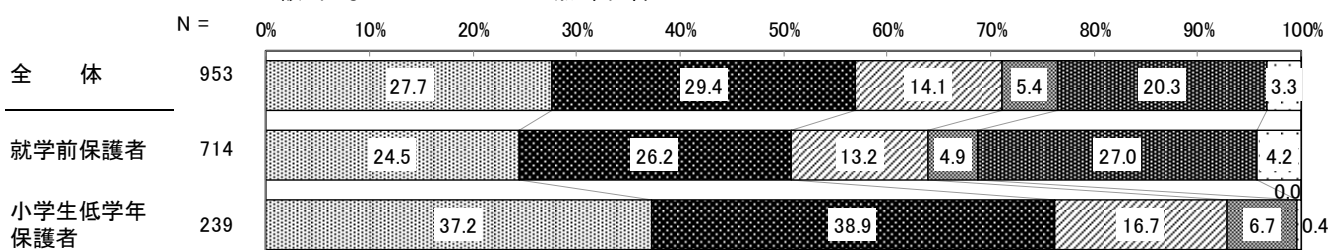
## 2) PTA活動や保護者会、(放課後学習支援等の※小学生・小学5年生・中学2年生保護者のみ)ボランティア活動への参加

就学前児童・小学生保護者全体では、『参加している』が 57.1%、『参加していない』が 19.5%、「該当しない」が 20.3%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、『参加している』が 69.4%、『参加していない』が 25.7%である。

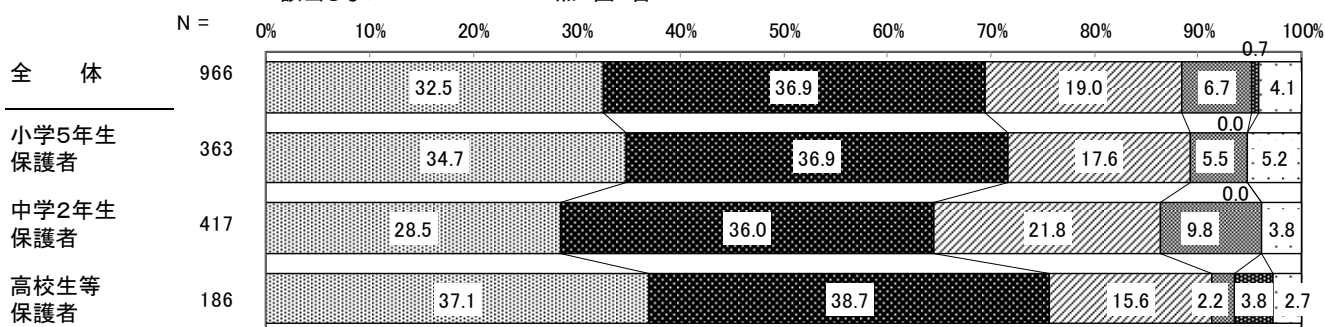
問34PTA活動や保護者会等への参加[%]

よく参加している    ときどき参加している    あまり参加していない    まったく参加していない  
 該当しない    無回答



問18PTA活動や保護者会等への参加[%]

よく参加している    ときどき参加している    あまり参加していない    まったく参加していない  
 該当しない    無回答

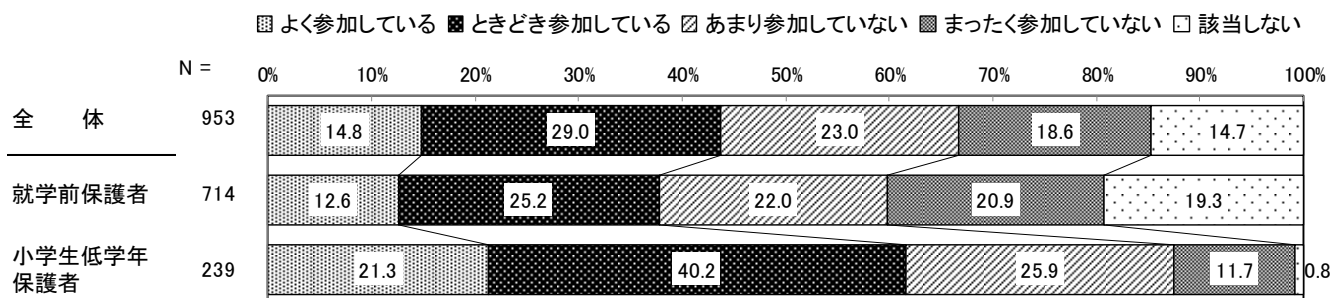


### 3)地域の行事などへの参加

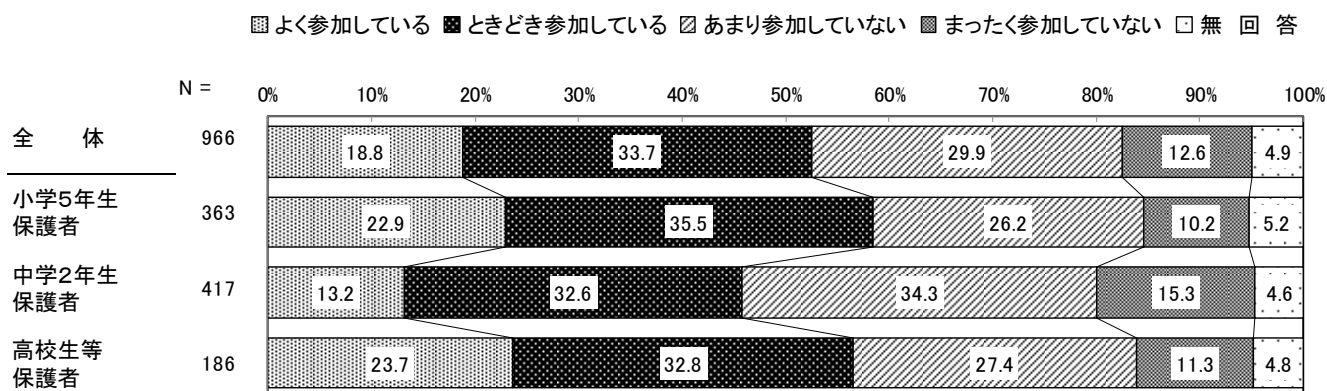
就学前児童・小学生保護者全体では、『参加している』が 43.8%、『参加していない』が 41.6%と同程度である。小学生保護者は、『参加している』が 61.5%と多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、『参加している』が 52.5%、『参加していない』が 42.5%である。中学2年生保護者は『参加している』が 45.8%と他の年代より少なくなっている。

問34地域の行事などへの参加[%]



問18地域の行事などへの参加[%]



### (3)子育て・教育に関すること

問 子育てをする上で、あなたが大変だと感じていること、悩んでいることを選んでください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「子どもの健康管理・食生活」が 55.9%と多く、次いで「将来の進学のための学費の貯金等」が 40.0%、「生活費の確保」が 37.4%、「生活習慣や勉強を教えること」と「仕事と子育ての両立」がともに 36.0%、「子どものしつけが難しいこと」が 34.5%である。

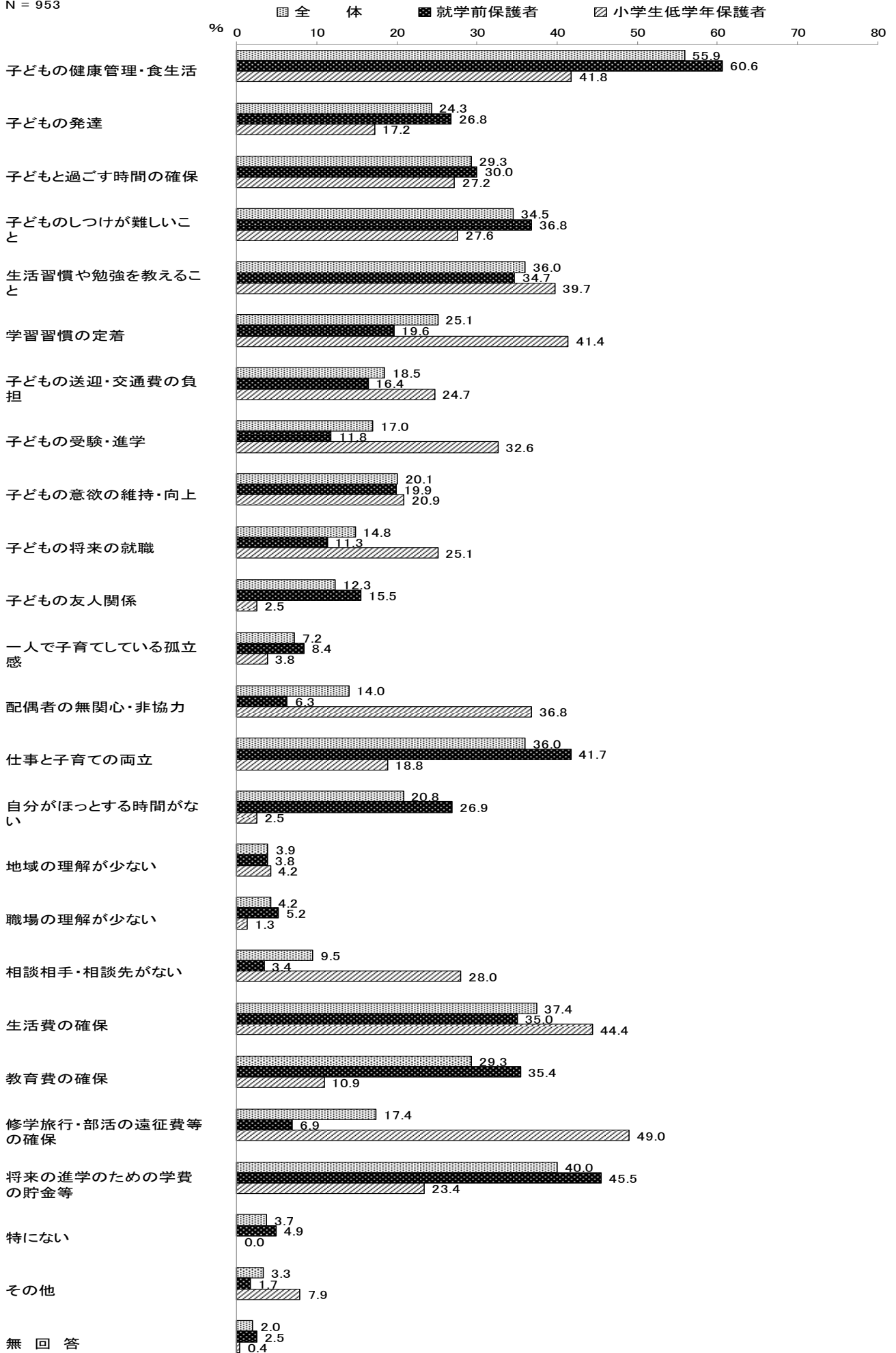
保育学童の利用者は、「配偶者の無関心・非協力」が 24.0%（全体では 14.0%）と回答している。所得別では、低所得に該当する世帯で「生活費の確保」が 59.0%、「相談相手・相談先がない」が 20.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「子どもの受験・進学」が 44.8%、「将来の進学のための学費の貯金等」が 44.4%と多く、次いで「学習習慣の定着」が 38.1%、「教育費の確保」が 37.9%、「子どもの健康管理・食生活」が 36.6%、「子どもの将来の就職」が 31.2%、「生活費の確保」が 30.5%となっている。



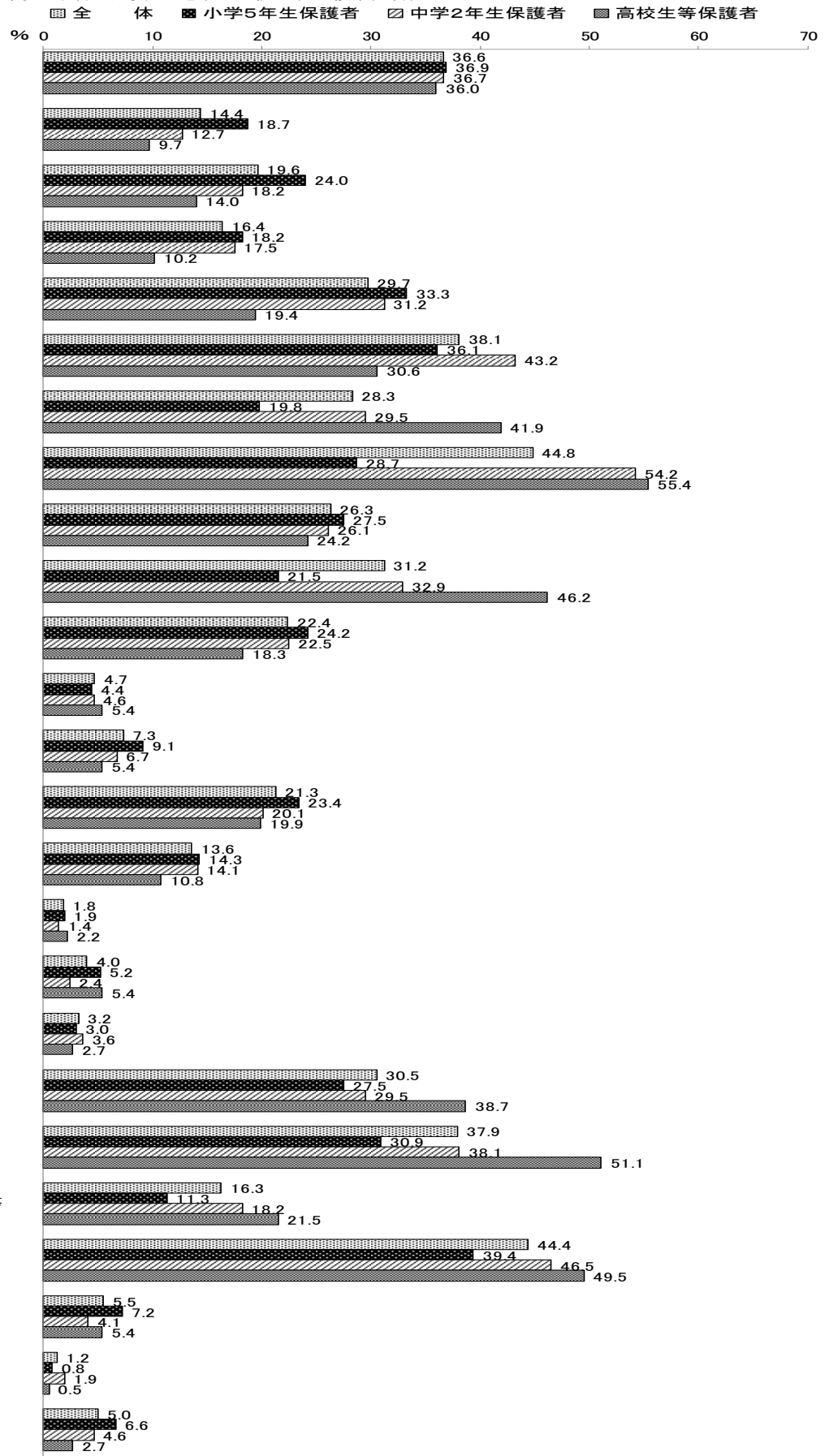
N = 953

問35子育て大変だと思うこと・悩み[%・複数回答]



N = 966

問19子育て大変だと思うこと・悩み[%・複数回答]



問 お子さんの教育費のうち負担が重いものは何ですか。(就学前児童保護者以外)

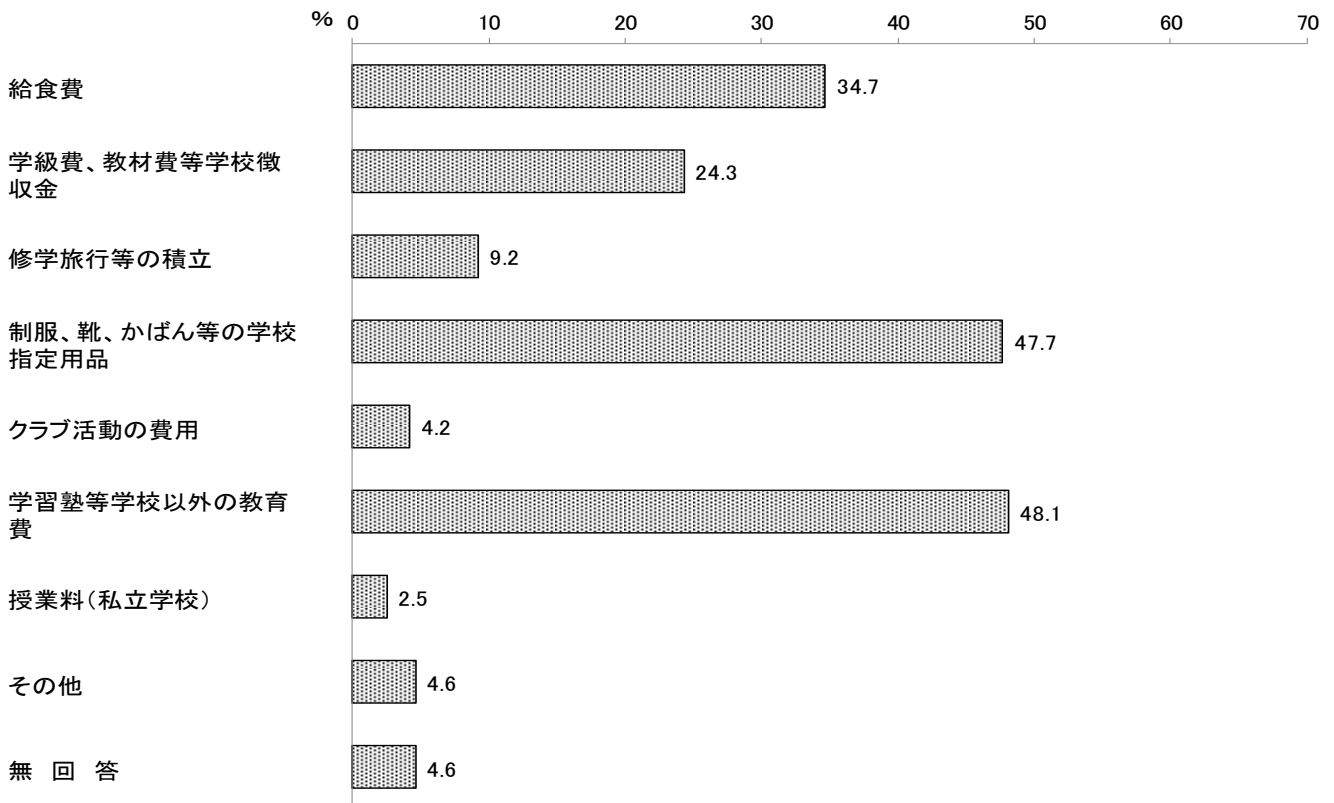
小学生保護者は、「学習塾等学校以外の教育費」と「制服、靴、かばん等の学校指定用品」が48%前後と多く、次いで「給食費」が34.7%、「学級費、教材費等学校徴収金」が24.3%である。

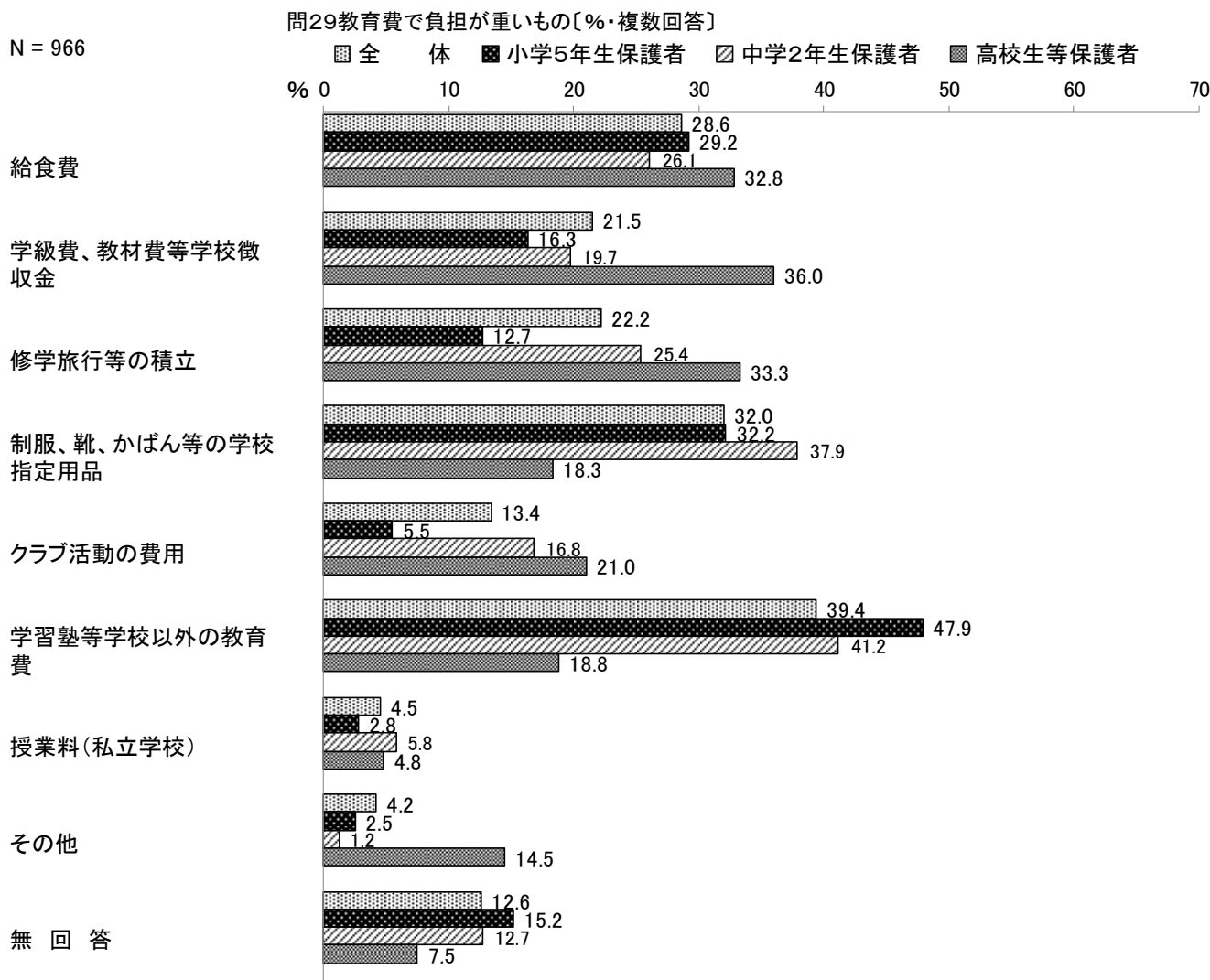
家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「制服、靴、かばん等の学校指定用品」が59.7%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「学習塾等学校以外の教育費」が39.4%、「制服、靴、かばん等の学校指定用品」が32.0%、「給食費」が28.6%、「修学旅行等の積立」が22.2%、「学級費、教材費等学校徴収金」が21.5%である。高校生等保護者は「学級費、教材費等学校徴収金」が36.0%、「修学旅行等の積立」が33.3%などで多くなっている。

問32教育費で負担が重いもの[%・複数回答]

N = 239





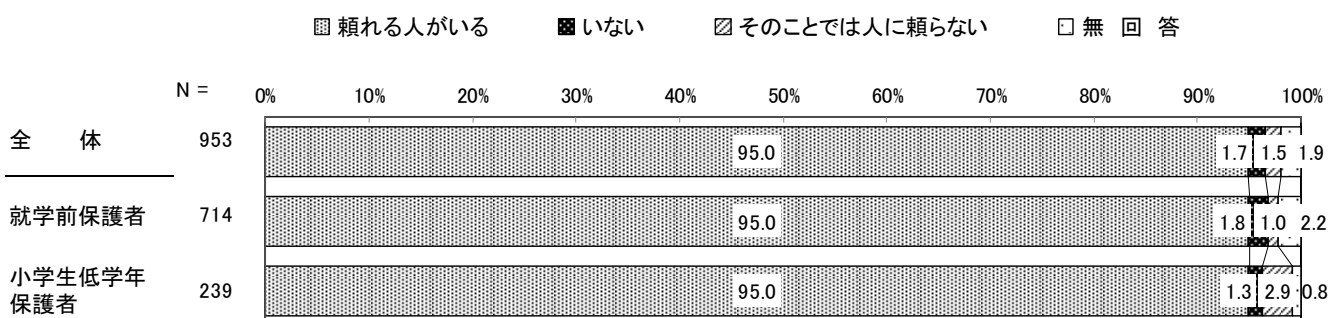
問 あなたは次にあげる事柄で頼れる人はいますか。また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

### 1)子育てに関する相談

就学前児童・小学生保護者全体では、「頼れる人がいる」が 95.0%で、「家族・親族」が 92.7%と多く、「友人・知人」が 58.5%、「職場の人」が 28.3%である。

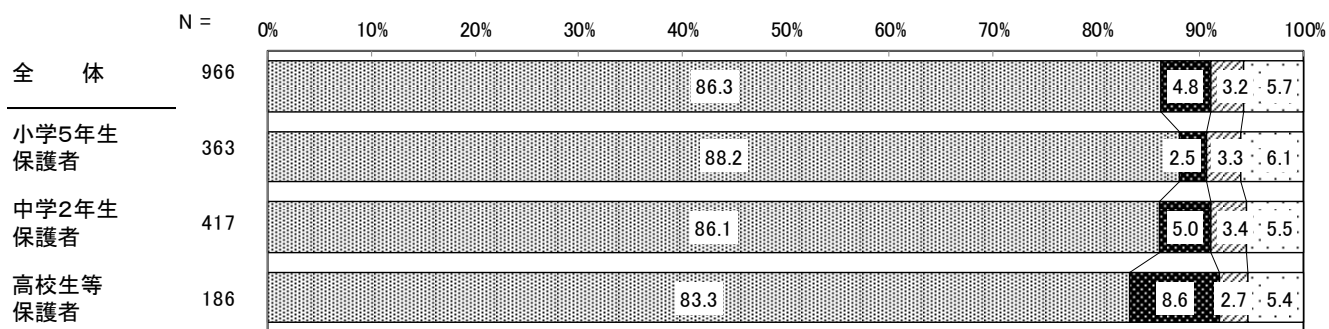
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「頼れる人がいる」が 86.3%で、「家族・親族」が 91.6%と多く、「友人・知人」が 53.7%、「職場の人」が 26.9%である。

問36頼れる人a)子育てに関する相談[%]



問20頼れる人a)子育てに関する相談[%]

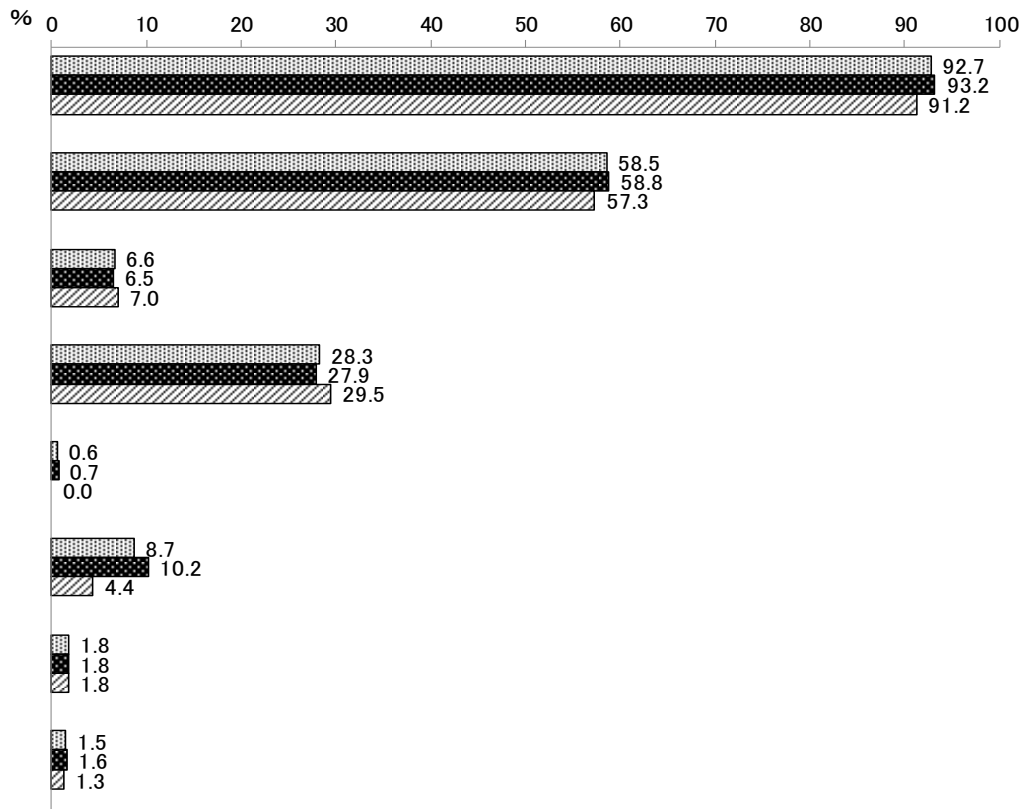
■ 頼れる人がいる ■ いない □ そのことでは人に頼らない □ 無回答

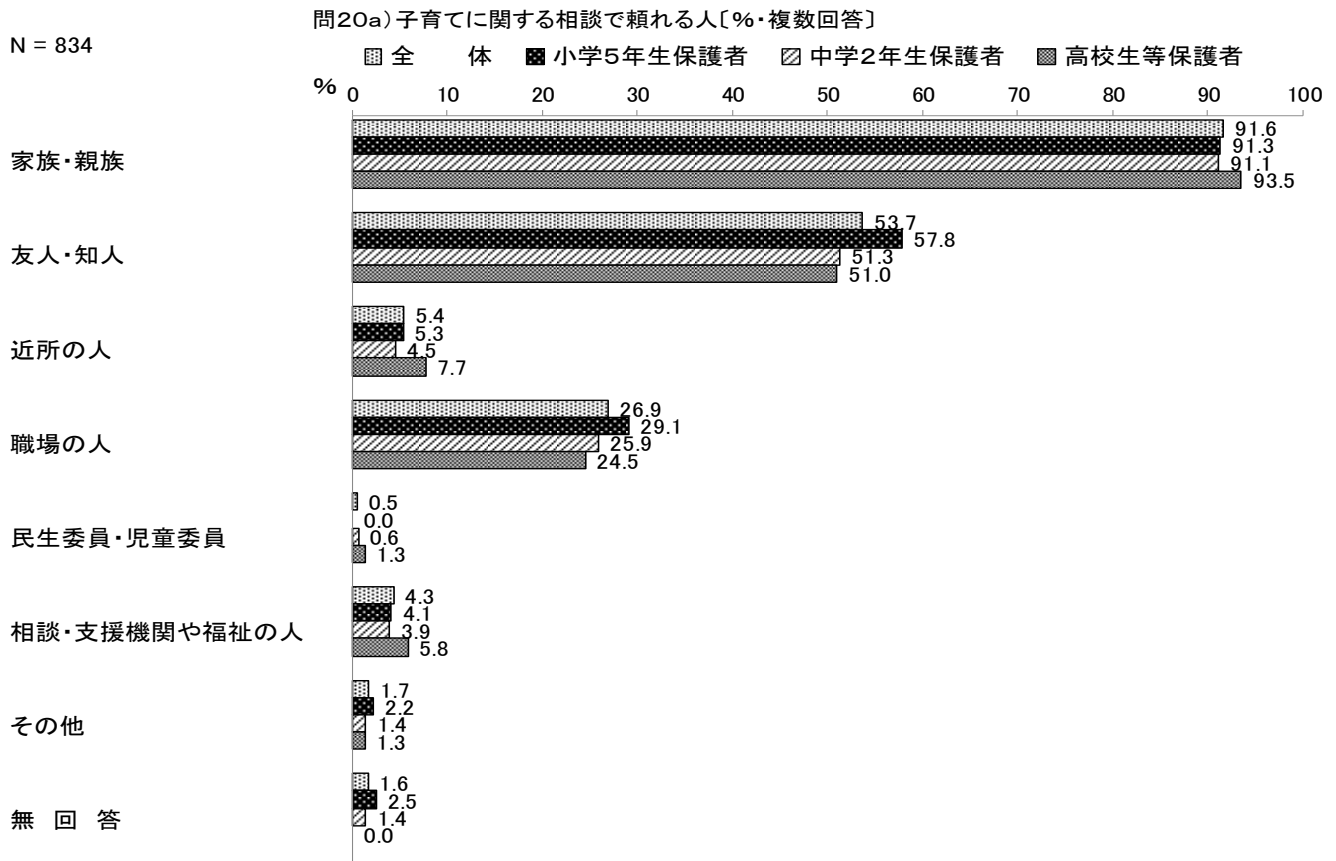


問36a)子育てに関する相談で頼れる人[%・複数回答]

N = 905

■ 全体 ■ 就学前保護者 □ 小学生低学年保護者





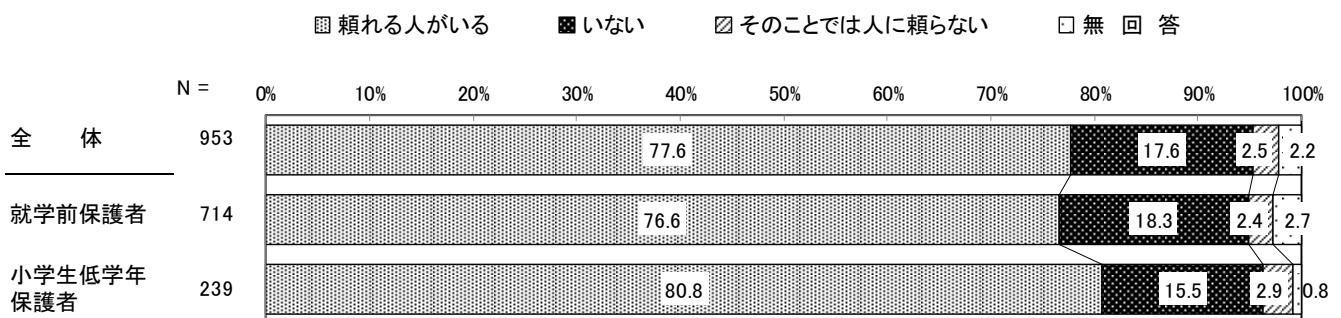
## 2) 急な預かり

就学前児童・小学生保護者全体では、「頼れる人がある」が 77.6%で、「家族・親族」が 96.5%と多くを占めている。

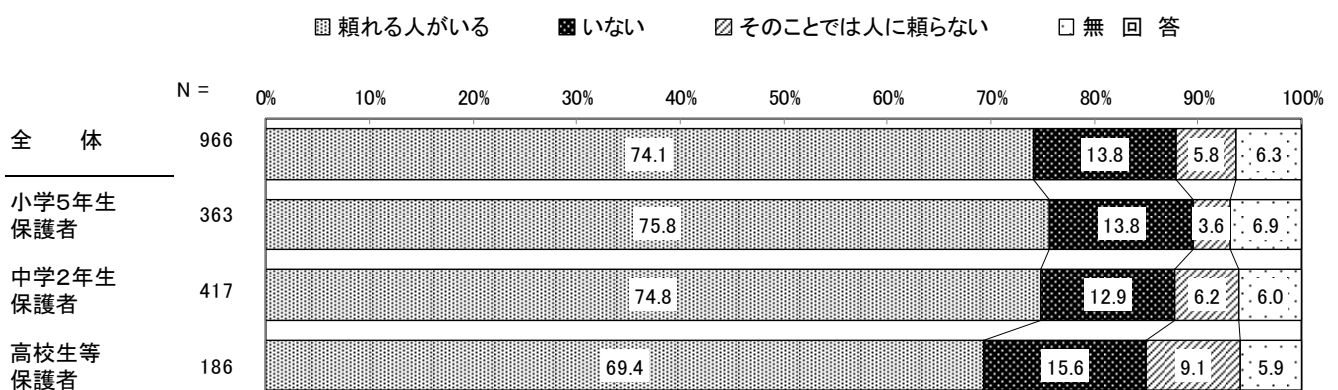
家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「頼れる人がある」が 90.0%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「頼れる人がある」が 74.1%で、「家族・親族」が 95.0%となっている。

問36頼れる人b) 急な預かり[%]

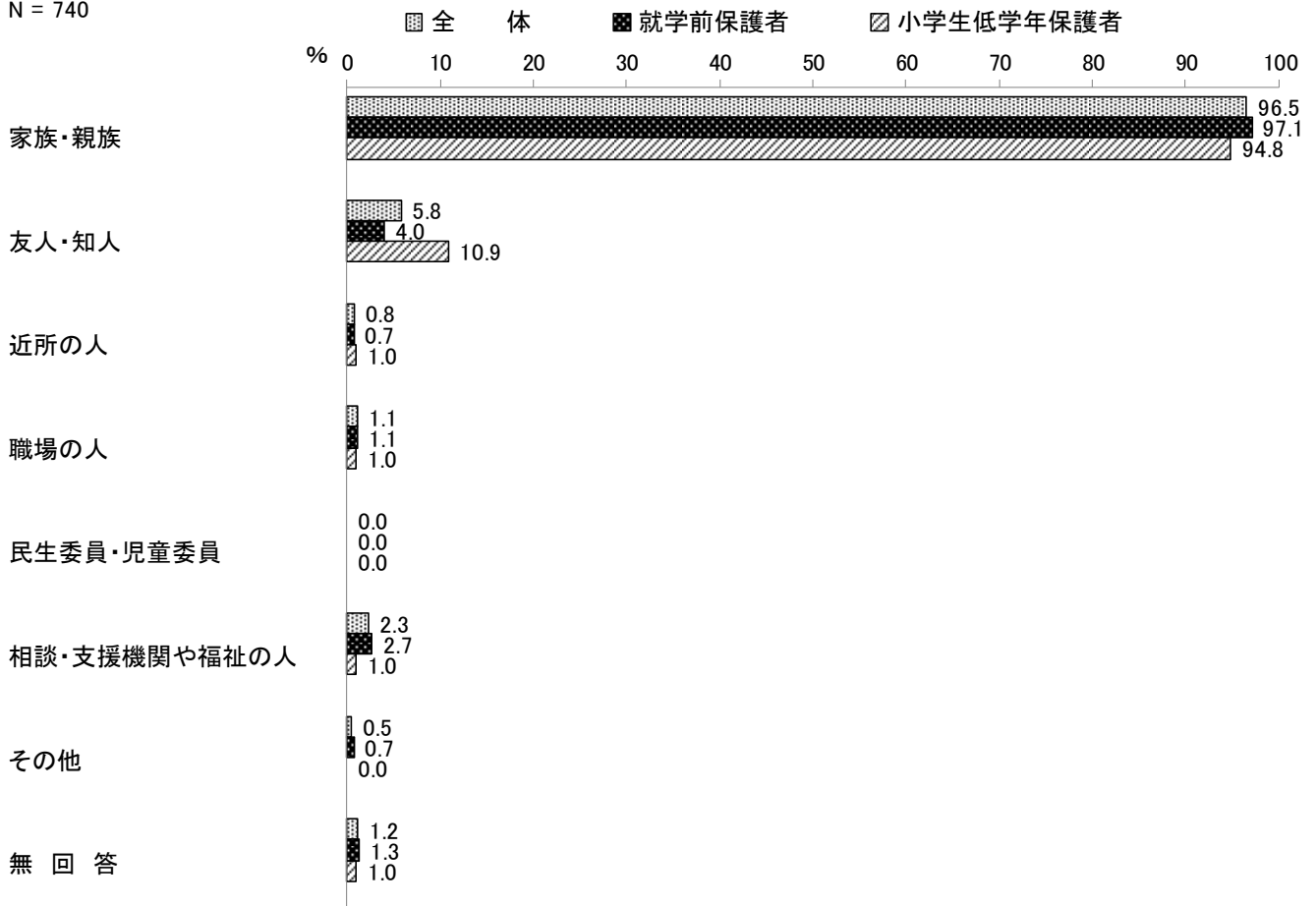


問20頼れる人b) 急な預かり[%]



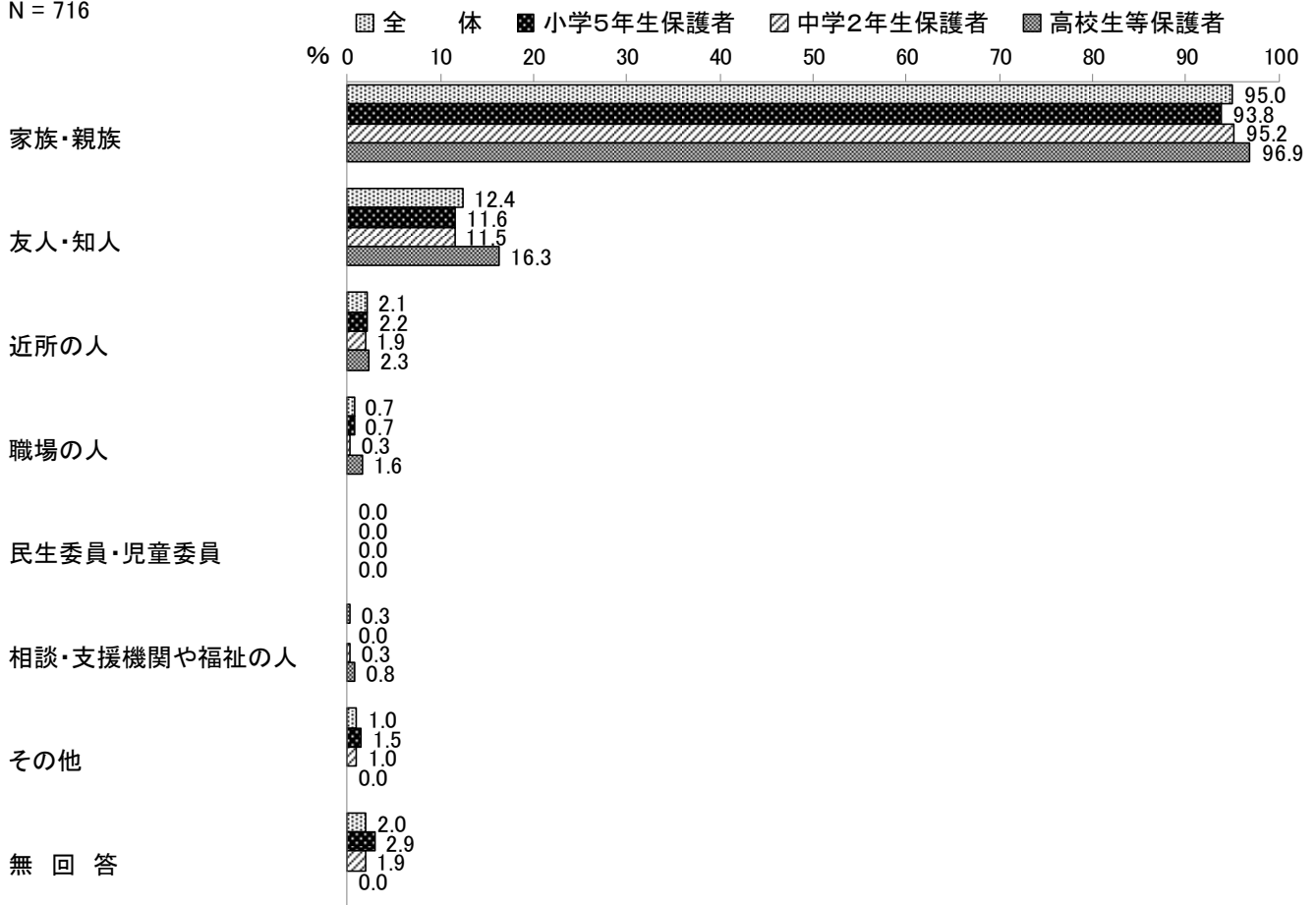
問36b) 急な預かりで頼れる人 [%・複数回答]

N = 740



問20b) 急な預かりで頼れる人 [%・複数回答]

N = 716

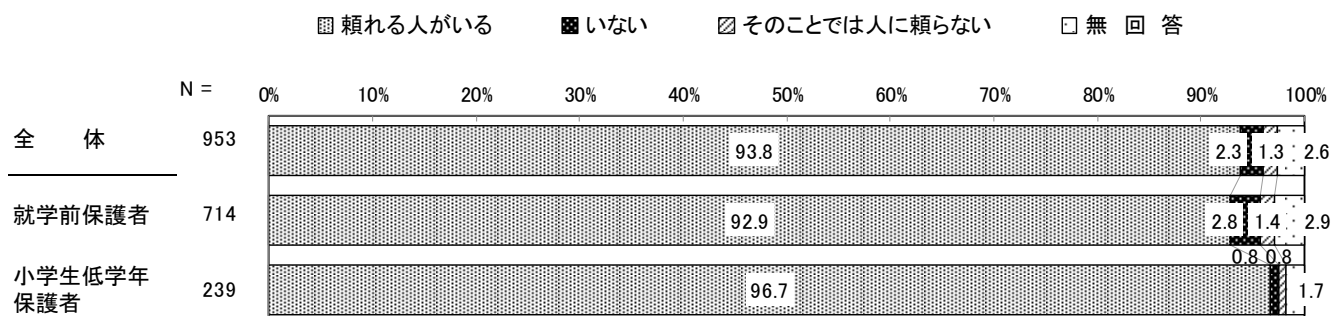


### 3)重要な事柄の相談

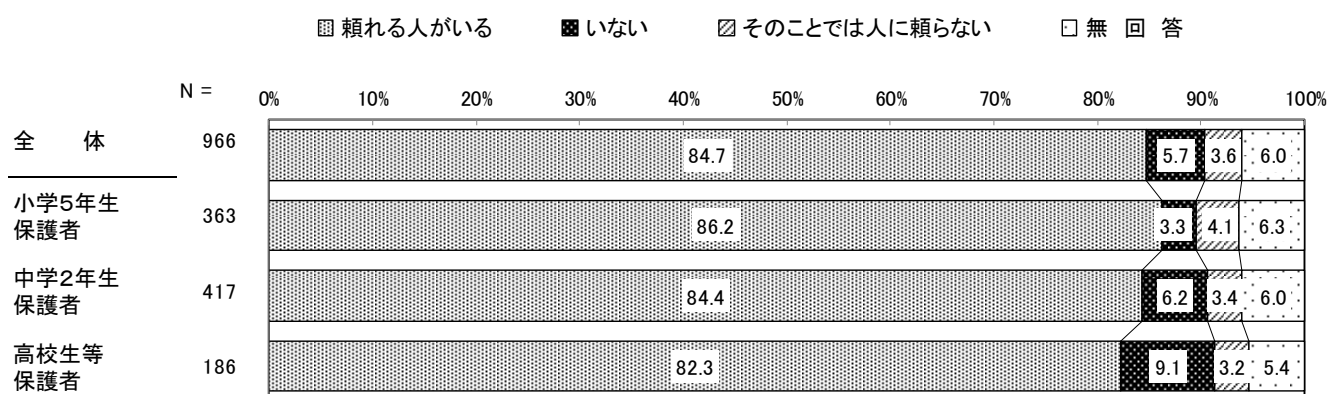
就学前児童・小学生保護者全体では、「頼れる人がある」が 93.8%で、「家族・親族」が 96.3%と多く、「友人・知人」が 26.3%である

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「頼れる人がある」が 84.7%で、「家族・親族」が 94.9%と多く、「友人・知人」が 26.4%である

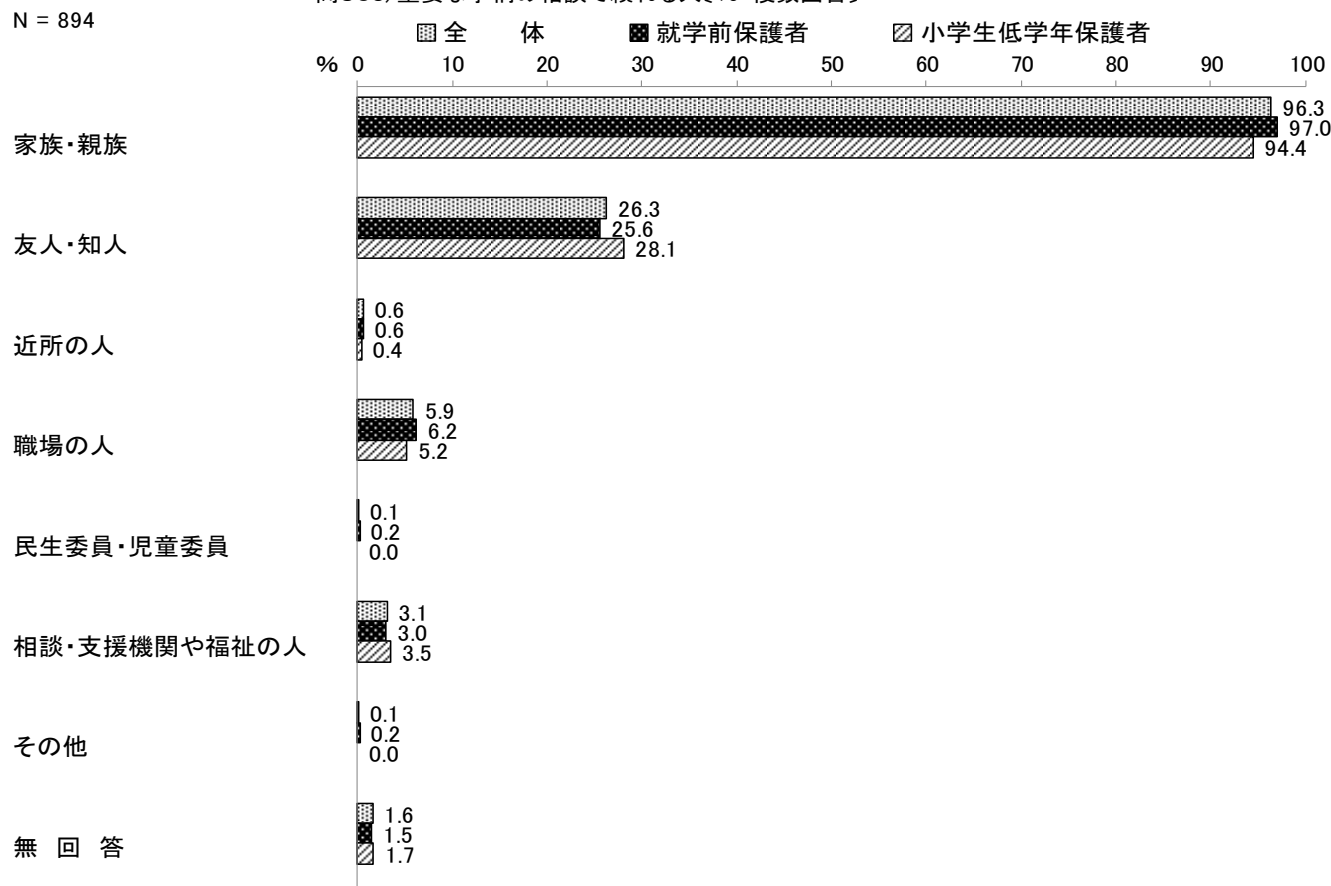
問36頼れる人c)重要な事柄の相談[%]



問20頼れる人c)重要な事柄の相談[%]



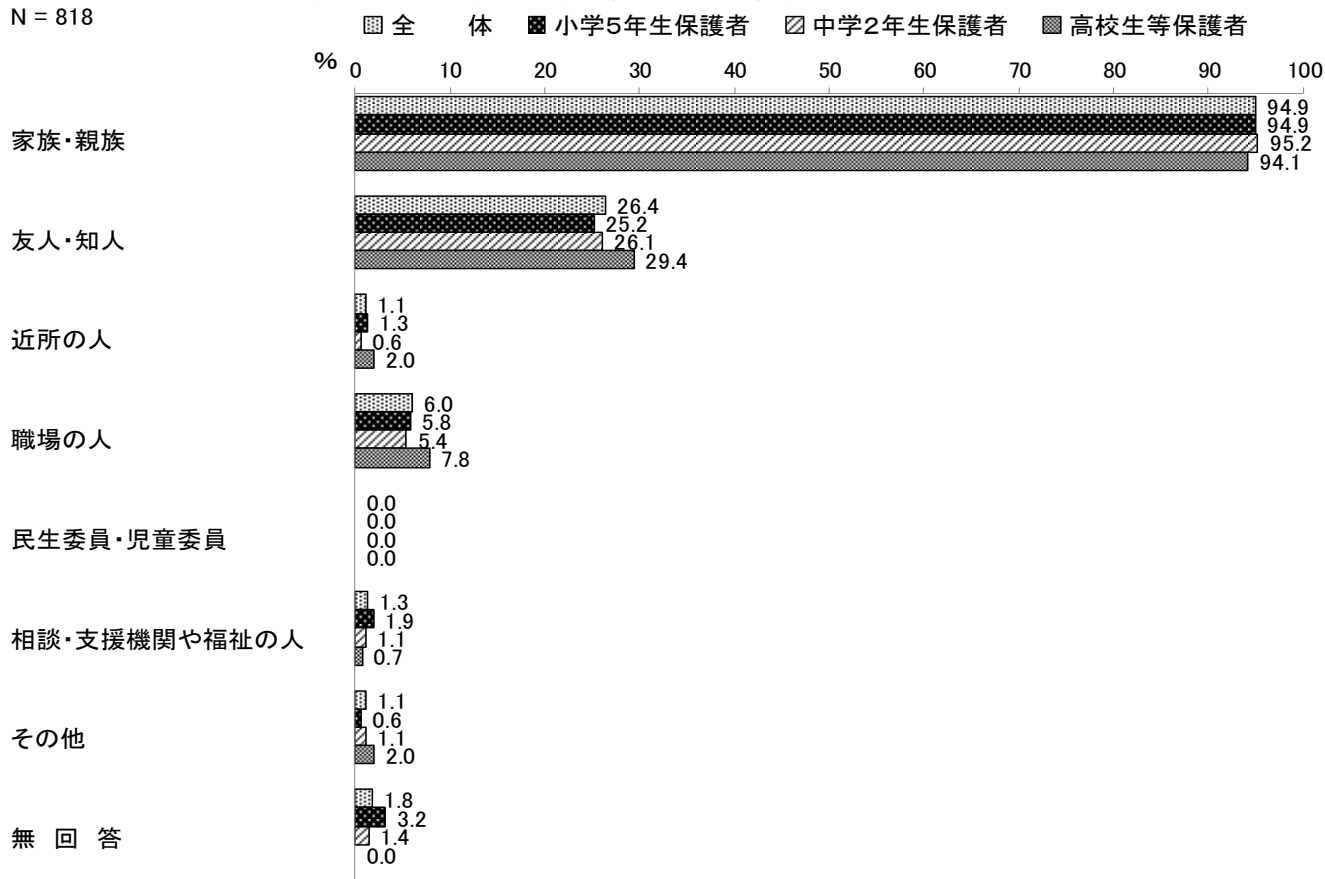
問36c)重要な事柄の相談で頼れる人[%・複数回答]





問20c) 重要な事柄の相談で頼れる人[%・複数回答]

N = 818



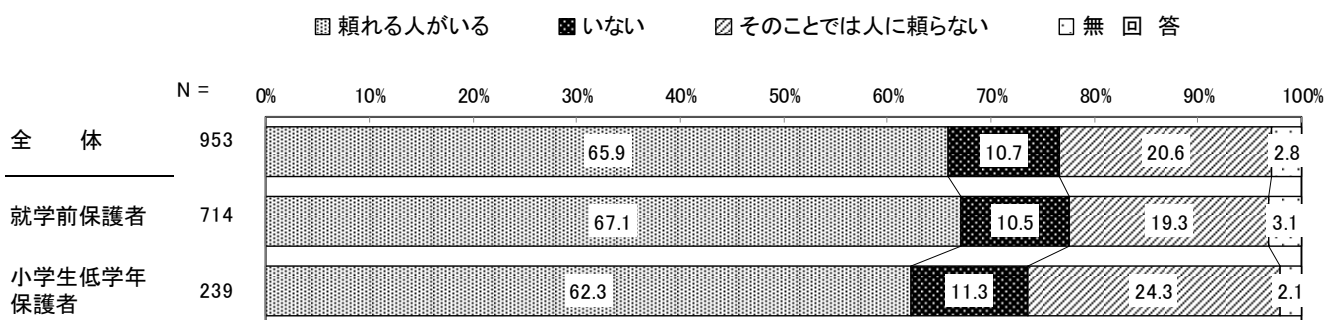
#### 4)いざという時のお金の援助

就学前児童・小学生保護者全体では、「頼れる人がある」が 65.9%、「そのことでは人に頼らない」が 20.6%、「いない」が 10.7%で、「家族・親族」が 97.5%と多くを占めている。

家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「頼れる人がある」が 75.7%となっている。

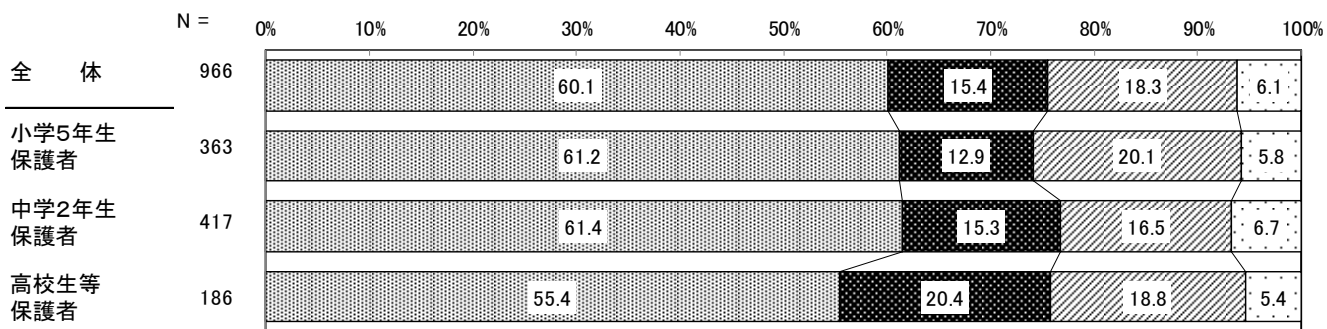
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「頼れる人がある」が 60.1%、「そのことでは人に頼らない」が 18.3%、「いない」が 15.4%で、「家族・親族」が 95.9%となっている。

問36頼れる人d)いざという時のお金の援助[%]



問20頼れる人d)いざという時のお金の援助[%]

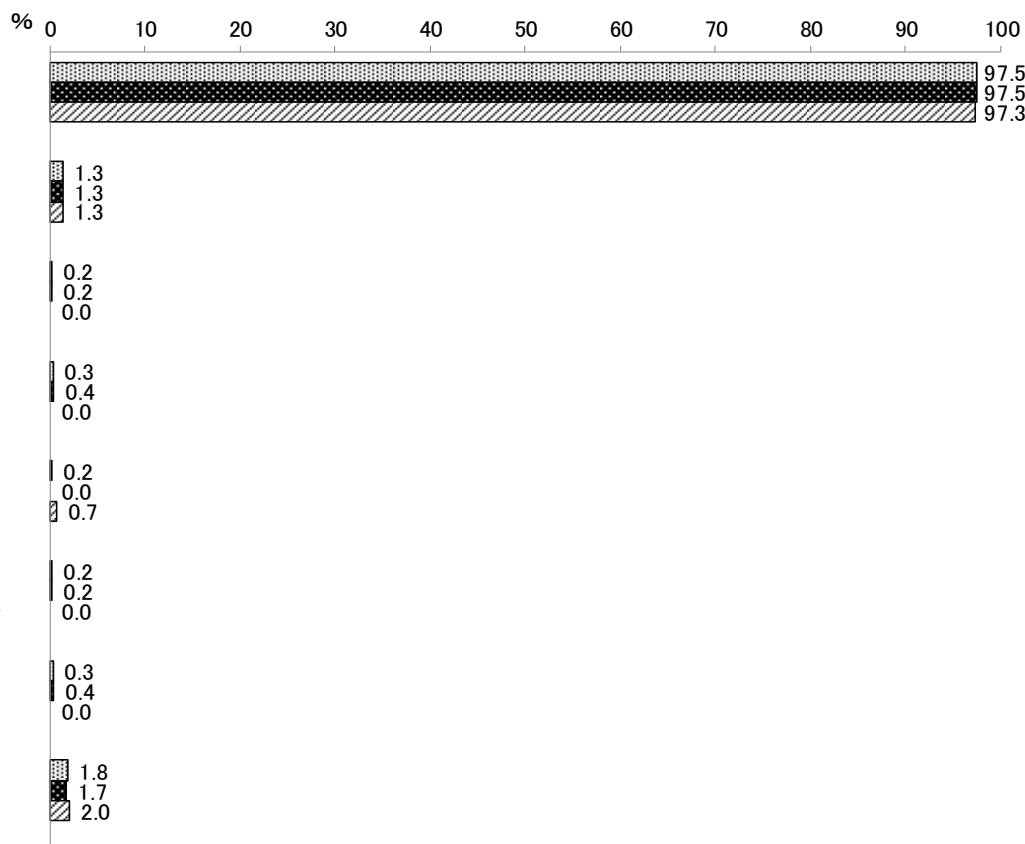
頼れる人がいる   
  いない   
  そのことでは人に頼らない   
  無回答



問36d) お金の援助で頼れる人 [%・複数回答]

N = 628

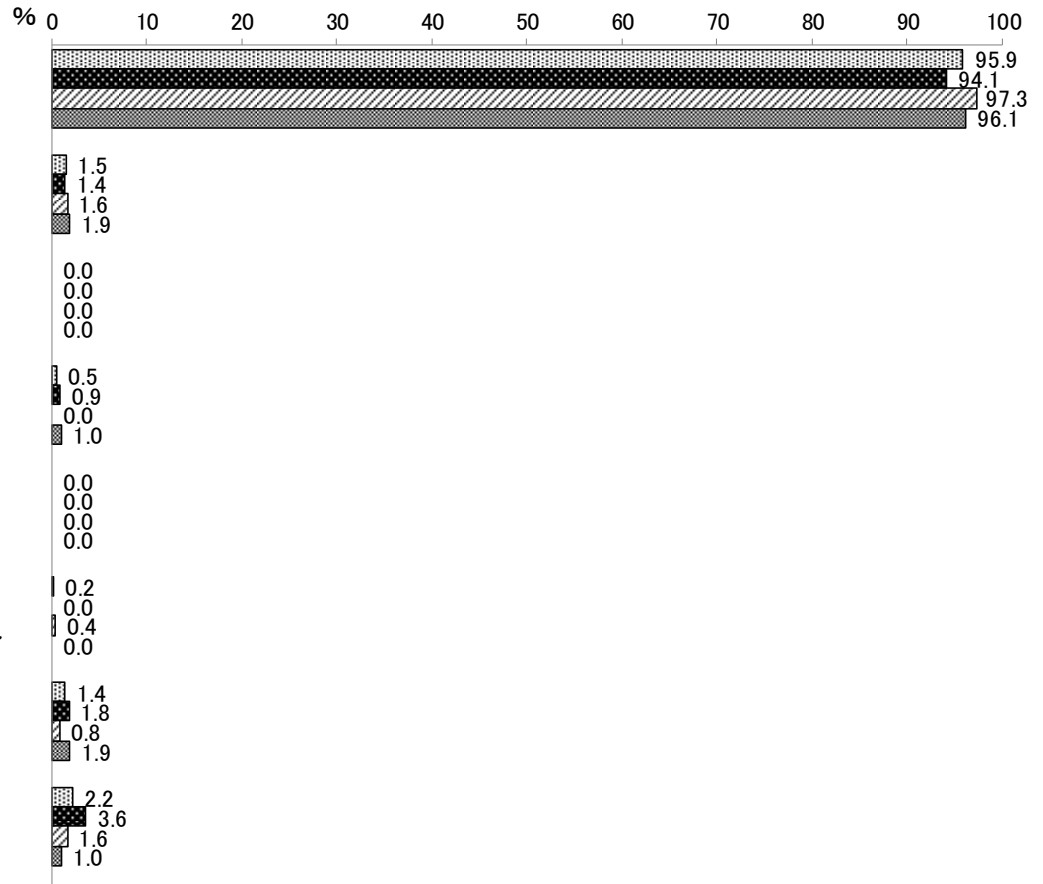
全 体   
  就学前保護者   
  小学生低学年保護者



N = 581

問20d)お金の援助で頼れる人[%・複数回答]

■ 全 体 ■ 小学5年生保護者 ■ 中学2年生保護者 ■ 高校生等保護者



問 お子さんは将来、どの学校まで進学すると思いますか。

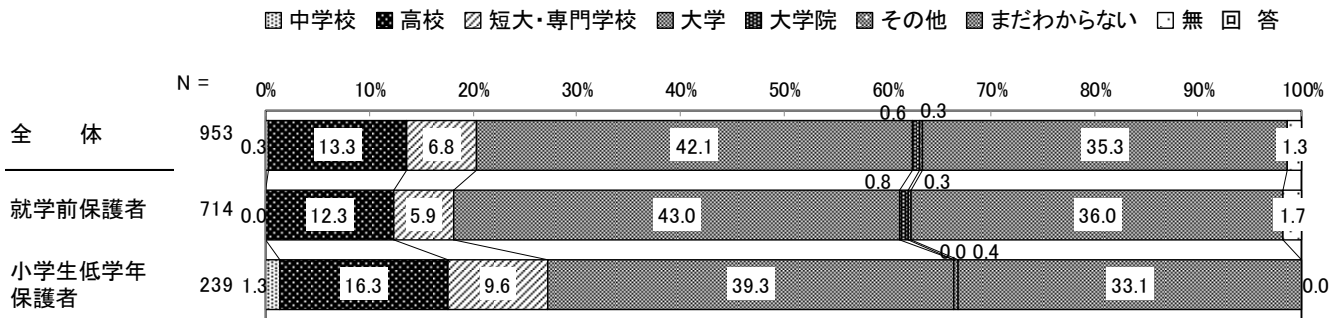
就学前児童・小学生保護者全体では、「大学」が 42.1%と多く、「まだわからない」が 35.3%、「高校」が 13.3%である。

所得別では、低所得に該当する世帯で「高校」が 30.8%、「大学」が 26.9%となっている。

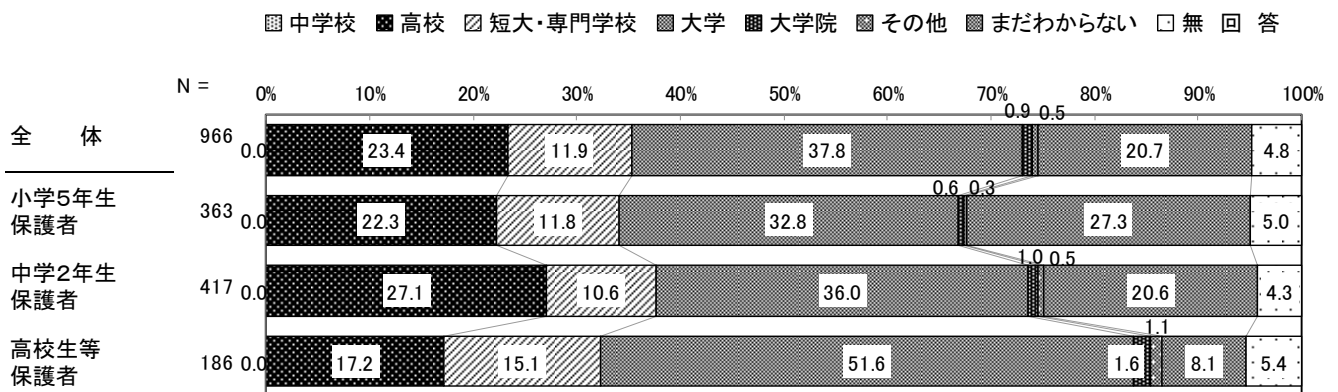
親の学歴が高い層は「大学」が 60.8%、低い層は「高校」が 41.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「大学」が 37.8%と多く、「まだわからない」が 20.7%、「高校」が 23.4%である。高校生等保護者は、「大学」が 51.6%と半数を超えている。

問37子どもの将来の進学先[%]



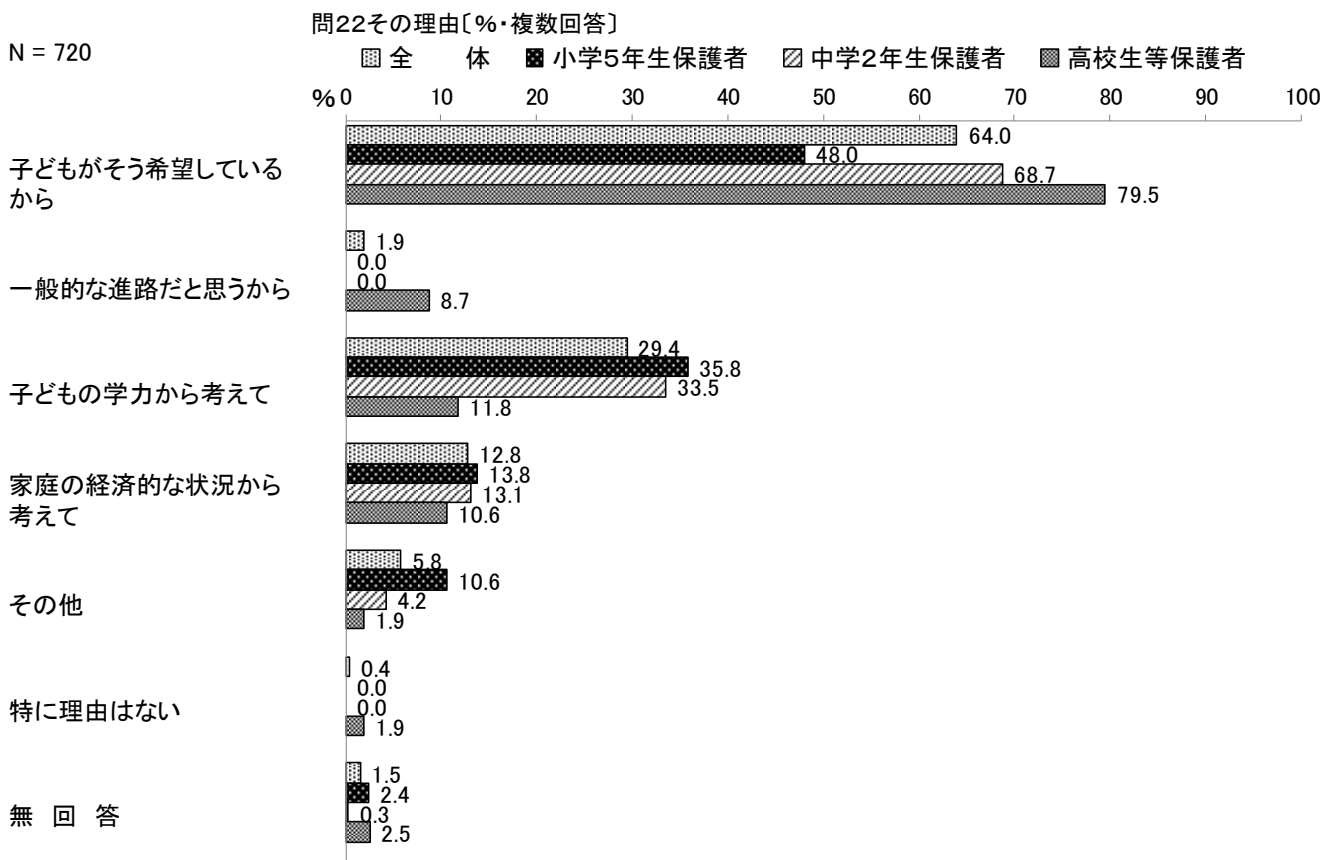
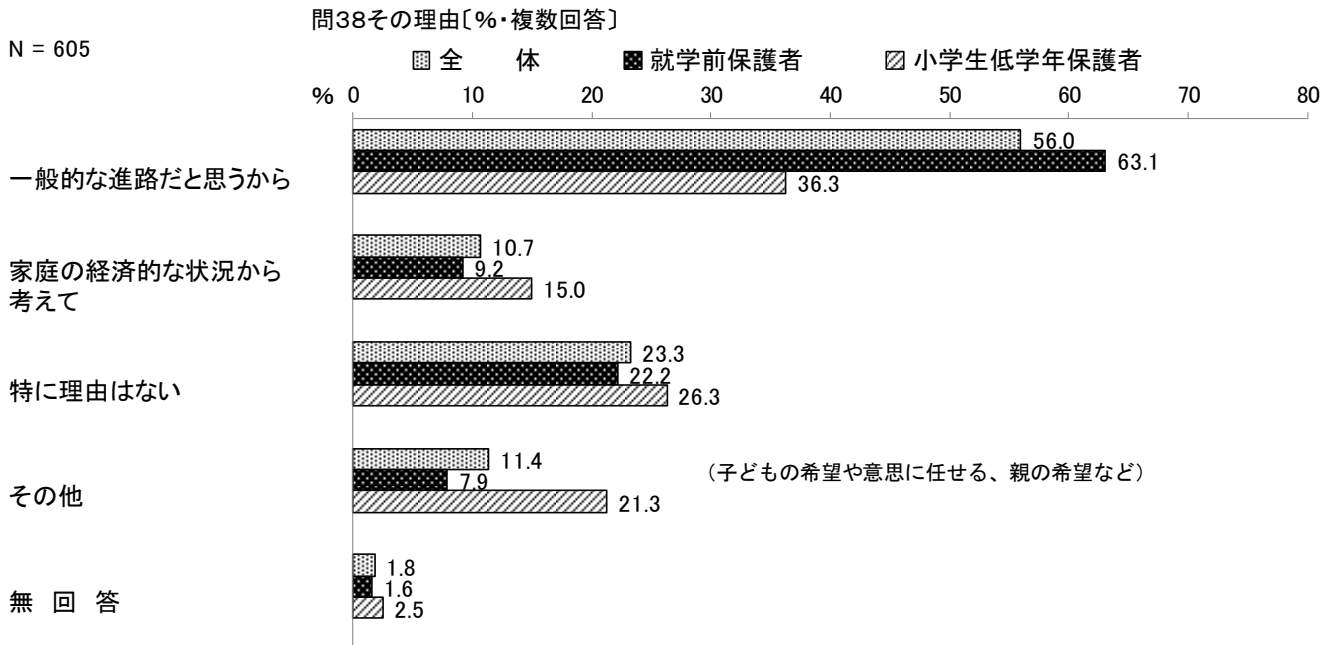
問21子どもの将来の進学先[%]



問 前問で「中学校」、「高校」、「短大・専門学校」、「大学」、「大学院」、「その他」を選んだ場合、その理由は何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「一般的な進路だと思うから」が 56.0%と半数を超え、「特に理由はない」が 23.3%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 10.7%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「子どもがそう希望しているから」が 64.0%、「子どもの学力から考えて」が 29.4%「家庭の経済的な状況から考えて」が 12.8%である。



#### (4)現在の状況

問 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

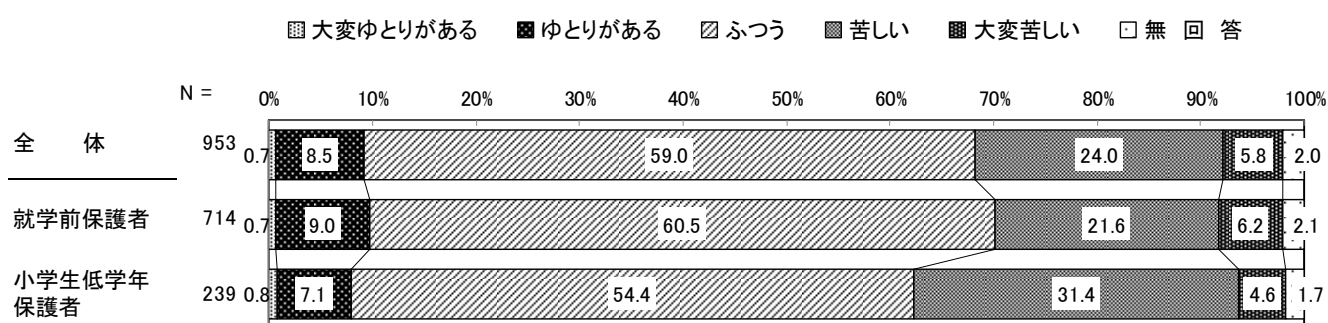
就学前児童・小学生保護者全体では、「ふつう」が 59.0%と多く、『苦しい』（「苦しい」と「大変苦しい」の計、以下同様）が 29.8%、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」の計、以下同様）が 9.2%である。小学生保護者は『苦しい』が 36.0%と就学前児童保護者より多くなっている。

所得別では、低所得に該当する世帯で『苦しい』が 46.2%となっている。

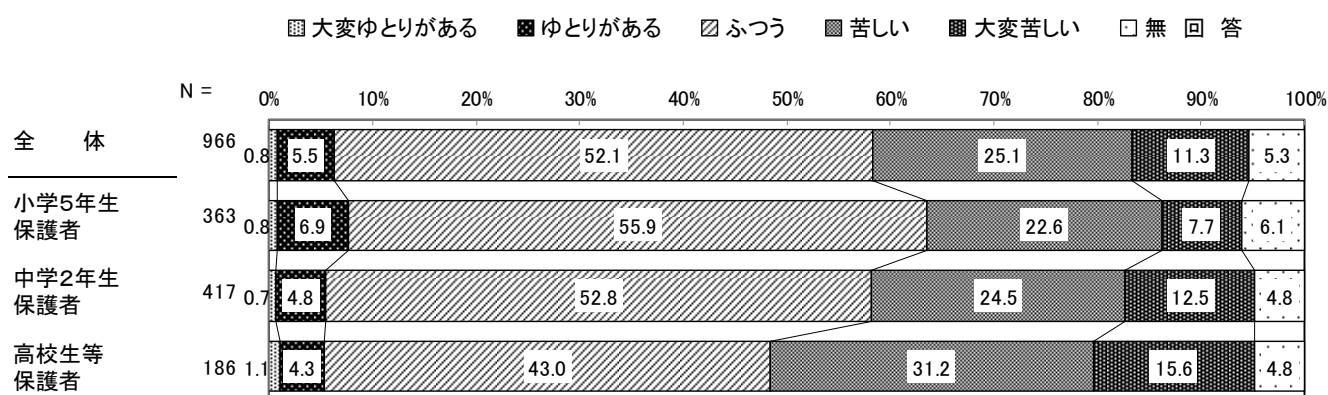
家計逼迫リスクのある回答者は、『苦しい』 78.4%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「ふつう」が 52.1%と多く、『苦しい』が 36.4%、『ゆとりがある』が 6.3%である。年代が上がると『苦しい』が多くなり、高校生等保護者は 46.8%となっている。

問39現在の暮らしの状況[%]



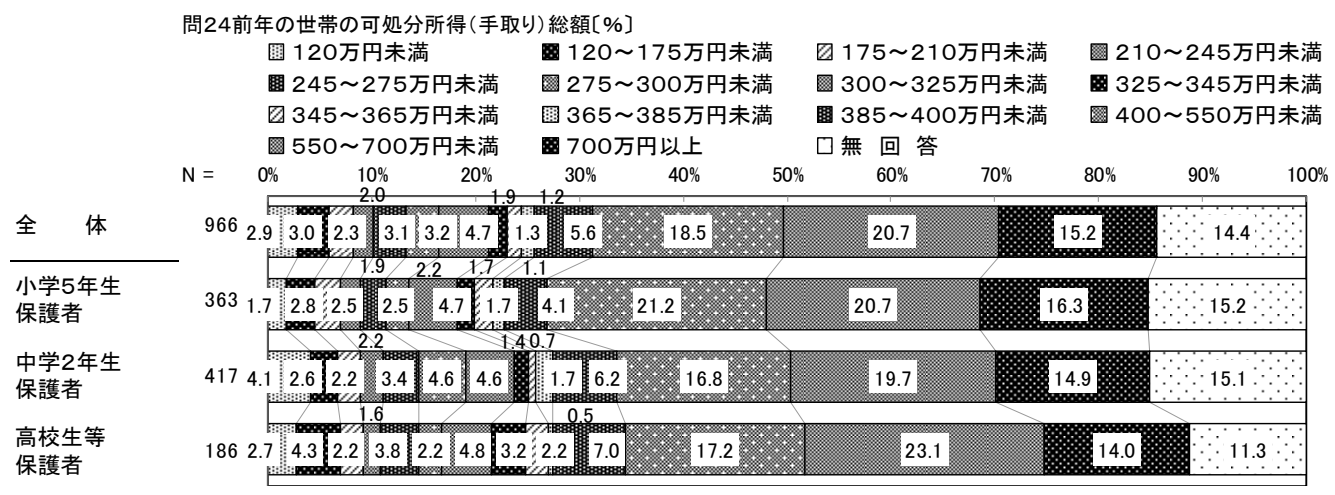
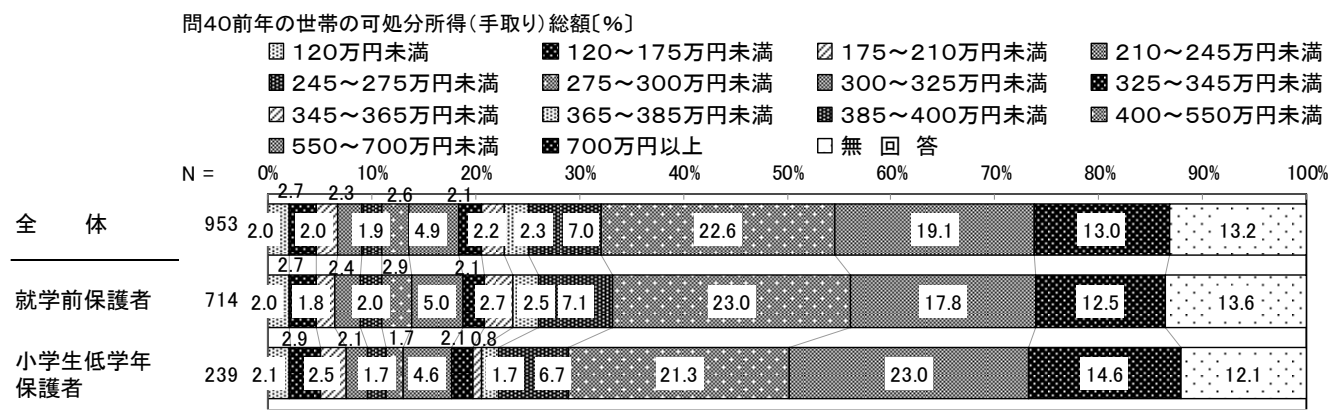
問23現在の暮らしの状況[%]



問 令和5年（2023年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「400～550万円未満」が22.6%、「550～700万円未満」が19.1%、「700万円以上」が13.0%、「385～400万円未満」が7.0%、「300～325万円未満」が4.9%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「400～550万円未満」が18.5%、「550～700万円未満」が20.7%、「700万円以上」が15.2%、「385～400万円未満」が5.6%、「300～325万円未満」が4.7%である。

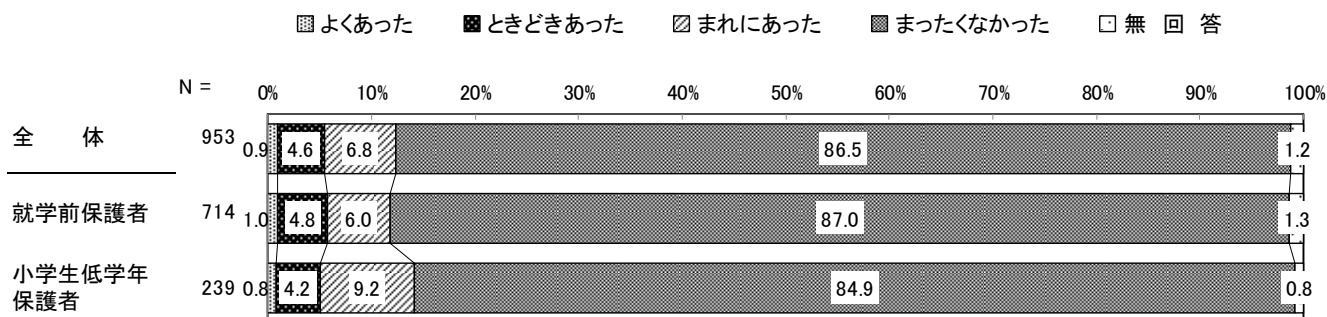


問 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品（たばこ・お酒等）は含みません。

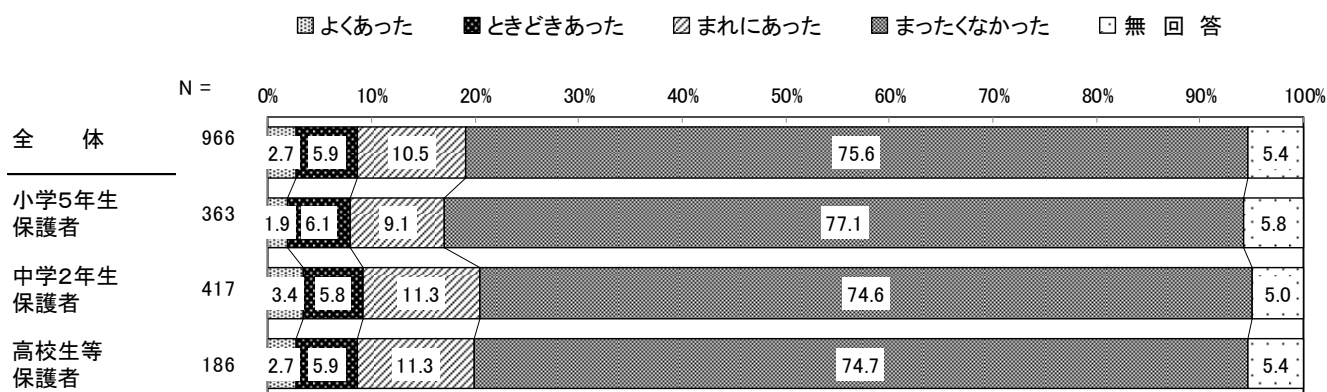
就学前児童・小学生保護者全体では、「まったくなかった」が86.5%で、12.3%が『あった』（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の計、以下同様）と回答している  
所得別では、低所得に該当する世帯で『あった』が28.1%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「まったくなかった」が75.6%で、19.1%が『あった』と回答している。

問41 お金がなくて食料が買えなかったこと〔%〕



問25 お金がなくて食料が買えなかったこと〔%〕



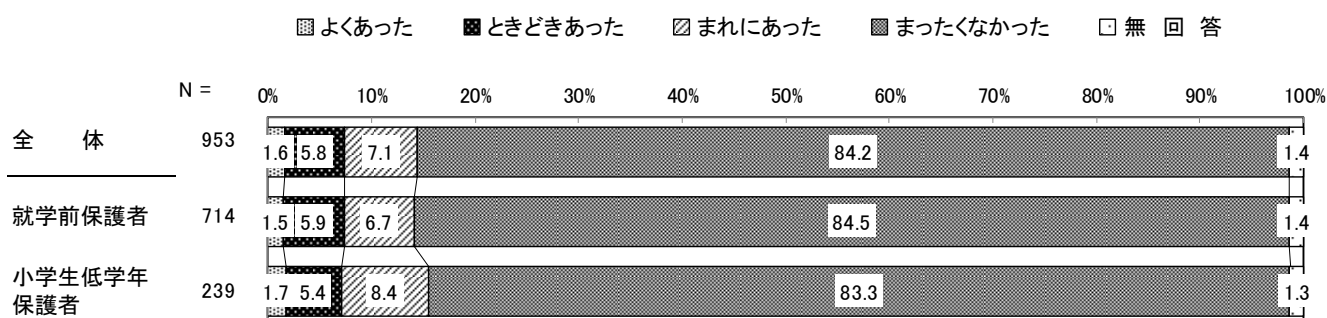
問 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

就学前児童・小学生保護者全体では、「まったくなかった」が 84.2%で、14.5%が『あった』と回答している。

所得別では、低所得に該当する世帯で『あった』が 35.9%となっている。

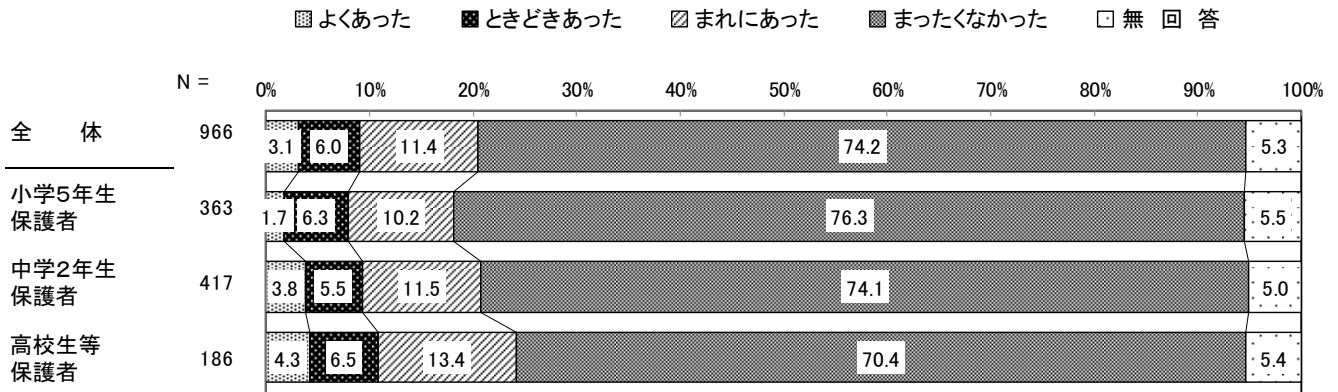
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「まったくなかった」が 74.2%で、20.5%が『あった』と回答している。

問42 お金がなくて衣服が買えなかったこと〔%〕





問26 お金がなくて衣服が買えなかったこと[%]

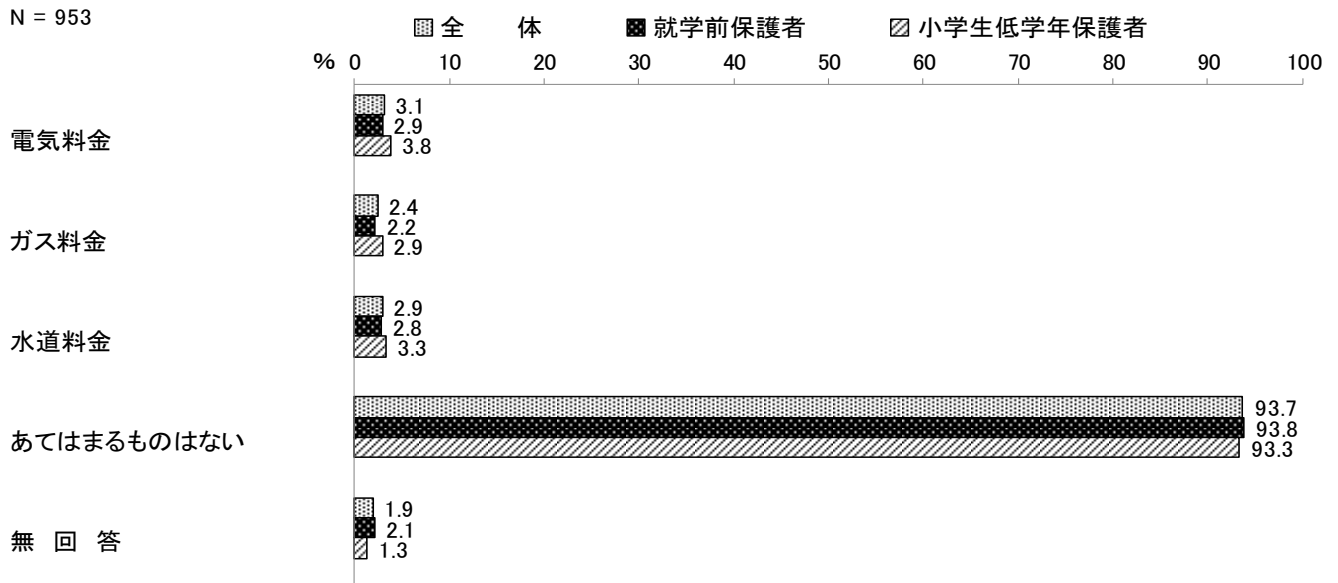


問 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。

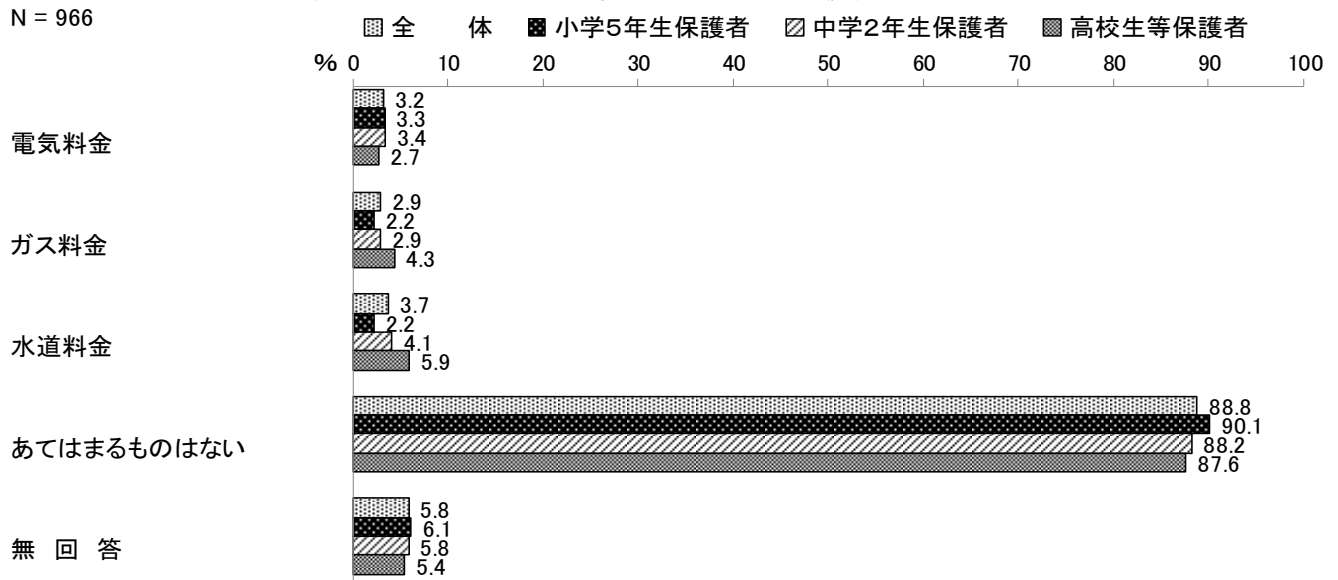
就学前児童・小学生保護者全体では、「あてはまるものはない」が93.7%で、「電気料金」が3.1%、「水道料金」が2.9%、「ガス料金」が2.4%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「あてはまるものはない」が88.8%で、「電気料金」が3.2%、「水道料金」が3.7%、「ガス料金」が2.9%となっている。

問431年で経済的理由で未払いになったもの[%・複数回答]



問271年で経済的理由で未払いになったもの[%・複数回答]



問 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

---

就学前児童・小学生保護者全体では、「あてはまるものはない」が 64.0%と多く、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 13.6%、「新聞の定期購読（インターネット含む）」が 10.0%、「インターネットにつながるパソコン」が 8.3%などとなっている。

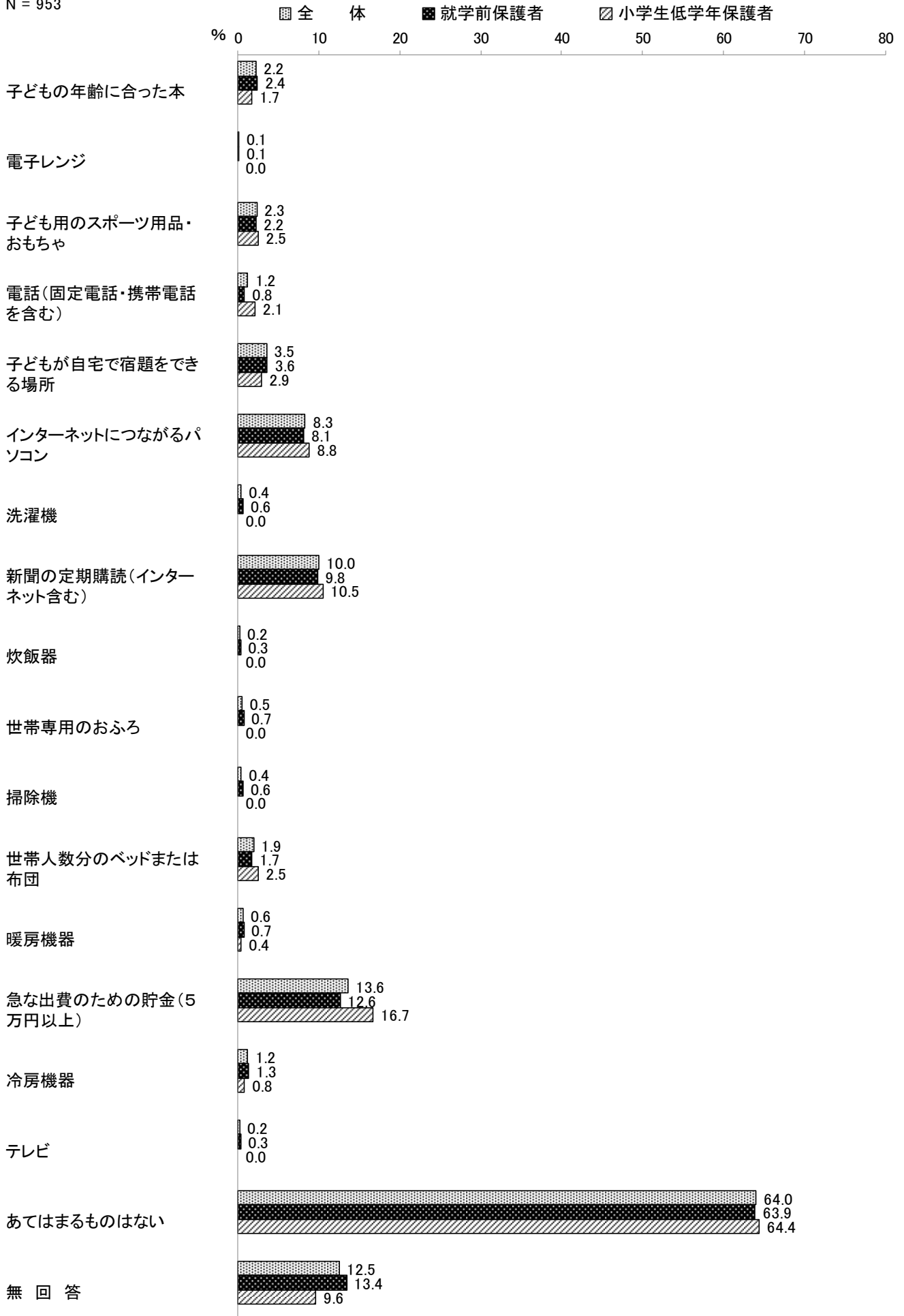
所得別では、低所得に該当する世帯で「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 30.8%、「インターネットにつながるパソコン」が 16.7%となっている。

家計逼迫リスクのある回答者は、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 60.8%、「新聞の定期購読（インターネット含む）」が 30.4%、「子どもが自宅で宿題をできる場所」が 22.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「あてはまるものはない」が 58.8%と多く、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 16.3%、「新聞の定期購読（インターネット含む）」が 9.4%、「インターネットにつながるパソコン」が 7.6%などとなっている。

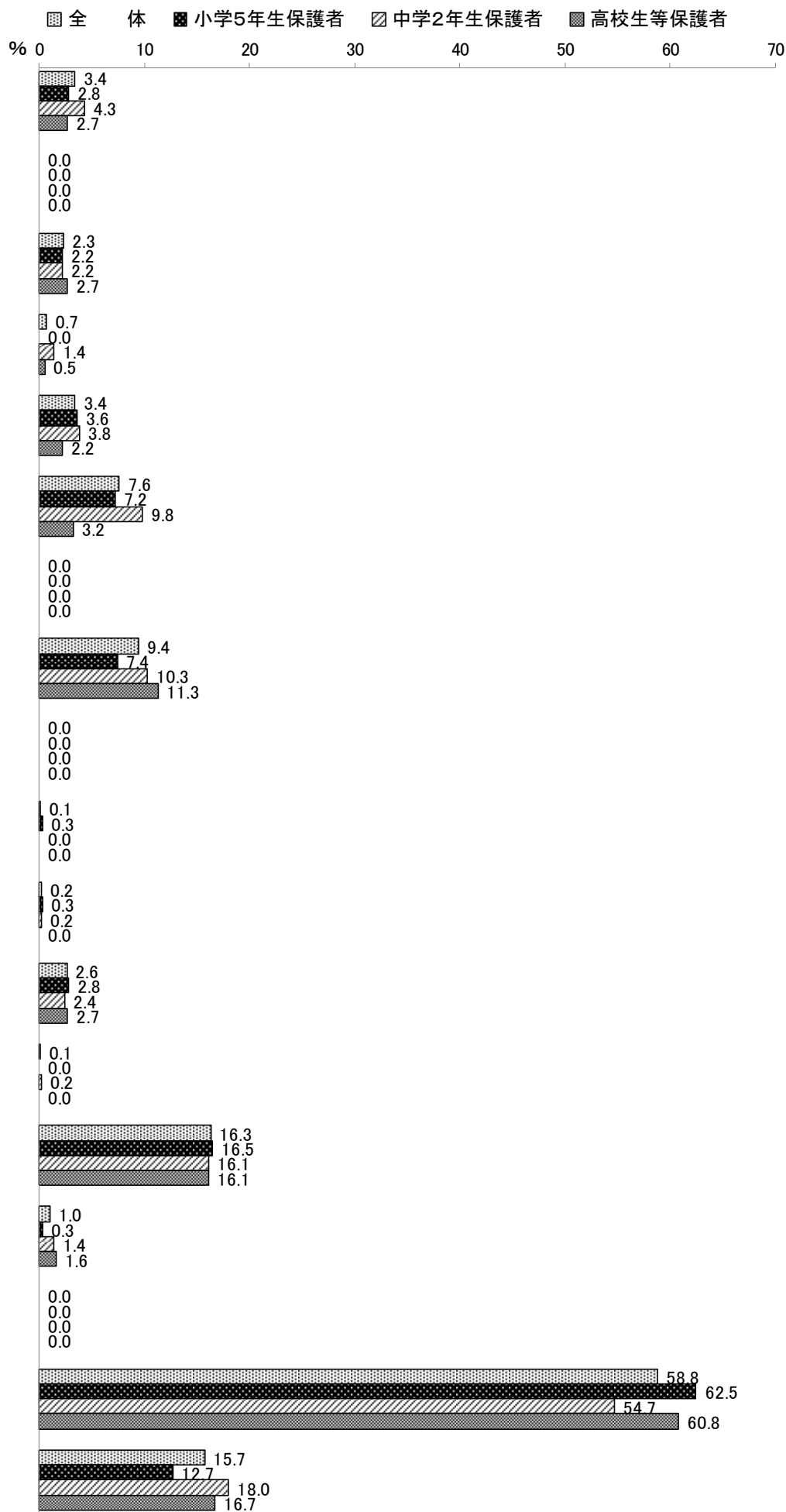
問44経済的理由で世帯にないもの[%・複数回答]

N = 953



問28経済的理由で世帯にないもの[%・複数回答]

N = 966



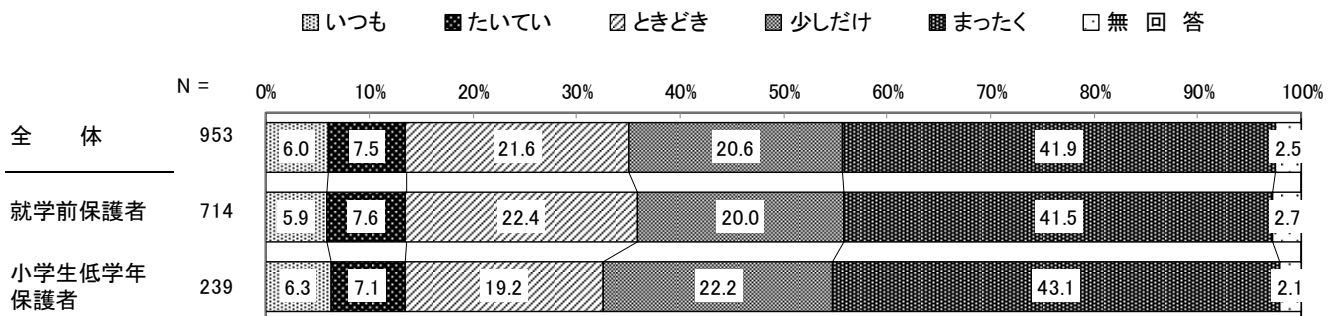
問 次の質問について、この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。

1)神経過敏に感じた

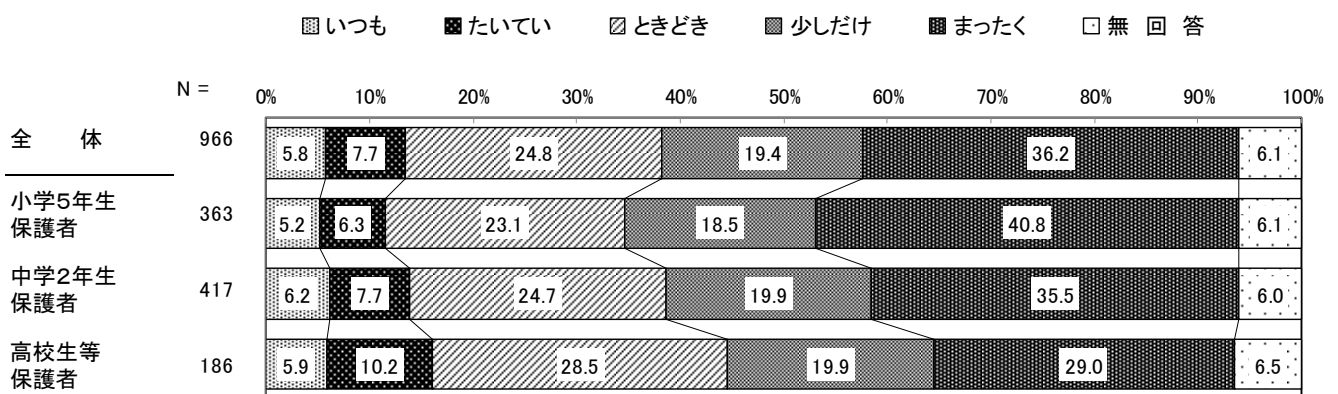
就学前児童・小学生保護者は、全体で 55.7%が『感じたことがある』（「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」の計、以下同様）と回答しており、「ときどき」と「少しだけ」が 20%前後となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 57.7%が『感じたことがある』と回答している。『感じたことがある』は年代が上がるると多くなり、高校生等保護者は 64.5%となっている。

問45過去1か月で1. 神経過敏に感じた[%]



問30過去1か月で1. 神経過敏に感じた[%]



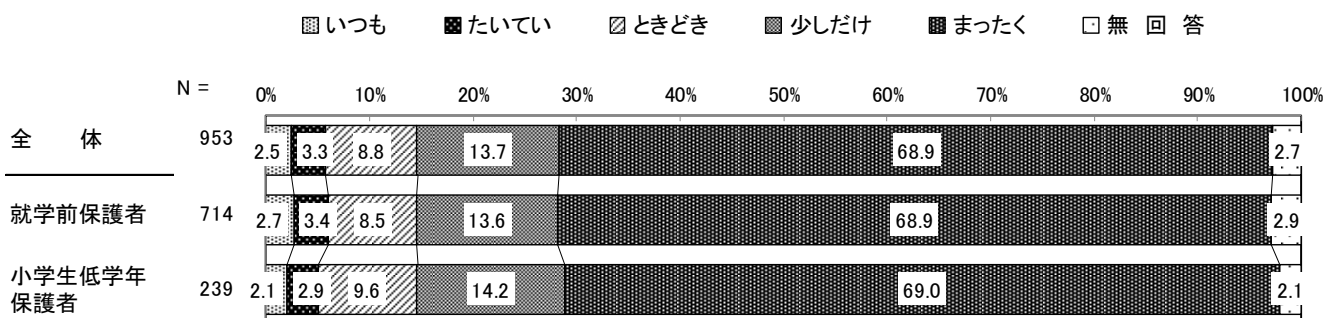
2)絶望的だと感じた

就学前児童・小学生保護者は、全体で 28.3%が『感じたことがある』と回答している。

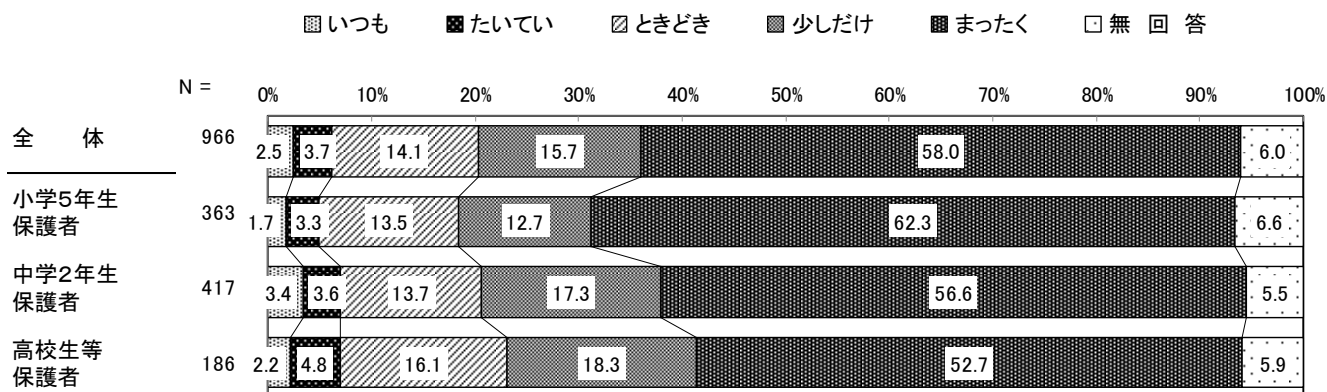
所得別では、低所得に該当する世帯で『感じたことがある』が 46.1%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 36.0%が『感じたことがある』と回答している。

問45過去1か月で2. 絶望的だと感じた[%]



問30過去1か月で2. 絶望的だと感じた[%]

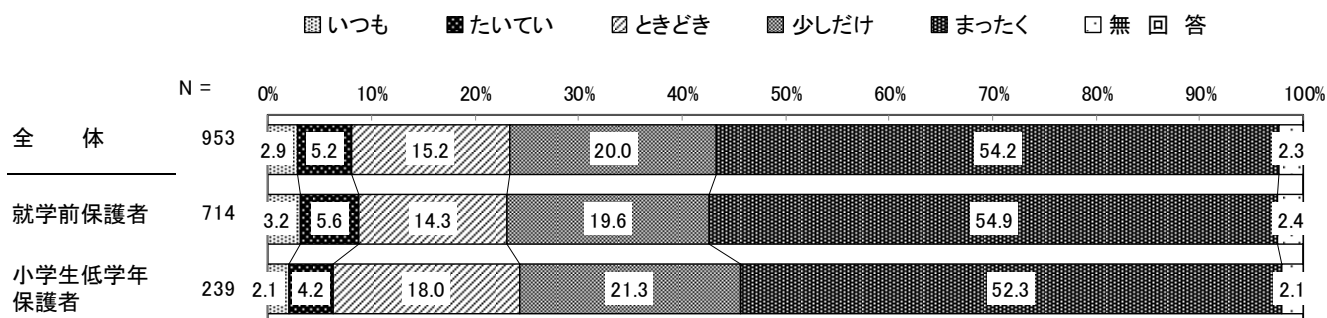


### 3) そわそわ、落ち着かなく感じた

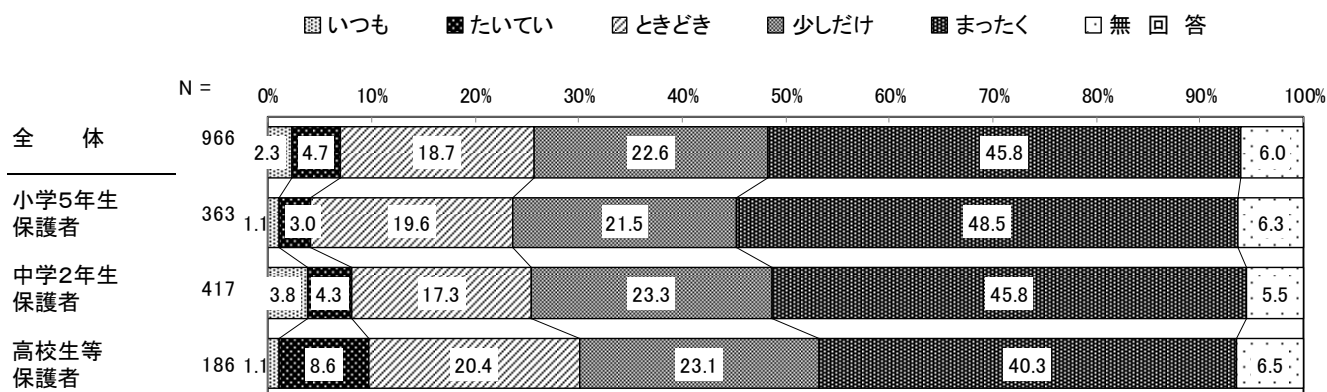
就学前児童・小学生保護者は、全体で 43.3%が『感じたことがある』と回答しており、「少しだけ」が 20.0%、「ときどき」が 15.2%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 48.3%が『感じたことがある』と回答しており、「ときどき」と「少しだけ」が 20%前後となっている。

問45過去1か月で3. そわそわ落ち着かない[%]



問30過去1か月で3. そわそわ落ち着かない[%]

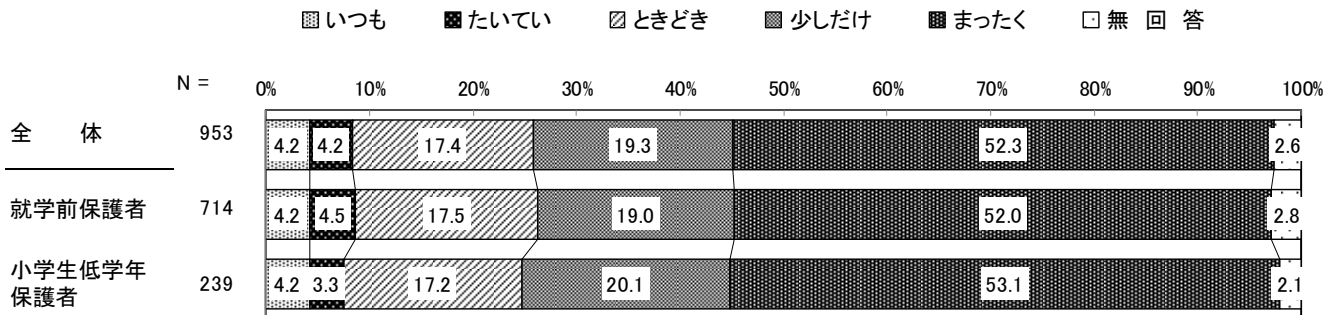


#### 4) 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた

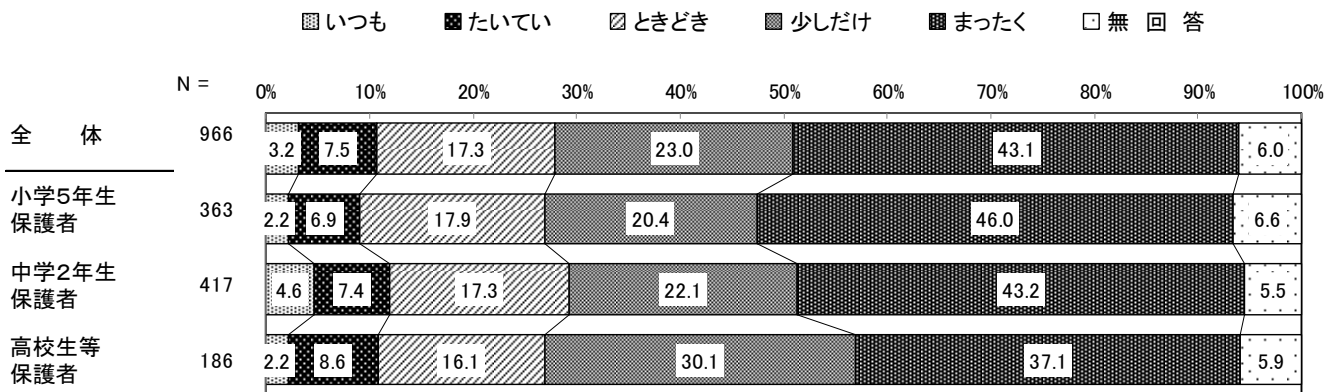
就学前児童・小学生保護者は、全体で 45.1%が『感じたことがある』と回答しており、「ときどき」と「少しだけ」が18%前後となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 51.0%が『感じたことがある』と回答しており、「少しだけ」が 23.0%、「ときどき」が 17.3%となっている。年代が上がると『感じたことがある』が多くなり、高校生等保護者で 57.0%となっている。

問45過去1か月で4. 気分が沈み込んで気が晴れない[%]



問30過去1か月で4. 気分が沈み込んで気が晴れない[%]

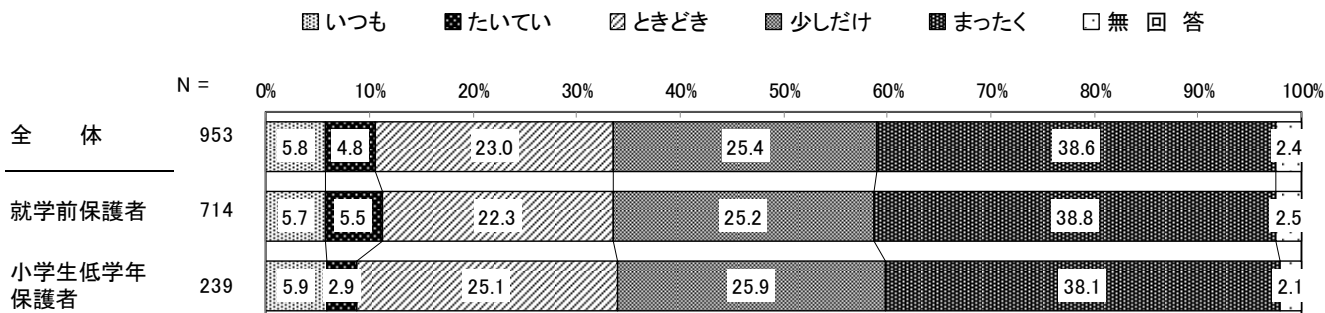


#### 5) 何をするのも面倒だと感じた

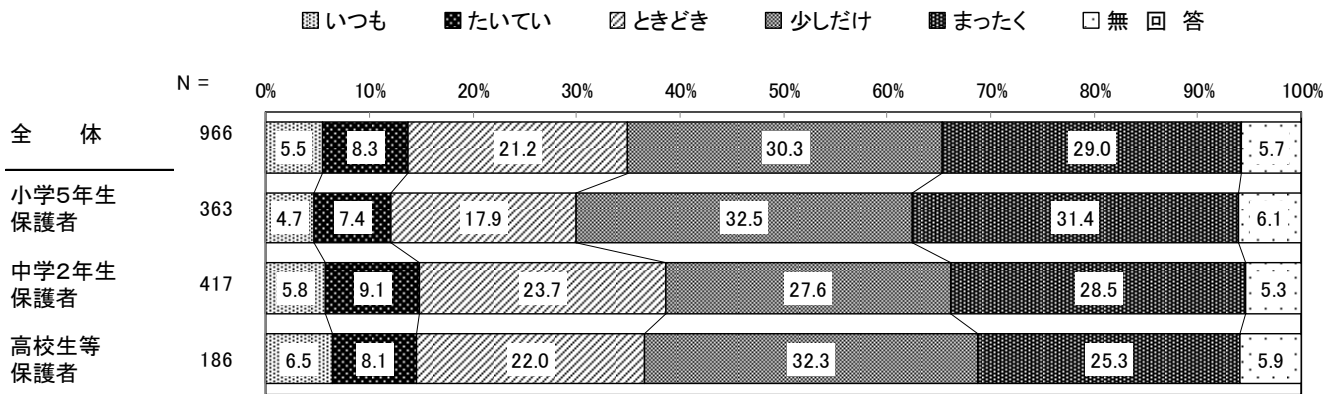
就学前児童・小学生保護者は、全体で 59.0%が『感じたことがある』と回答しており、「ときどき」と「少しだけ」が25%前後となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 65.3%が『感じたことがある』と回答しており、「少しだけ」が 30.3%となっている。

問45過去1か月で5. 何をするのも面倒だ[%]



問30過去1か月で5. 何をするのも面倒だ[%]

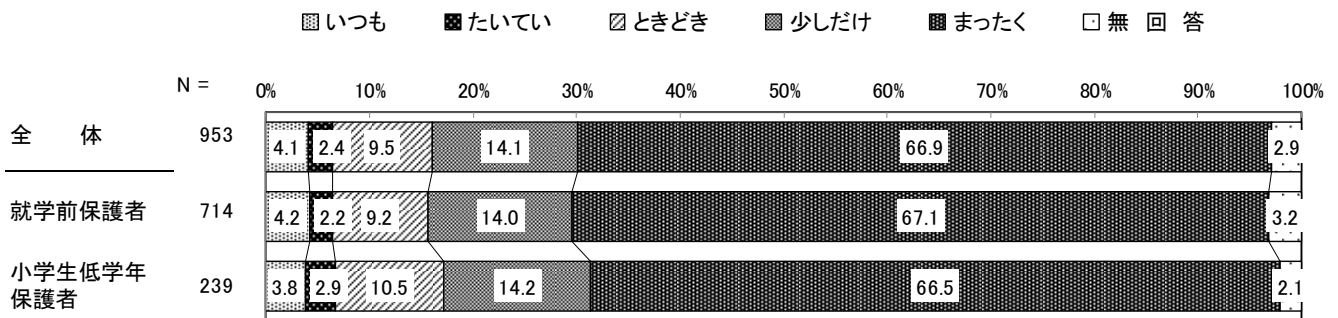


### 6) 自分は価値のない人間だと感じた

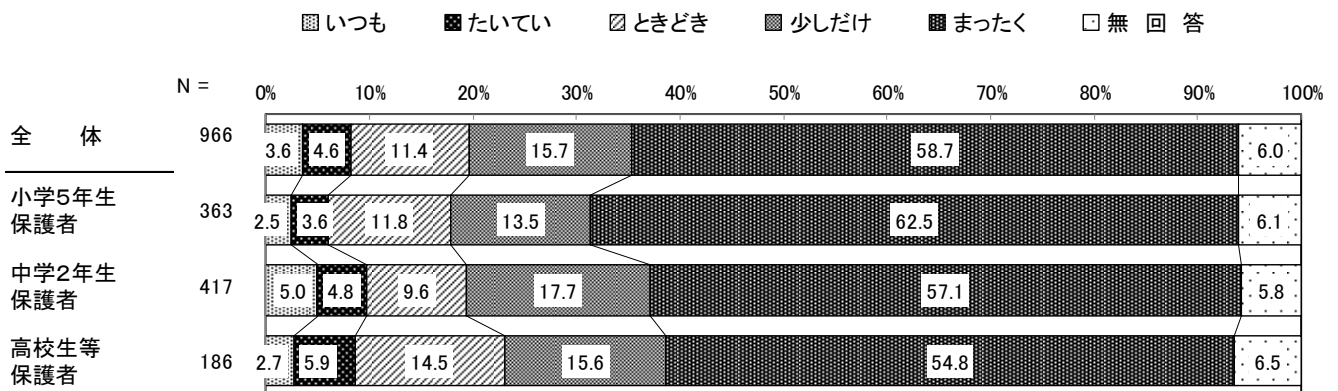
就学前児童・小学生保護者は、全体で 30.1%が『感じたことがある』と回答しており、「少しだけ」が 14.1%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 35.3%が『感じたことがある』と回答しており、「少しだけ」が 15.7%、「ときどき」が 11.4%となっている。

問45過去1か月で6. 自分は価値のない人間だと感じた[%]



問30過去1か月で6. 自分は価値のない人間だと感じた[%]





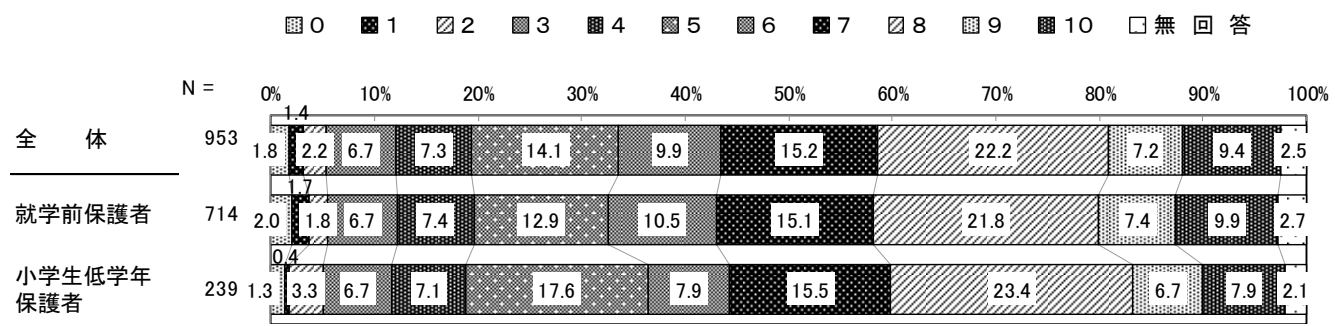
問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「6」～「10」が63.9%、「0」～「5」が33.5%で、「8」が22.2%、「5」と「7」が15%前後である。

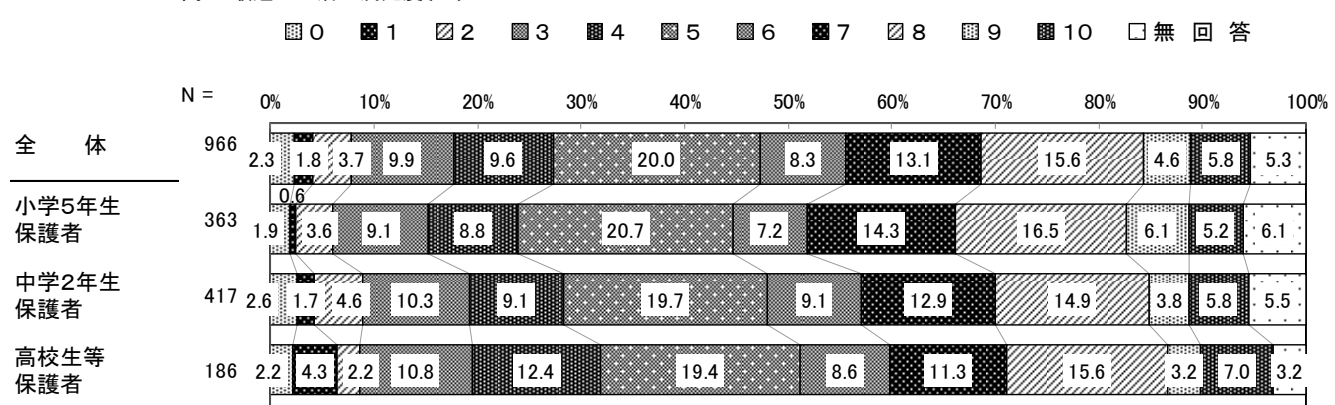
家計逼迫リスクのある回答者は、「6」～「10」が28.5%、「0」～「5」が68.6%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「6」～「10」が47.4%、「0」～「5」が47.3%で、「5」が20.0%、「7」と「8」が15%前後となっている。

問46最近の生活の満足度[%]



問31最近の生活の満足度[%]



## 2.7 子どもの育ちを取り巻く環境

### (1) 住まいのこと

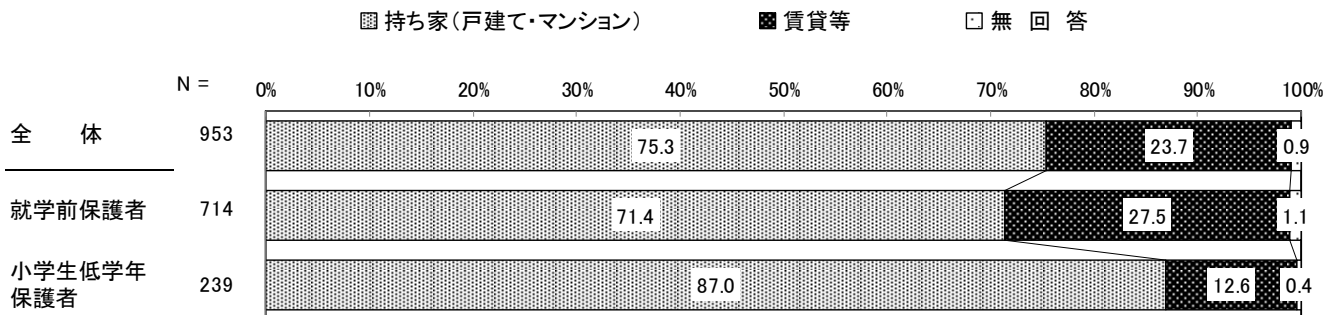
問 お住まいのことについてお伺いします。

就学前児童・小学生保護者全体では、「持ち家（戸建て・マンション）」が 75.3%と多く、「賃貸等」は 23.7%である。小学生保護者は、「持ち家（戸建て・マンション）」が 87.0%と多くなっている。

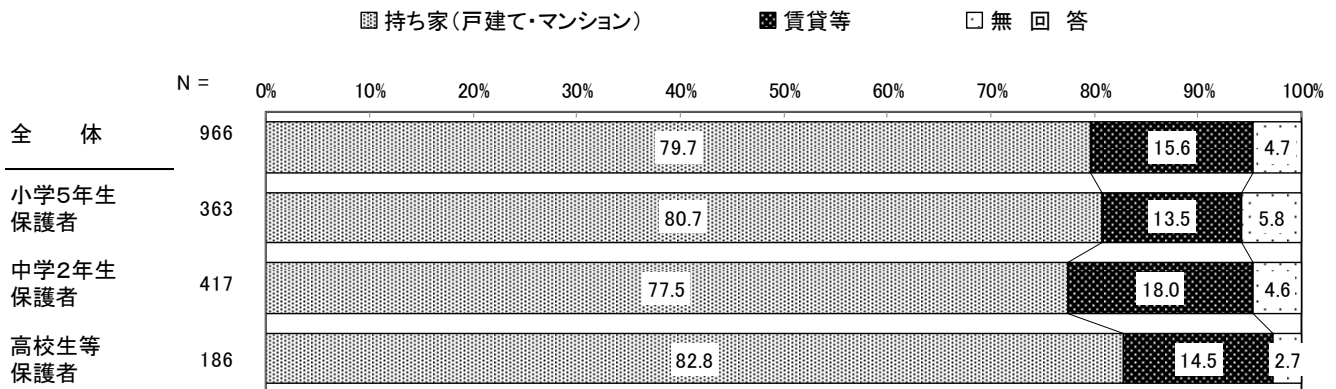
家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「持ち家（戸建て・マンション）」が 93.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「持ち家（戸建て・マンション）」が 79.7%と多く、「賃貸等」は 15.6%である。

問47住まい[%]



問32住まい[%]

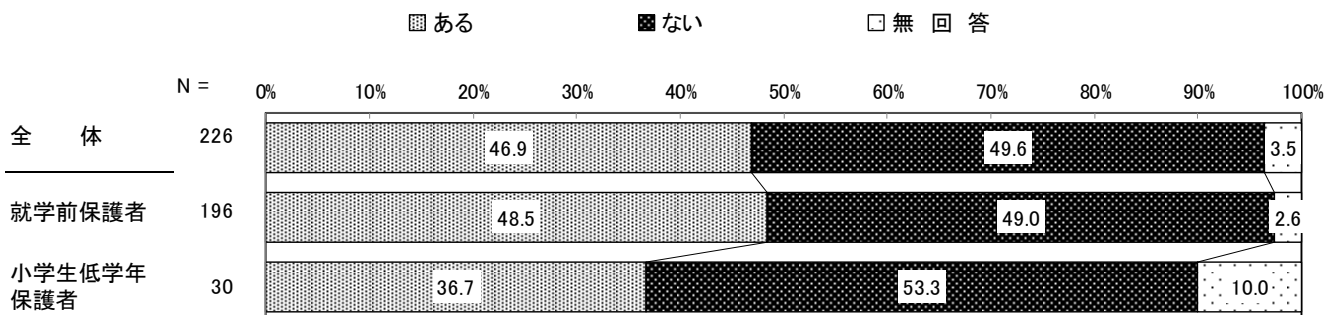


問 前問で「賃貸等」を選んだ場合、今後、持ち家を持つ予定はありますか。

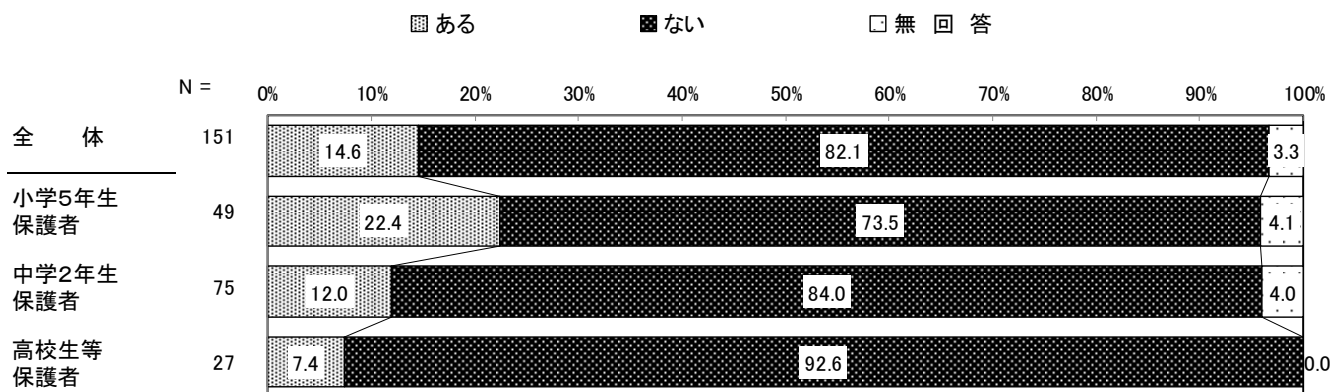
就学前児童・小学生保護者全体では、「ない」が 49.6%、「ある」が 46.9%と同程度である。就学前児童保護者は「ある」が 48.5%と小学生保護者の 36.7%より多くなっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「ない」が 82.1%。「ある」が 14.6%である。「ない」は年代が上がると多くなり、高校生等保護者は 92.6%となっている。

問48持ち家を持つ予定(希望)[%]



問33持ち家を持つ予定(希望)〔%〕

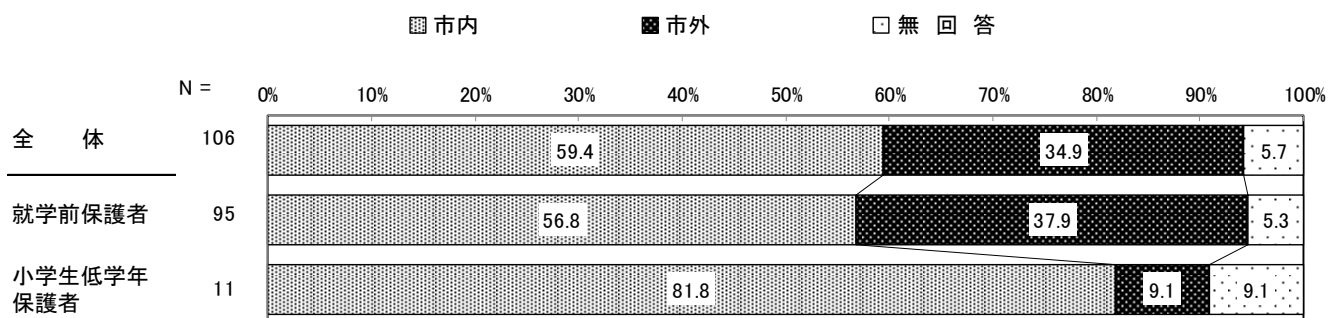


問 前問で「ある」を選んだ場合、どこを希望しますか。その理由をお書きください。

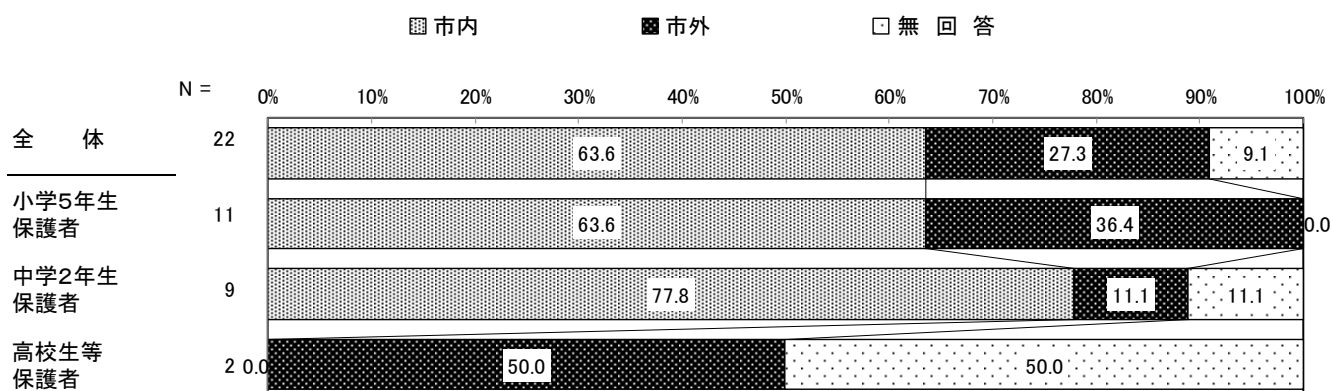
就学前児童・小学生保護者全体では、「市内」が 59.4%、「市外」が 34.9%である。回答数は少ないが、小学生保護者は「市内」が 81.8%となっている。市内に持ちたい理由は 76.2%、市外に持ちたい理由は 83.8%が「記入あり」となっており、内容としては、「市内」では「実家・地元のため」、「子どもの保育園・学校のため」など、「市外」では「実家・地元の近くを希望するため」、「転勤等、仕事の都合のため」などの意見がみられる。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「市内」が 63.6%、「市外」が 27.3%である。市内に持ちたい理由は 57.1%、市外に持ちたい理由は 66.7%が「記入あり」となっており、内容としては、「市内」では「学区内での居住を希望」などの意見がみられる。

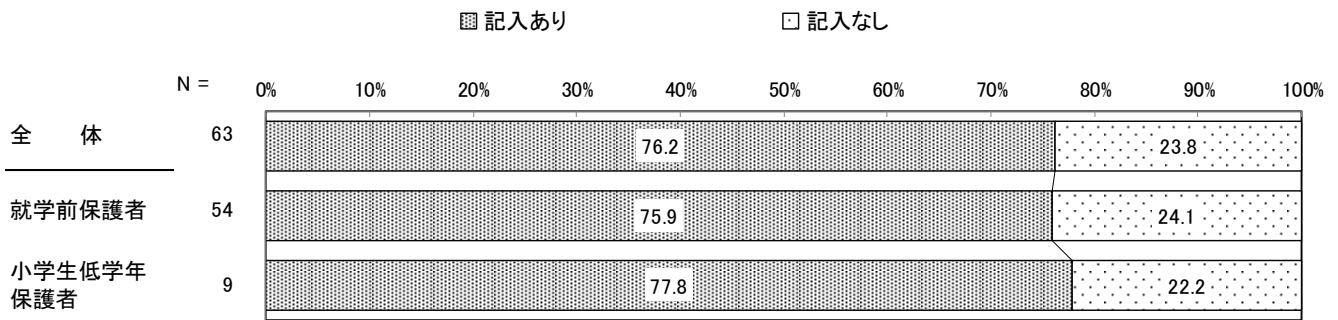
問49持家を持ちたい場所〔%〕



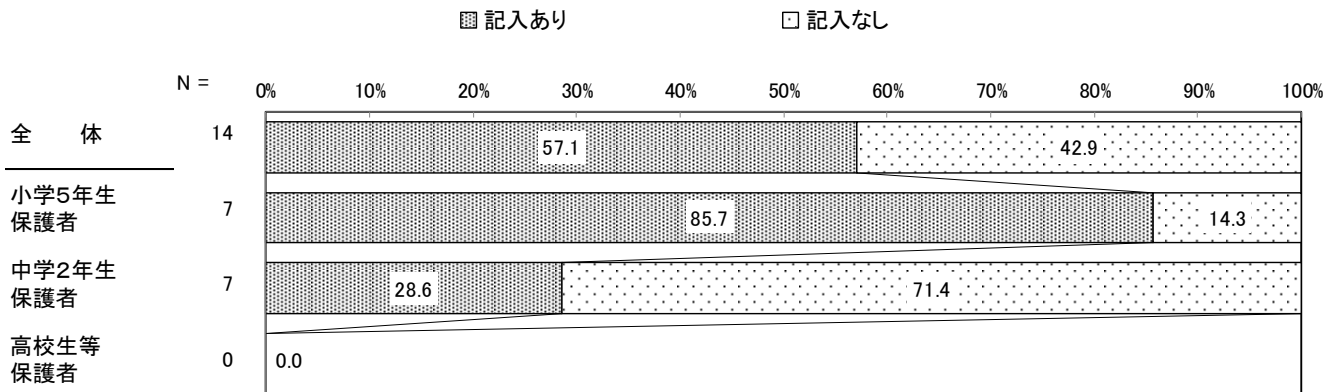
問34持家を持ちたい場所〔%〕



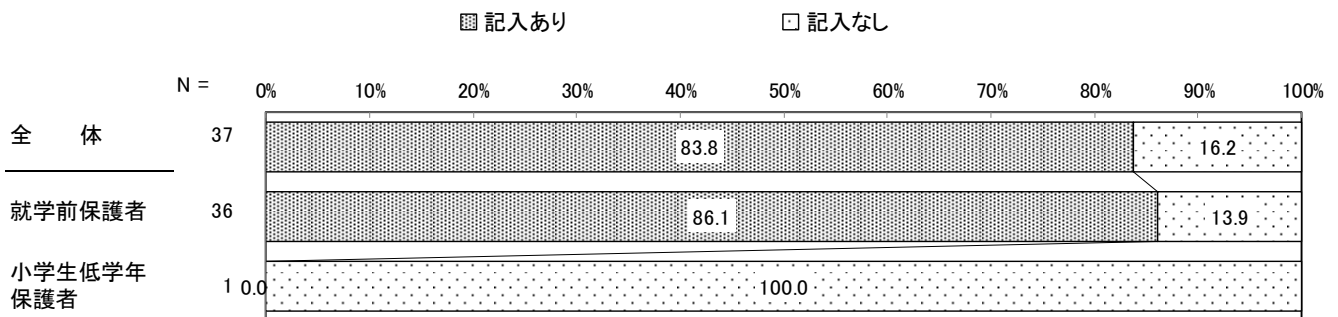
問49市内に持ちたい理由[%]



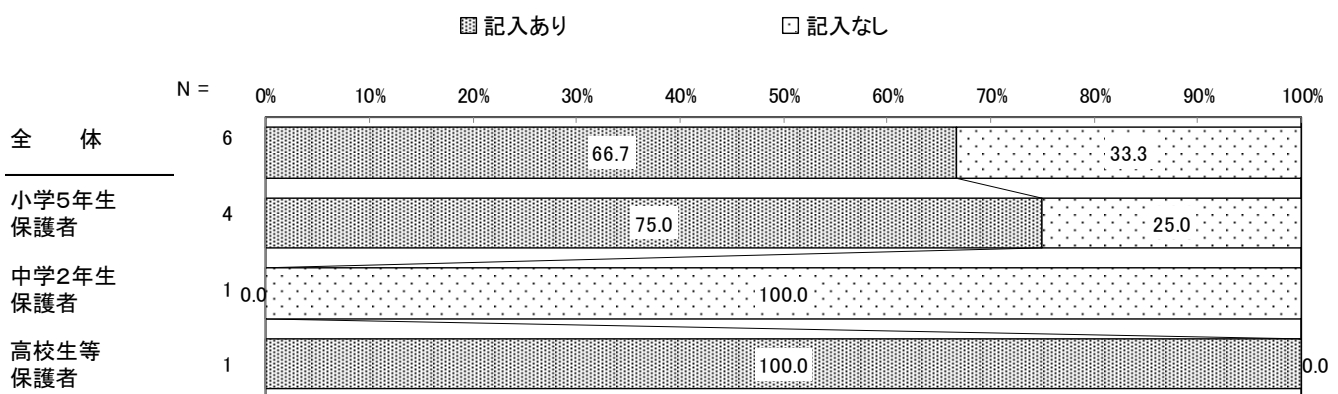
問34市内に持ちたい理由[%]



問49市外に持ちたい理由[%]



問34市外に持ちたい理由[%]



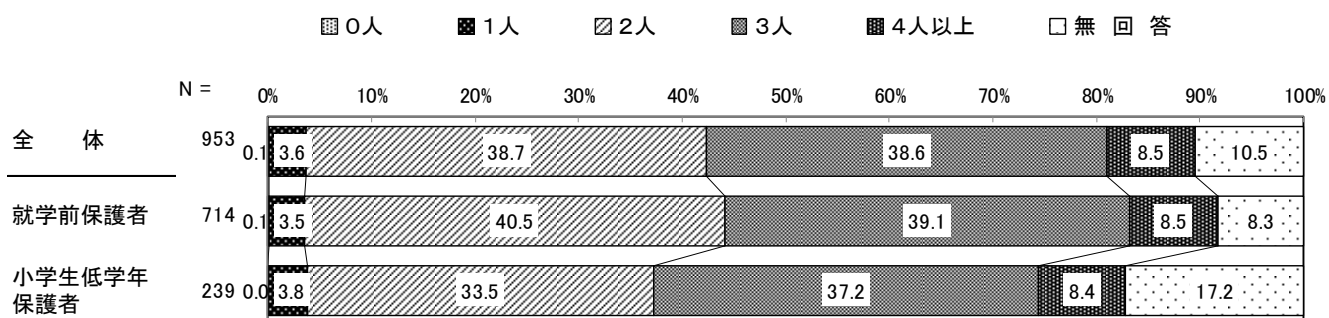
## (2)子どもをもつこと・子育て環境

問 理想の子ども数と予定の子ども数は何人ですか。

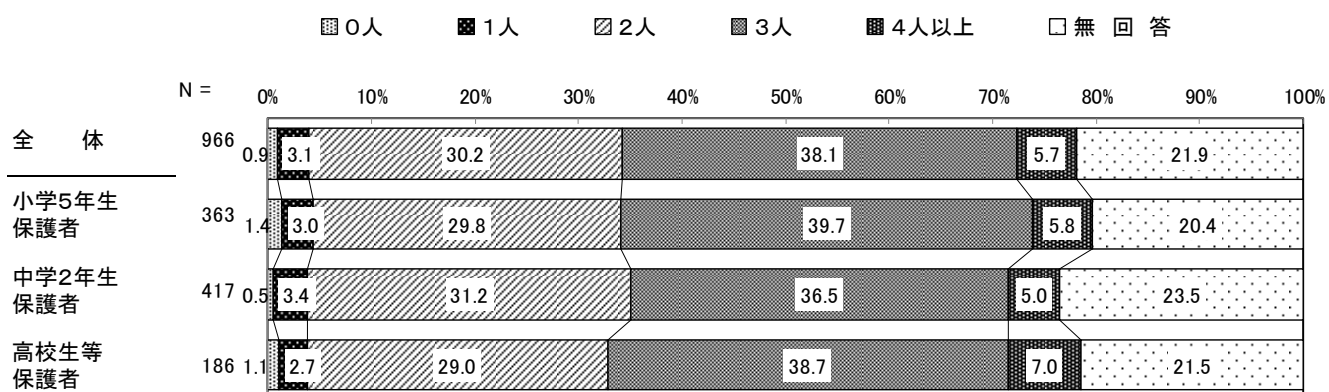
就学前児童・小学生保護者全体では、理想の子ども数は「2人」が38.7%、「3人」が38.6%と多く、平均2.6人、予定の子ども数は「2人」が43.2%、「3人」が21.5%で、平均2.1人である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者では、理想の子ども数は「3人」が38.1%、「2人」が30.2%と多く、平均2.6人、予定の子ども数は「2人」が32.4%、「3人」が19.4%で、平均2.0人である。

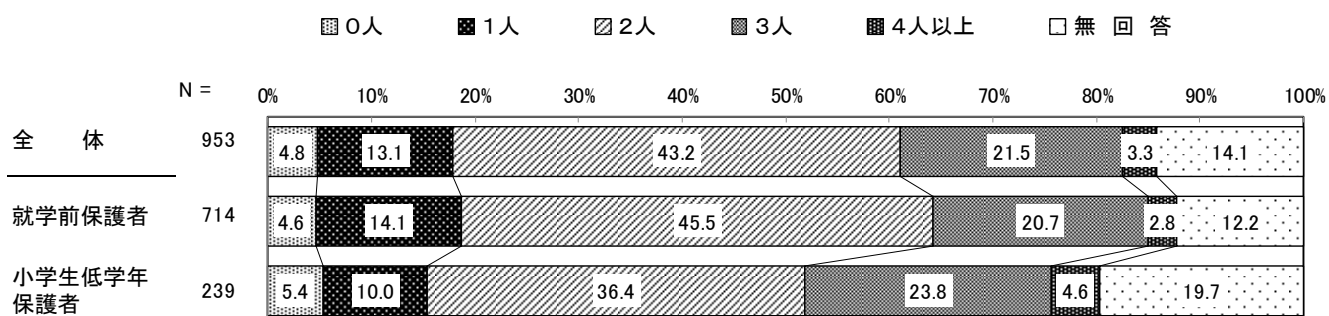
問50理想の子ども数[%]



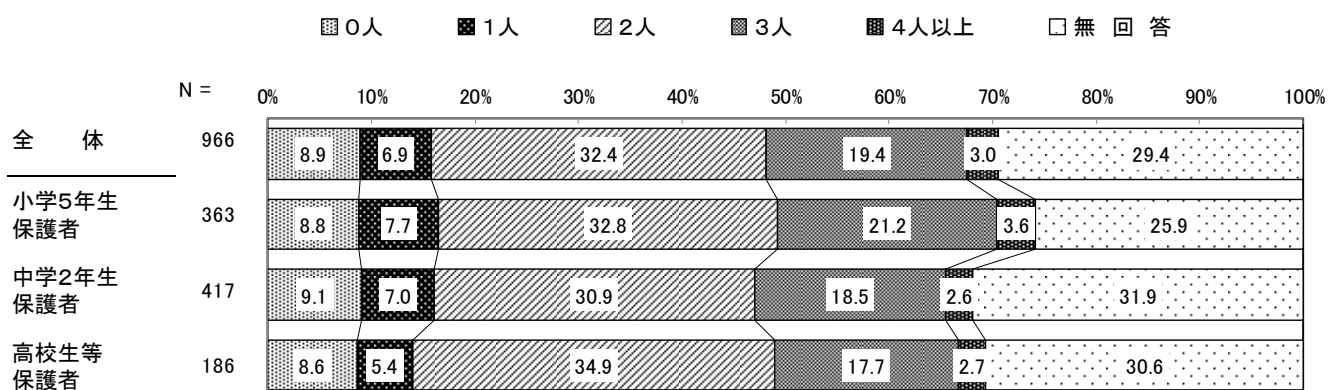
問35理想の子ども数[%]



問50予定の子ども数[%]



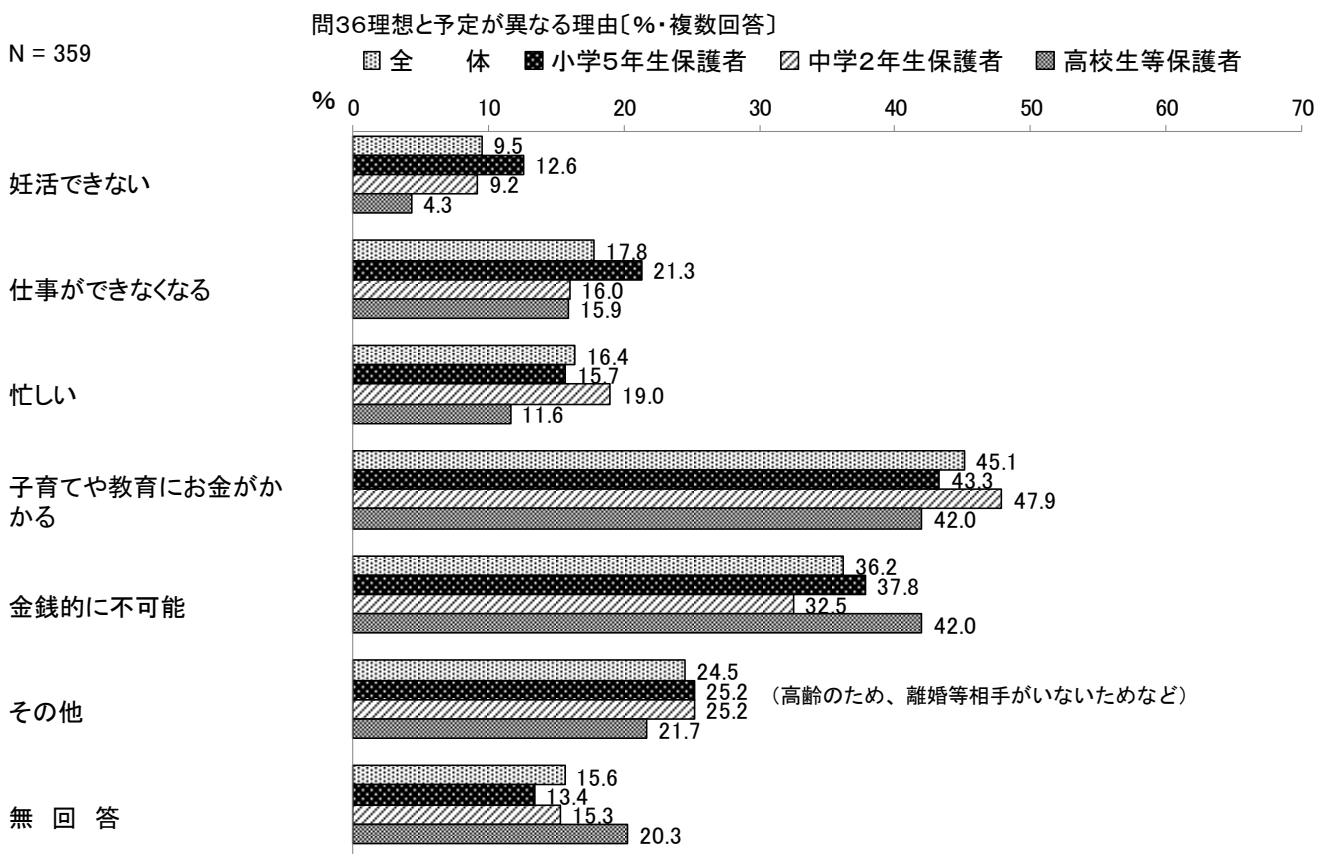
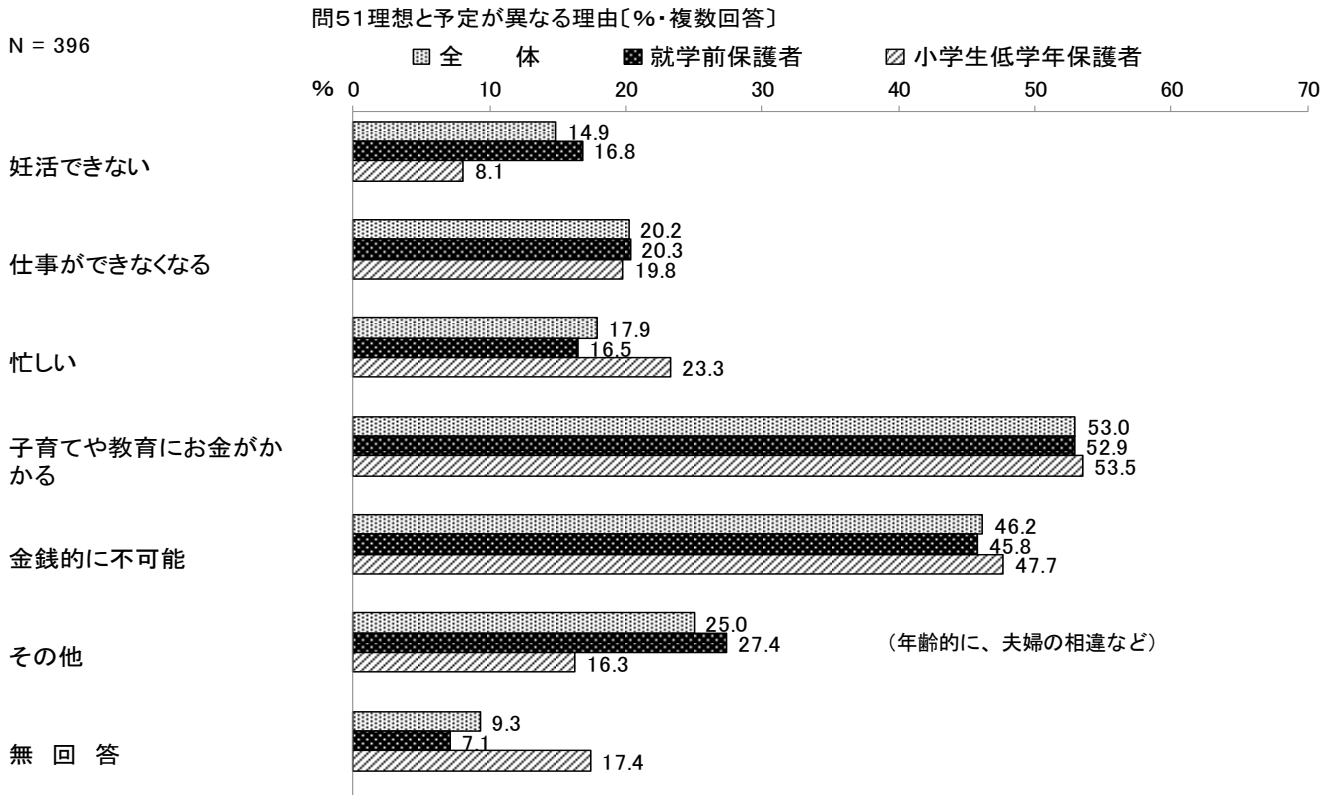
問35予定の子ども数[%]



問 前問で理想の子ども数と予定の子ども数が異なる場合、主な理由は何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「子育てや教育にお金がかかる」が 53.0%と多く、次いで「金銭的に不可能」が 46.2%、「仕事ができなくなる」が 20.2%、「忙しい」が 17.9%である。

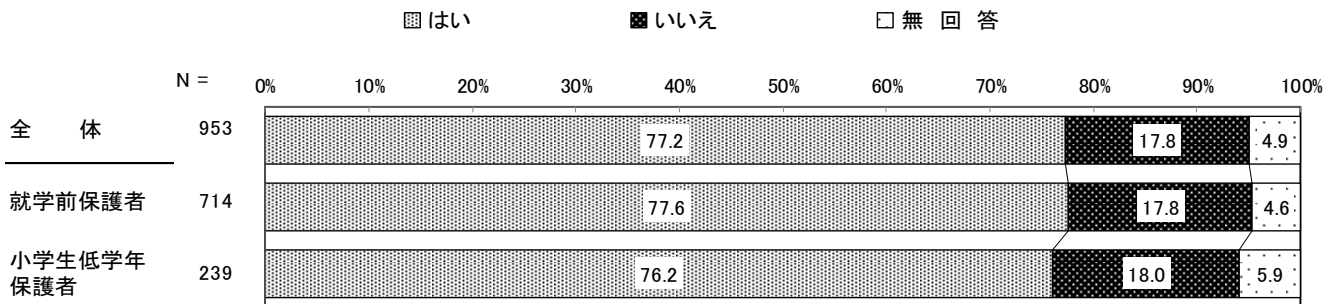
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「子育てや教育にお金がかかる」が 45.1%と多く、次いで「金銭的に不可能」が 36.2%、「仕事ができなくなる」が 17.8%、「忙しい」が 16.4%である。



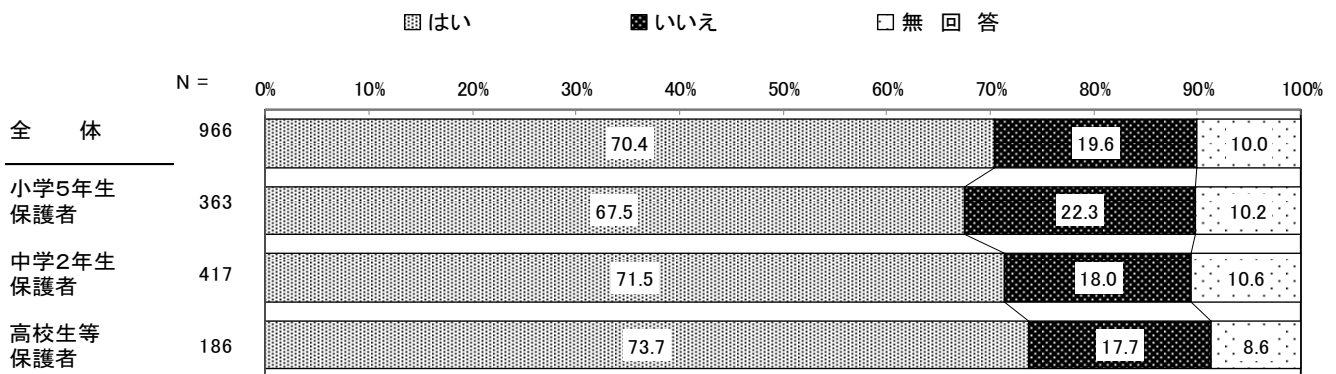
問 白河市で子育てを続けたいと思いますか。「いいえ」を選んだ方は理由をお書きください。

就学前児童・小学生保護者は、全体で 77.2%、小学5年生・中学2年生・高校生等保護者は、全体で 70.4%が「はい」と回答している。

問52白河市での子育ての継続意向[%]



問37白河市での子育ての継続意向[%]



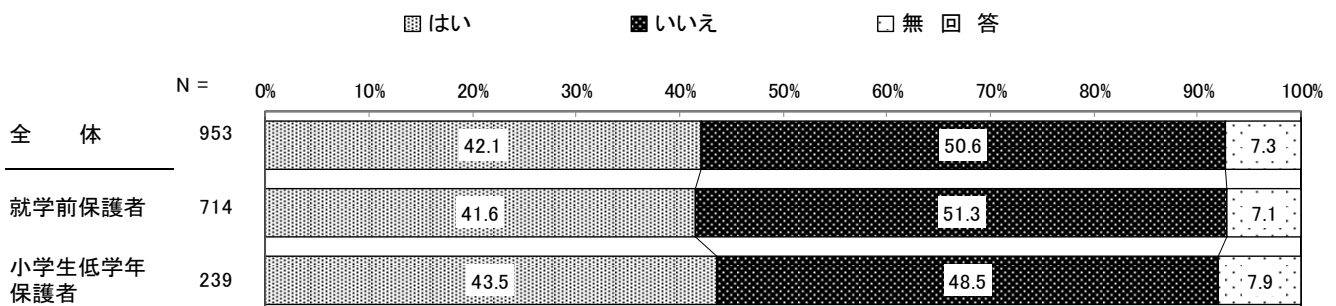
問 お子さんにも白河市に住んでほしいと思いますか。「いいえ」を選んだ方は理由をお書きください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「いいえ」が 50.6%、「はい」が 42.1%となっている。子どもに住んでほしいと思わない理由は、「記入あり」が 89.0%で、内容としては、「好きなのところに住んでほしいため」、「広い視野を持つため、出た方がよいと思うため」などの意見がみられる。

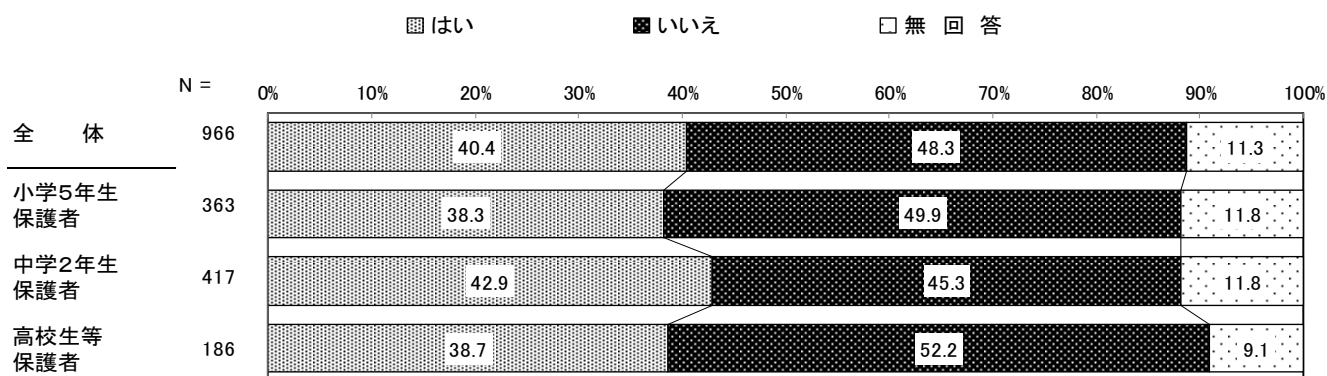
所得別では、低所得に該当する世帯で「はい」が 61.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「いいえ」が 48.3%、「はい」が 40.4%となっている。子どもに住んでほしいと思わない理由については、「記入あり」が 87.8%で、内容としては、「好きなのところに住んでほしいため」、「不便で住みにくいため」などの意見がみられる。

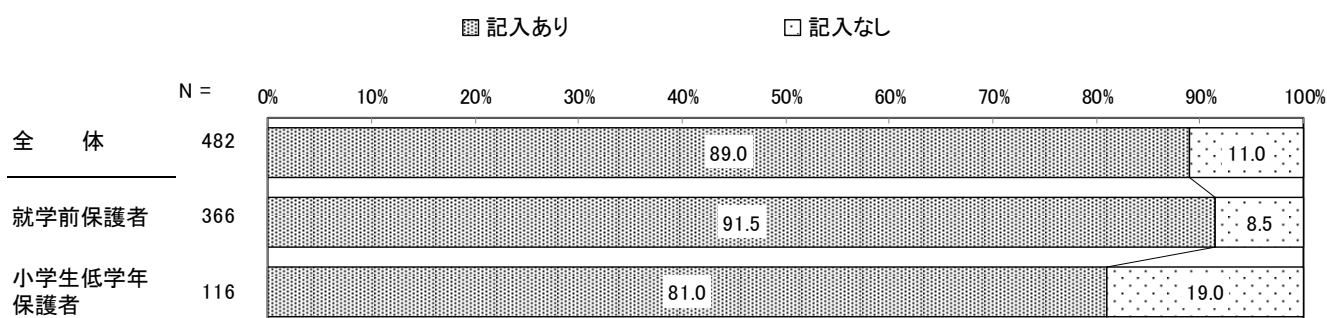
問53子どもに白河市に住んでほしいと思う[%]



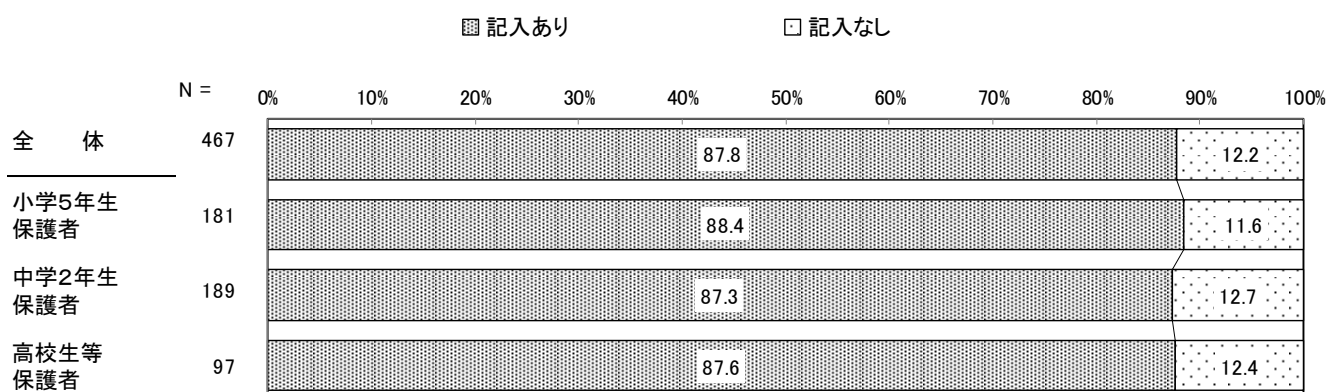
問38子どもに白河市に住んでほしいと思う[%]



問53子どもに住んでほしいと思わない理由[%]



問38子どもに住んでほしいと思わない理由[%]



### (3)子育て支援施策

問 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「子どもの就学に係る費用の軽減」が 64.8%と多く、次いで「子どもの塾代・受験料への支援」が 48.2%、「職場環境の整備について企業へ働きかけ」が 29.1%、「学習支援の充実」が 28.9%、「子どもの医療費の軽減の充実」が 23.2%となっている。

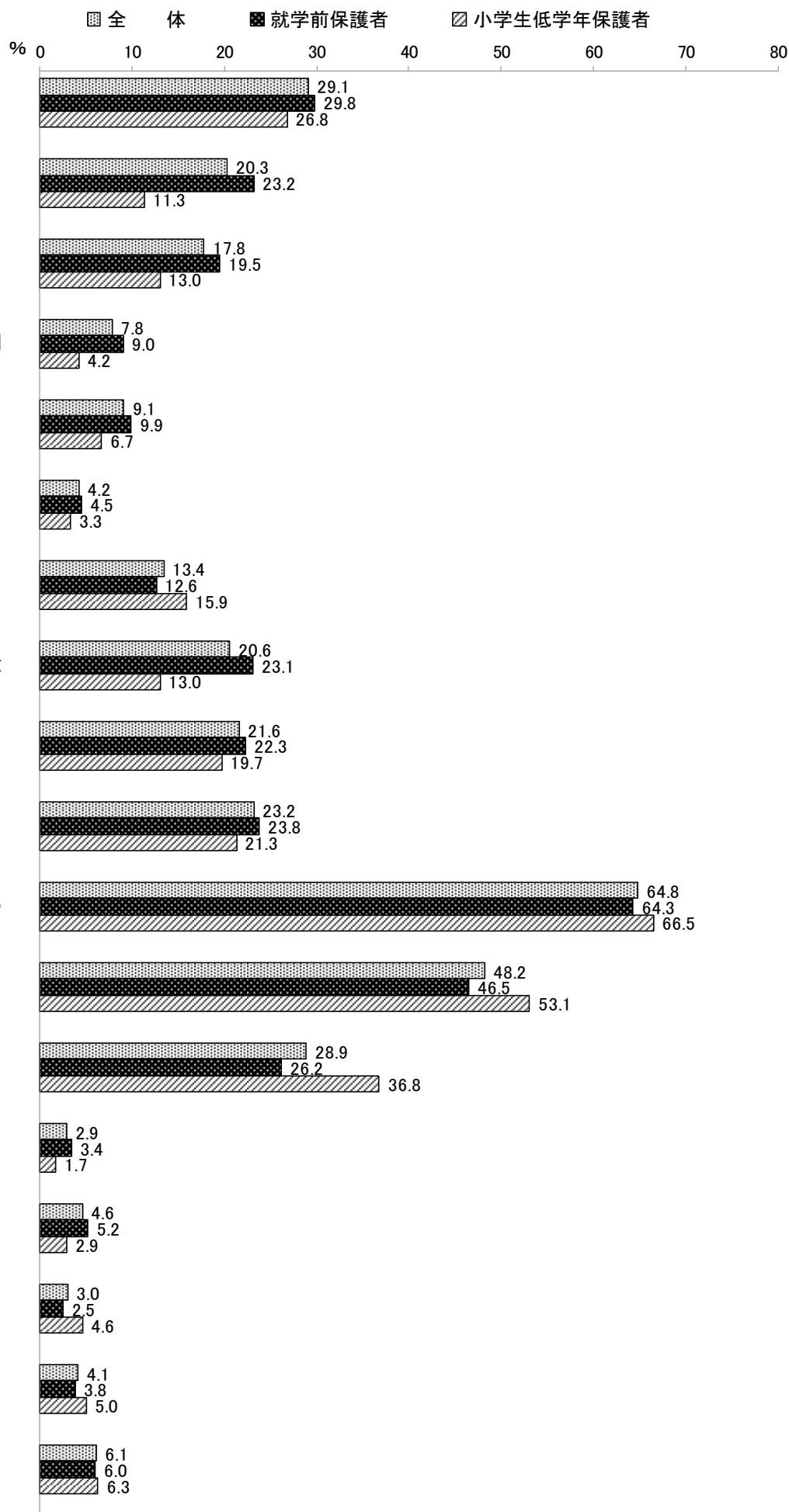
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「再就職のための支援」が 38.6%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「子どもの就学に係る費用の軽減」が 60.5%と多く、次いで「子どもの塾代・受験料への支援」が 51.1%、「学習支援の充実」が 32.8%、「子どもの医療費の軽減の充実」が 22.2%、「職場環境の整備について企業へ働きかけ」が 18.3%となっている。



問54充実を希望する子育て支援サービス[%・複数回答]

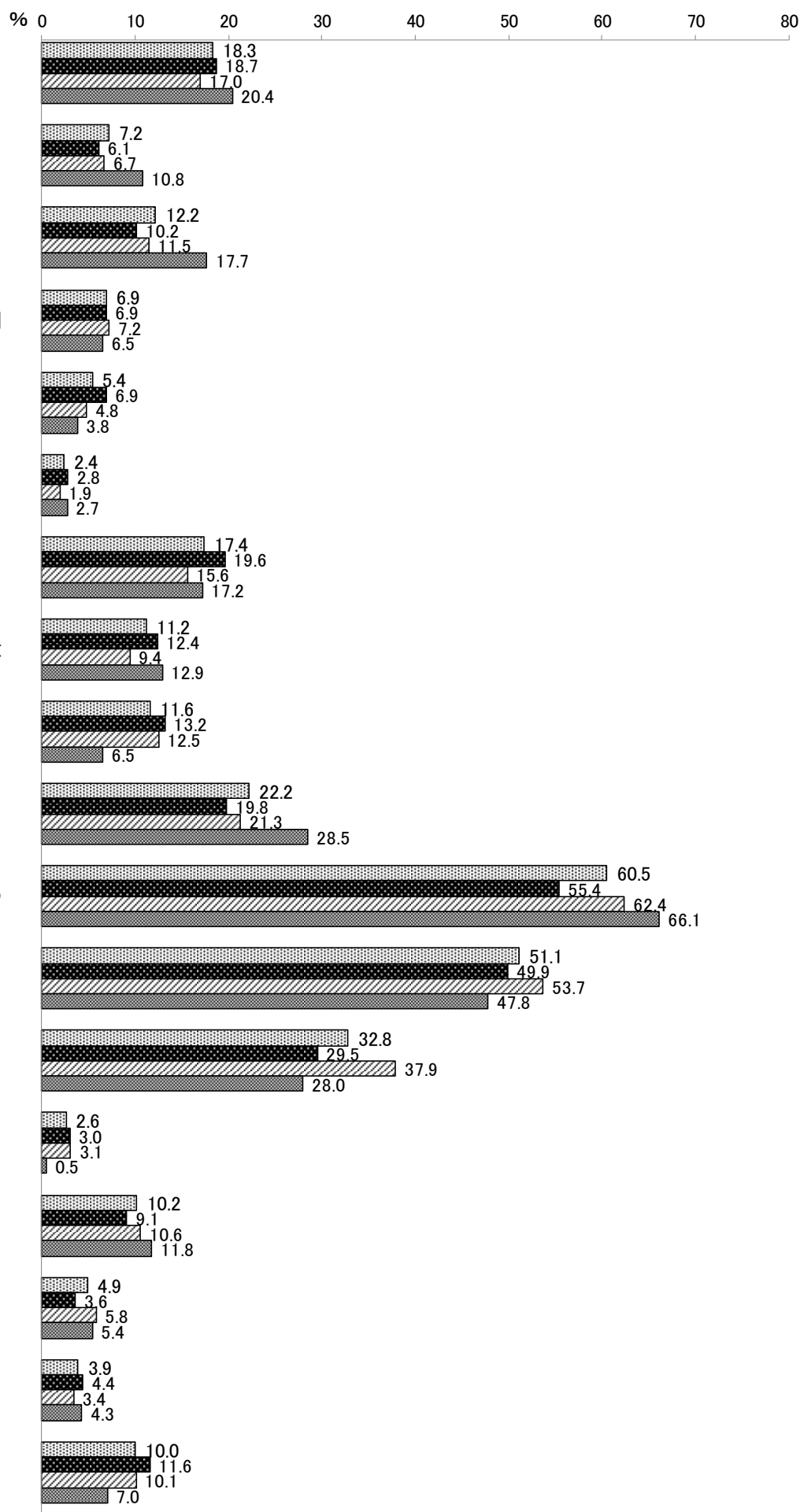
N = 953



問39充実を希望する子育て支援サービス[%・複数回答]

N = 966

■ 全体 ■ 小学5年生保護者 ■ 中学2年生保護者 ■ 高校生等保護者

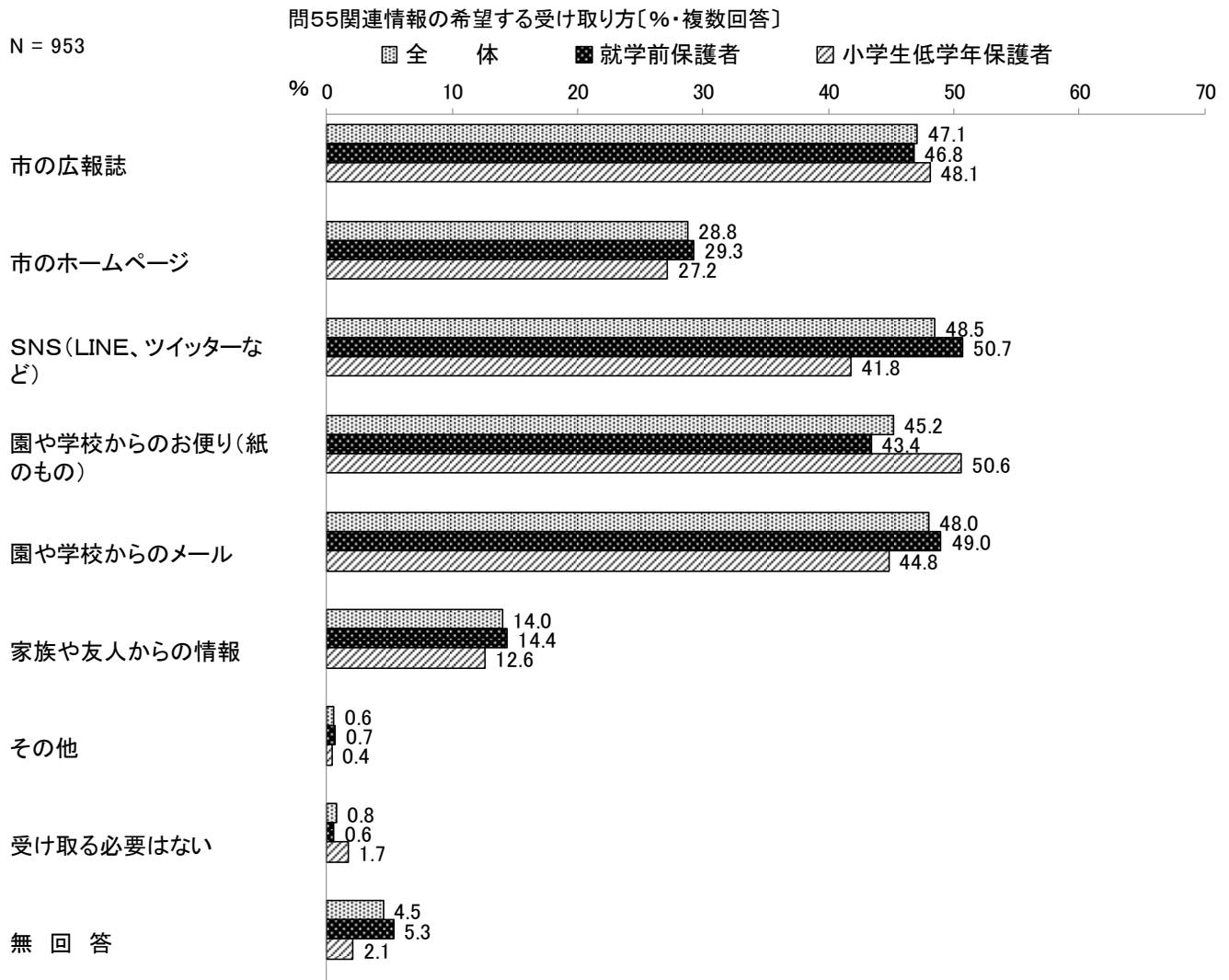


問 あなたは、子どもに関する施策等の情報を、今後、どのような方法で受け取りたいですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「SNS（LINE、ツイッターなど）」が 48.5%、「園や学校からのメール」が 48.0%、「市の広報誌」が 47.1%、「園や学校からのお便り（紙のもの）」が 45.2%と多くなっている。

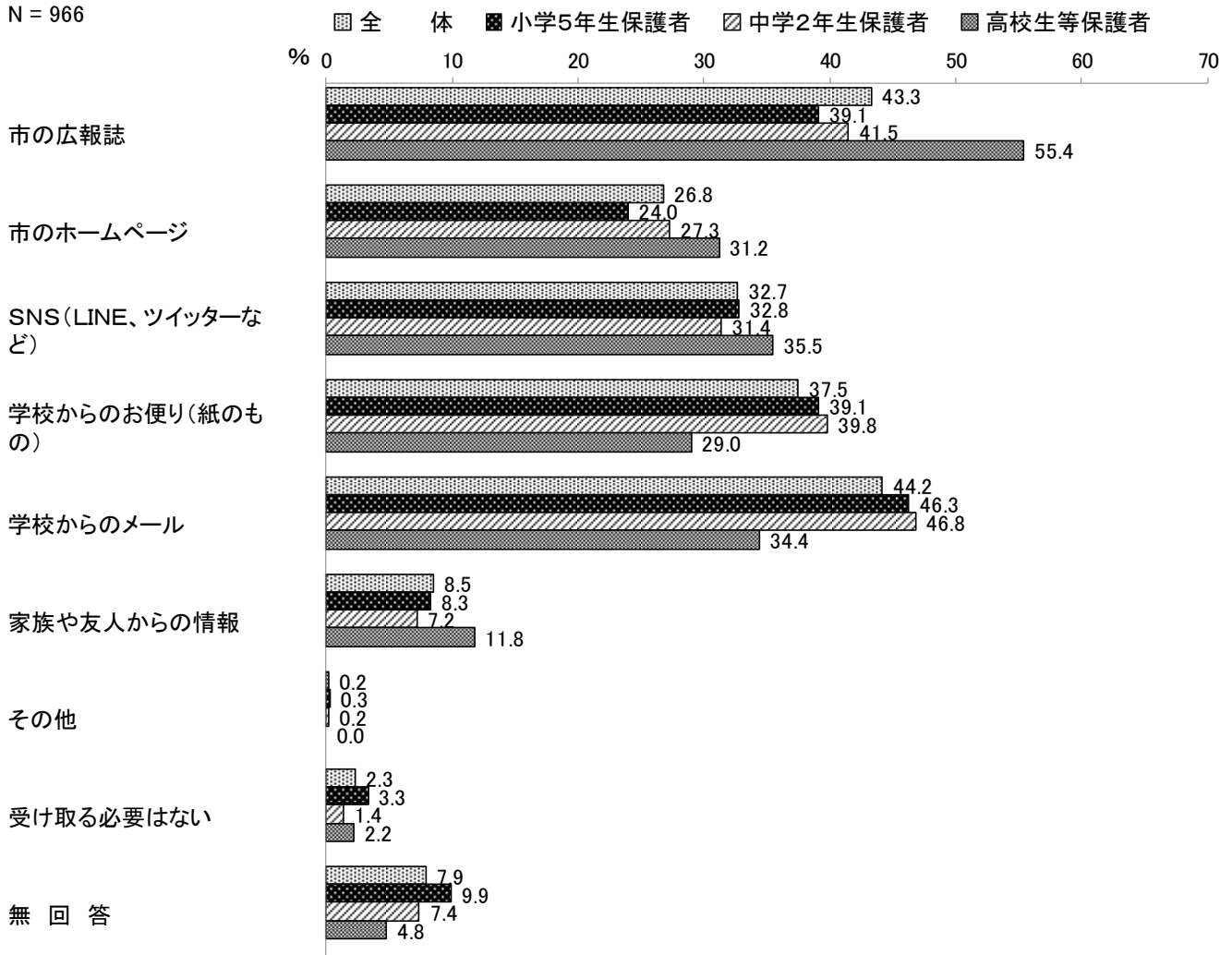
所得別では、低所得に該当する世帯で「園や学校からのお便り（紙のもの）」が 57.7%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「学校からのメール」が 44.2%、「市の広報誌」が 43.3%、「学校からのお便り（紙のもの）」が 37.5%、「SNS（LINE、ツイッターなど）」が 32.7%と多くなっている。



問40関連情報の希望する受け取り方〔%・複数回答〕

N = 966

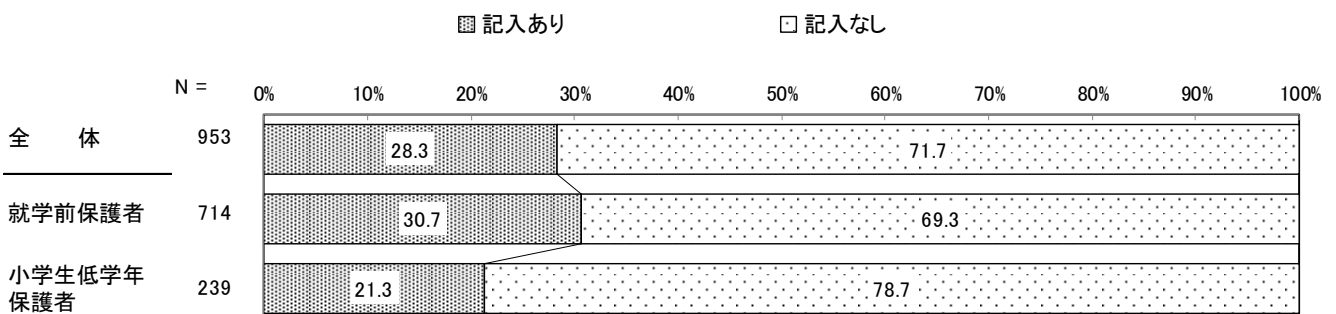


問 市の子育てについて感じていることやご意見がございましたら、自由にお書きください。

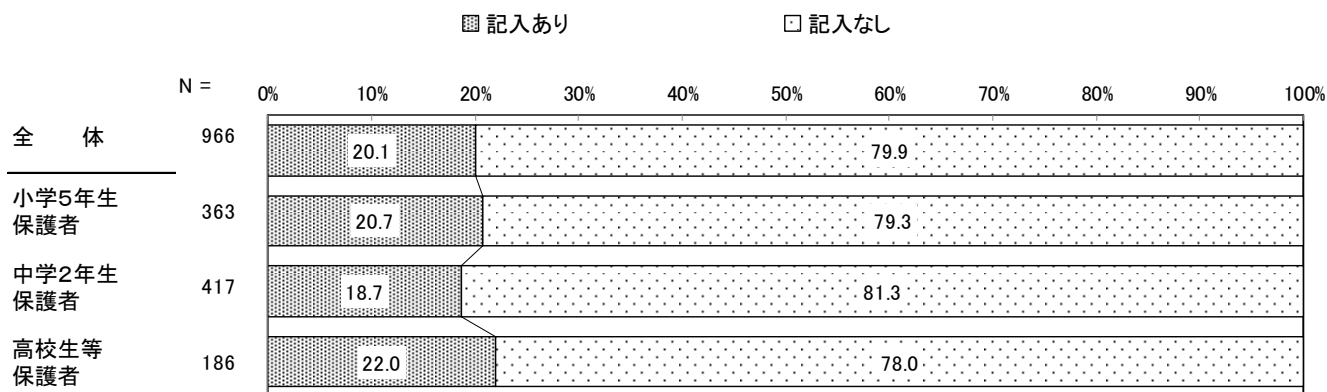
就学前児童・小学生保護者全体で 28.3%、小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体で 20.1%の記入があった。

就学前児童保護者の主な意見は「経済的支援に関すること」「公園・施設に関すること」「保育園・幼稚園のこと」など、小学生保護者の主な意見は「経済的支援に関すること」「学校・児童クラブのこと」など、小学5年生保護者の主な意見は「経済的支援に関すること」「公園・施設に関すること」など、中学生保護者の主な意見は「経済的支援に関すること」「不登校等心の相談に関すること」など、高校生等保護者の主な意見は、「経済的支援に関すること」「若者が住みたくなるような環境づくりに関すること」などであった。

問56自由意見〔%〕



問41自由意見〔%〕



就学前児童保護者

順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること 給食の無償化を実現してほしい。インフル予防接種代の補助をしてほしい。出産時や健診でもらえるクーポンを子ども用品で何にでも使えるようにしてほしい。3歳以下の保育料の無償化をしてほしい。給付金が少しでもあると助かる。	68
	公園・施設に関すること 親子で遊べる公園が少ない。地域に小さい公園の設備をしてほしい。大型の屋内遊び場がほしい。室内遊技場をもう少し充実させてほしい。水遊び場がほしい。	
2位	保育園・幼稚園のこと 保育園の預かり時間では正職員で仕事を続けることが難しかった。保育園の通知をもっと早くしてほしい。幼稚園を給食にしてもらえると負担が減るので、検討してほしい。	19
	学校・児童クラブのこと 小学校の合併を検討願いたい。学区の見直しを検討してほしい。児童クラブの受け入れ基準を広げてほしい。児童クラブをもう少し利用しやすいようにしてほしい。祖母がいても学童でみんなと過ごさせてもらいたい。	
3位	健診に関すること 子どもの健診時間がいつも昼からで困っている。午前中の枠もつくってほしい。子どもの健診時間がちょうどお昼寝時間と被っているので、ぐずってしまい毎回大変である。子どもの健診の時、待ち時間が長すぎるのがどうにかならないのか。	15
	公園・施設に関すること 小学校高学年でも自由に使用できる室内体育館などがほしい。白河市の施設(市民プールや体育館)が古いので修繕したり建て直しを考えてほしい。白河市は公園も少なく、若い人が遊びに行くところもないので遊びに行く時は皆市外に行く。	

小学生保護者

順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること 給食費、就学にかかる費用の無償化をお願いしたい。近隣自治体が給食費無料となっている中、白河市は遅れている。子どもの医療費がかからないのはとても助かっている。市町村によって給食費が無料だったり漢検等の受験料の支援があったりと耳にする。	18
	学校・児童クラブのこと 子どもが通っている学童保育が3年生までで、4年生からは利用できなくなってしまう。児童クラブ利用の拡充を切に希望する。4年生から児童クラブを利用できず月8,000円かかる民間施設を利用せざるを得ない。白一小を早く新しくしてほしい。	
2位	情報の発信・提供に関すること 自分で調べないと何もわからない事が多く、案内などが無い。放課後デイサービスの情報が何もわからない。子育てについてどんな支援があるのかわかりづらい。支援や施策が整っていても、それが周知されなければ意味がないと思う。産後にある定期健診などでお知らせしてもらいたい。	5
	公園・施設に関すること 小学校高学年でも自由に使用できる室内体育館などがほしい。白河市の施設(市民プールや体育館)が古いので修繕したり建て直しを考えてほしい。白河市は公園も少なく、若い人が遊びに行くところもないので遊びに行く時は皆市外に行く。	

小学5年生保護者

順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること	29
	子どもが沢山いる家庭についてはもう少し援助してほしい。白河市は、どうして給食費が無料にならないのだろう。インフルエンザワクチンの助成がとっても助かった。高校無償化にしてほしい。教育面で支援できるものは支援してほしい。	
2位	公園・施設に関すること	8
	幼児向けの遊び場(屋内)はあるのに、小学生向けの施設がない。子どもが遊べる公園や広場をもっと多くしてほしい。高学年の子ども達の遊べる場所があまりない。サッカーを習っているが、白河の環境が悪すぎる。	
3位	預かり・児童クラブのこと	7
	部活後、学童もなく(高学年で入れず)待っている場所があると安心である。児童クラブをせめて小学校のうちには利用したい。保育園の預り時間が厳しすぎる。母親が休めるような施設があると良いと思う。	
4位	学校や先生に関すること	6
	同じ市内でも学校の“質”の違いを感じる事があった。学区以外の学校にも通えるようにしてほしい。小学校の若い先生方の教育をしっかりとしてほしい。子どもをどなったりするのではなく、褒めてほしい。	
5位	アンケートのこと	5
	こういうアンケートは必要ないと思う。こういったアンケートをするが、この10年で目に見えて良くなったと感じることはない。アンケートばかりとっているが、何か変わるのか。	

中学生保護者

順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること	34
	給食費の無償化。高校の無償化。子育て支援金の金額を上げてほしい。中学・高校生への支援が少ない。教育費用の支援(塾代や進学への援助)を充実させてほしい。検定(英検・数検・漢検)全ての小中学生受験料が無料の市町村もある。	
2位	不登校等心の相談に関すること	8
	子どもが不登校になっている家庭への支援。特別な支援を必要とする子のピックアップを早めに行い、個に応じた学習が受けられるよう働き続けることが必要。子どもの心に寄り添う専門的な場所がもっとあると思う。思春期の子ども心の支援を充実させてほしい。	
3位	学校や先生に関すること	7
	学区の縛りが大きい。小学生の下校は、保護者の迎えというのも良いかと。朝の学校を開ける時間を早く、帰りも18:00頃までは学校で待てる環境をつくってほしい。先生のレベルの低さが目立ってきている。中学生の荷物が多すぎる。	
4位	公園・施設に関すること	6
	高校のプールが使えない。市のプールを開設してほしい。スポーツ施設をもっと充実させるべき(プールを充実させるなど)。白河市のサービスや公共施設は劣って見えてしまう。児童館の充実。子どもが安心して遊ぶことのできる施設や公園などを増やしてほしい。	
5位	交通・道路のこと	5
	スクールゾーンの確保をしてほしい。大信地区は何かと不便である。子どもの通学や買い物も車で行かないといけない。学校から家が遠い子ども達がいるため、スクールバスなど出してほしい。釜子地区は交通の便が悪い。	

高校生保護者

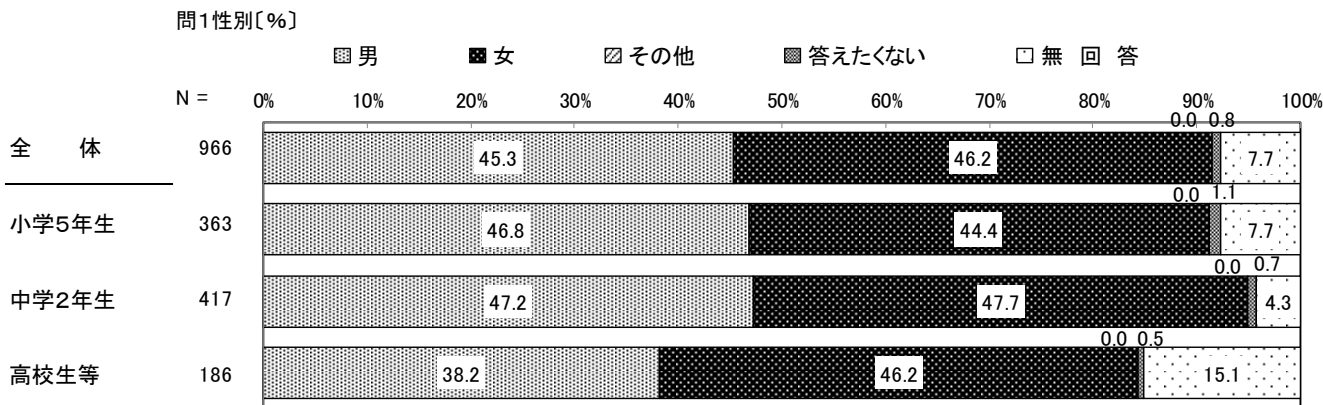
順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること	13
	小中学での費用の無料化。医療費が18歳まで無料なのはとても助かった。給食費を無料にするなど、他の市町村の取組みを真似してほしい。子ども手当はいらないので、その分給食費や学校の教材費、修学旅行の積み立て等を無料にしてほしい。	
2位	若者が住みたいような環境づくりに関すること	5
	大学卒業後に就職するところが白河市にはあまりないので、なかなか若者が白河に戻ってこない。高校を卒業して進学したら白河市からいなくなることを前提に進路を考えるのが嫌である。白河市に他から移住したいと思えるような政策であったり、企業(賃金が良い)の誘致であったり魅力がないと今後ますます過疎化が進んでしまう。	
3位	交通・道路のこと	4
	白河市内は道路整備、街灯、バスの台数など充実しているが、表郷地区は取り残されたかのように何もしてくれていない。通学路の安全性をもう少し向上させてほしい。通学路の安全整備を訴えてきたが、16年程経過してやっと実施されたので、自分の子どもの通学時に間に合わなかったのが残念である。	
3位	支援の公平性に関すること	4
	子どもがもらうべき手当は親の所得に関係なく子ども達に平等に与えてほしい。子どもは3人いるが年が離れているため、給食費や児童クラブ等の多子世帯対象の支援は受けられなかった。共働きに対する支援を平等にしてほしい。両親がいても所得が少ない世帯の支援がもう少しあっても良いと思う。	

### 3. 子ども本人調査

#### 3.1 子どもと家庭の状況

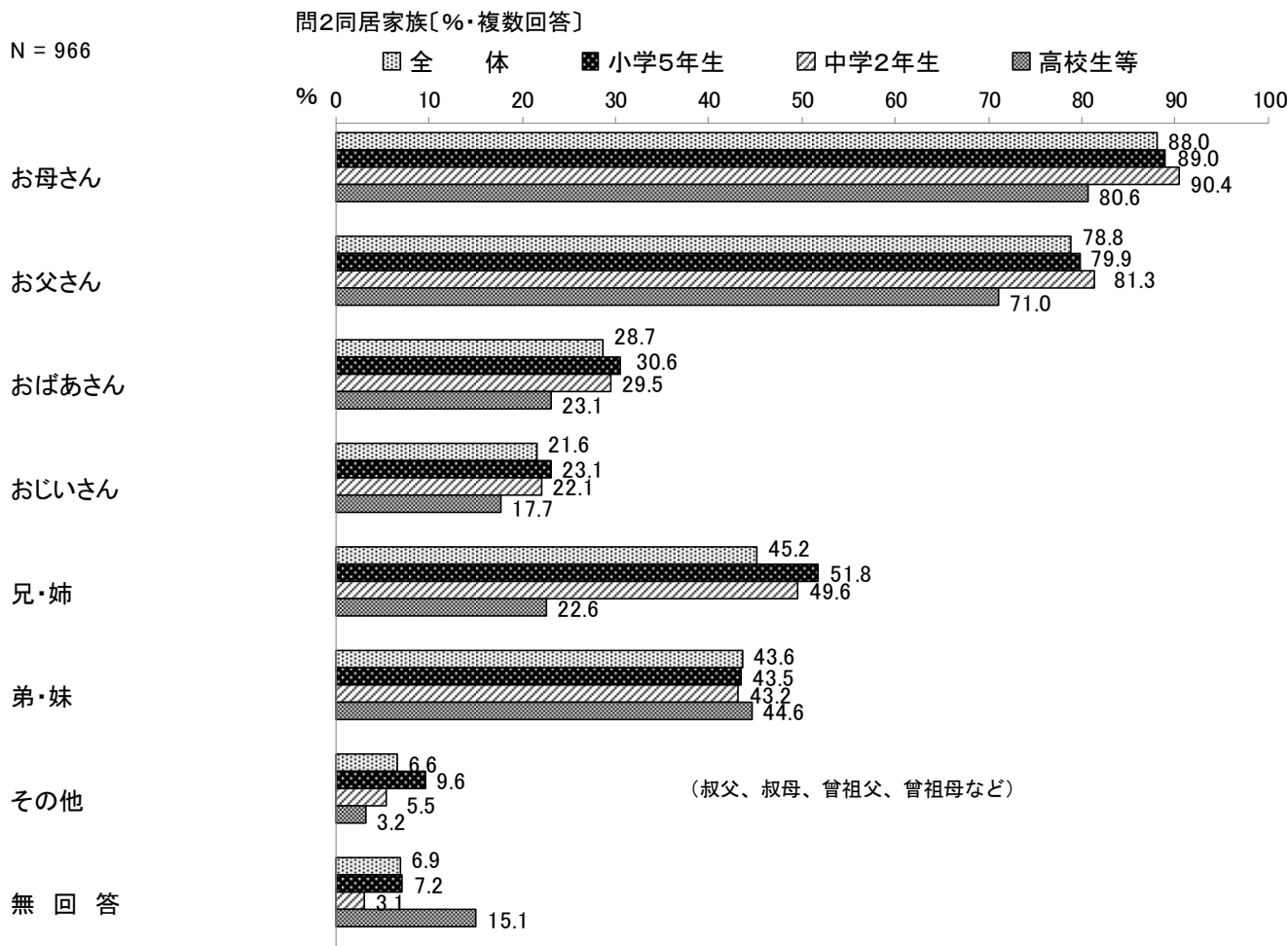
問 あなたの性別を教えてください。

全体では、「女」が46.2%、「男」が45.3%と同程度である。高校生等は「男」が38.2%と少なくなっている。

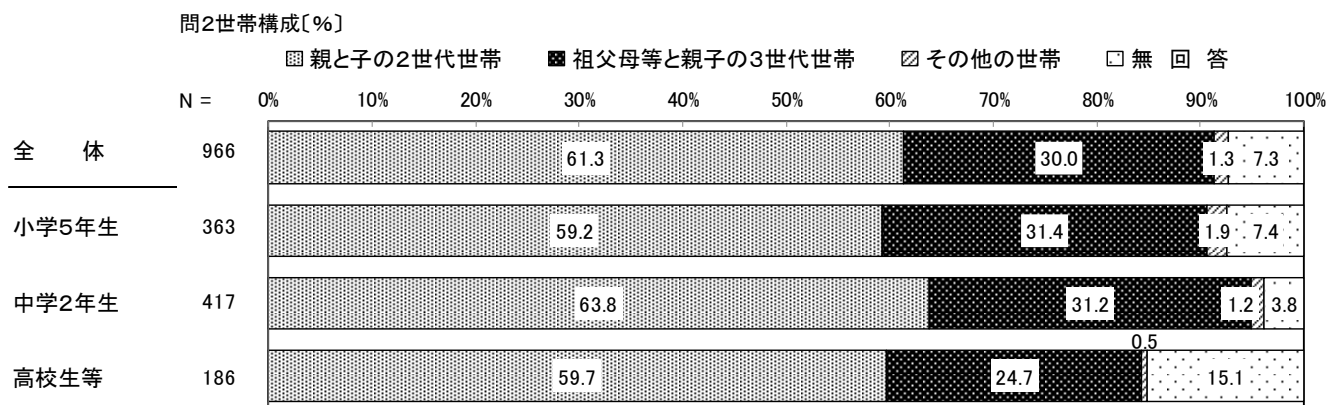


問 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。

同居家族は、全体で「お母さん」が88.0%、「お父さん」が78.8%、「兄・姉」が45.2%、「弟・妹」が43.6%、「おばあさん」が28.7%、「おじいさん」は21.6%である。高校生等は「兄・姉」が22.6%と他の年代より少なくなっている。

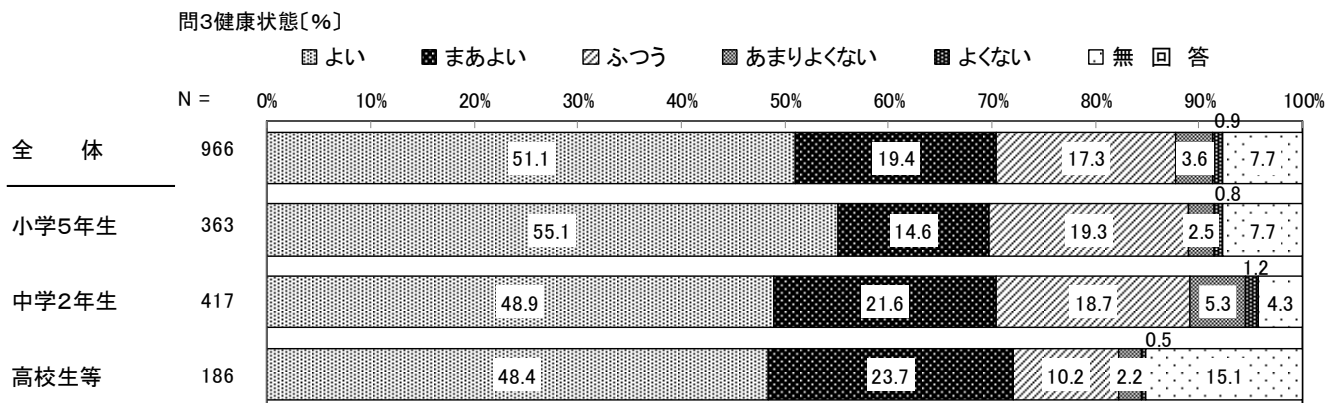


世帯構成は、「親と子の2世代世帯」が61.3%と多く、「祖父母等と親子の3世代世帯」が30.0%である。



問 あなたの健康状態について教えてください。

全体では、『よい』（「よい」と「まあよい」の計）が70.5%と多く、「ふつう」が17.3%、『よくない』（「あまりよくない」と「よくない」の計）が4.5%である。



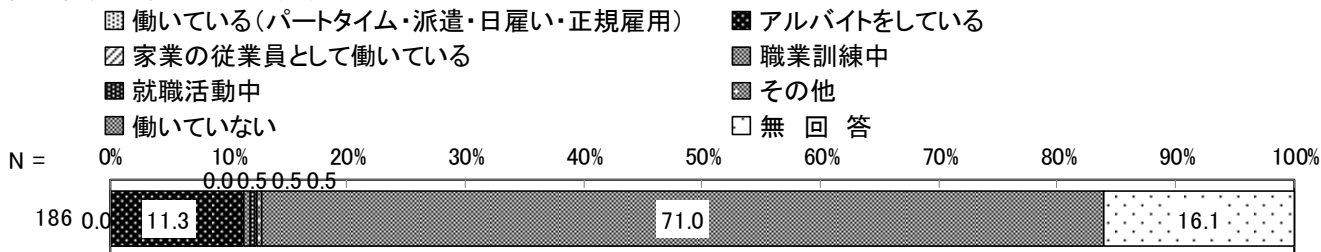


### 3.2 通学や学校でのこと・勉強のことなど

問 あなたは、現在働いていますか。(高校生等のみ)

「働いていない」が71.0%、「アルバイトをしている」が11.3%である。  
生活困窮別では、困窮家庭で「アルバイトをしている」が30.8%となっている。

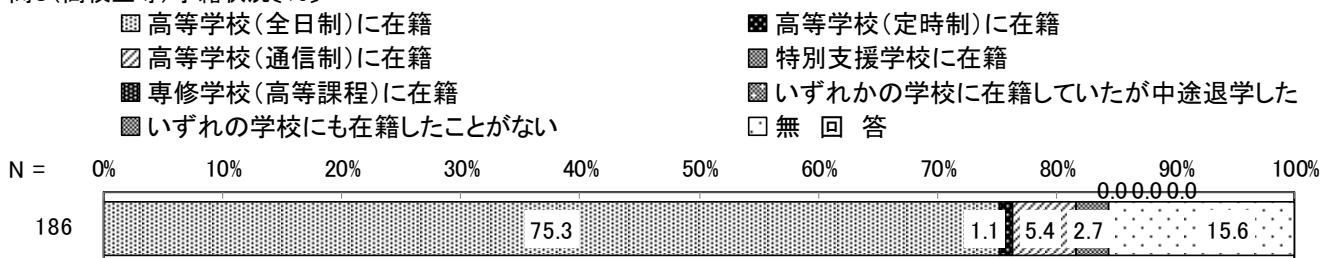
問4(高校生等)就業状況[%]



問 あなたは、現在学校に在籍していますか。(高校生等のみ)

「高等学校(全日制)に在籍」が75.3%となっている。  
所得別では、低所得に該当する世帯で「高等学校(全日制)に在籍」が63.2%となっている。

問5(高校生等)学籍状況[%]

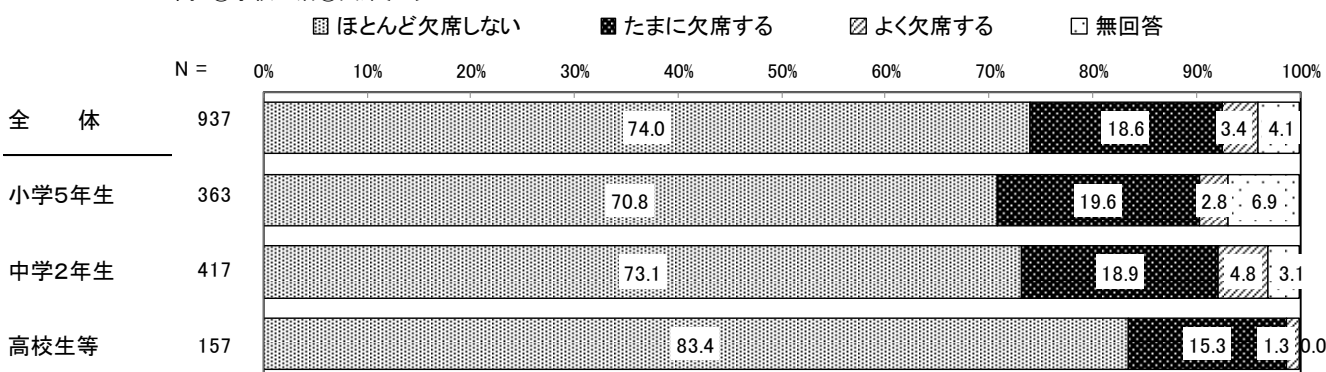


問 学校に在籍している人にお聞きします。学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

①欠席について

全体では、「ほとんど欠席しない」が74.0%で、「たまに欠席する」が18.6%、「よく欠席する」は3.4%である。高校生等は「ほとんど欠席しない」が80%を超えている。  
保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「ほとんど欠席しない」が64.0%となっている。  
生活困窮別では、困窮家庭で「ほとんど欠席しない」が56.1%となっている。

問4①学校生活①欠席[%]

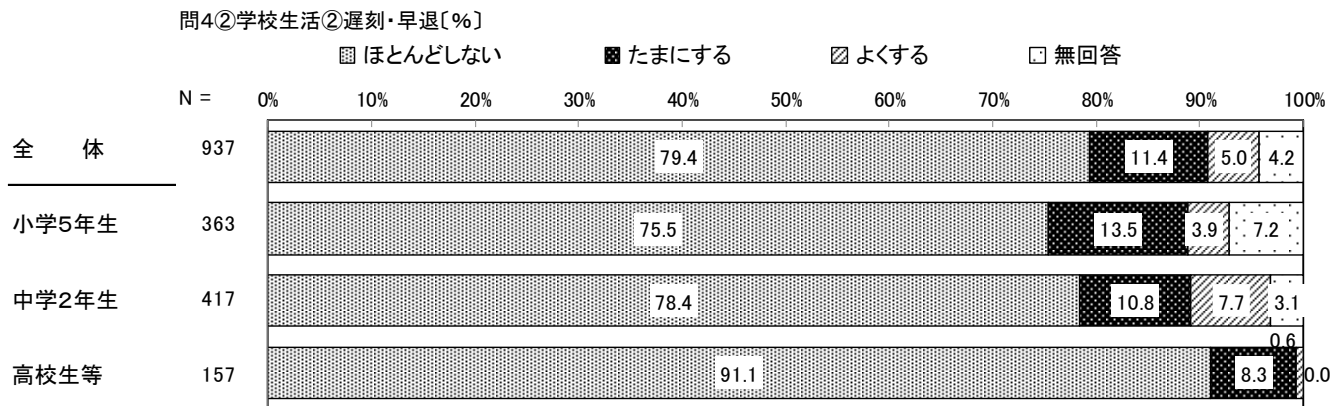


## ②遅刻や早退について

全体では、「ほとんどしない」が79.4%、「たまにする」が11.4%、「よくする」は5.0%である。高校生等は「ほとんどしない」が90%を超えている。

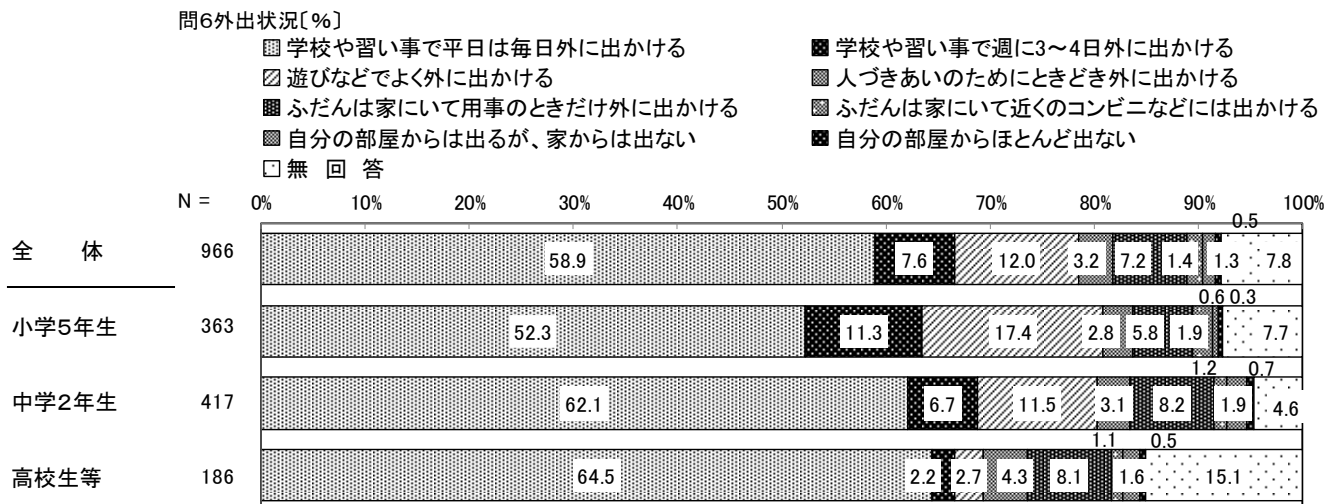
生活困窮別では、困窮家庭で「ほとんどしない」が63.2%となっている。

健康状態別では、「よい」と回答した人で「ほとんどしない」が89.9%、「あまりよくない」と回答した人で60.0%となっている。



## 問 あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。

全体では、「学校や習い事で平日は毎日外に出かける」が58.9%と多く、「遊びなどでよく外に出かける」が12.0%、「学校や習い事で週に3～4日外に出かける」が7.6%、「ふだんは家において用事の時だけ外に出かける」が7.2%である。中学2年生と高校生等は「学校や習い事で平日は毎日外に出かける」が60%を超えている。



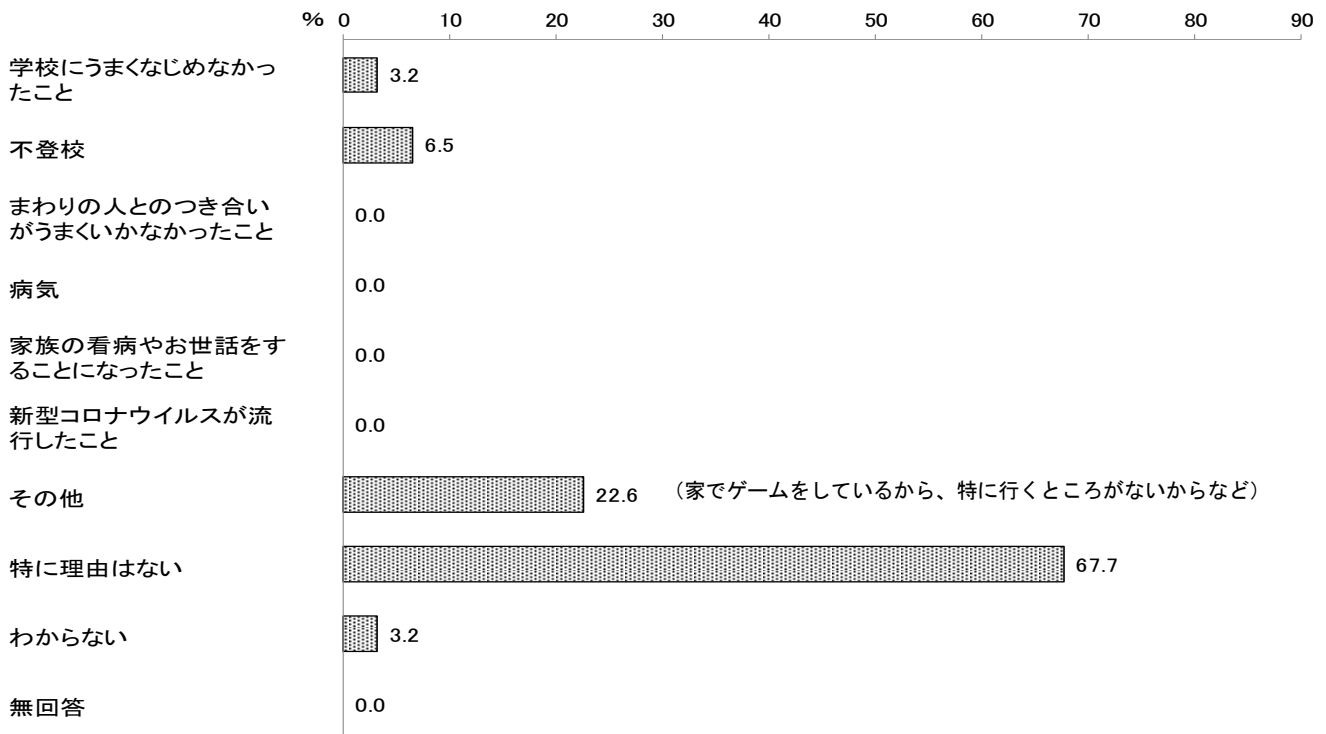
## 問 前問で「ふだんは家において用事の時だけ外に出かける」、「ふだんは家において近くのコンビニなどには出かける」、「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」、「自分の部屋からほとんど出ない」と答えた人にお聞きします。あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。

小学5年生は、「特に理由はない」が67.7%と多く、「不登校」6.5%、「学校にうまくなじめなかったこと」と「わからない」がともに3.2%となっている。

中学2年生・高校生等は、全体では「特に理由はない」が59.2%、「まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと」が19.7%、「学校にうまくなじめなかったこと」が16.9%である。中学2年生で「学校にうまくなじめなかったこと」が20.0%となっている。

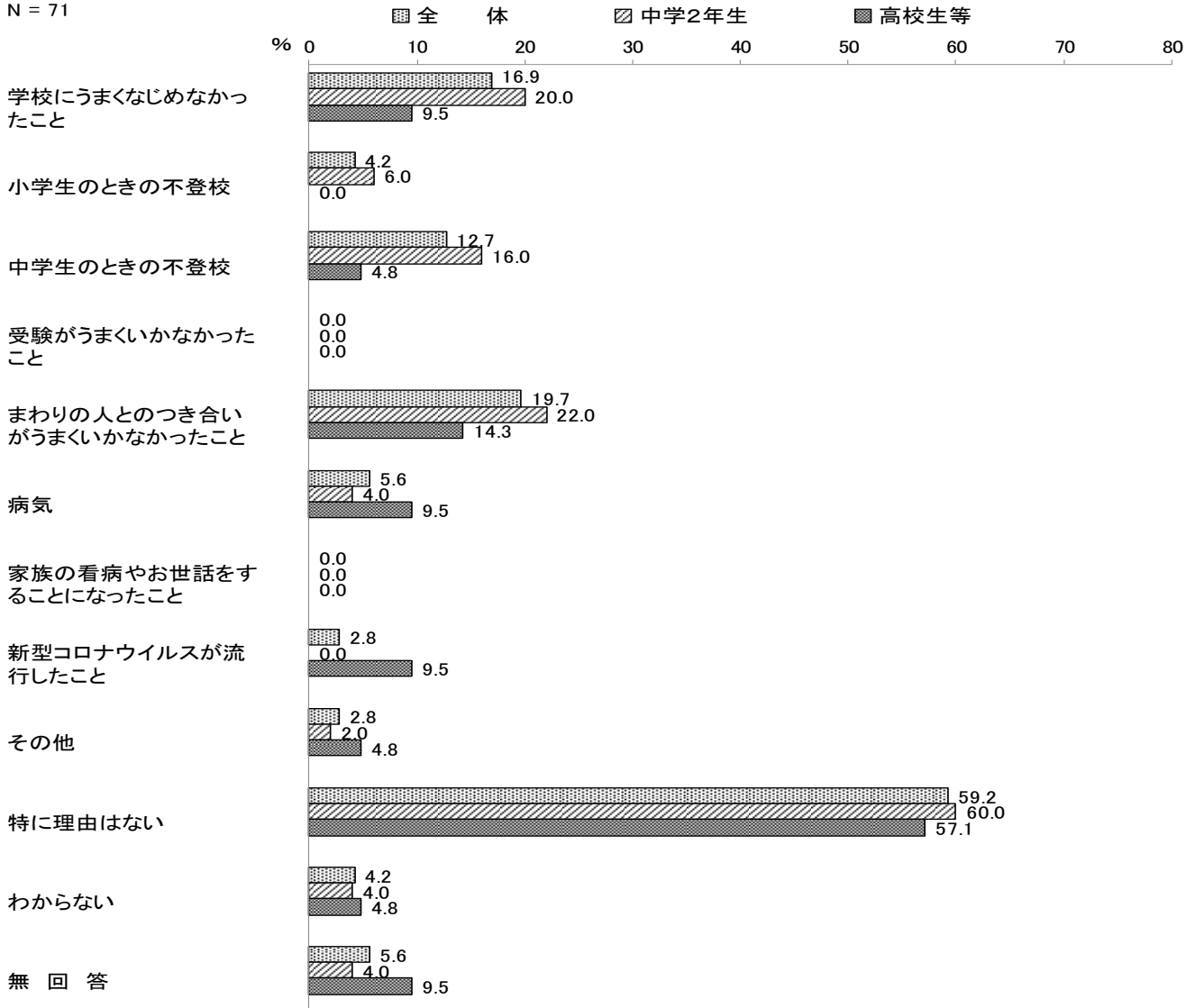
問5-1小学生・理由〔%・複数回答〕

N = 31



問6-1現在の外出状況になった理由〔%・複数回答〕

N = 71

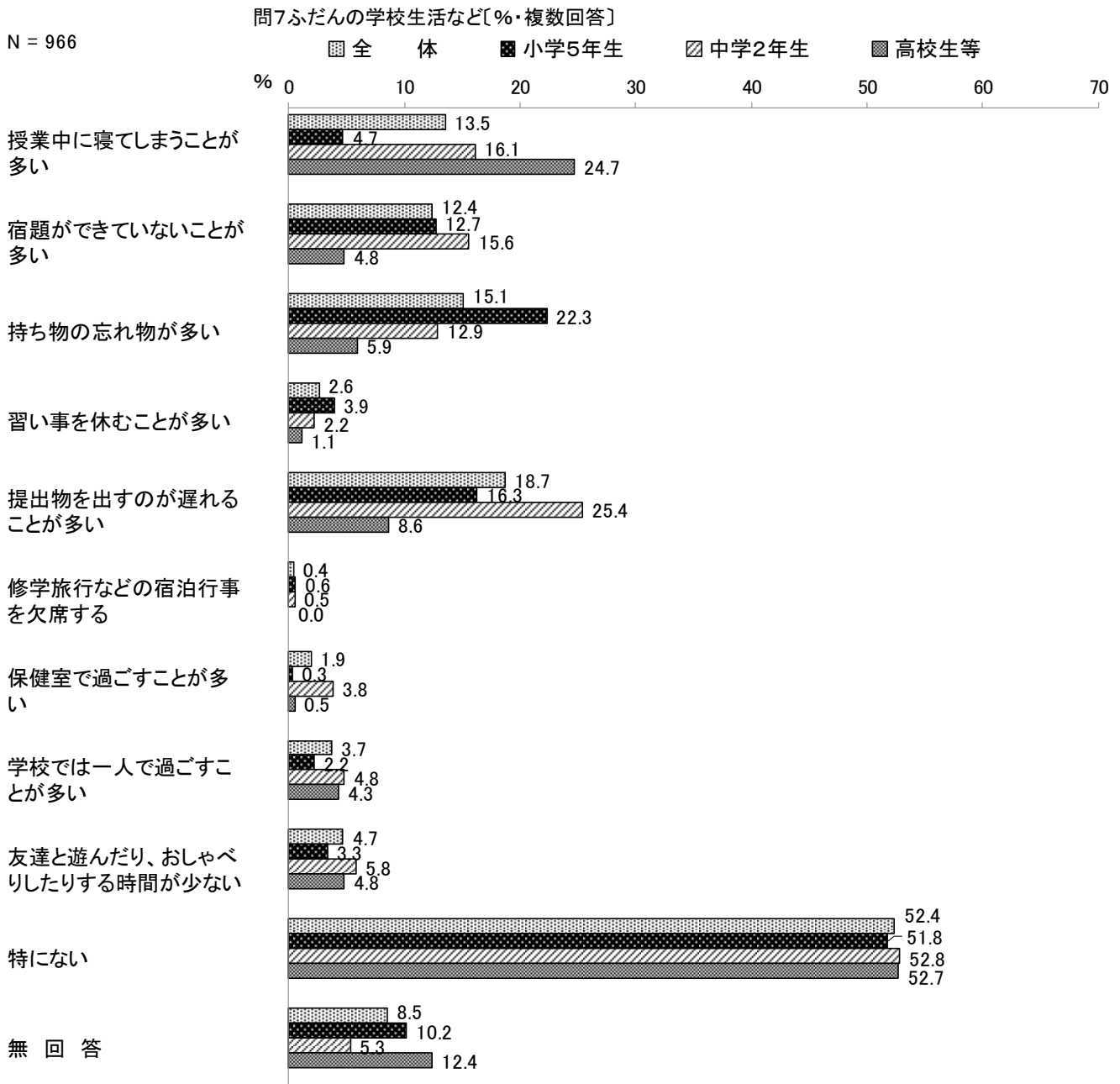


問 7 父だんの生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

全体では、「特にない」が 52.4%と多くなっているものの、「提出物を出すのが遅れることが多い」が 18.7%、「持ち物の忘れ物が多い」が 15.1%、「授業中に寝てしまうことが多い」が 13.5%、「宿題ができていないことが多い」が 12.4%となっている。

年代が上がると「授業中に寝てしまうことが多い」が多くなり（高校生等 24.7%、小学 5 年生 4.7%）、「持ち物の忘れ物が多い」が少なくなる（高校生 5.9%、小学 5 年生 22.3%）。中学 2 年生は「提出物を出すのが遅れることが多い」が 25.4%と他の年代より多くなっている。

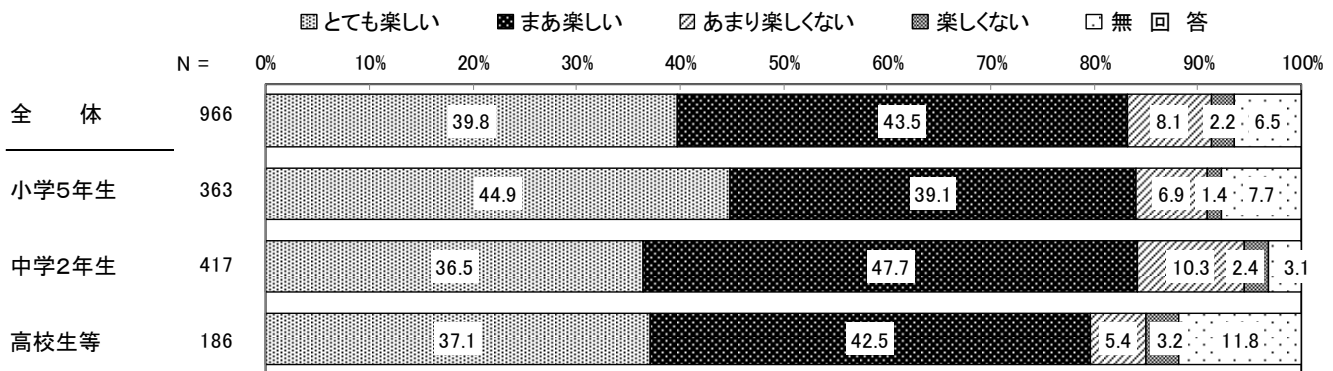
生活困窮別では、困窮家庭で「特にない」が 37.3%となっている。



問 あなたは、学校生活が楽しいですか。

全体では、『楽しい』（「とても楽しい」と「まあ楽しい」の計）が 83.3%と大半を占め、『楽しくない』（「あまり楽しくない」と「楽しくない」の計）が 10.3%である。

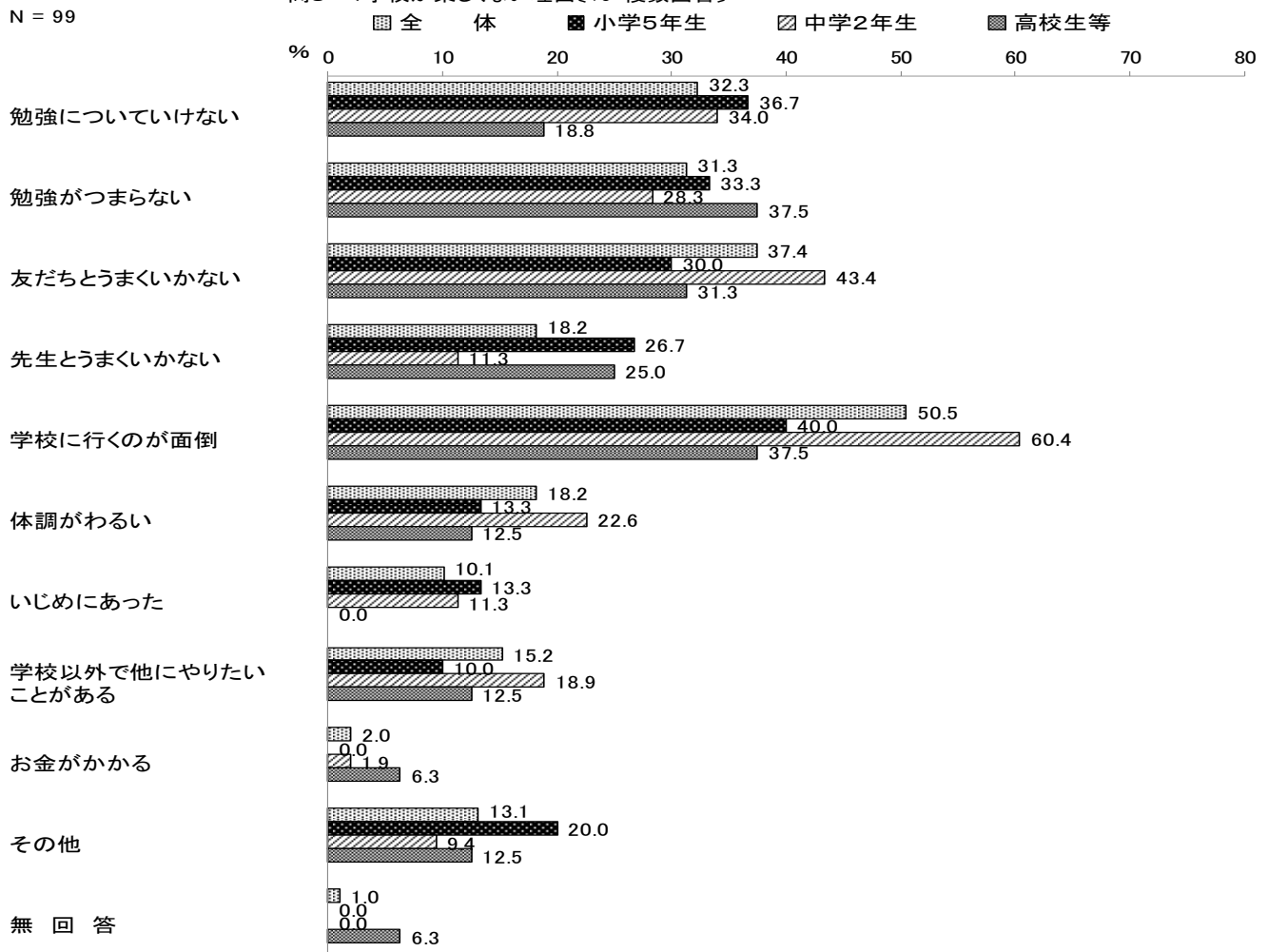
問8学校生活が楽しい[%]



問 前問で「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた人にお聞きします。学校が楽しくない理由は、何ですか。

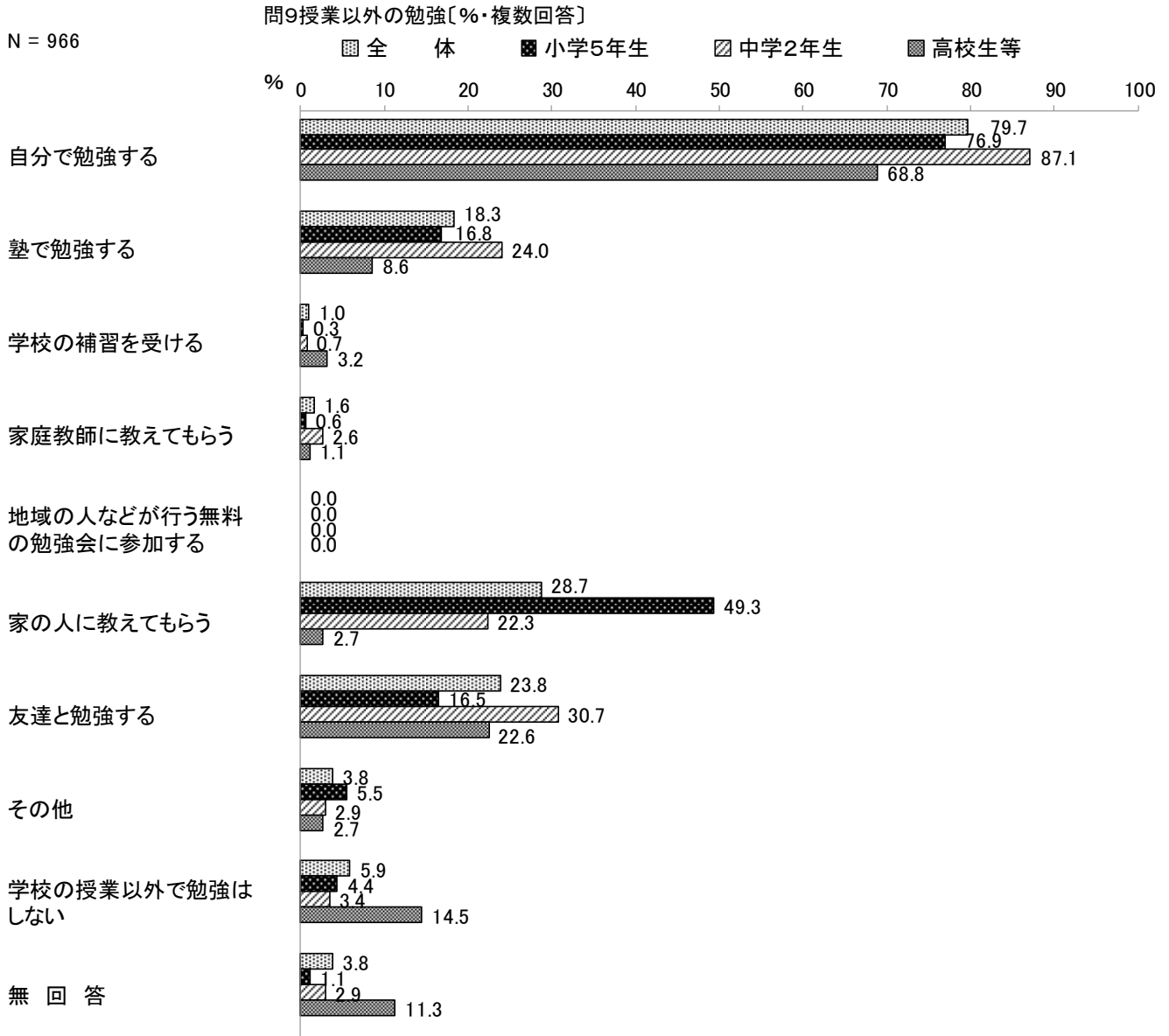
全体では、「学校に行くのが面倒」が 50.5%と多く、次いで「友だちとうまくいかない」が 37.4%、「勉強についていけない」と「勉強がつまらない」が 32%前後、「先生とうまくいかない」と「体調がわるい」がともに 18.2%である。年代が上がると「勉強についていけない」が少なくなり、小学5年生と中学2年生は 35%前後、高校生等は 18.8%である。中学2年生は「学校に行くのが面倒」が 60.4%、「友だちとうまくいかない」が 43.4%などで他の年代より多くなっている。

問8-1学校が楽しくない理由[%・複数回答]



問 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。勉強には学校の宿題もふくみます。

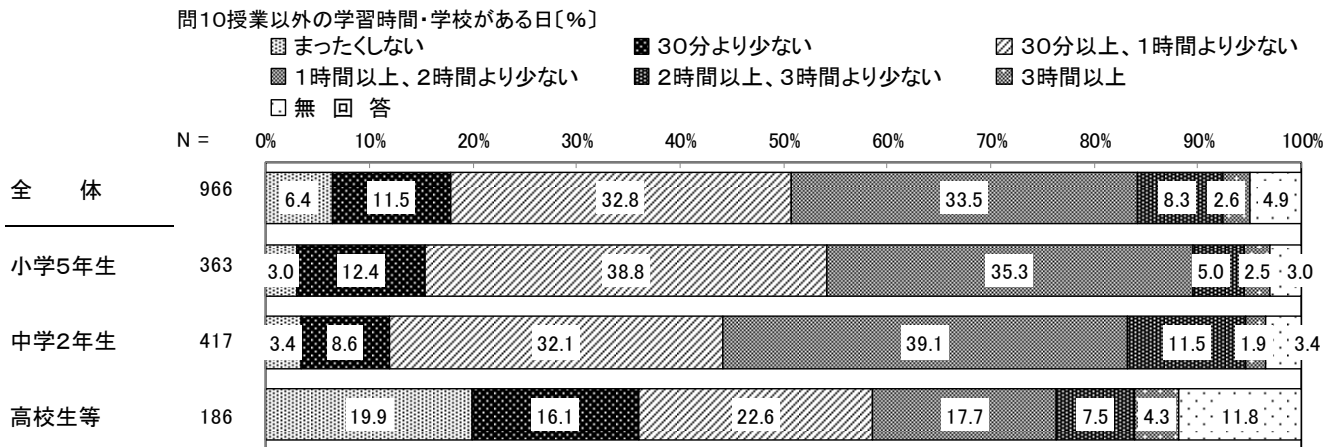
全体では、「自分で勉強する」が 79.7%と多く、次いで「家の人に教えてもらう」が 28.7%、「友達と勉強する」が 23.8%、「塾で勉強する」が 18.3%である。小学5年生で「家の人に教えてもらう」が 49.3%、中学2年生で「自分で勉強する」が 87.1%とそれぞれ多くなっている。



問 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらい勉強しますか。学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

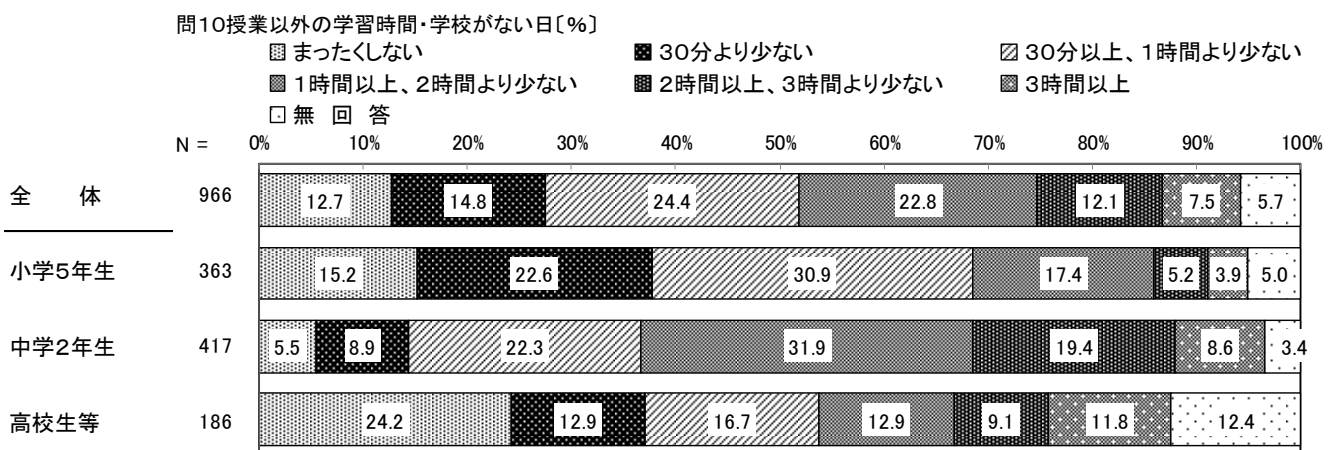
①学校がある日(月～金曜日)

全体では、「1時間以上、2時間より少ない」が33.5%、「30分以上、1時間より少ない」が32.8%と多く、「30分より少ない」が11.5%で、「まったくしない」が6.4%である。高校生等は「まったくしない」が19.9%と多くなっている。



②学校がない日(土・日曜日・祝日)

全体では、「30分以上、1時間より少ない」が24.4%と多く、「1時間以上、2時間より少ない」が22.8%、「30分より少ない」が14.8%で、「まったくしない」が12.7%みられる。中学2年生は「1時間以上、2時間より少ない」が31.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.4%とそれぞれ多く、高校生等は「まったくしない」が24.2%となっている。



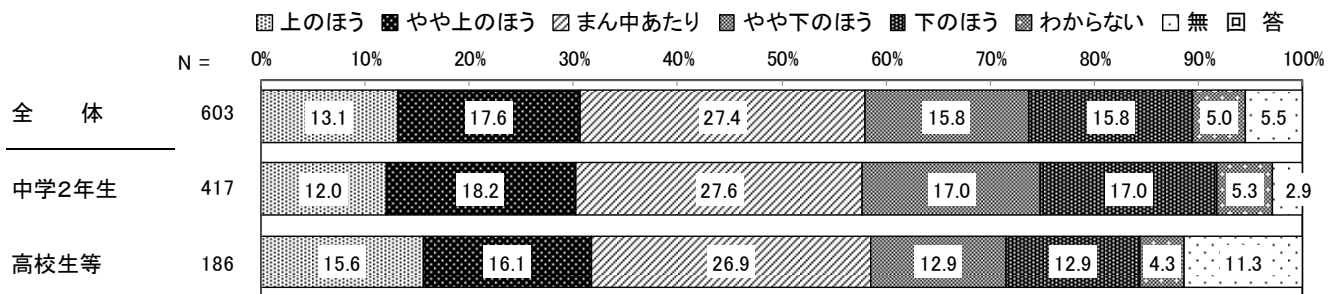
問 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(中学生、高校生のみ)

全体では、『下のほう』（「やや下のほう」と「下のほう」の計）が 31.6%、『上のほう』（「上のほう」と「やや上のほう」の計）が 30.7%と同程度で、「まん中あたり」が 27.4%である。

授業以外の学習時間・学校がある日に勉強をまったくしないまたは 30 分より少ない場合、『下のほう』がそれぞれ 31.4%、27.3%となっている。

授業以外の学習時間・学校がない日に勉強を 3 時間以上する場合、『上のほう』が 48.3%となっている。

問11クラス内での成績[%]

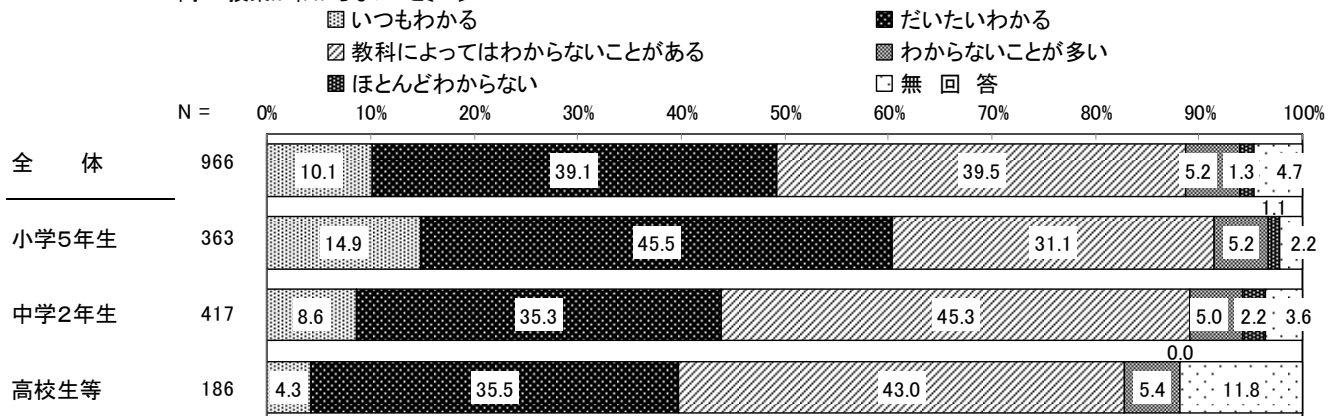


問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

全体では、『わかる』（「いつもわかる」と「だいたいわかる」の計）が 49.2%、『わからない』（「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の計）が 46.0%である。『わかる』は小学 5 年生が 60.4%と多く、中学 2 年生と高校生等は 40%前後となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「教科によってはわからないことがある」が 50.8%となっている。

問12授業がわからないこと[%]



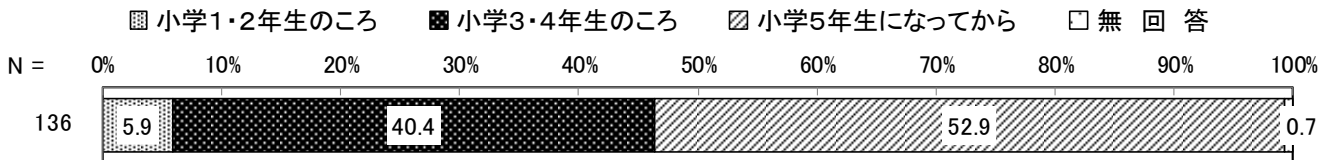
問 前問で「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

小学 5 年生は、「小学 5 年生になってから」が 52.9%、「小学 3・4 年生のころ」が 40.4%、中学 2 年生は「中学生になってから」が 79.0%、高校生等は「高校生になってから」が 58.9%とそれぞれ多くなっている。

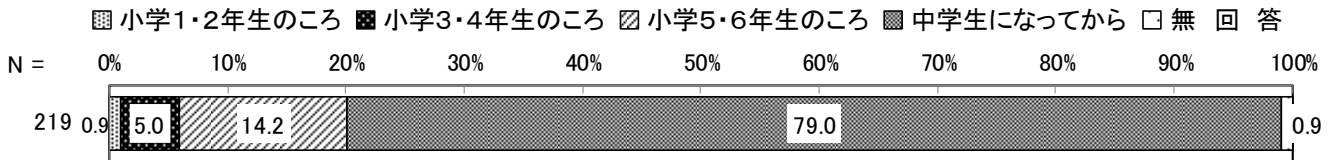
小学生の生活困窮別では、周辺家庭で「小学 3・4 年生のころ」が 56.7%となっている。



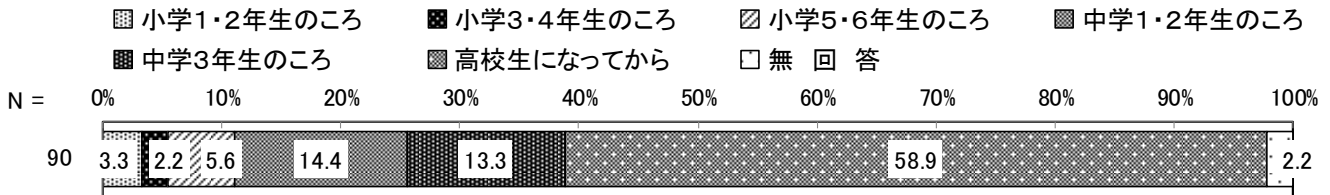
問12—1小学生・授業がわからなくなった時期〔%〕



問12—1中学生・授業がわからなくなった時期〔%〕



問12—1高校生・授業がわからなくなった時期〔%〕



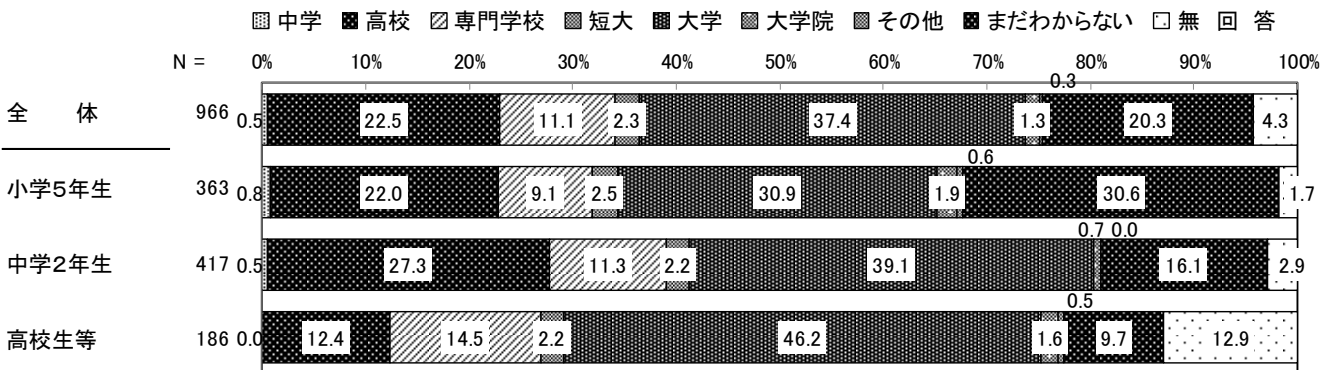
問 あなたは、将来、どの学校まで進みたいですか。

全体では、「大学」が37.4%と多く、「まだわからない」が20.3%、「高校」が22.5%である。年代が上ると「大学」が多くなり、高校生等は46.2%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「高校」が33.9%となっている。

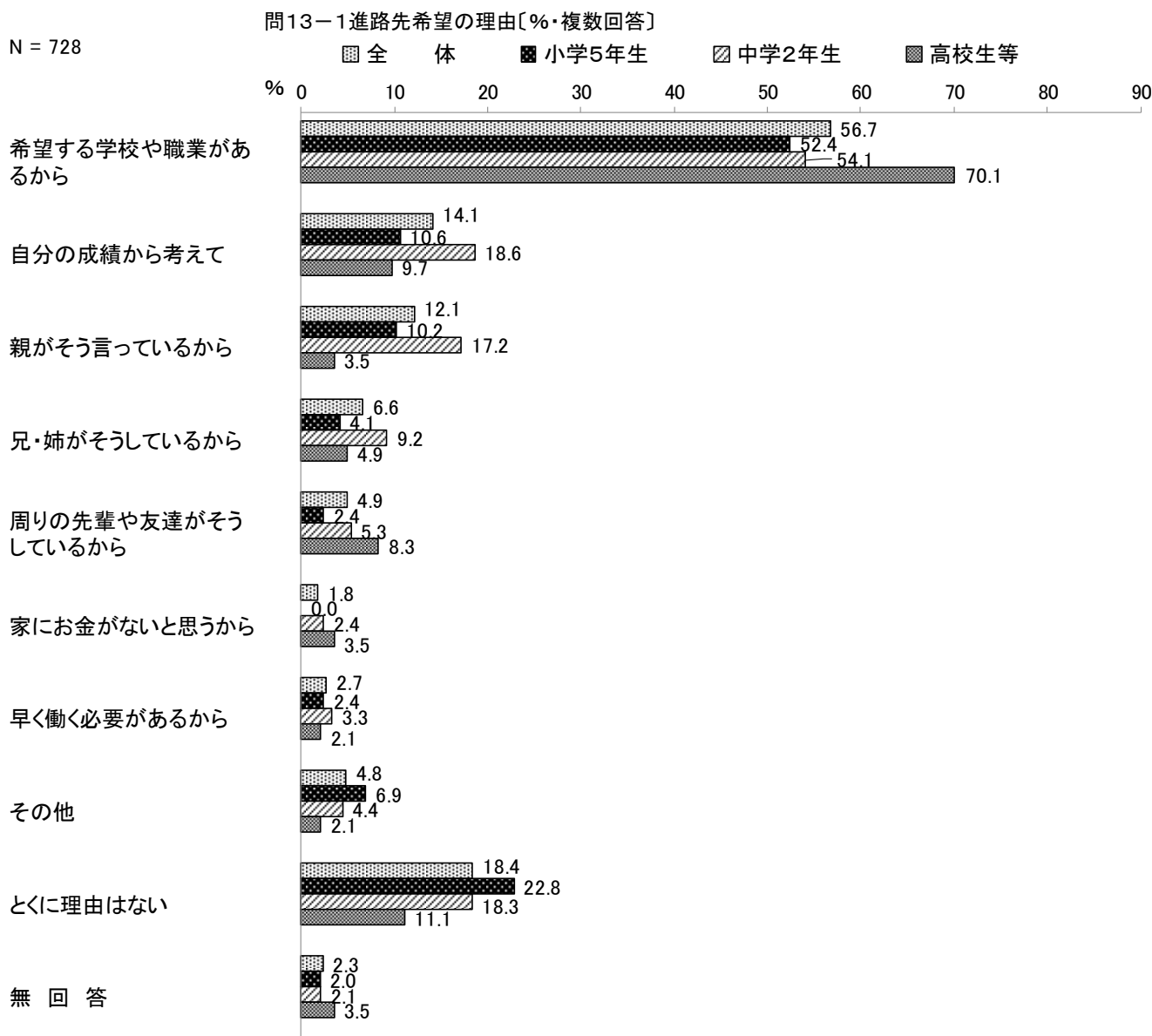
所得別では、低所得に該当する世帯で「大学」が27.1%となっている。

問13将来の進路希望〔%〕



問 前問で「中学」、「高校」、「専門学校」、「短大」、「大学」、「大学院」、「その他」と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。

全体では、「希望する学校や職業があるから」が56.7%と半数を超え、次いで「とくに理由はない」が18.4%、「自分の成績から考えて」が14.1%、「親がそう言っているから」が12.1%である。高校生等は「希望する学校や職業があるから」が70.1%と多くなっている。

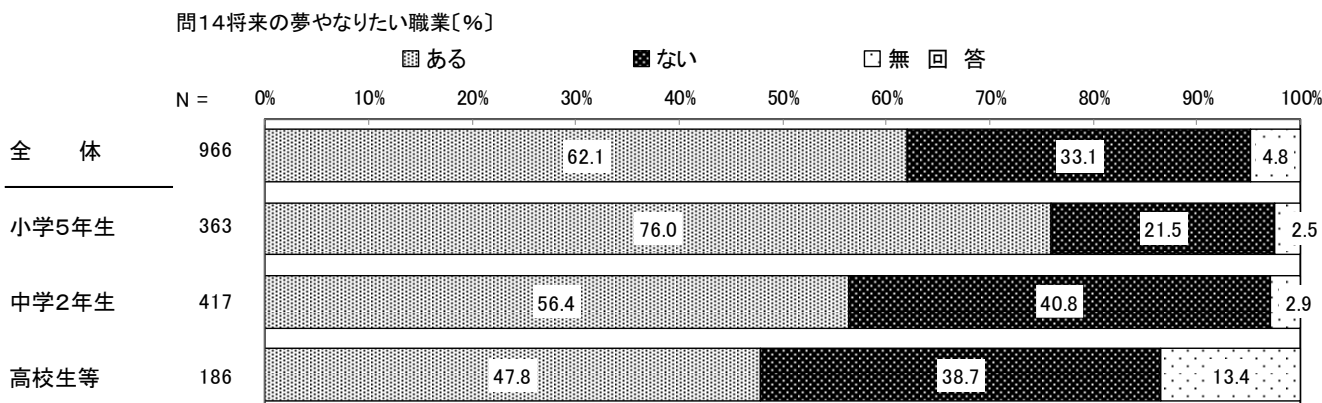


問 あなたは、将来の夢やなりたい職業がありますか。

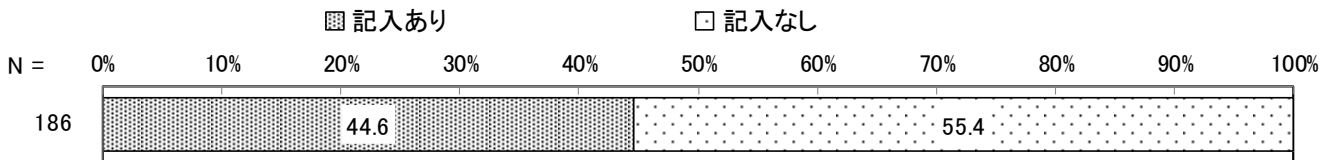
全体では、62.1%が「ある」と回答している。「ある」は年代が上がると少なく、高校生等は47.8%である。

高校生等の将来の夢やなりたい職業は、「記入あり」が44.6%である。内容としては、「看護師・助産師」、「教員」、「幼稚園教諭」などの意見がみられる。

授業がいつもわかる場合、「ある」が81.6%となっている。



問14 将来の夢やなりたい職業の記入[%]



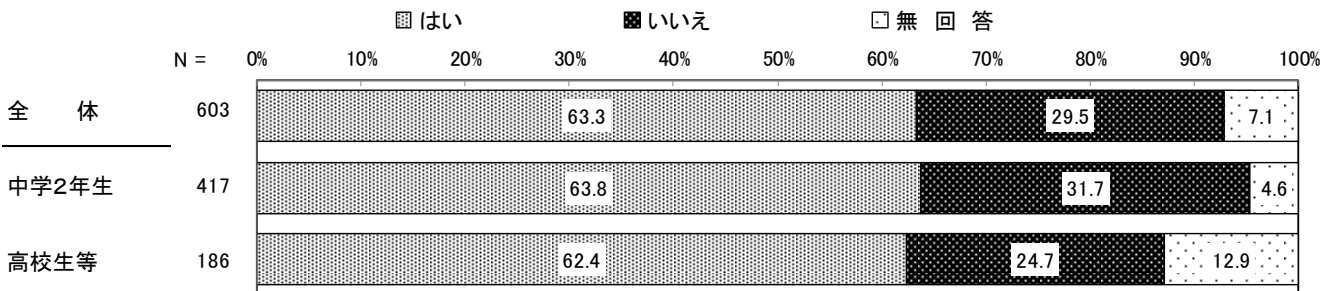
問 あなたは、将来、結婚したり、家族をもつと思いますか。(中学2年生、高校生等のみ)

全体では、「はい」が63.3%と多く、「いいえ」が29.5%である。

所得別では、低所得に該当する世帯で「はい」が51.9%となっている。

将来の夢やなりたい職業がある場合、「はい」が74.4%となっている。

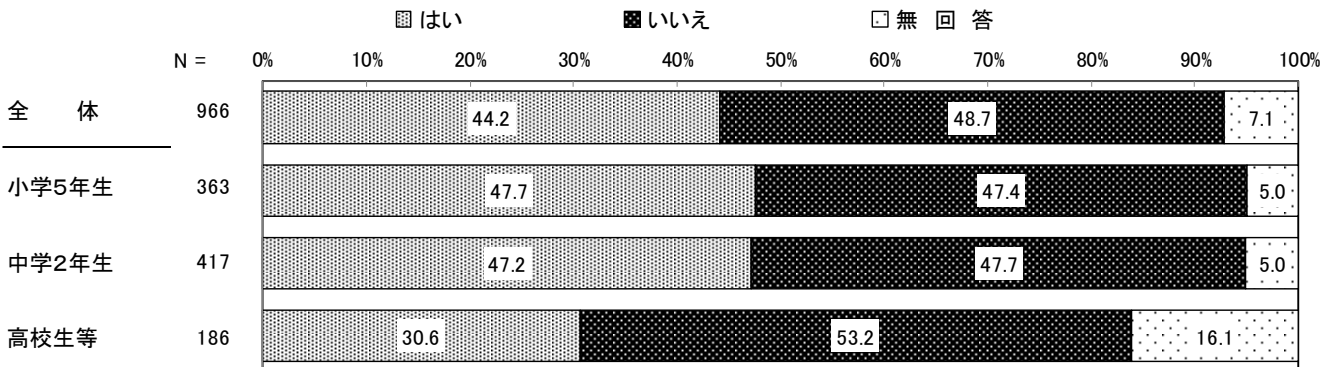
問15 将来、結婚や家族をもつ意向[%]



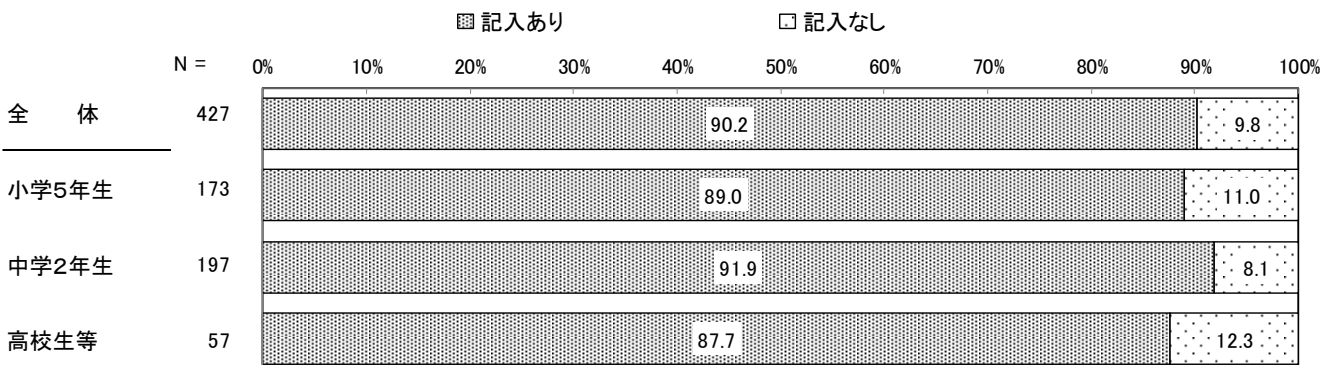
問 将来、白河市に住みたいと思いますか。その理由もお聞かせください。

全体では、「いいえ」が48.7%、「はい」が44.2%である。高校生等は「はい」が30.6%と少なくなっている。住みたいと思う理由としては、「生まれた場所だから・地元だから」、「住み慣れている」、「好きだから」などの意見がみられる。また、住みたいと思わない理由としては、「希望する職業がない」「都会に住みたい・白河市以外に住んでみたい」「田舎だから・不便だから」などの意見がみられる。

問16 白河市の定住意向[%]



問16 定住理由の記入[%]



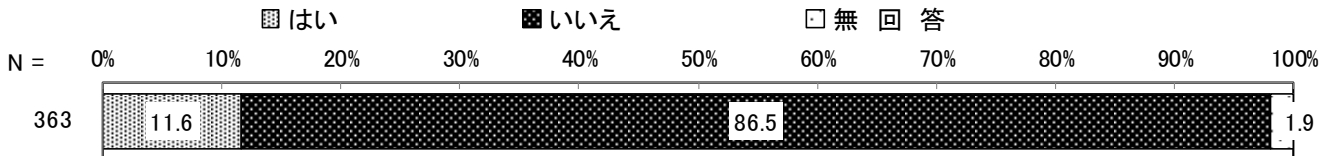
### 3.3 放課後の過ごし方・生活習慣など

#### (1) 放課後の過ごし方

問 あなたは、放課後児童クラブで過ごしていますか。(小学生のみ)

11.6%が放課後児童クラブで過ごしていると回答している。

問14小学生・放課後児童クラブの利用[%]



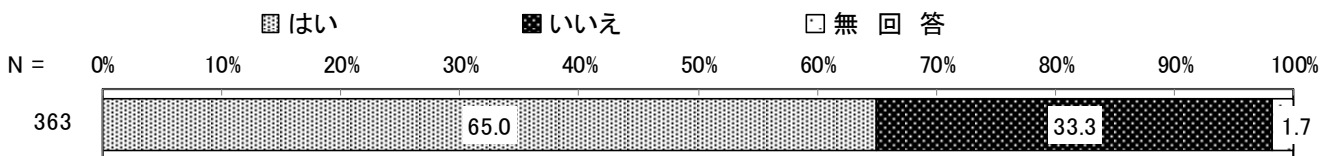
問 あなたは、習いごとをしていますか。(小学生のみ)

65.0%が習い事をしていると回答している。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「いいえ」が50.0%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「いいえ」が64.0%となっている。

問15小学生・習い事[%]

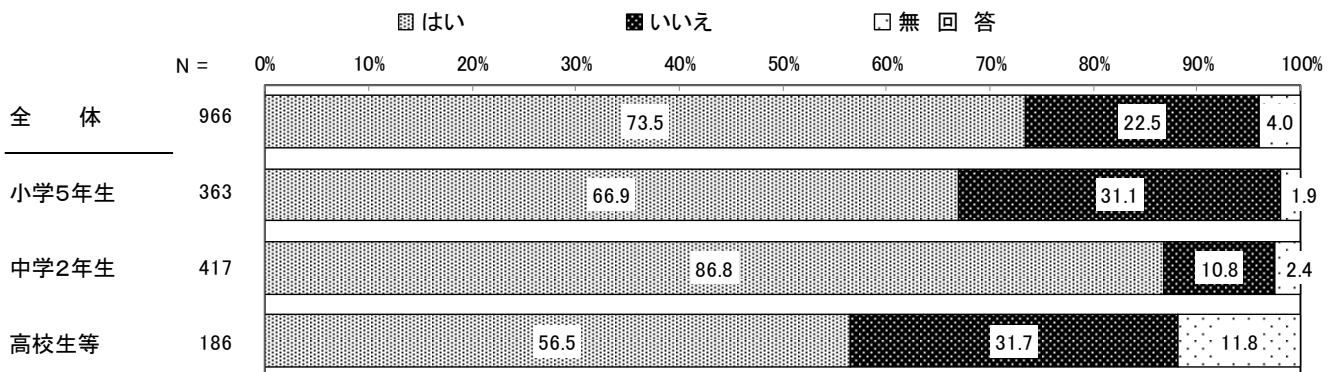


問 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

全体では、「はい」が73.5%と多く、「いいえ」が22.5%である。中学2年生は「はい」が86.8%と多くなっている。

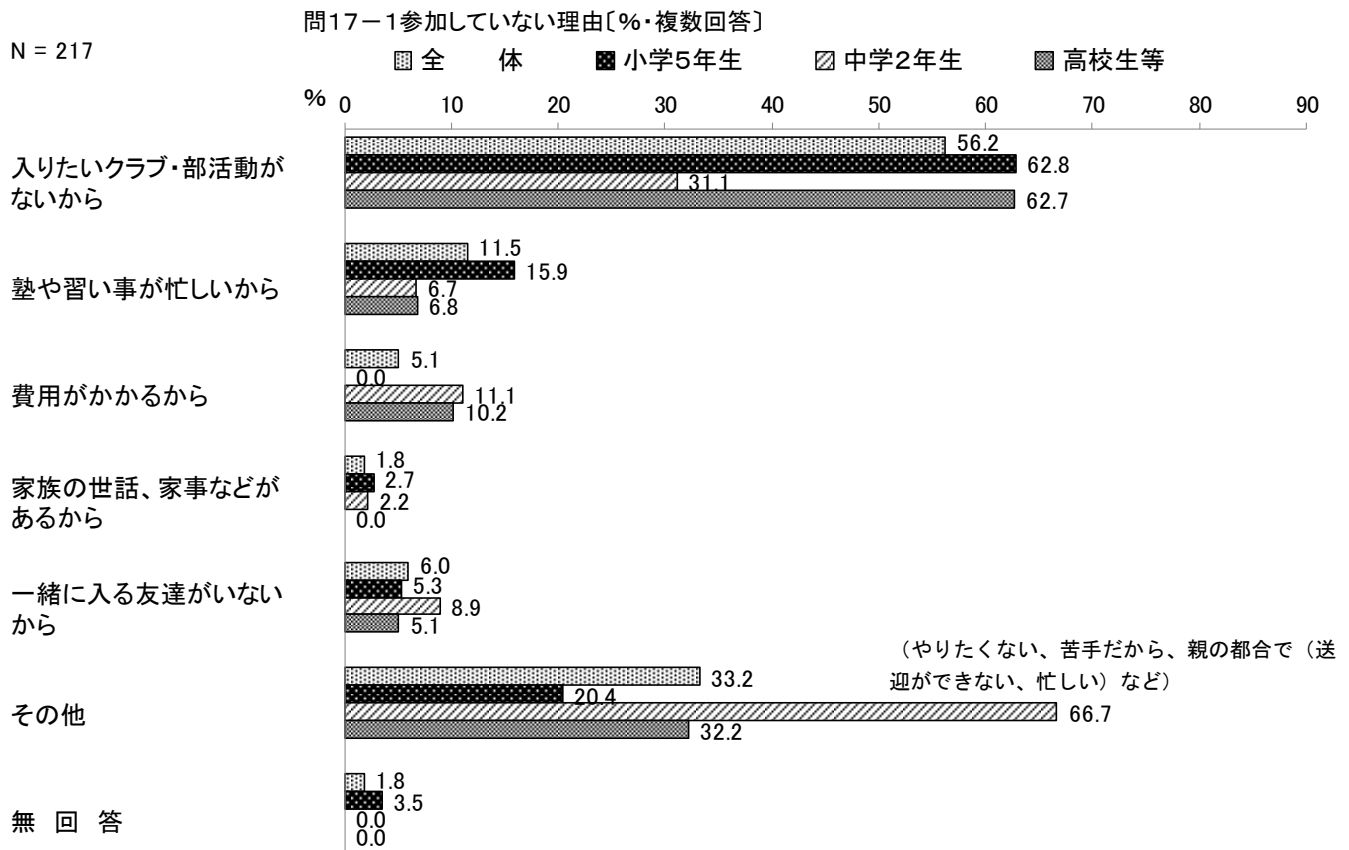
生活困窮別では、困窮家庭で「いいえ」が42.4%となっている。

問17地域のスポーツ・文化クラブ、部活動の参加[%]



問 前問で「いいえ」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

全体では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 56.2%と多く、「塾や習い事が忙しいから」が 11.5%である。中学2年生は「入りたいクラブ・部活動がないから」が 31.1%と他の年代より少なく、小学5年生は「塾や習い事が忙しいから」が 15.9%となっている。



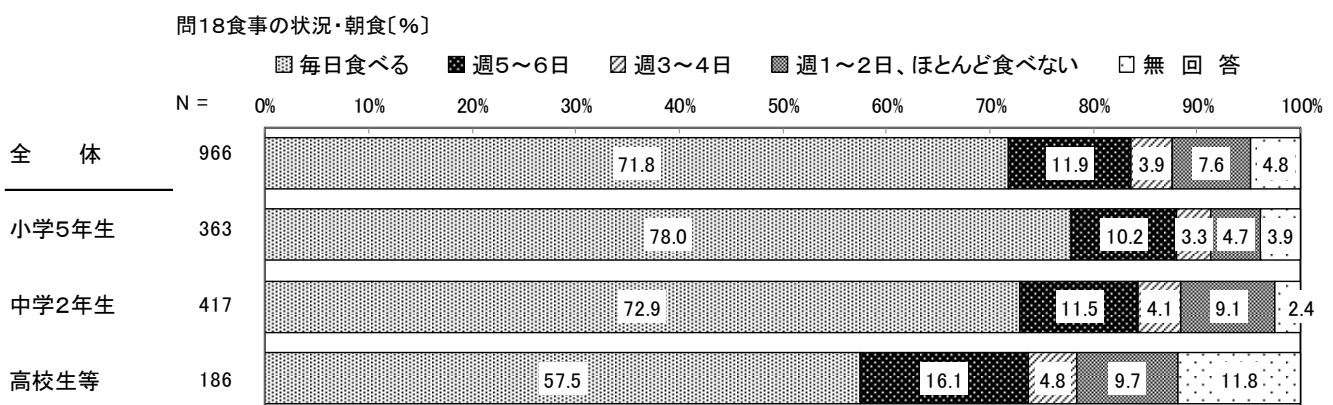
(2)生活習慣等

問 あなたは週にどのくらい、次の食事をしていますか。

①朝食

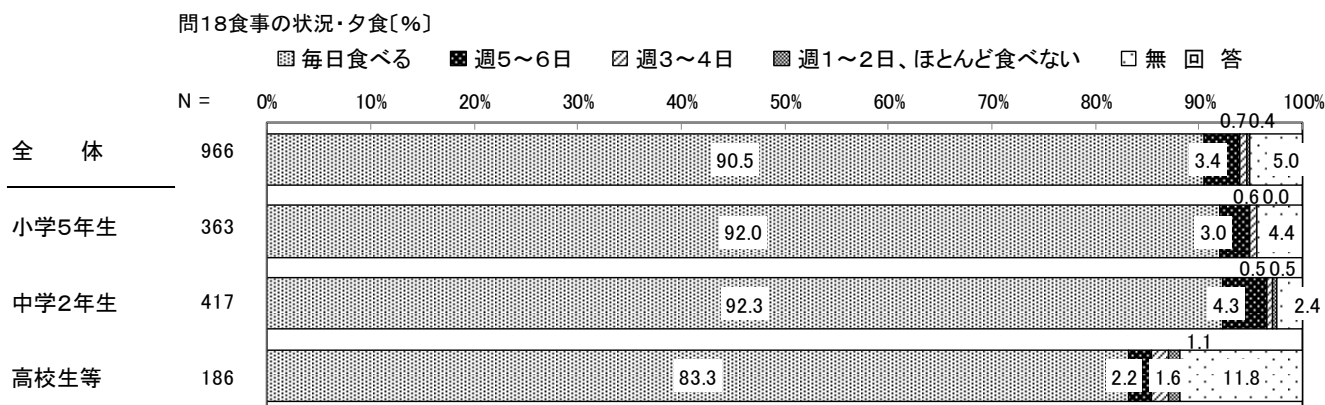
全体では、「毎日食べる」が 71.8%と多くを占め、「週5～6日」が 11.9%、「週1～2日、ほとんど食べない」が 7.6%、「週3～4日」が 3.9%である。高校生等は「毎日食べる」が 57.5%と少なくなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「毎日食べる」が 55.9%となっている。



## ②夕食

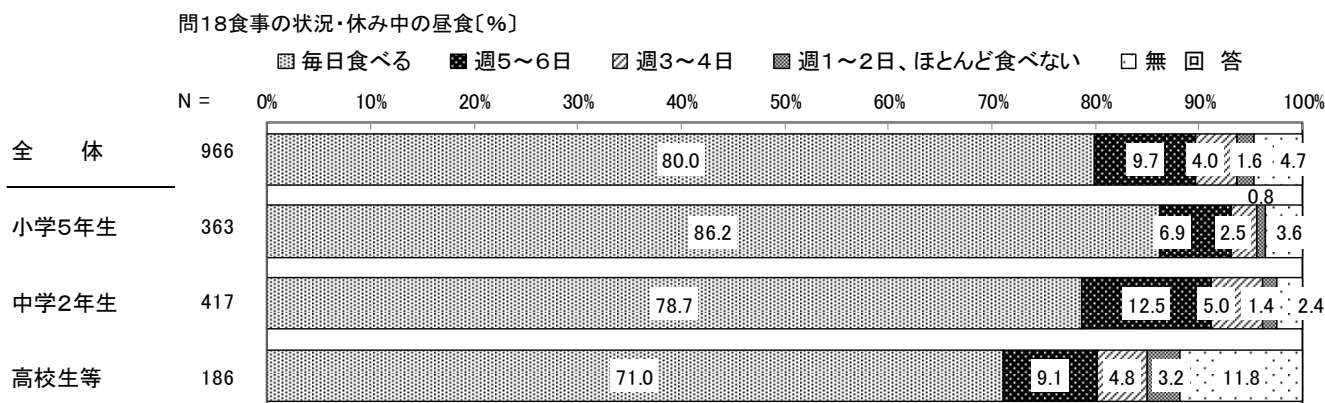
全体では、「毎日食べる」が90.5%とほとんどである。



## ③夏休みや冬休み中の昼食

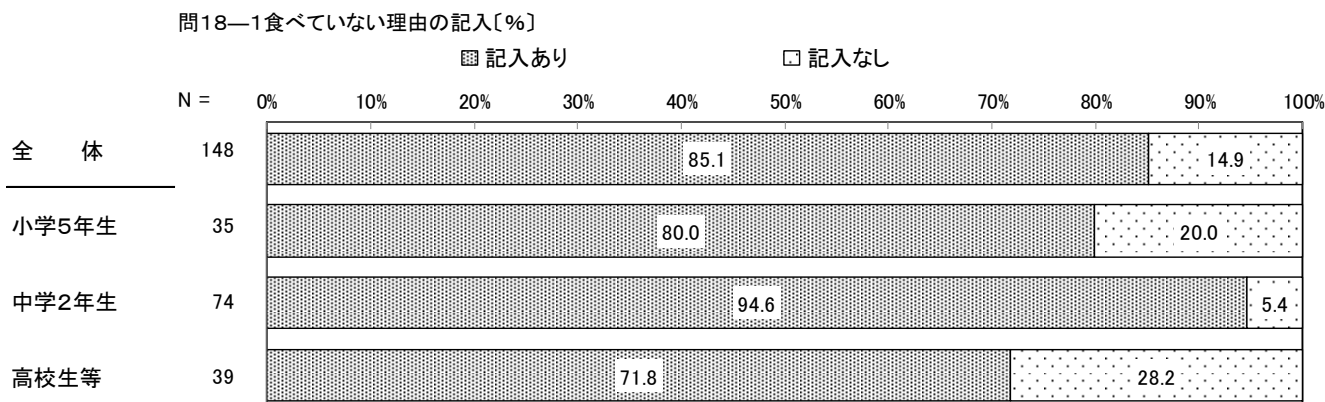
全体では、「毎日食べる」が80.0%と多く、「週5～6日」が9.7%、「週3～4日」が4.0%、「週1～2日、ほとんど食べない」が1.6%である。年代が上がると「毎日食べる」が少なくなり、高校生等は71.0%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「毎日食べる」が67.8%となっている。



問 前問で「週3～4日」、「週1～2日、ほとんど食べない」と答えた人は食べていない理由を教えてください。

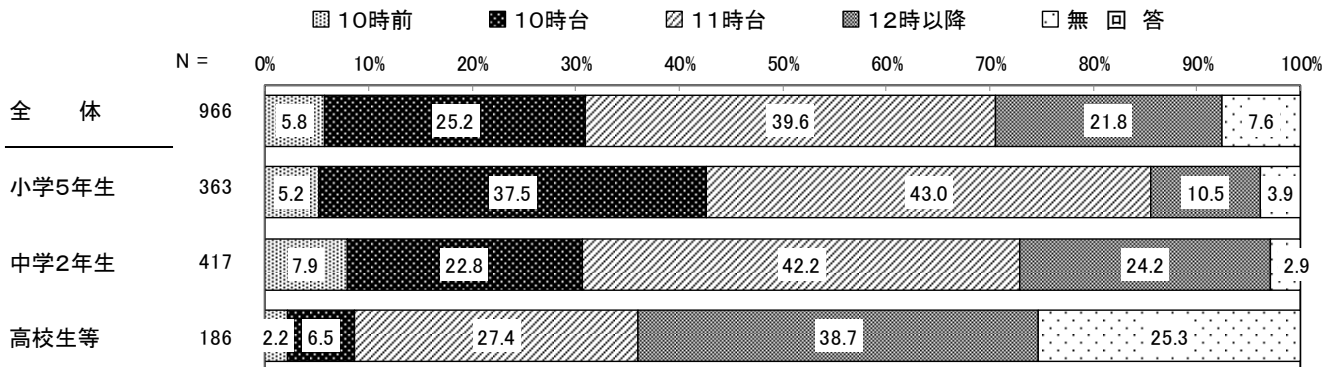
全体では、「記入あり」が85.1%である。内容としては、「食欲がない」、「起床時間が遅い・時間がない」、「お腹が減っていない」などの意見がみられる。



## 問 夜何時ごろに寝ていますか。

全体では、「11時台」が39.6%と多く、「10時台」が25.2%、「12時以降」が21.8%、「10時前」が5.8%である。小学5年生は「10時台」が37.5%、高校生等は「12時以降」が38.7%とそれぞれ多くなっている。

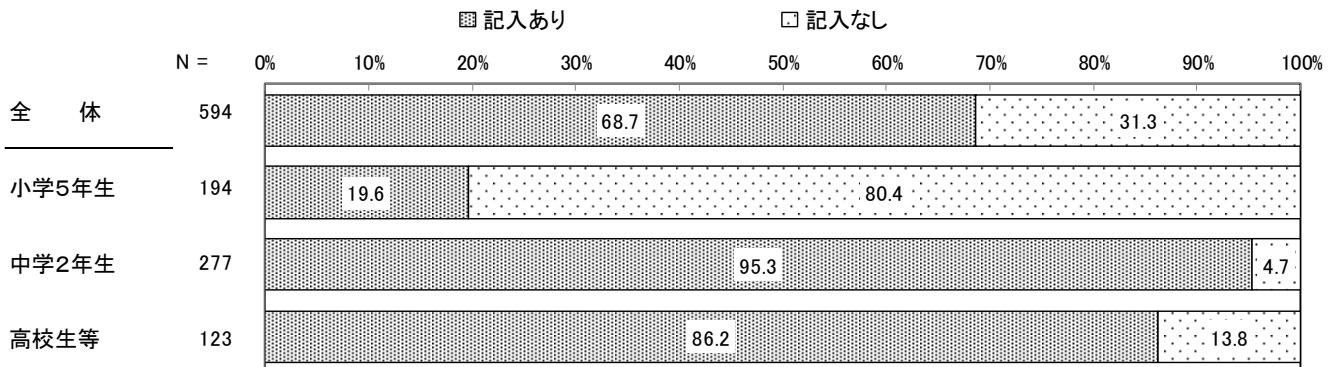
問19就寝時間[%]



## 問 前問で「11時台」、「12時以降」と答えた人は寝るのが遅くなってしまふ理由を教えてください。

全体では、「記入あり」が68.7%である。内容としては、「勉強・宿題」、「スマホ（SNS、動画等）、ゲーム」などの意見がみられる。

問19-1寝るのが遅くなる理由の記入[%]



## (3)毎日のこと

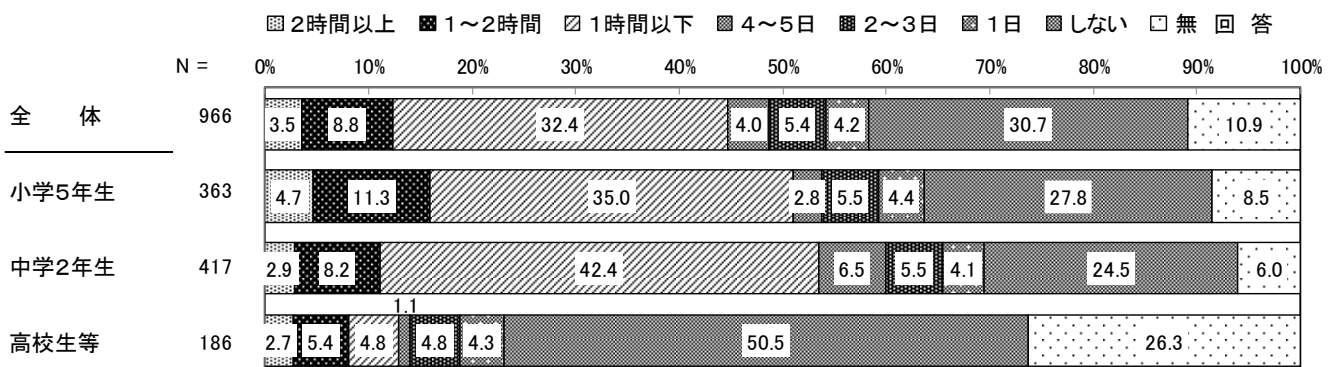
問 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。〔※(1日に)2時間以上・1～2時間・1時間以下、(週に)4～5日・2～3日・1日〕

### ①読書

全体では、1日に「1時間以下」が32.4%、「1～2時間」が8.8%、週に「2～3日」が5.4%、「しない」が30.7%である。小学5年生と中学2年生は、週に1日以上読書をしている割合が60%を超えているが、高校生等は23.1%となっている。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「1時間以下」が20.7%となっている。

問20ふだんの活動・読書[%]

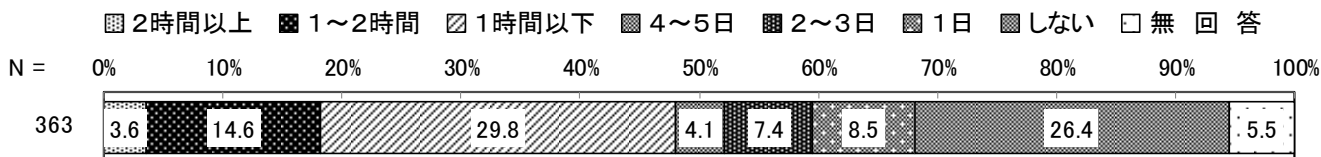


### ②室内遊び(トランプ、工作など)(小学生のみ)

小学5年生の室内遊びは、「1時間以下」が29.8%、「1～2時間」が14.6%、「1日」が8.5%、「しない」が26.4%である。

生活困窮別では、周辺家庭で「しない」が38.5%となっている。

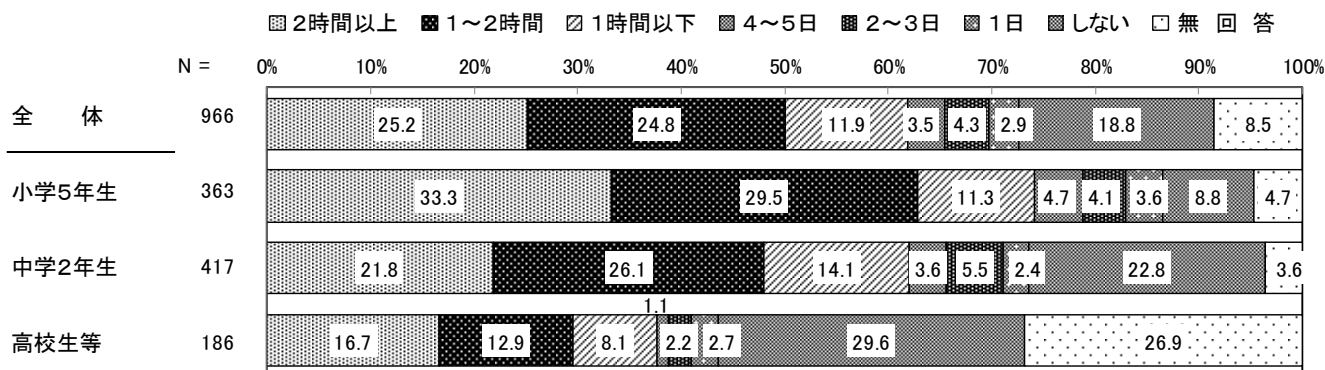
問19ふだんの活動・小学生・室内遊び[%]



### ③ゲーム機で遊ぶ

全体では、「2時間以上」が25.2%、「1～2時間」が24.8%、「1時間以下」が11.9%、「しない」が18.8%である。年代が上ると「しない」が多くなり、高校生等で29.6%である。

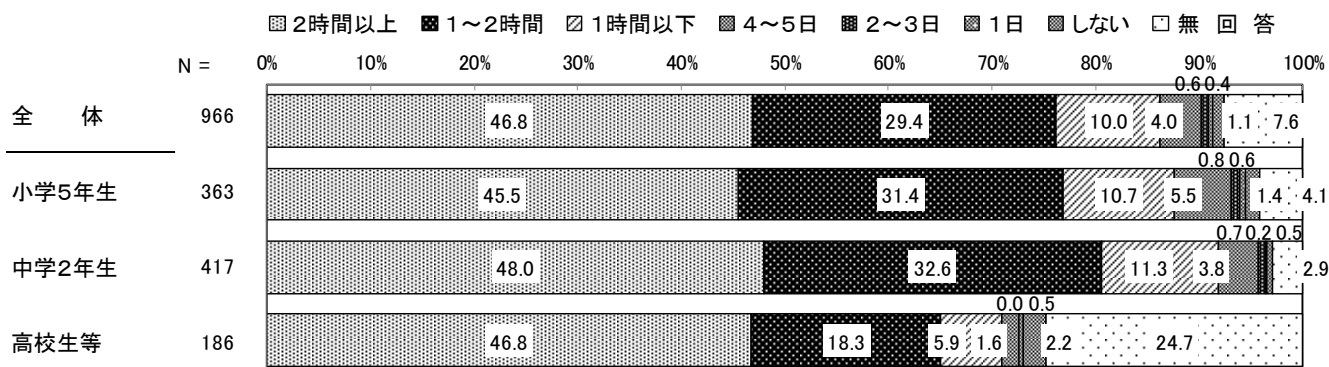
問20ふだんの活動・ゲーム機で遊ぶ[%]



### ④テレビ・インターネットを見る

全体では、「2時間以上」が46.8%と多く、「1～2時間」が29.4%、「1時間以下」が10.0%、である。高校生等は「1～2時間」が18.3%と少なくなっている。

問20ふだんの活動・テレビ・インターネットを見る[%]

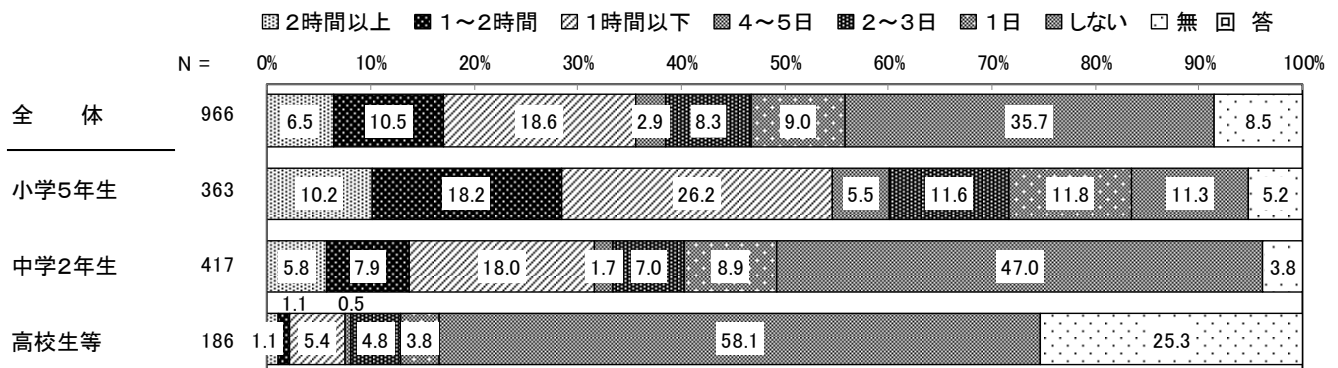




### ⑤公園や外で遊ぶ

全体では、「しない」が35.7%と多く、「1時間以下」が18.6%、「1～2時間」が10.5%、「1日」が9.0%である。年代が上がると「しない」が多くなり、高校生等は58.1%となっている。保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「しない」が51.1%となっている。

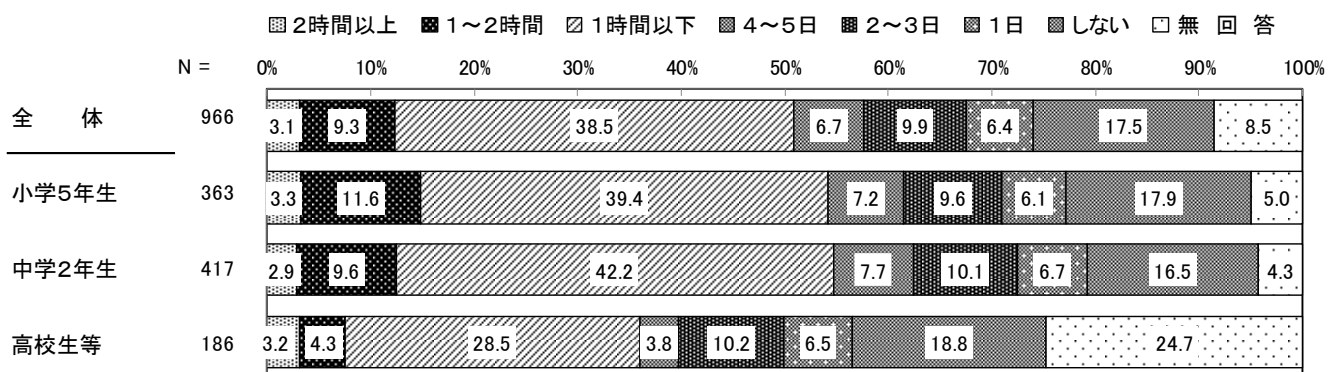
問20ふだんの活動・公園や外で遊ぶ[%]



### ⑥家事(洗濯、掃除、料理、かたづけなど)の手伝い

全体では、「1時間以下」が38.5%と多く、「1～2時間」が9.3%、「2～3日」が9.9%、「しない」が17.5%である。小学5年生と中学2年生は、週に1日以上家事をしている割合が70%を超えているが、高校生等は56.5%と少なくなっている。

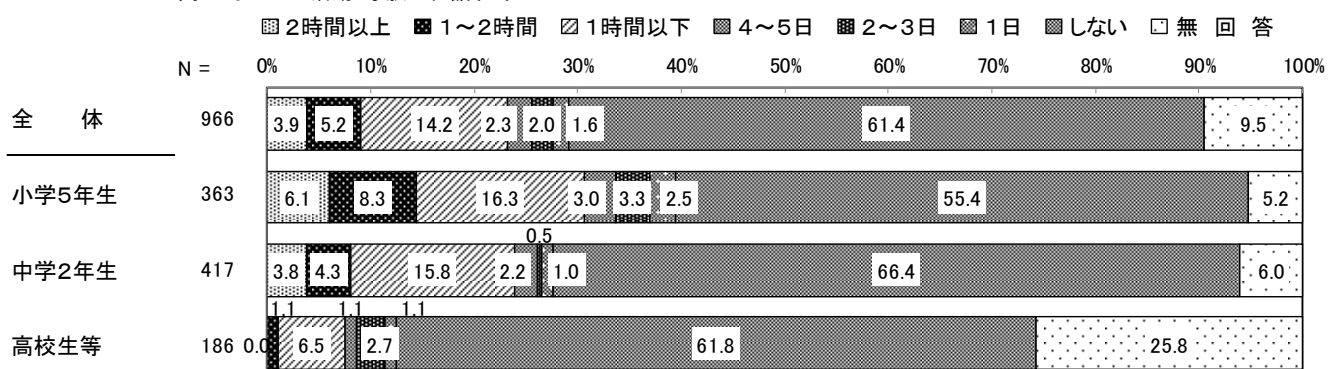
問20ふだんの活動・家事の手伝い[%]



### ⑦家族(きょうだいなど)の世話

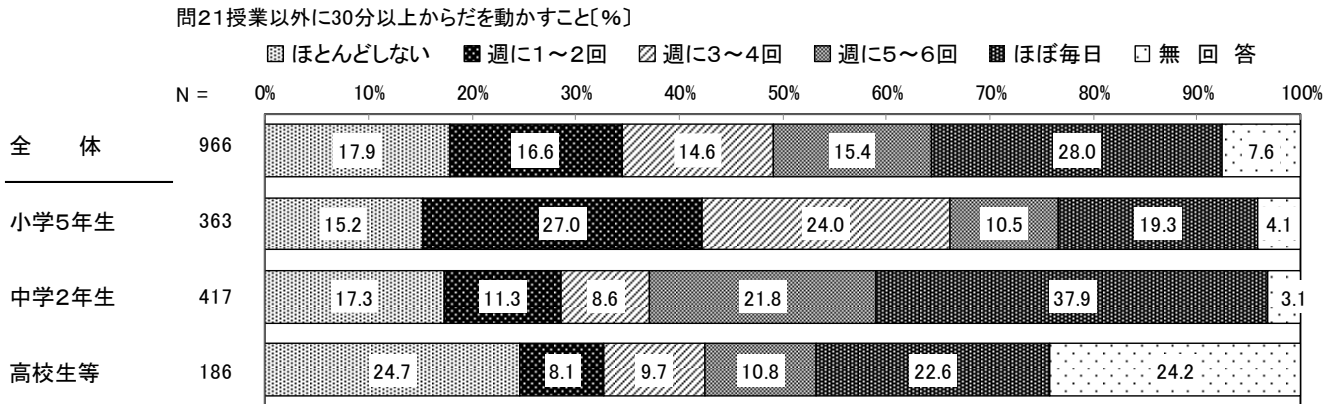
全体では、「しない」が61.4%と多く、「1時間以下」が14.2%、「1～2時間」が5.2%、「2時間以上」が3.9%である。年代が上がると、週に1日以上家族の世話をしている割合が少なくなっている。

問20ふだんの活動・家族の世話[%]



問 あなたは、授業以外に30分以上からだを動かすことを1週間にどれくらいしていますか。

全体では、「ほぼ毎日」が28.0%と多く、「ほとんどしない」が17.9%、「週に1～2回」が16.6%、「週に5～6回」が15.4%、「週に3～4回」が14.6%である。小学5年生は「週に1～2回」が27.0%、中学2年生は「ほぼ毎日」が37.9%とそれぞれ多くなっている。



### 3.4 居場所・悩みごと

#### (1)ほっとできる居場所

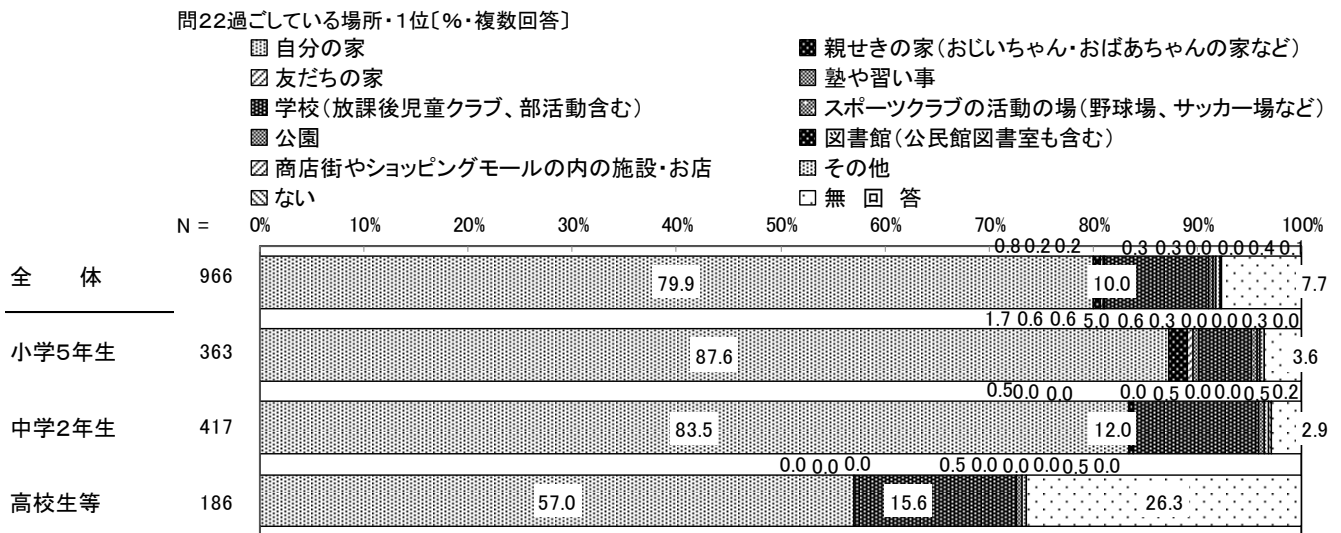
問 あなたがいつも過ごしている場所と、一番ほっとできる居場所はどこですか。(1～3位の番号を記入してください)

#### ①過ごしている場所

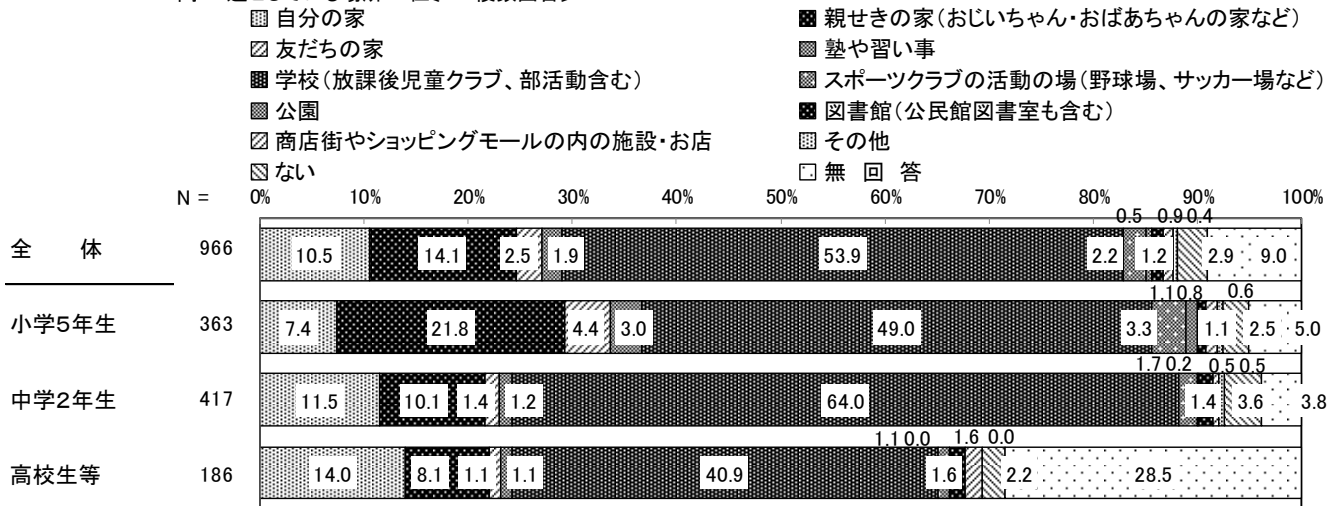
1位は、全体では「自分の家」が79.9%と多く、「学校（放課後児童クラブ、部活動含む）」が10.0%となっている。高校生等は「自分の家」が57.0%となっている。

2位は、全体では「学校（放課後児童クラブ、部活動含む）」が53.9%と多く、「親せきの家（おじいちゃん・おばあちゃんの家など）」は14.1%、「自分の家」が10.5%である。中学2年生は「学校（放課後児童クラブ、部活動含む）」が64.0%となっている。

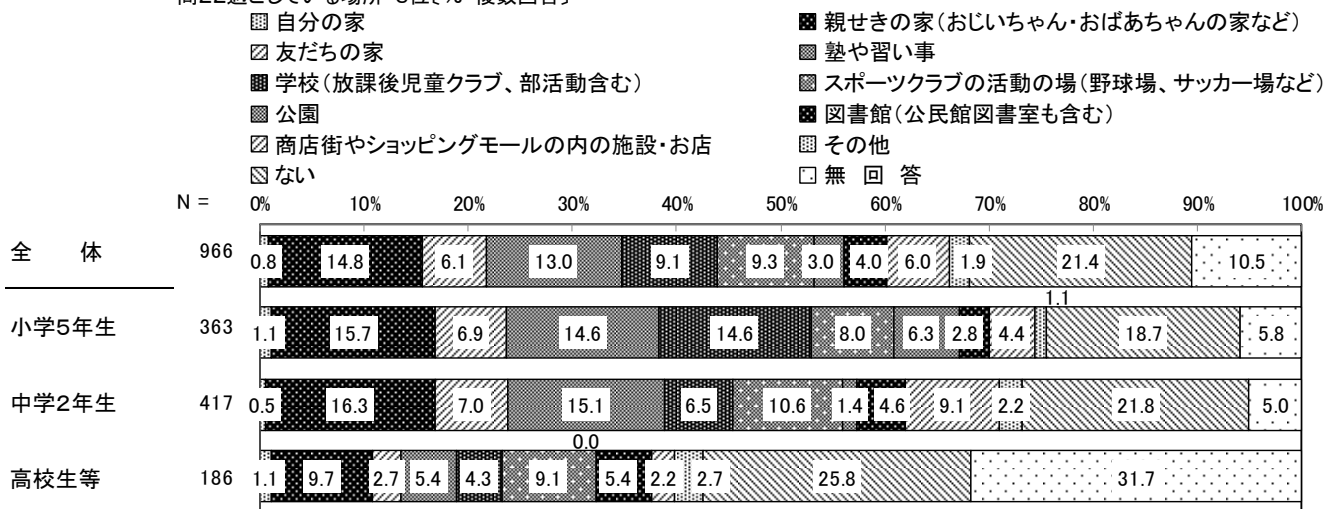
3位は、「ない」が21.4%、「親せきの家（おじいちゃん・おばあちゃんの家など）」が14.8%「塾や習い事」が13.0%である。



問22過ごしている場所・2位〔%・複数回答〕



問22過ごしている場所・3位〔%・複数回答〕



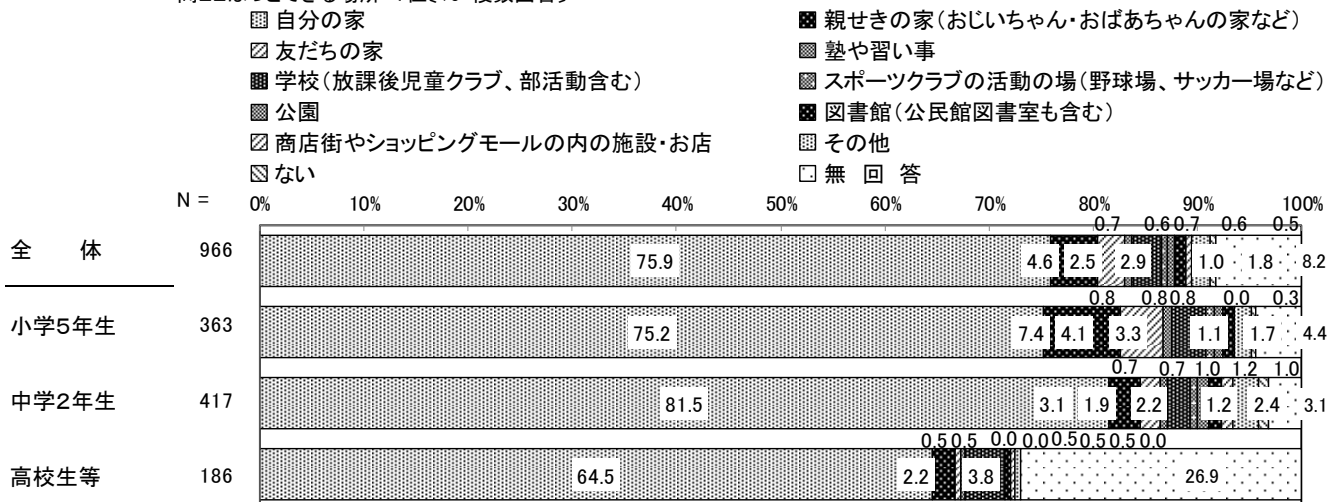
## ②ほっとできる場所

1位は、全体では「自分の家」が75.9%となっている。

2位は、全体では「親せきの家(おじいちゃん・おばあちゃんの家など)」が32.4%と多く、「学校(放課後児童クラブ、部活動含む)」が16.5%である。

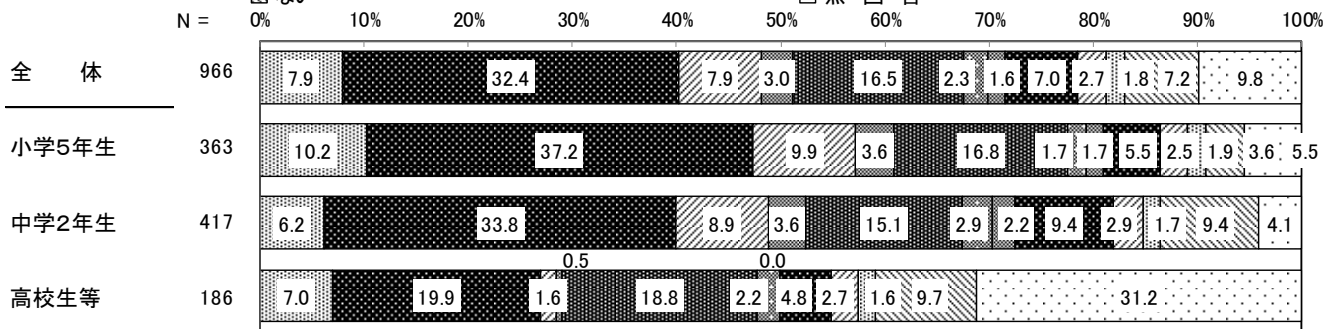
3位は、「ない」が20.9%、「学校(放課後児童クラブ、部活動含む)」が17.4%である。

問22ほっとできる場所・1位〔%・複数回答〕



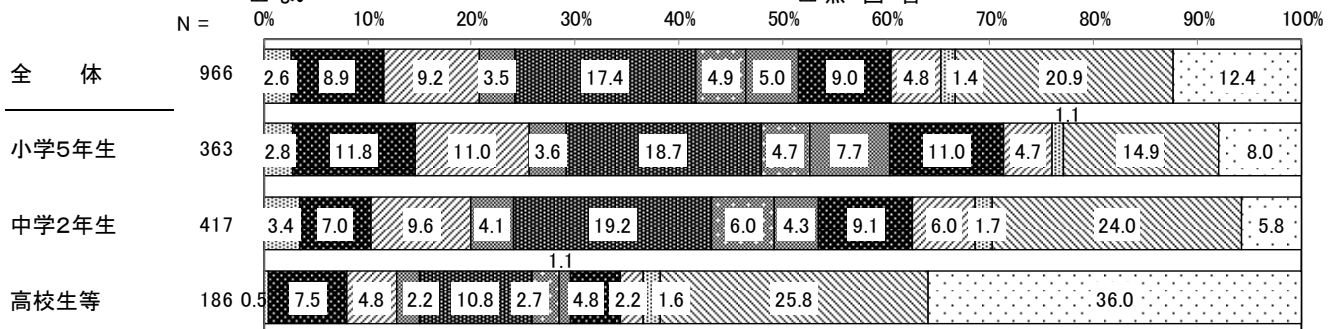
問22ほっとできる場所・2位[%・複数回答]

- 自分の家
- 友だちの家
- 学校(放課後児童クラブ、部活動含む)
- 公園
- 商店街やショッピングモールの内の施設・お店
- ない
- 親せきの家(おじいちゃん・おばあちゃんの家など)
- 塾や習い事
- スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)
- 図書館(公民館図書室も含む)
- その他
- 無回答



問22ほっとできる場所・3位[%・複数回答]

- 自分の家
- 友だちの家
- 学校(放課後児童クラブ、部活動含む)
- 公園
- 商店街やショッピングモールの内の施設・お店
- ない
- 親せきの家(おじいちゃん・おばあちゃんの家など)
- 塾や習い事
- スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)
- 図書館(公民館図書室も含む)
- その他
- 無回答



## (2) 悩みや心配事

問 あなたは、自分や家族のことでなやみや心配ごとがありますか。

小学5年生は、「悩みや心配ごとはない」が46.8%と多く、次いで「勉強のこと」が23.7%、「友だちとの関係」が19.0%、「自分の性格のこと」が17.1%、「進学・進路のこと」が12.1%、「自分の顔だちや体つきのこと」が11.0%である。

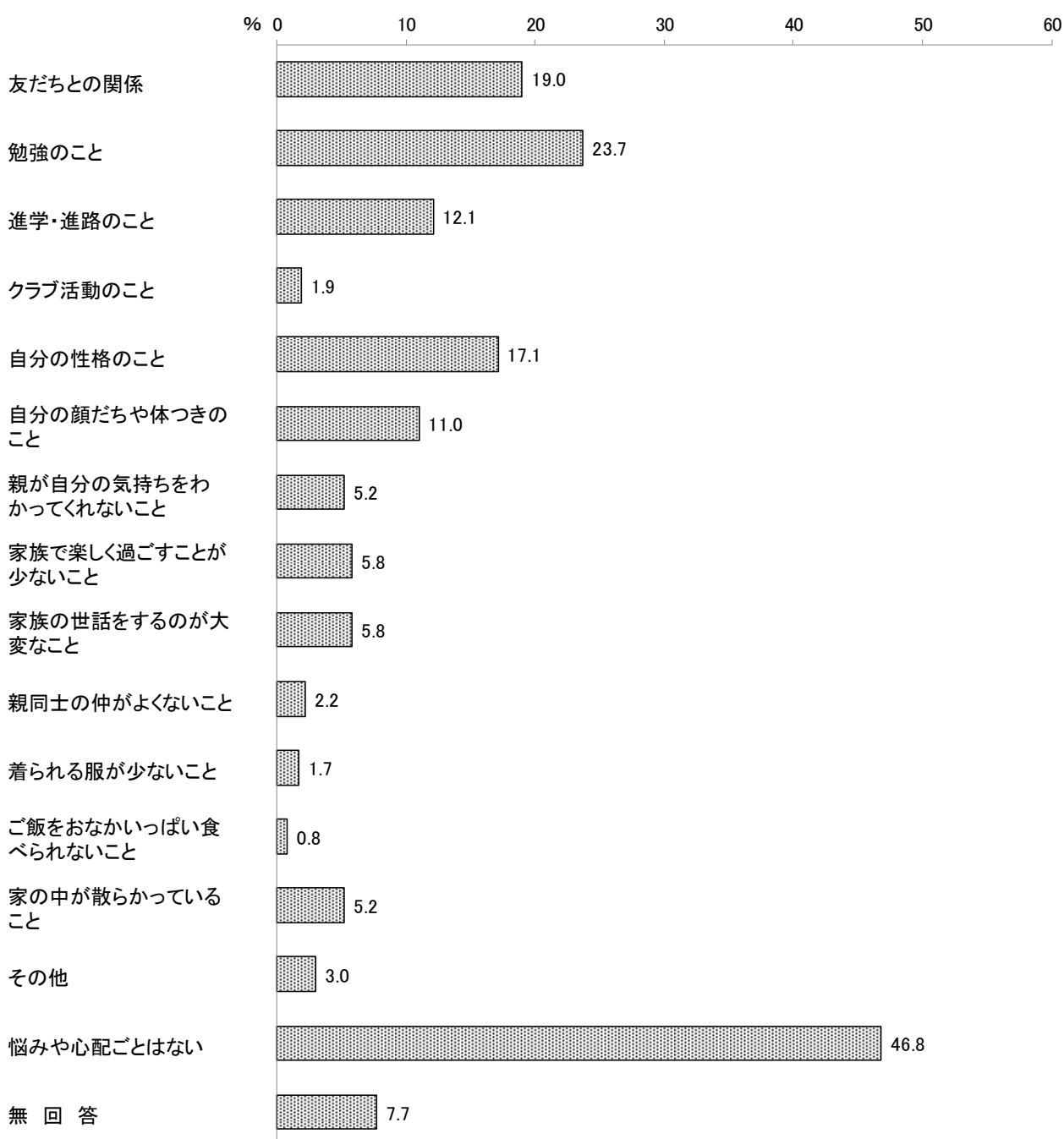
所得別では、低所得に該当する世帯で「悩みや心配ごとはない」が30.3%となっている。

中学2年生・高校生等は、全体では「進学・進路のこと」が47.6%、「勉強のこと」が41.3%、「なやみや心配ごとはない」が25.4%、「友だちとの関係」が22.1%、「自分の顔だちや体つきのこと」が17.2%、「自分の性格のこと」が16.6%である。中学2年生は「友だちとの関係」「勉強のこと」が高校生等より特に多くなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「家にお金がないこと」が32.4%となっている。

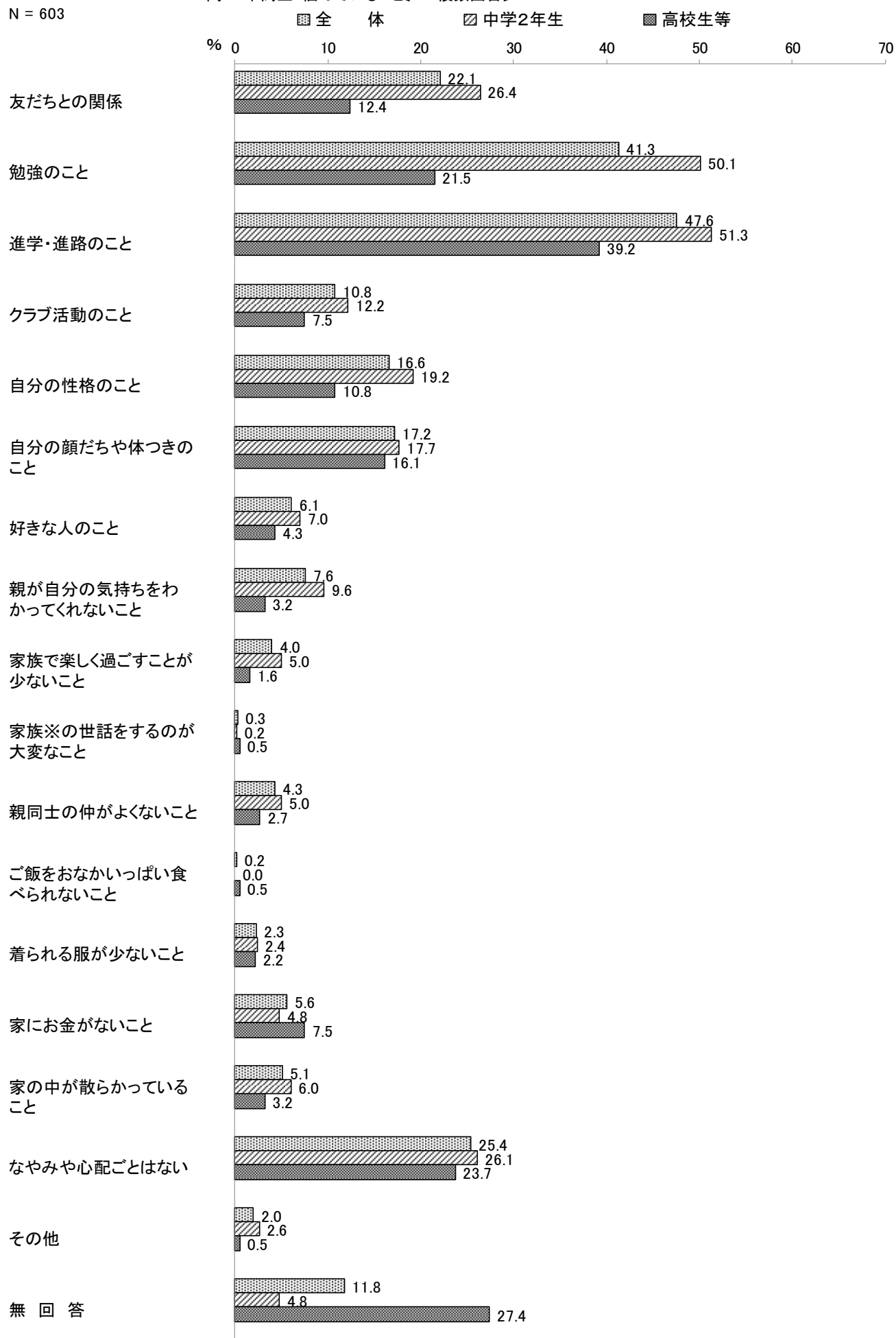
問22小学生・悩んでいること[%・複数回答]

N = 363



N = 603

問23中高生・悩んでいること[%・複数回答]



問 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

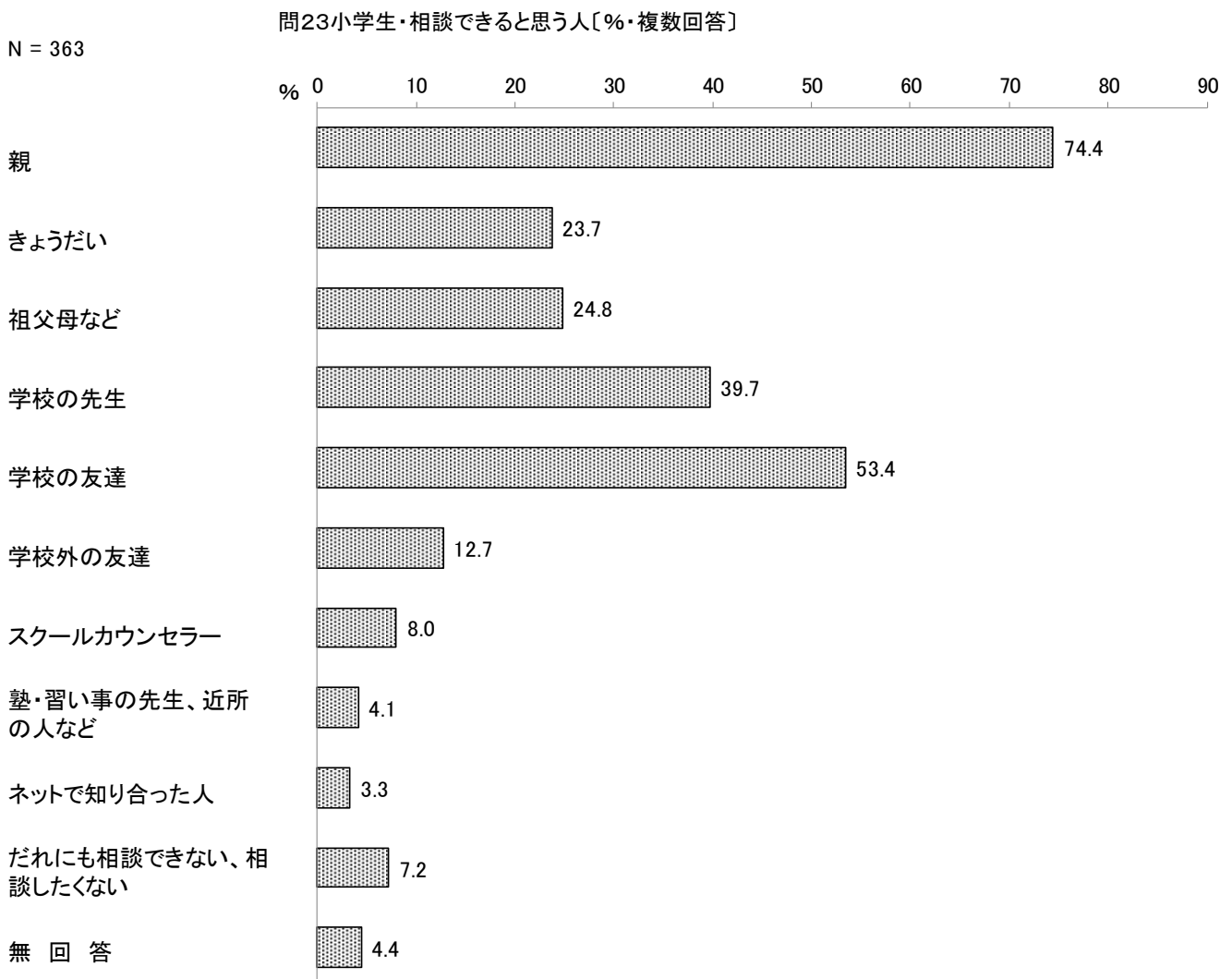
小学5年生は、「親」が74.4%と多く、「学校の友達」が53.4%、「学校の先生」が39.7%、「きょうだい」と「祖父母など」が24%前後で、「だれにも相談できない、相談したくない」が7.2%となっている。

前問で「進学・進路のことで悩んでいる」と回答した場合、「きょうだい」が34.1%、「スクールカウンセラー」が22.7%となっている。

中学2年生・高校生等は、全体では「親」が60.7%と多く、「学校の友達」が54.7%、「学校の先生」が27.5%、「きょうだい」が24.0%、「祖父母など」が15.3%で、「だれにも相談できない、相談したくない」が8.1%となっている。中学2年生は「学校の友達」が60.7%と高校生等の41.4%より多くなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「親」が47.1%となっている。

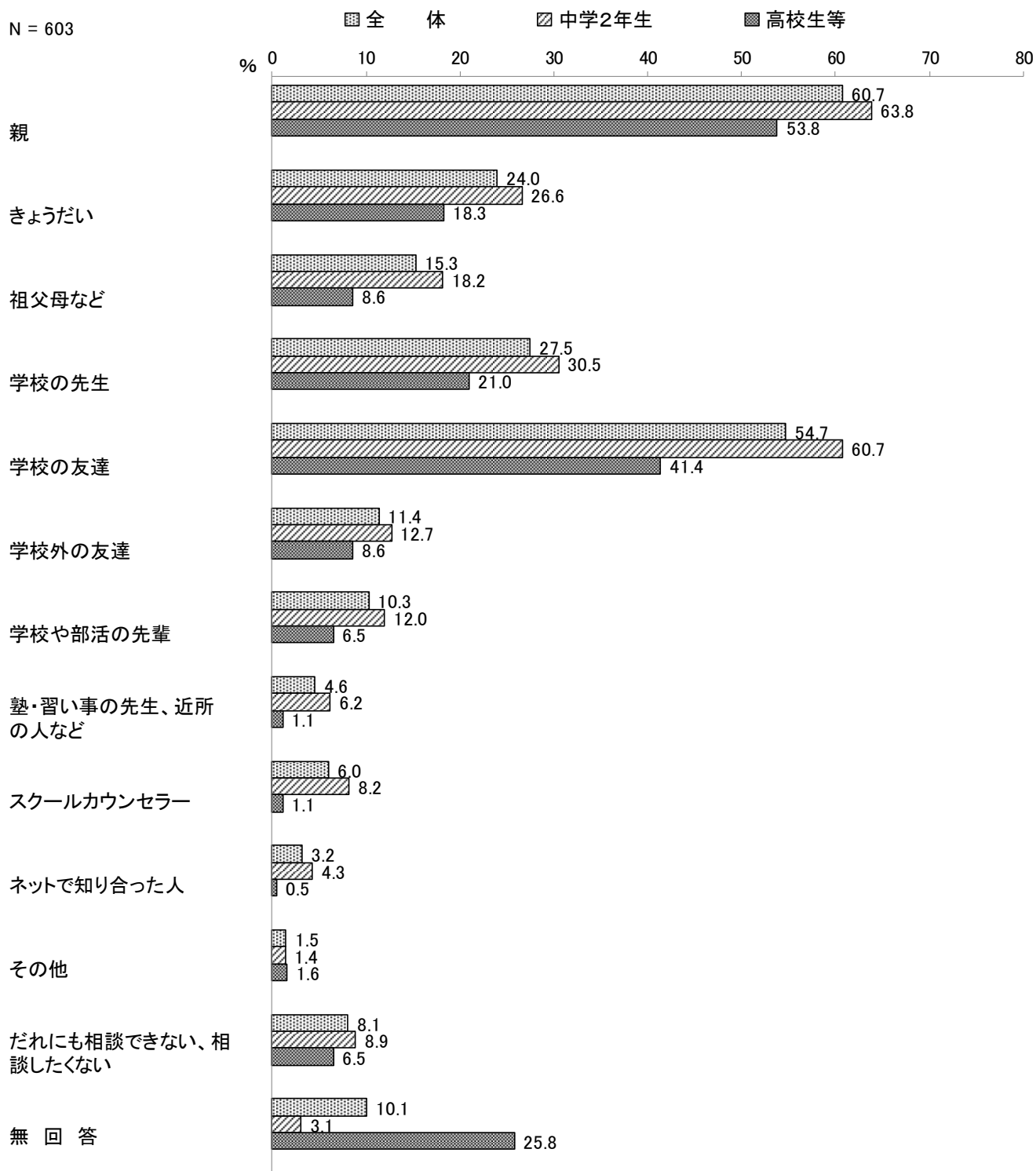
前問で悩んでいることが「好きな人のこと」、「親が自分の気持ちをわかってくれないこと」と回答した場合、「親」がともに4割未満、「学校の友達」がそれぞれ64.9%、43.5%となっている。





問24悩み等を相談できると思う人〔%・複数回答〕

N = 603



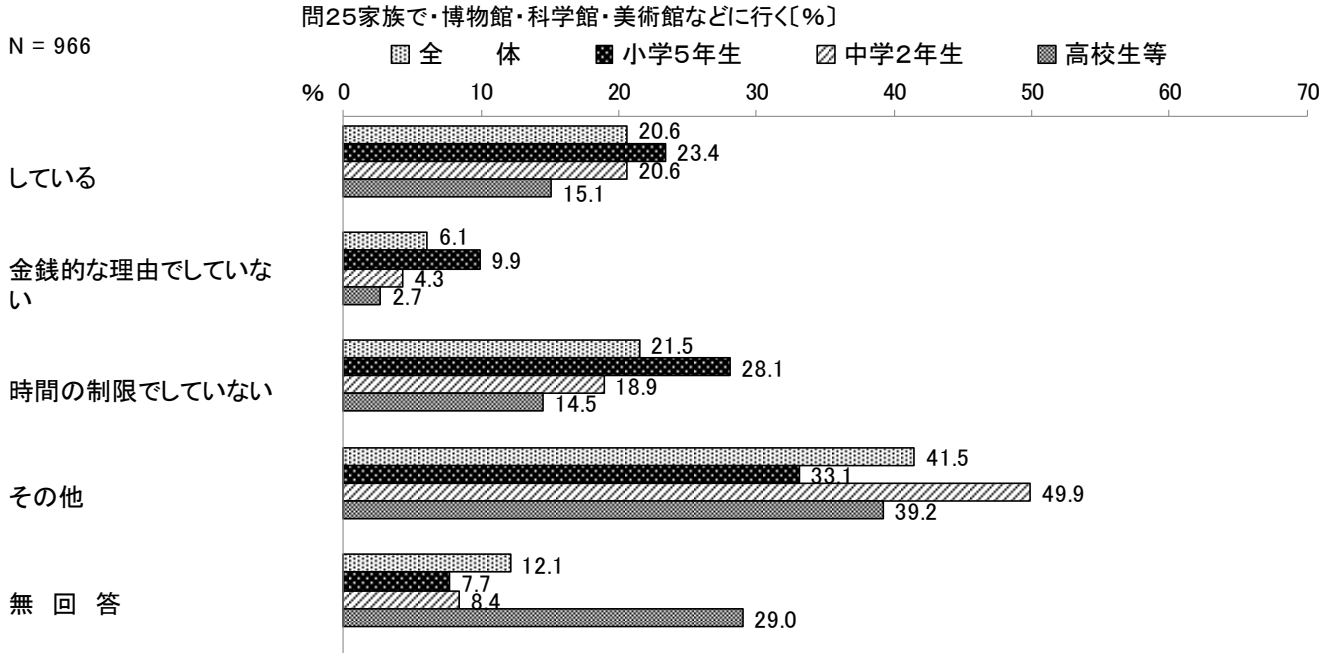
### (3)家族との過ごし方

問 あなたは家族と次のことをしていますか。

#### ①博物館・科学館・美術館などに行く

全体では、「その他」が 41.5%と多く、「時間の制限でしていない」が 21.5%、「している」が 20.6%、「金銭的な理由でしていない」が 6.1%である。「している」「金銭的な理由でしていない」「時間の制限でしていない」は年代が上がると少なくなっている。

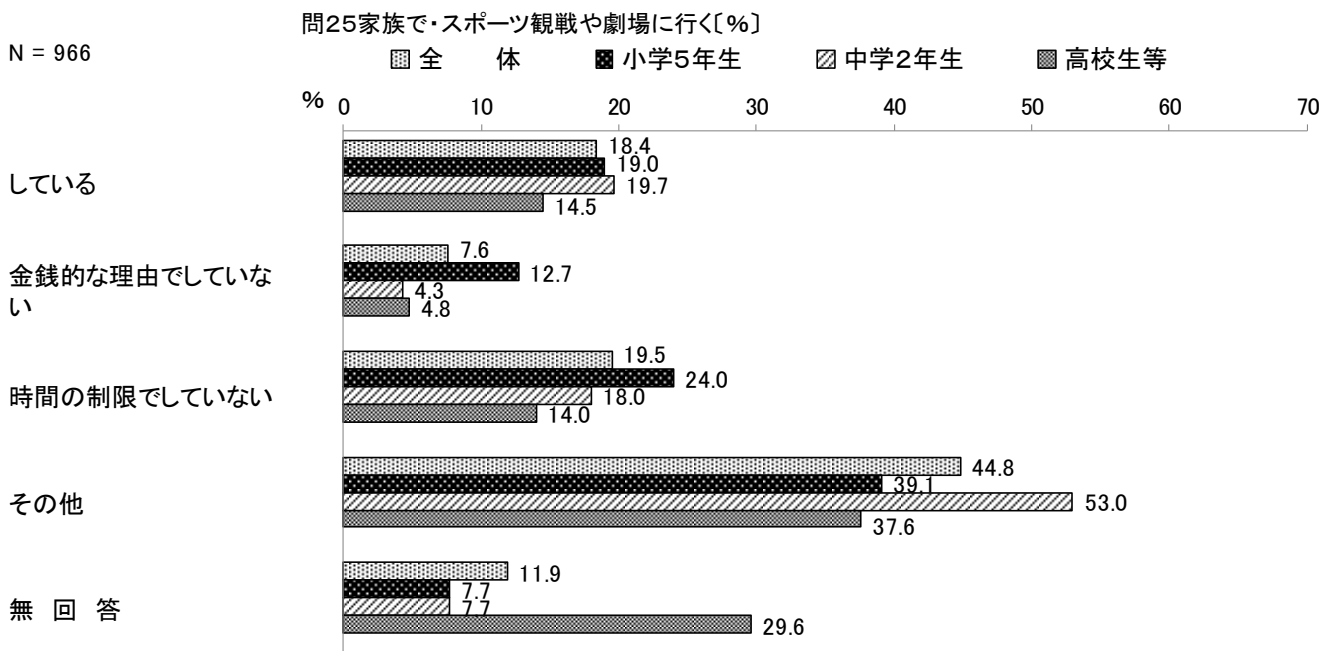
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が 40.7%となっている。



#### ②スポーツ観戦や劇場に行く

全体では、「その他」が 44.8%と多く、「時間の制限でしていない」が 19.5%、「している」が 18.4%、「金銭的な理由でしていない」が 7.6%である。年代が上がると「時間の制限でしていない」が少なくなり、中学2年生は「その他」が 53.0%と多くなっている。

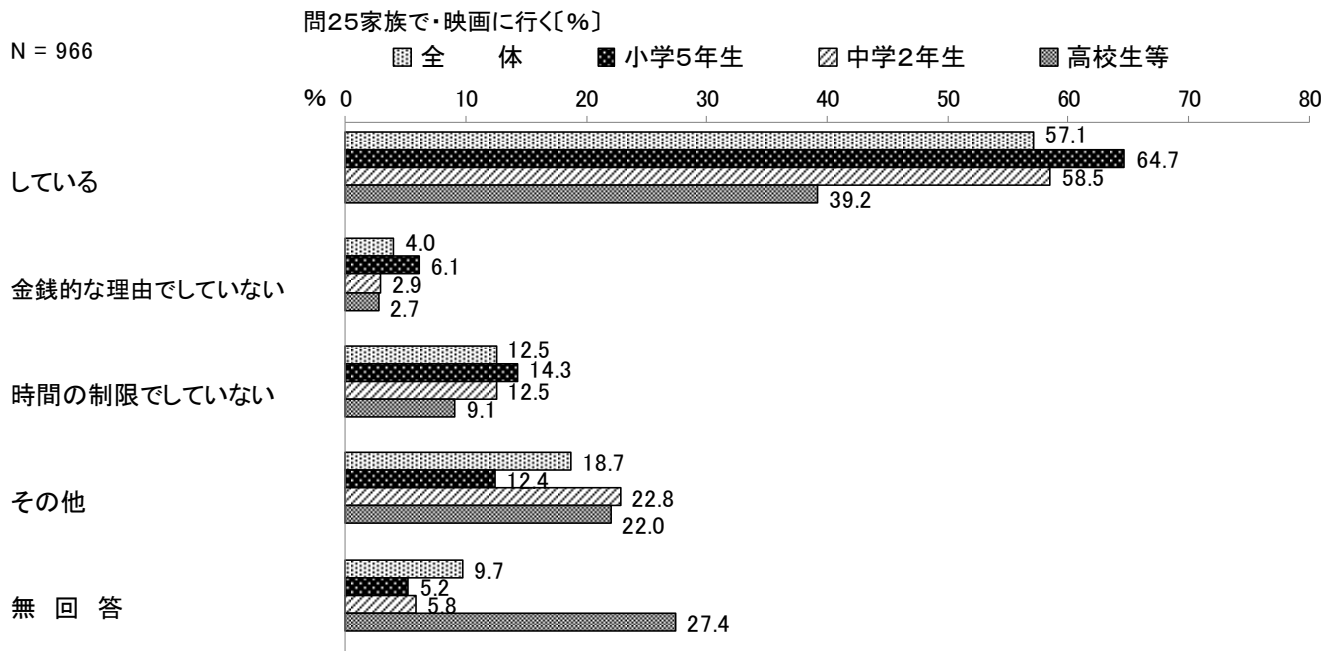
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が 37.3%となっている。



### ③映画に行く

全体では、「している」が 57.1%と多く、「その他」が 18.7%、「時間の制限でしていない」が 12.5%、「金銭的な理由でしていない」が 4.0%である。年代が上がると「している」が少なくなり、高校生等で 39.2%となっている。

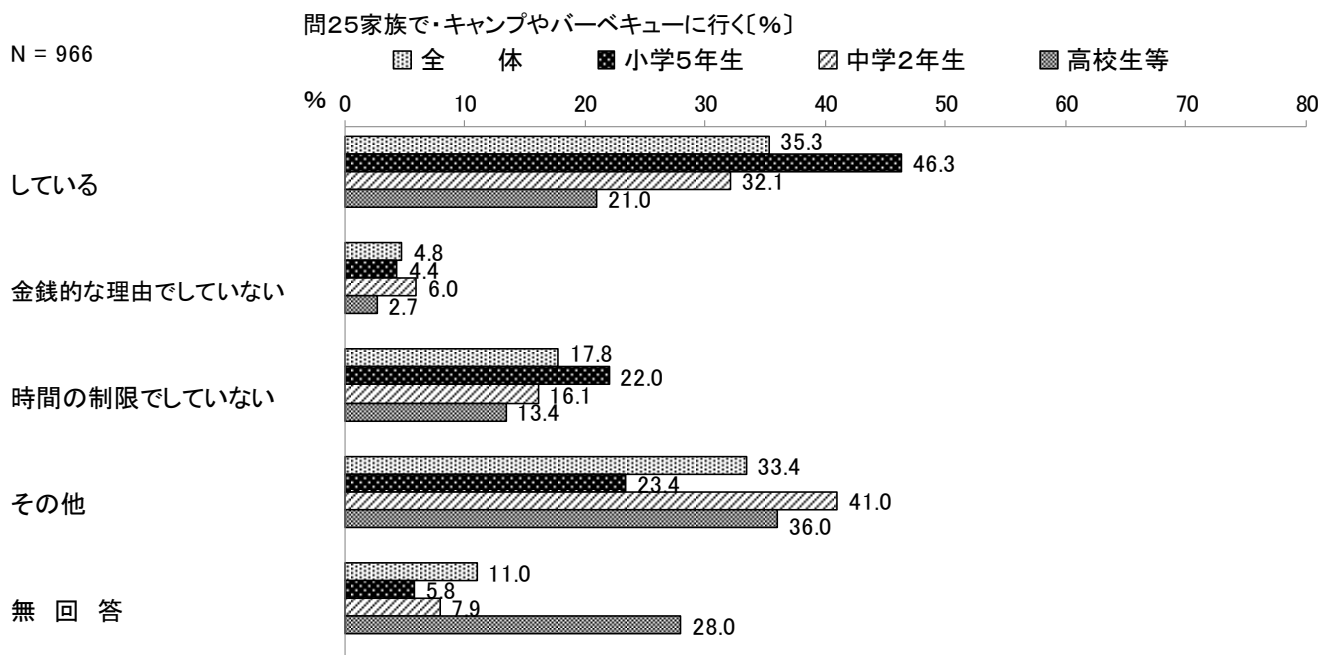
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が 22.0%となっている。



### ④キャンプやバーベキューに行く

全体では、「している」が 35.3%、「その他」が 33.4%と多く、「時間の制限でしていない」が 17.8%、「金銭的な理由でしていない」が 4.8%である。小学5年生は「している」が 46.3%と多くなっている。年代が上がると「している」が少なくなり、高校生等で 21.0%となっている。

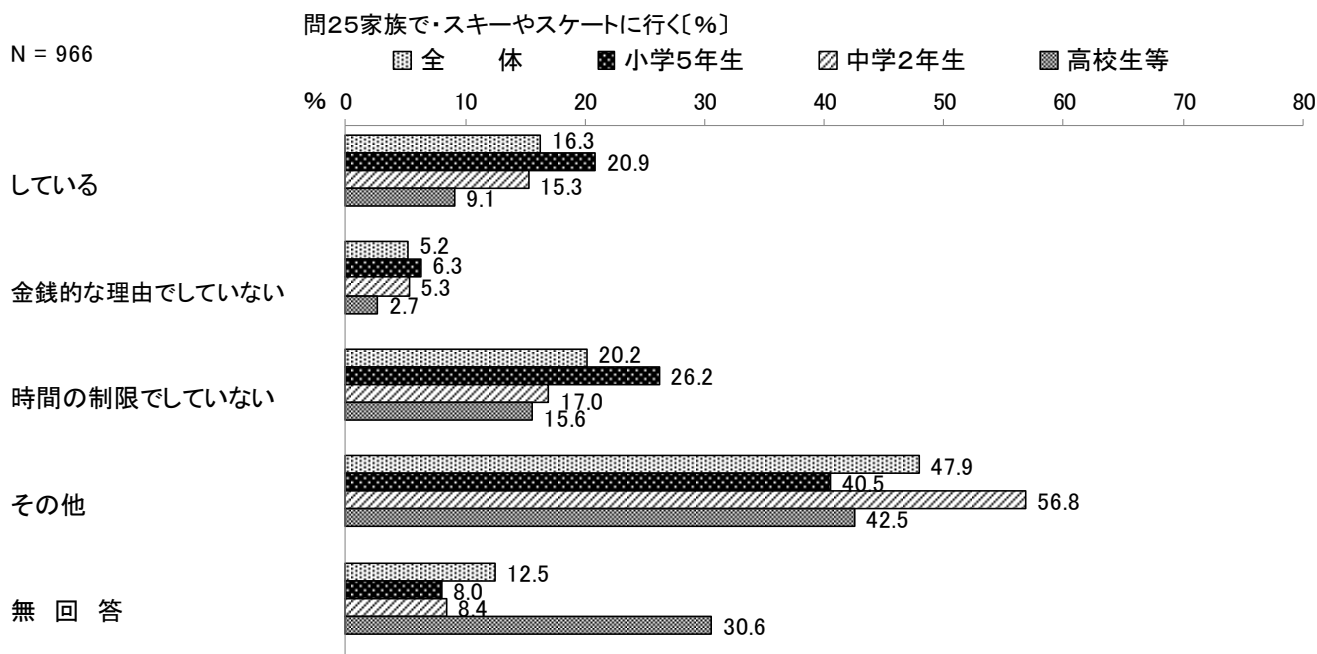
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が 25.4%となっている。



### ⑤スキーやスケートに行く

全体では、「その他」が47.9%と多く、「している」が16.3%、「時間の制限でしていない」が20.2%、「金銭的な理由でしていない」が5.2%である。年代が上がると「している」が少なくなり、小学5年生は「時間の制限でしていない」、中学2年生は「その他」が他の年代より多くなっている。

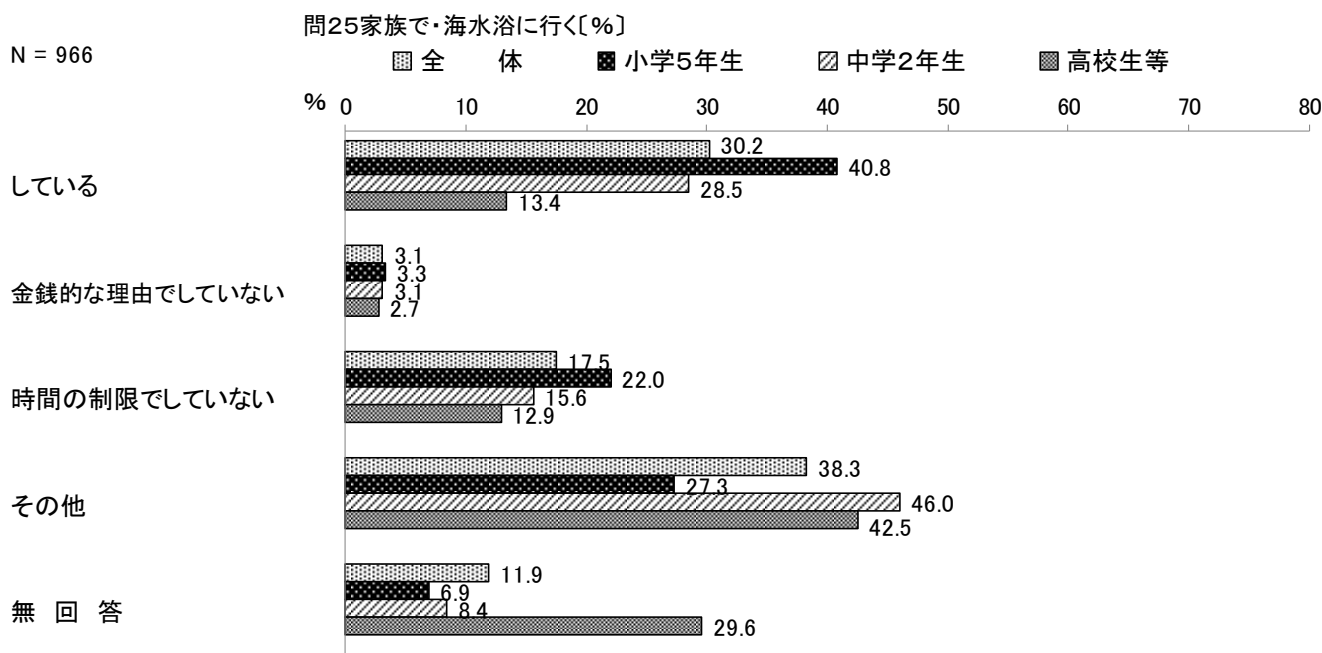
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が27.1%となっている。



### ⑥海水浴に行く

全体では、「その他」が38.3%と多く、「している」が30.2%、「時間の制限でしていない」が17.5%、「金銭的な理由でしていない」が3.1%である。年代が上がると「している」が少なくなり、高校生等で13.4%となっている。

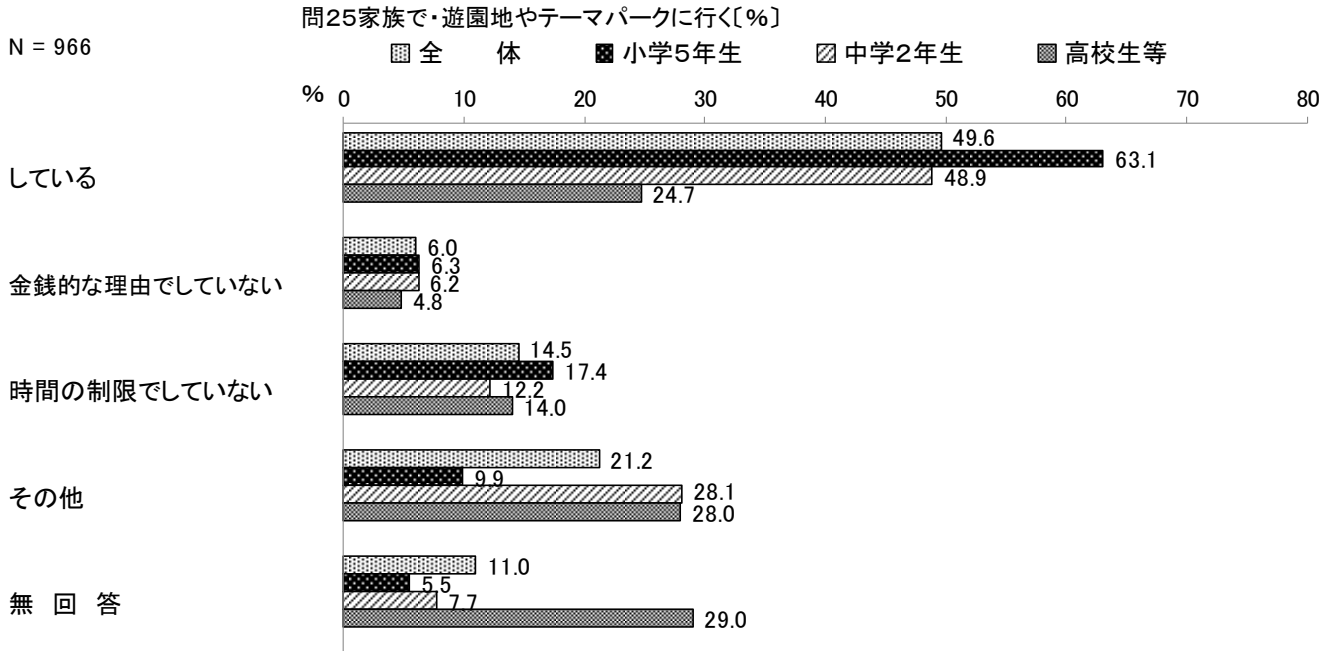
生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が16.9%となっている。



### ⑦遊園地やテーマパークに行く

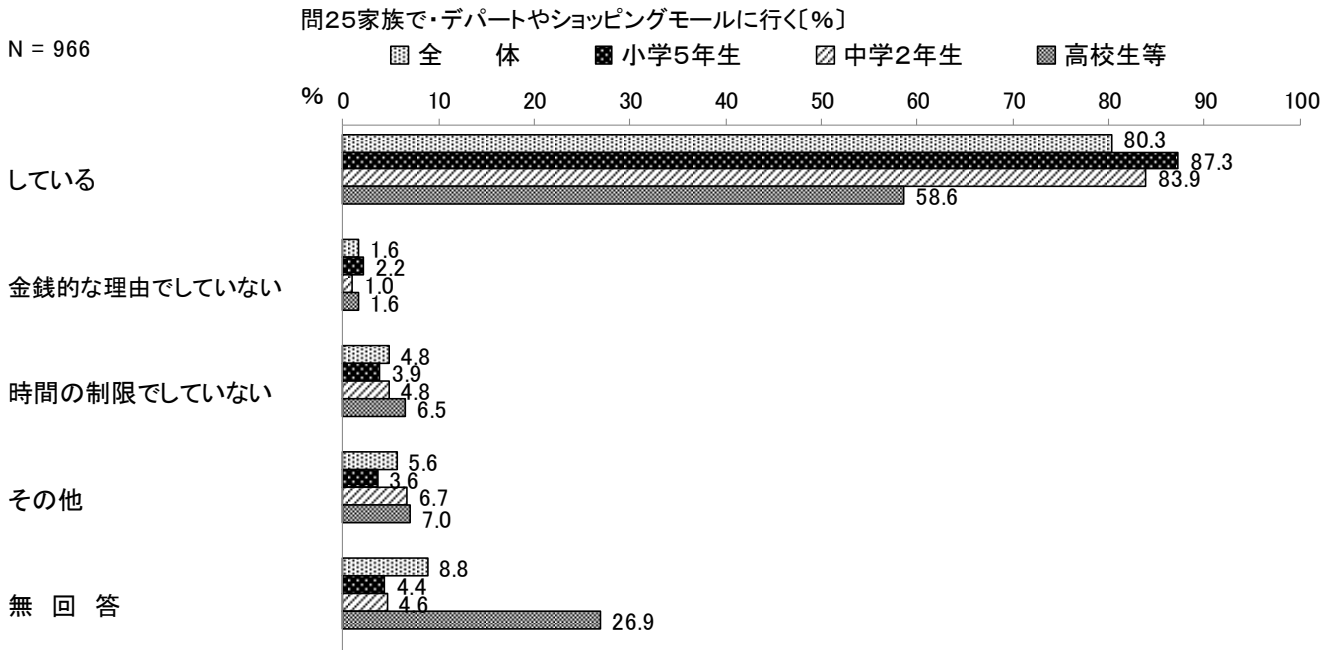
全体では、「している」が 49.6%と多く、「その他」が 21.2%、「時間の制限でしていない」が 14.5%、「金銭的な理由でしていない」が 6.0%である。年代が上がると「している」が少なくなり、高校生等で 24.7%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「金銭的な理由でしていない」が 28.8%となっている。



### ⑧デパートやショッピングモールに行く

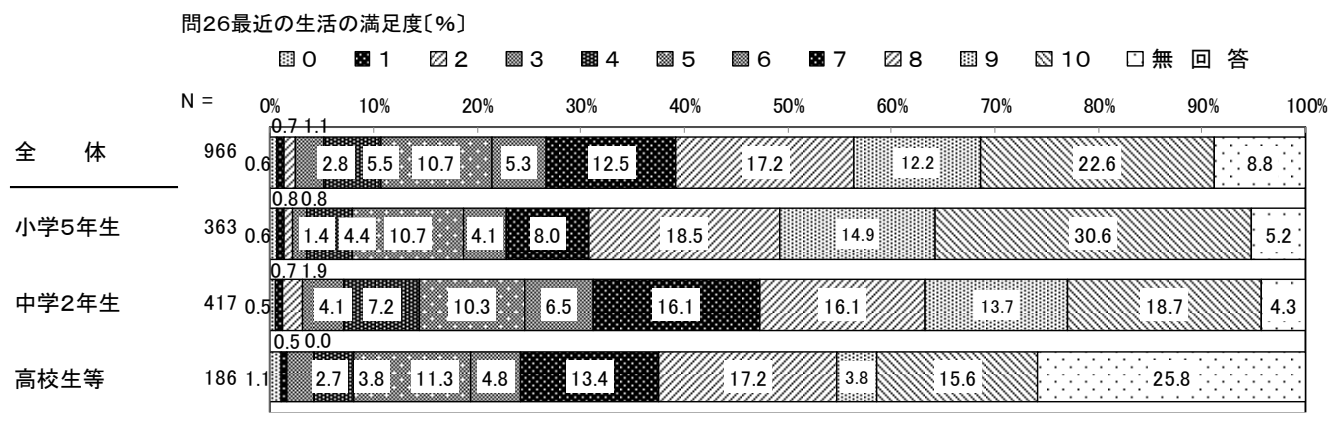
全体では、「している」が 80.3%と多くを占めている。高校生等は、「している」が 58.6%と他の年代より少なくなっている。



問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

全体では「6」～「10」が69.8%、「0」～「5」が21.4%で、「10」が22.6%、「8」が17.2%となっている。小学5年生は「10」が30.6%と多く、高校生等は「6」～「10」が54.8%と他の年代より少なくなっている。

健康状態別では、よいで「10」が33.2%、ふつうで「4」が15.6%、あまりよくないで「5」が37.1%となっている。



### 3.5 今の気持ち・思っていることなど

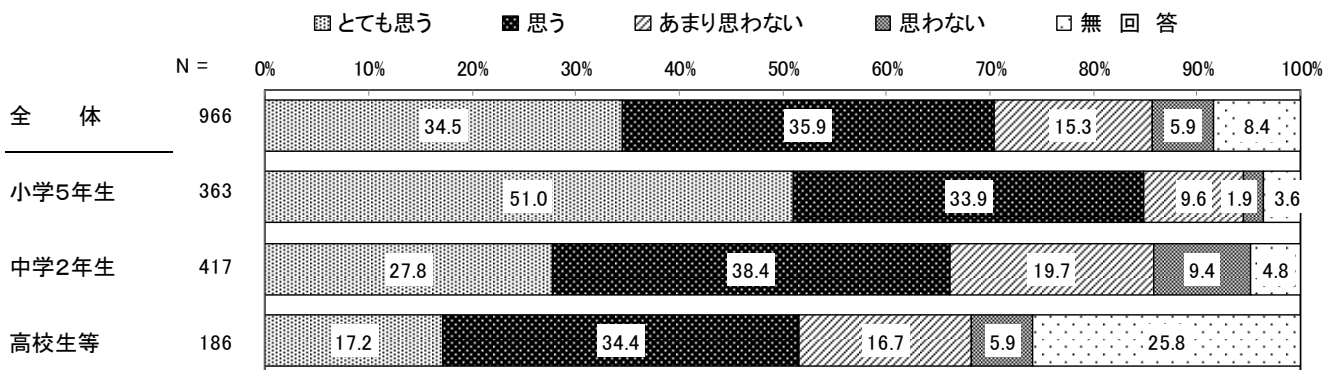
問 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

#### ①がんばればむくわれる、がんばれば、よいことがある

全体では、『思う』（「とても思う」と「思う」の計、以下同様）が 70.4%と多く、『思わない』（「あまり思わない」と「思わない」の計、以下同様）が 21.2%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 51.6%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 35.6%となっている。

問27思いや気持ち・がんばればむくわれる[%]

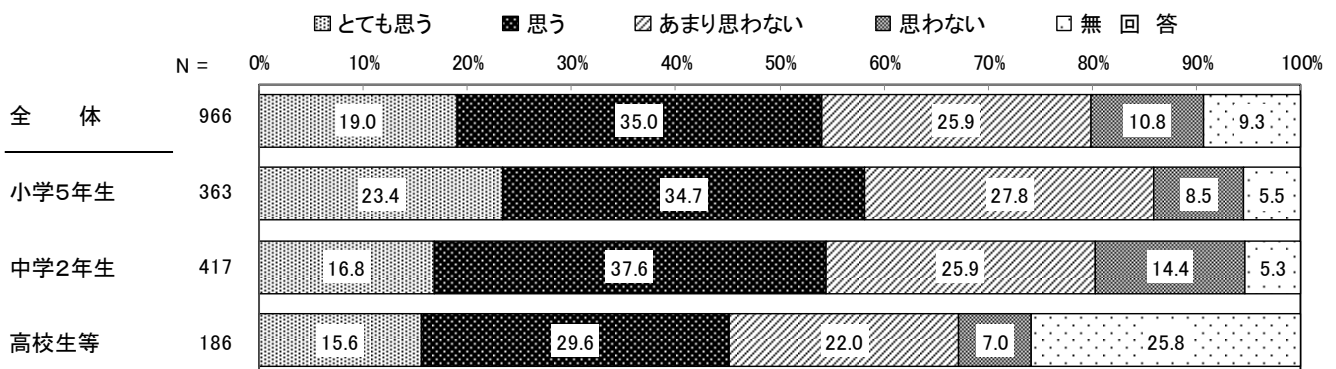


#### ②自分は価値のある人間だ

全体では、『思う』が 54.0%と多く、『思わない』が 36.7%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 45.2%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 54.3%となっている。

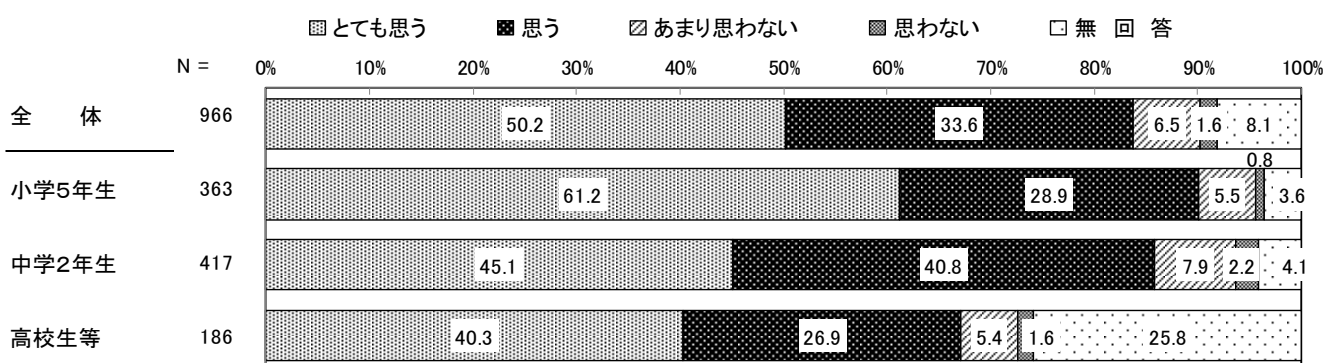
問27思いや気持ち・自分は価値のある人間だ[%]



#### ③自分は家族に大事にされている

全体では、『思う』が 83.8%と多く、『思わない』が 8.1%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 67.2%となっている。

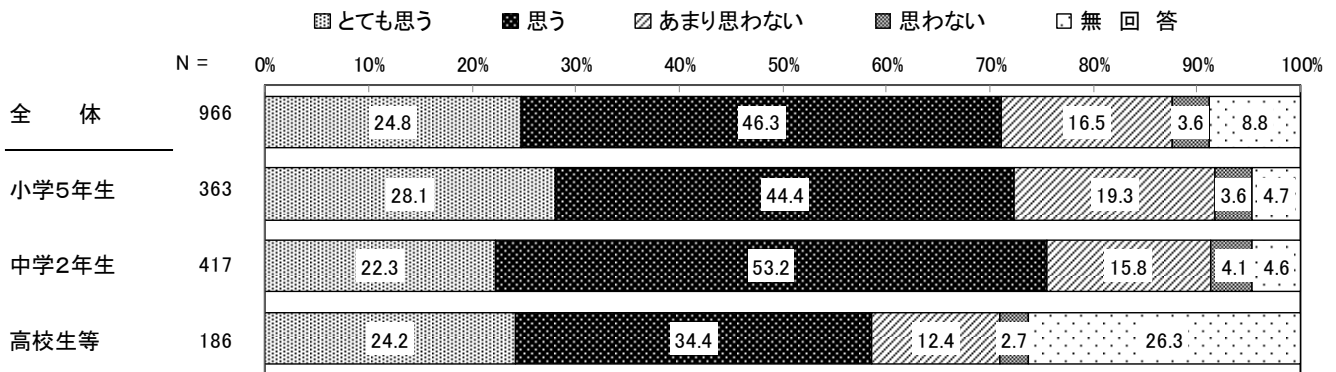
問27思いや気持ち・自分は家族に大事にされている[%]



#### ④自分は友だちに好かれている

全体では、『思う』が 71.1%と多く、『思わない』が 20.1%である。高校生等は『思う』が 58.6%と少なくなっている。

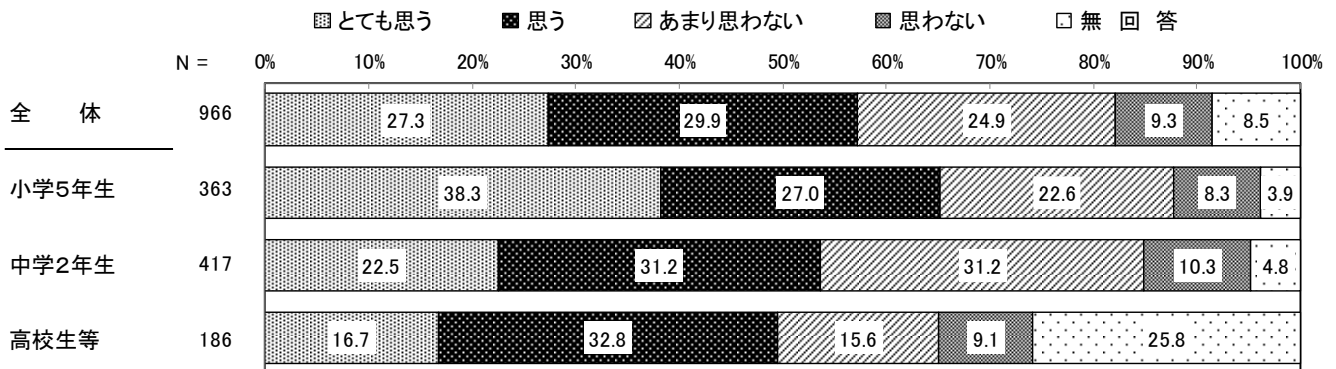
問27思いや気持ち・自分は友だちに好かれている[%]



#### ⑤自分の将来が楽しみだ

全体では、『思う』が 57.2%と多く、『思わない』が 34.2%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 49.5%となっている。

問27思いや気持ち・自分の将来が楽しみだ[%]

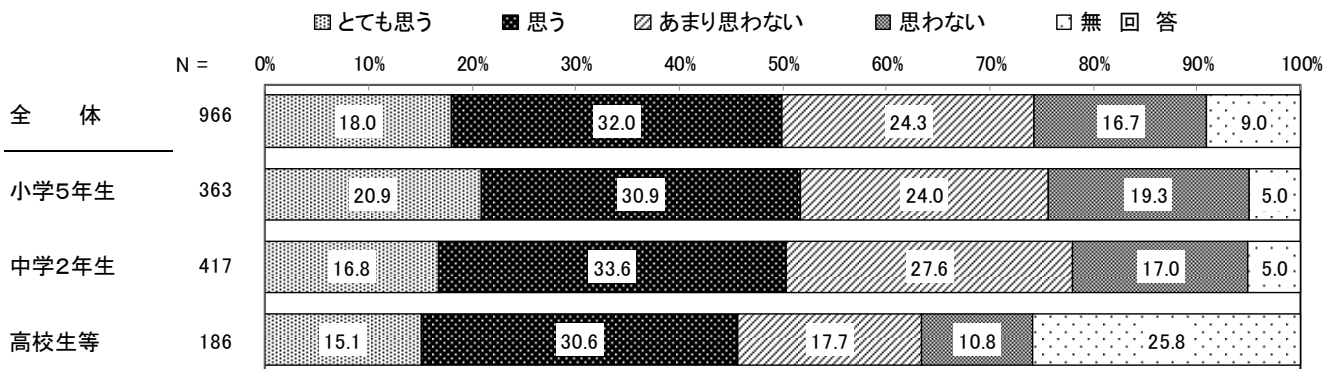


#### ⑥自分のことが好きだ

全体では、『思う』が 50.0%、『思わない』が 41.0%である。高校生等で『思わない』が 28.5%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 57.6%となっている。

問27思いや気持ち・自分のことが好きだ[%]



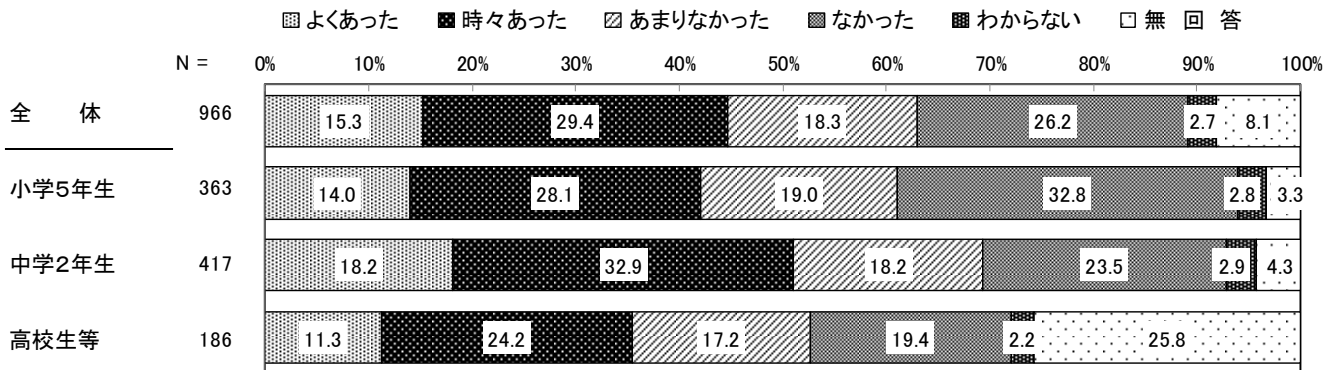


問 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。もっとも近いものに○をつけてください。

### ①学校に行きたくないと思った

全体では、『あった』（「よくあった」と「時々あった」の計、以下同様）が 44.7%、『なかった』（「あまりなかった」と「なかった」の計、以下同様）が 44.5%で同程度である。中学2年生は『あった』が50%を超えている。

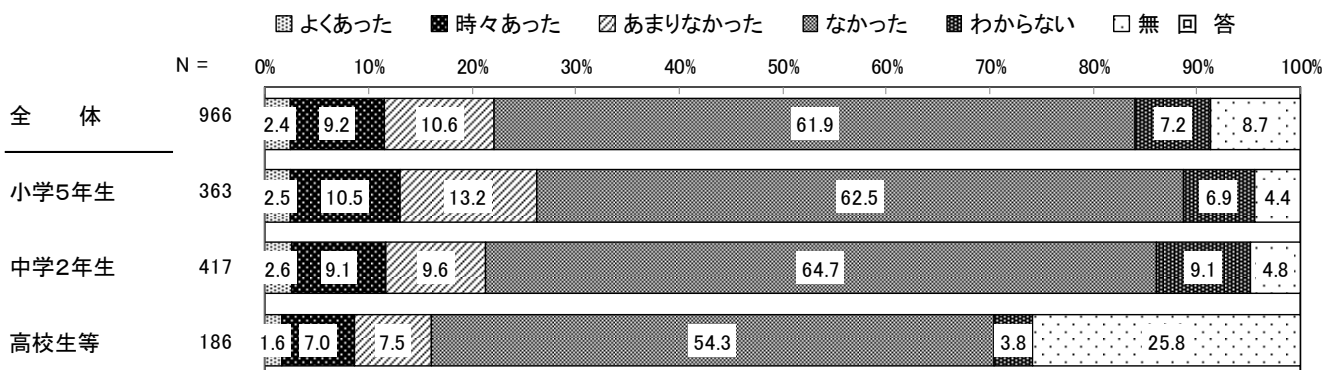
問28これまでのこと・学校に行きたくないと思った[%]



### ②いじめられた

全体では、『なかった』が 72.5%と多く、『あった』が 11.6%である。高校生等は『なかった』が 61.8%と少なくなっている。

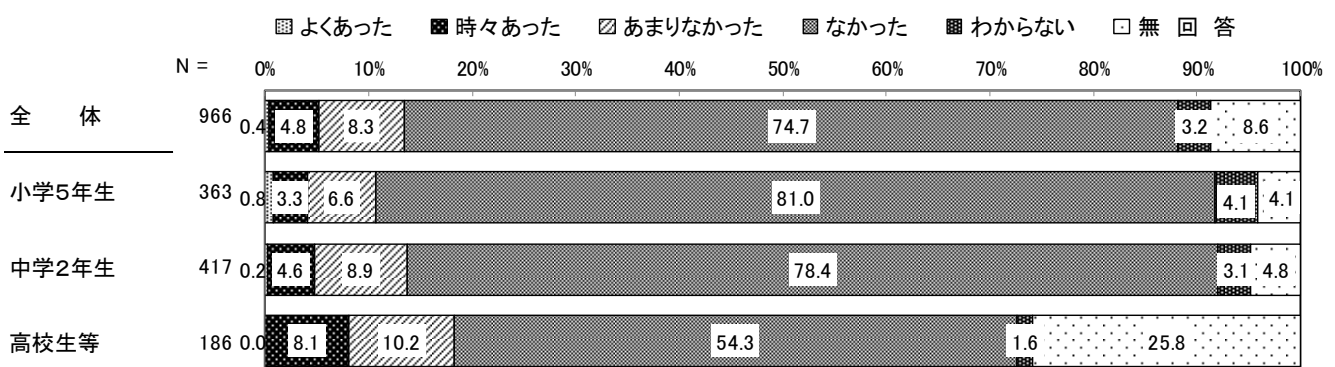
問28これまでのこと・いじめられた[%]



### ③夜おそくまで子どもだけで過ごした

全体では、『なかった』が 83.0%と多く、『あった』が 5.2%である。高校生等は『なかった』が 64.5%と少なくなっている。

問28これまでのこと・夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

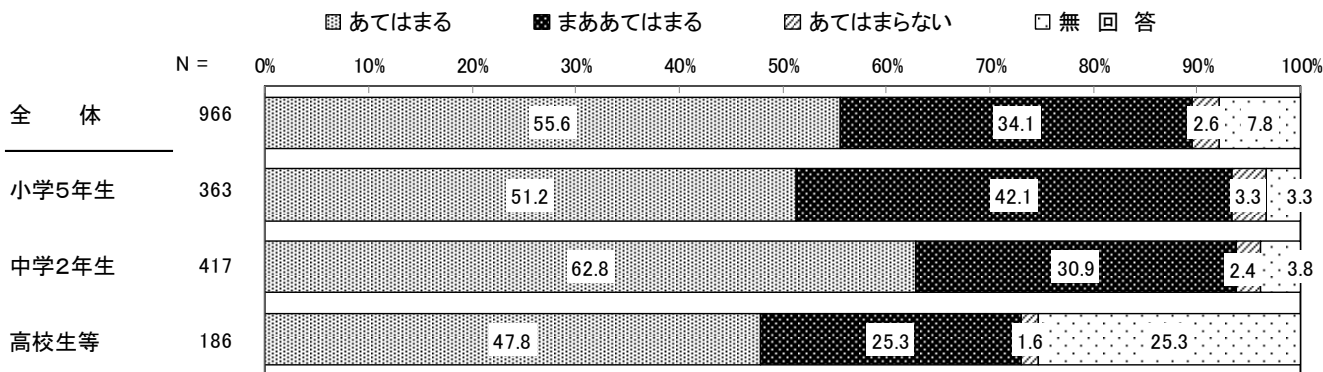


問 あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。答えに自信がなくても、全部の質問に教えてください。

①他人に対して親切にしている。他人の気持ちをよく考える

全体では、『あてはまる』（「あてはまる」と「まああてはまる」の計、以下同様）が 89.7%と多くを占めている。高校生等は『あてはまる』が 73.1%と他の年代より少なくなっている。

問29半年位のこと・他人の気持ちをよく考える[%]

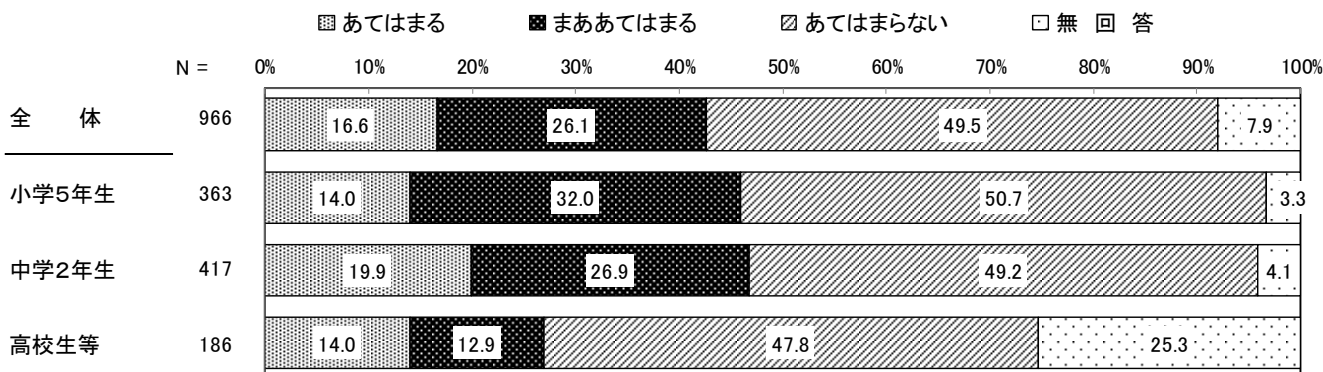


②よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする

全体では、「あてはまらない」が 49.5%、『あてはまる』が 42.7%である。高校生等は『あてはまる』が 26.9%と他の年代より少なくなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『あてはまる』が 59.3%となっている。

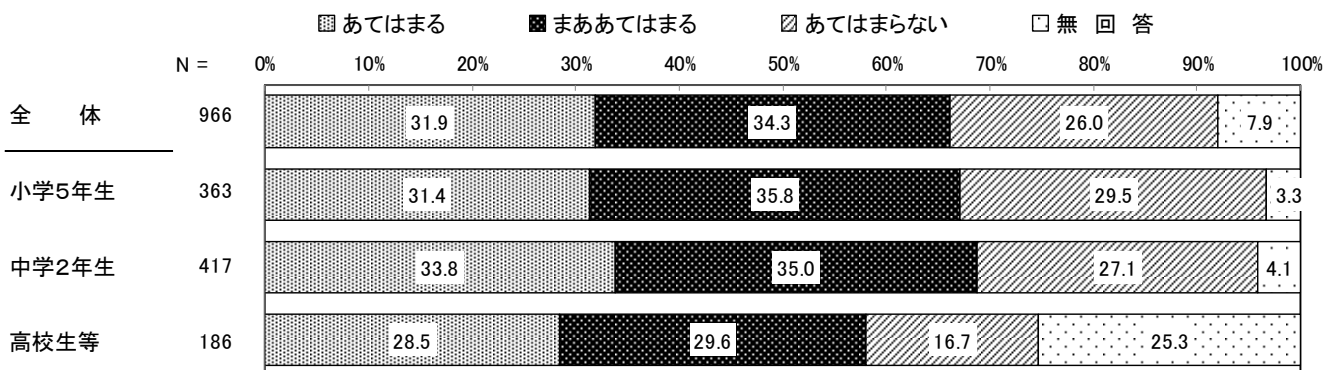
問29半年位のこと・頭やお腹が痛い、気持ち悪くなる[%]



③他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)

全体では、『あてはまる』が 66.2%と多く、「あてはまらない」が 26.0%である。

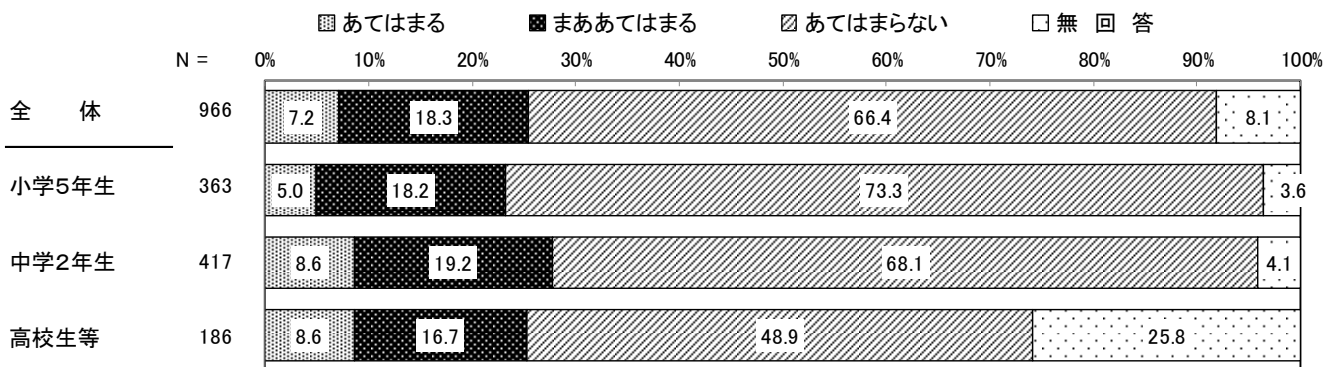
問29半年位のこと・他の子とよく分け合う[%]



#### ④たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶ

全体では、「あてはまらない」が 66.4%と多く、『あてはまる』が 25.5%である。高校生等は、「あてはまらない」が 48.9%と少なくなっている。

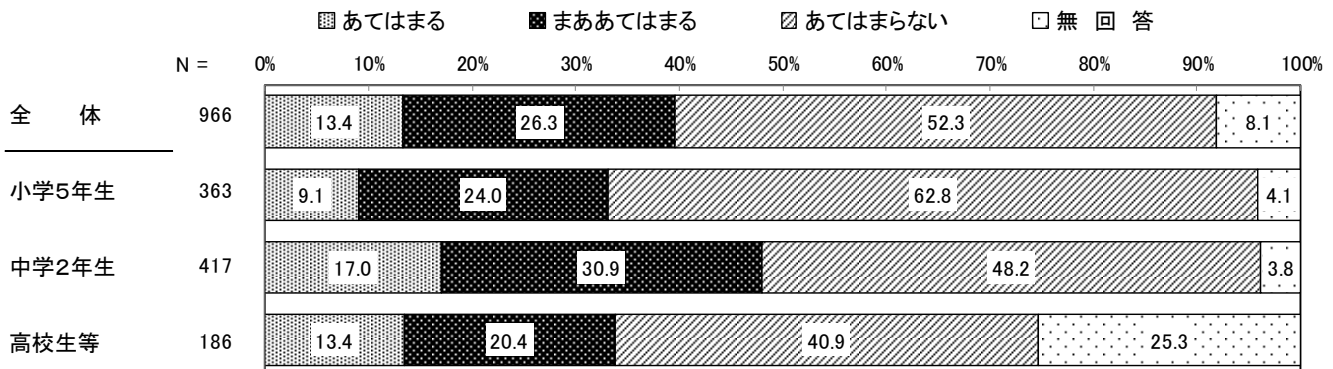
問29半年位のこと・だいたい一人でいる・遊ぶ[%]



#### ⑤心配ごとが多く、いつも不安だ

全体では、「あてはまらない」が 52.3%と多く、『あてはまる』が 39.7%である。中学2年生は『あてはまる』が 47.9%と他の年代より多くなっている。

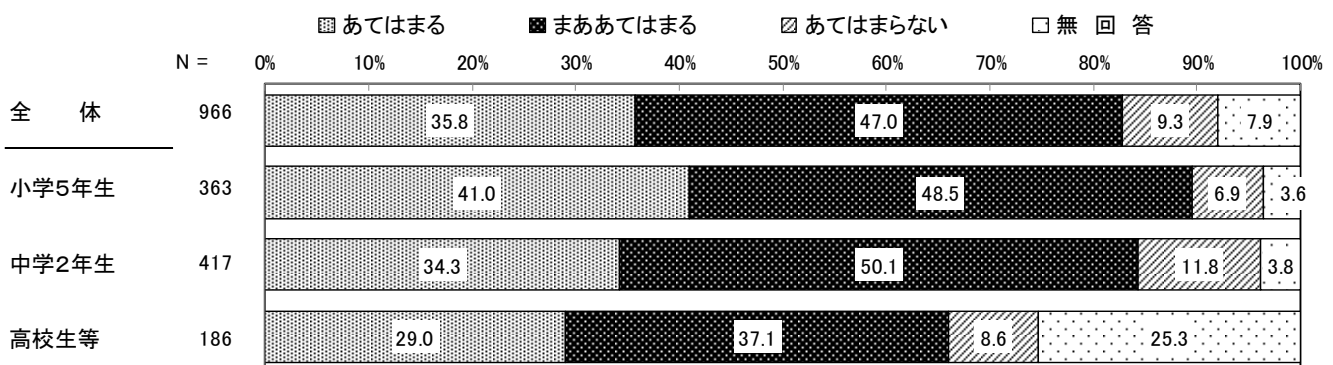
問29半年位のこと・心配ごとが多い、いつも不安だ[%]



#### ⑥誰かが心をいためたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける

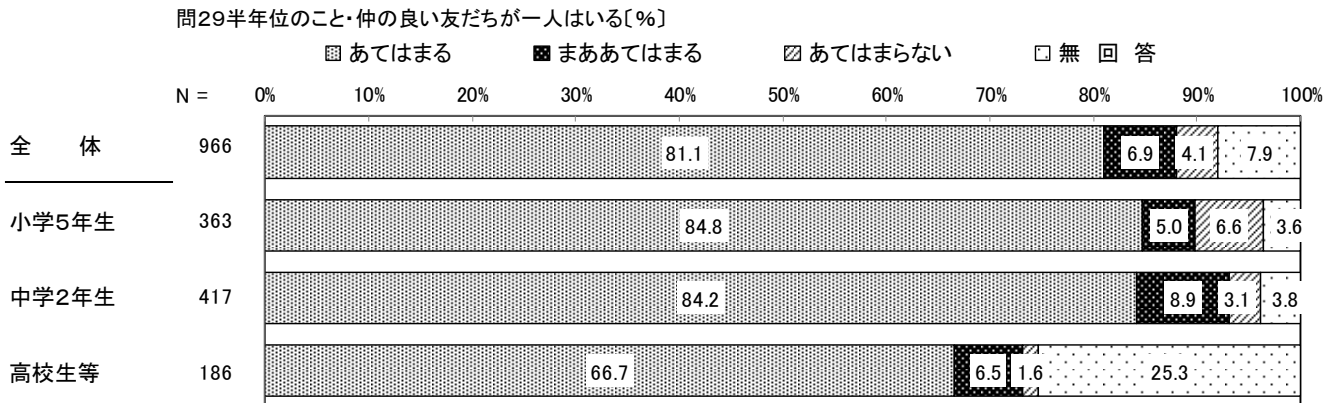
全体では、『あてはまる』が 82.8%と多く、「あてはまらない」が 9.3%である。高校生等は、『あてはまる』が 66.1%と他の年代より少なくなっている。

問29半年位のこと・人が心を痛めていたらすすんで助ける[%]



### ⑦仲の良い友だちが少なくとも一人はいる

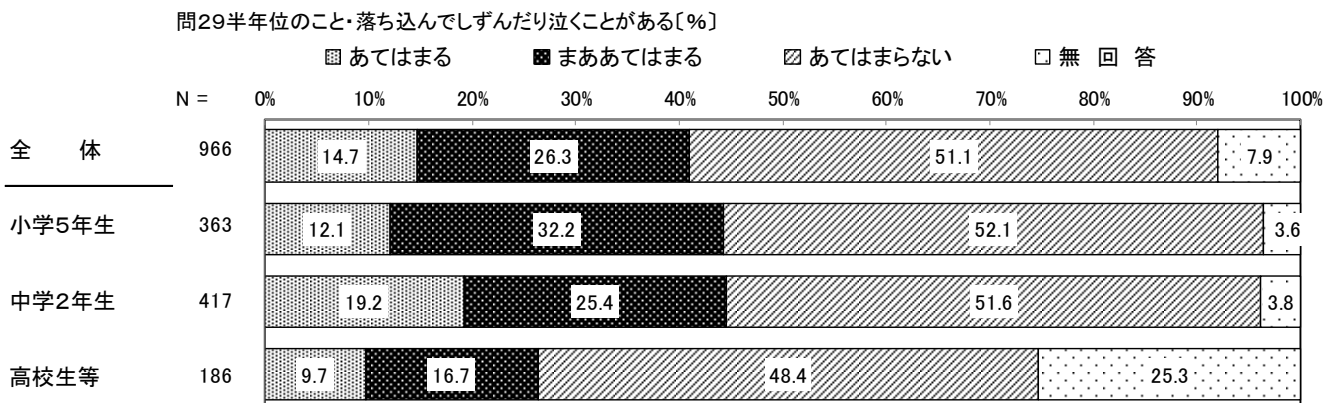
全体では、『あてはまる』が 88.0%と多く、「あてはまらない」が 4.1%である。高校生等は、『あてはまる』が 73.2%と他の年代より少なくなっている。



### ⑧落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある

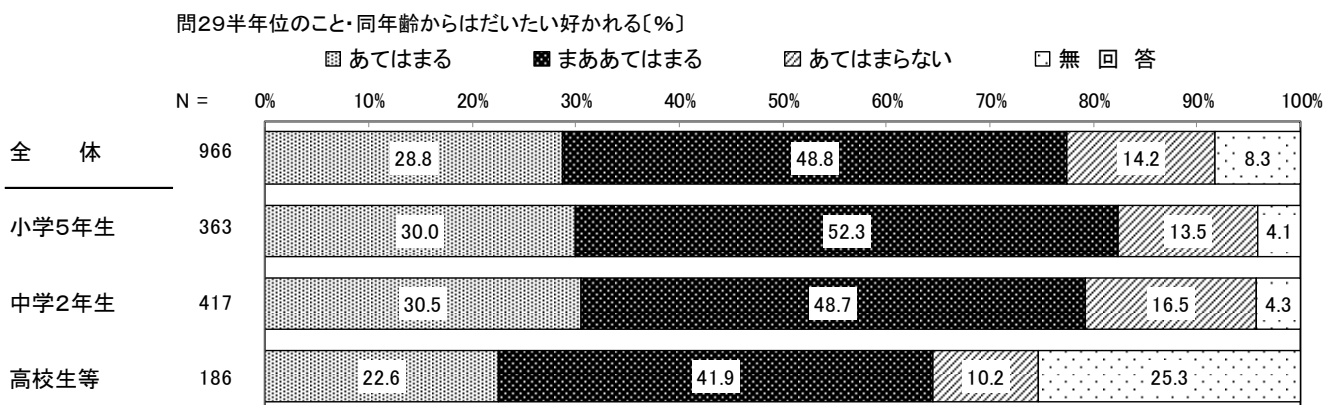
全体では、「あてはまらない」が 51.1%と多く、『あてはまる』が 41.0%である。高校生等は、『あてはまる』が 26.4%と他の年代より少なくなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『あてはまる』が 57.6%となっている。



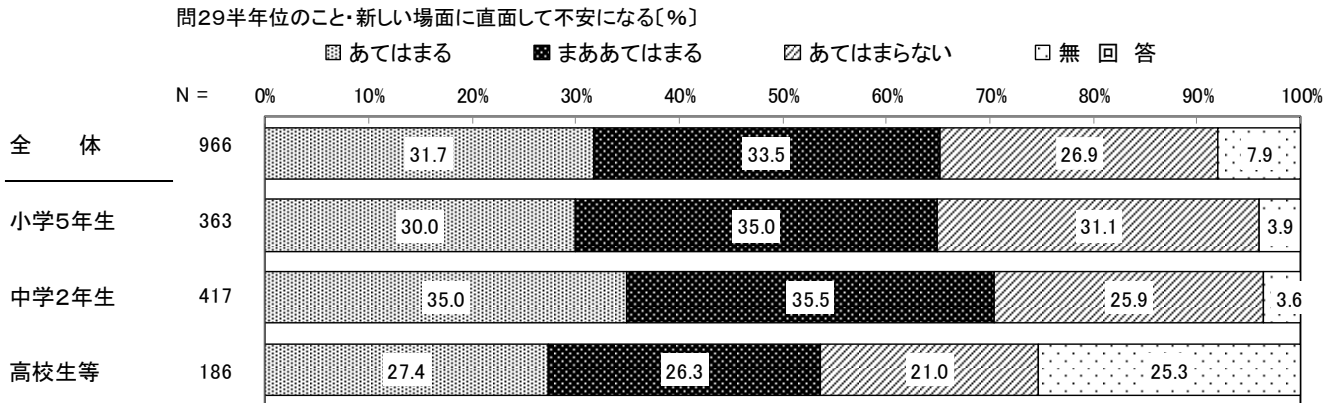
### ⑨同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている

全体では、『あてはまる』が 77.6%と多く、「あてはまらない」が 14.2%である。高校生等は、『あてはまる』が 64.5%と他の年代より少なくなっている。



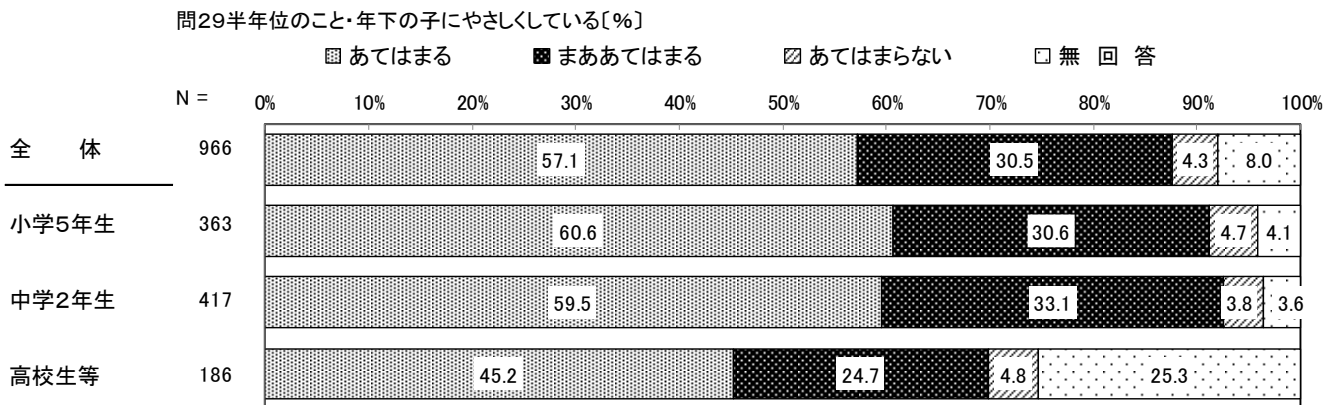
### ⑩新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい

全体では、『あてはまる』が 65.2%と多く、「あてはまらない」が 26.9%である。高校生等は『あてはまる』が 53.7%と他の年代より少なくなっている。



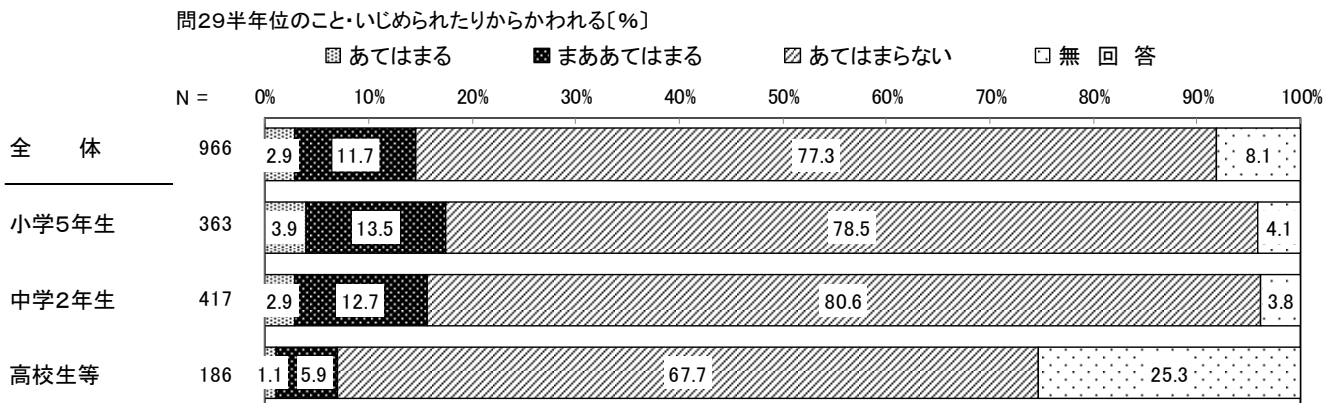
### ⑪年下の子どもたちに対してやさしくしている

全体では、『あてはまる』が 87.6%と多く、「あてはまらない」が 4.3%である。高校生等は、『あてはまる』が 69.9%と他の年代より少なくなっている。



### ⑫他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする

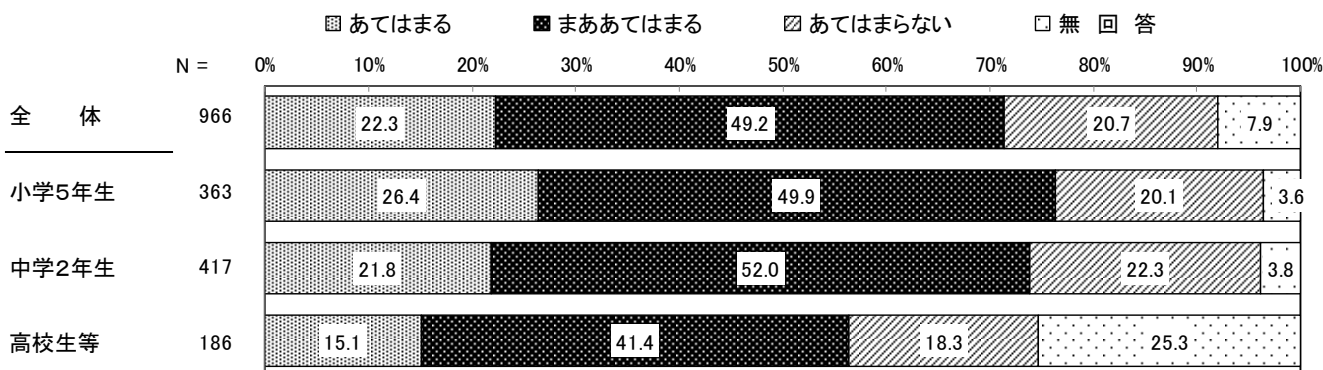
全体では、「あてはまらない」が 77.3%と多く、『あてはまる』が 14.6%である。高校生等は、『あてはまる』が 7.0%と他の年代より少なくなっている。



### ⑬自分からすすんでよく手伝いをする(親・先生・他の子どもたちなど)

全体では、『あてはまる』が 71.5%と多く、「あてはまらない」が 20.7%である。高校生等は、『あてはまる』が 56.5%と他の年代より少なくなっている。

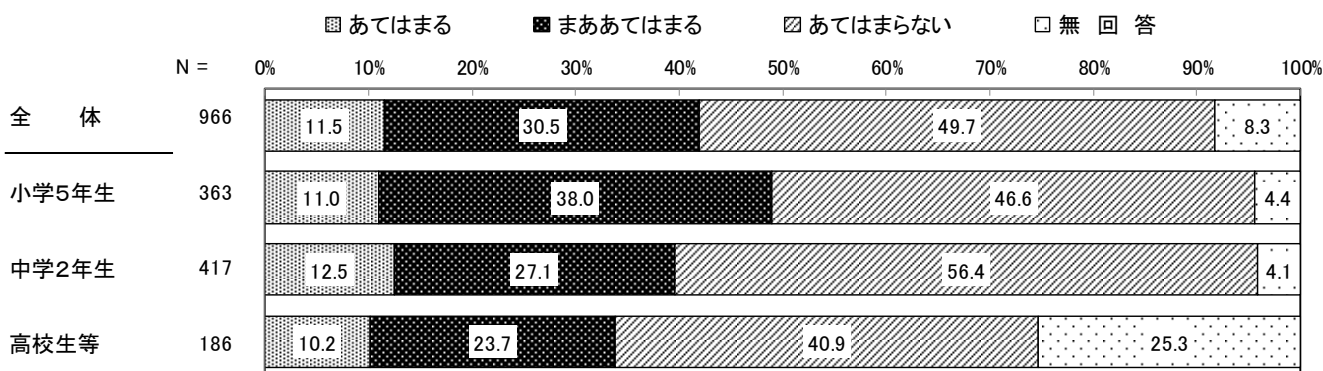
問29半年位のこと・自分からすすんでよく手伝いをする[%]



### ⑭他の子たちより、大人という方がうまくいく

全体では、「あてはまらない」が 49.7%と多く、『あてはまる』が 42.0%である。年代が上がるると『あてはまる』が少なくなっている。

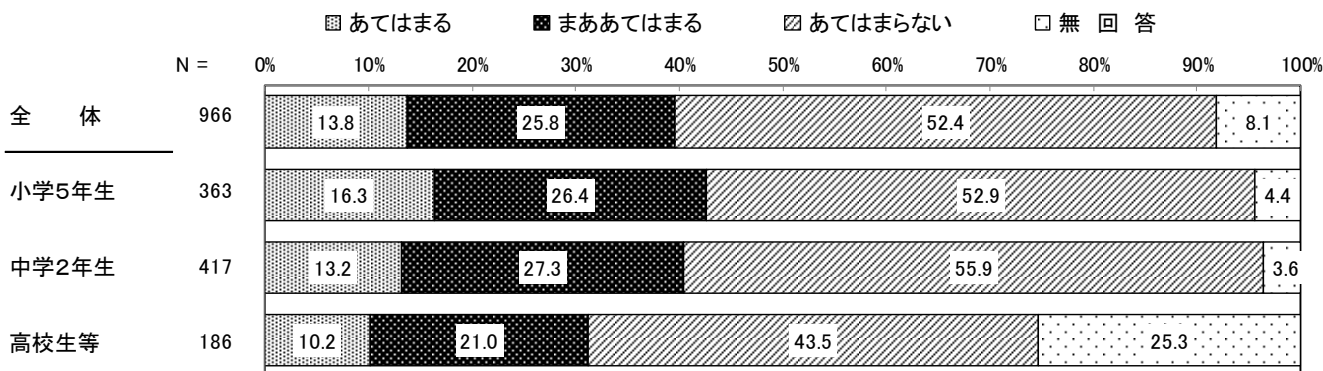
問29半年位のこと・子どもより大人という方がうまくいく[%]



### ⑮こわがりで、すぐにおびえたりする

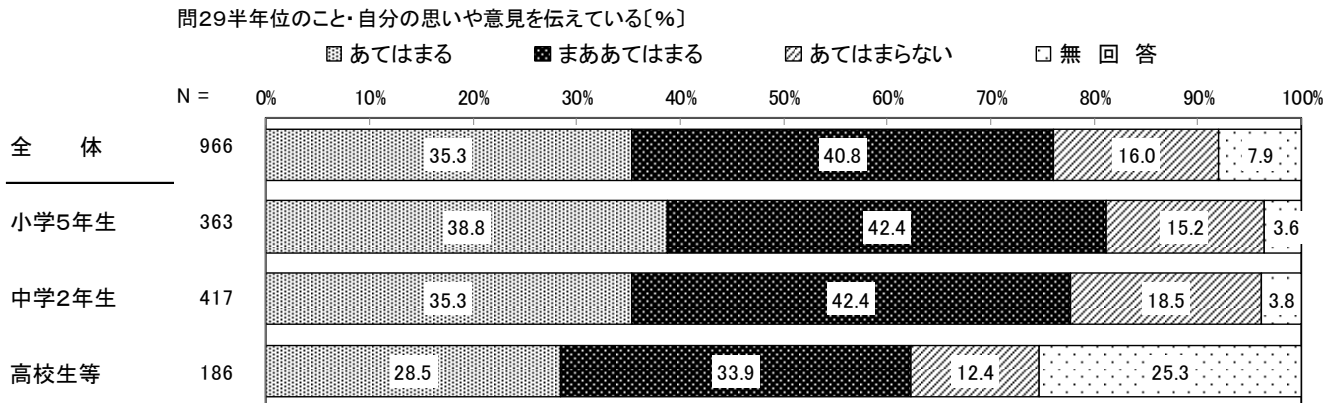
全体では、「あてはまらない」が 52.4%と多く、『あてはまる』が 39.6%である。

問29半年位のこと・こわがりで、すぐにおびえたりする[%]



### ⑩親や友人に自分の思っていることや意見を伝えている

全体では、『あてはまる』が 76.1%と多く、「あてはまらない」が 16.0%である。高校生等は、『あてはまる』が 62.4%と他の年代より少なくなっている。

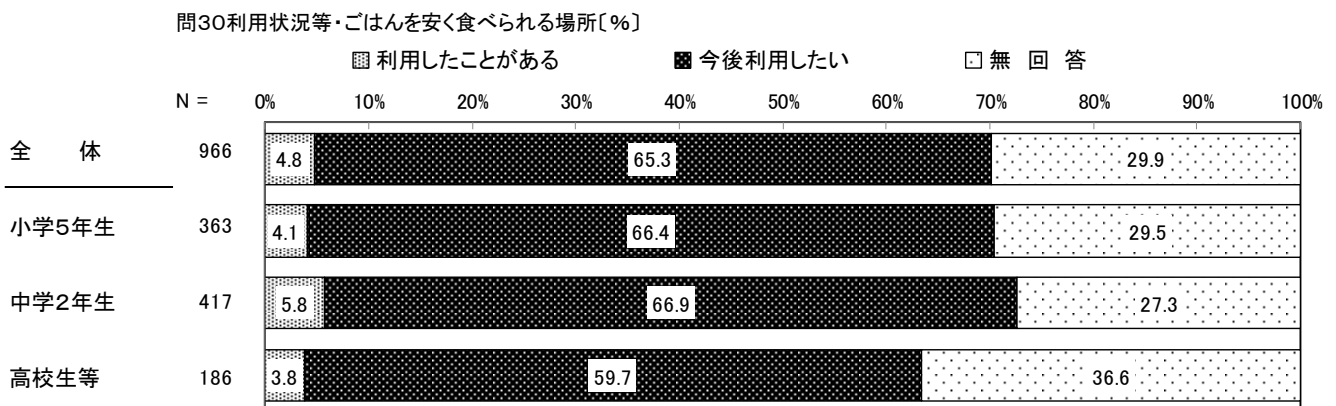


問 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

#### ①(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(こども食堂など)

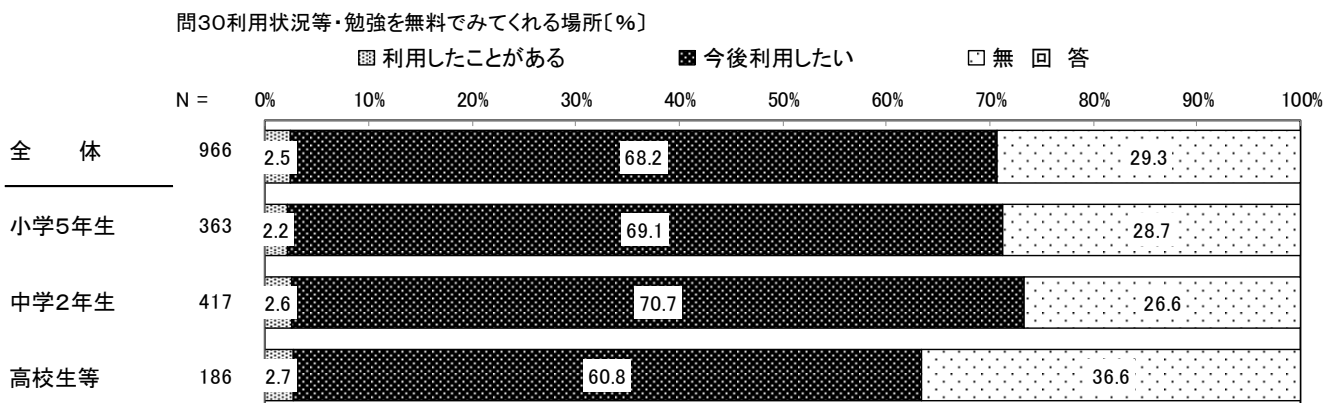
全体では、「今後利用したい」が 65.3%で、「利用したことがある」は 4.8%である。

「今後利用したい」は生活困窮別の困窮家庭で 78.0%、所得別の低所得に該当する世帯で 76.5%となっている。



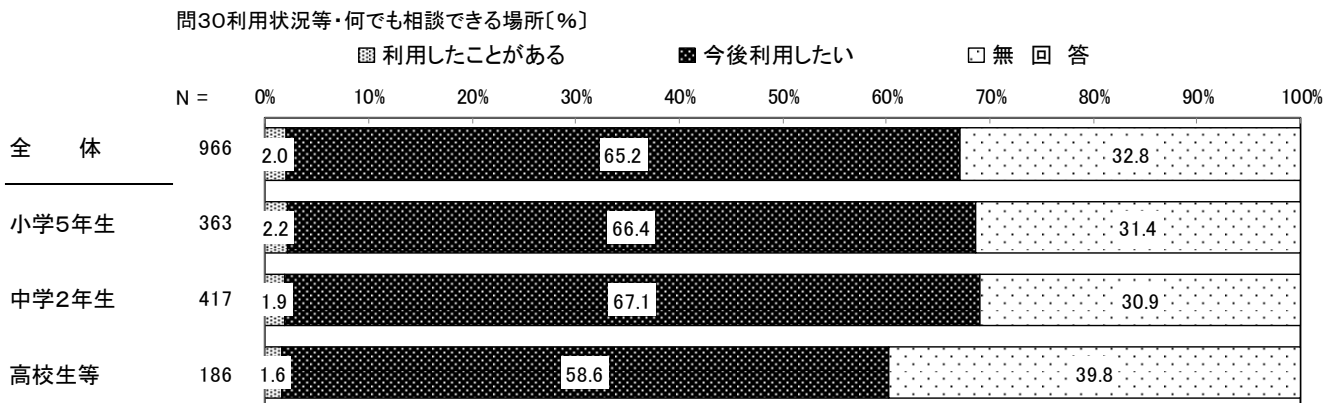
#### ②勉強を無料でみてくれる場所

全体では、「今後利用したい」が 68.2%で、「利用したことがある」は 2.5%である。



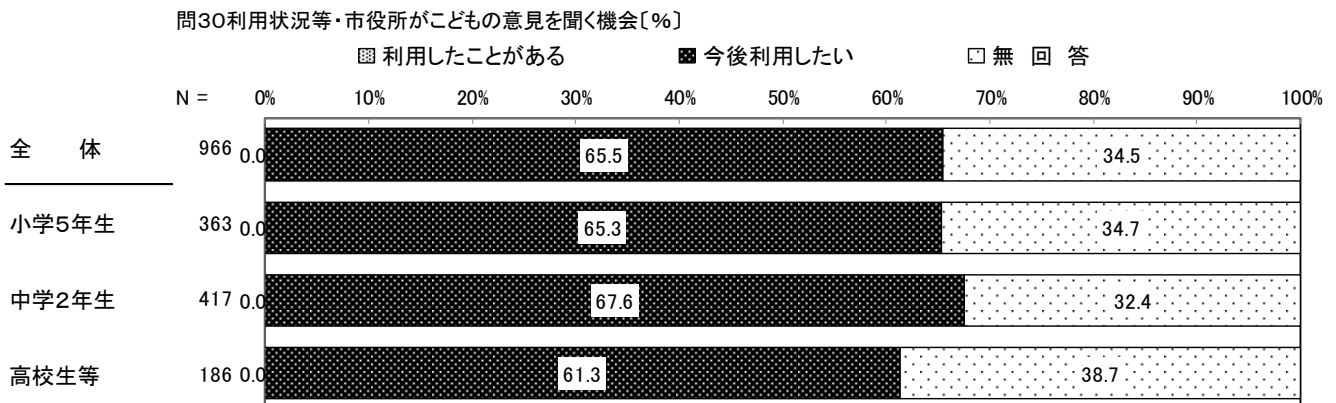
### ③(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)

全体では、「今後利用したい」が65.2%で、「利用したことがある」は2.0%である。高校生等は、「今後利用したい」が58.6%と他の年代より少なくなっている。



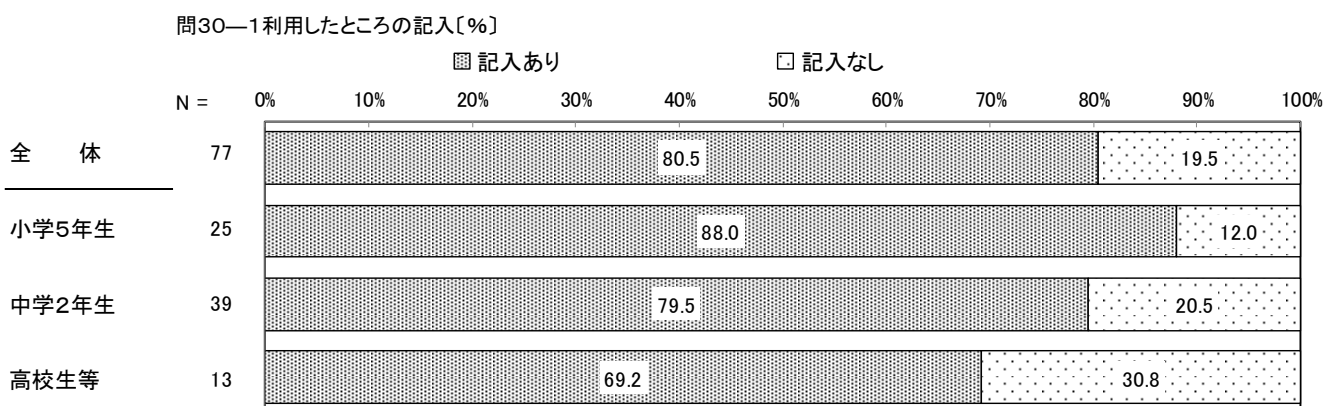
### ④市役所が子どもたちの意見を聞く機会

全体では、65.5%が「今後利用したい」と回答している。



問 前問で「利用したことがある」と答えた人は利用したところを教えてください。

全体では、「記入あり」が80.5%である。内容としては、「中学校(土曜学習等)」、「子ども食堂」、「LINE、インターネットを使用した相談」などの意見がみられる。

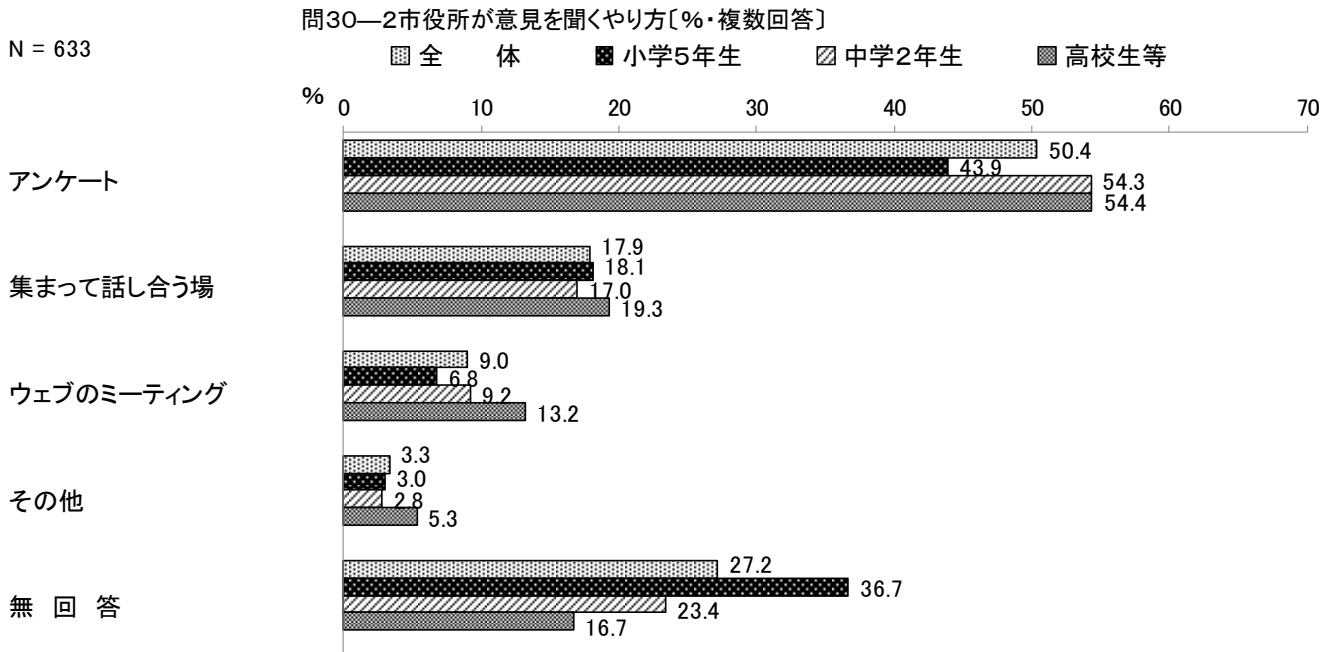




問 前問の「市役所がこどもの意見を聞く機会」を利用したいと答えた人にうかがいます。どのようなやり方がよいと思いますか。

全体では、「アンケート」が50.4%と多く、「集まって話し合う場」が17.9%、「ウェブのミーティング」が9.0%である。

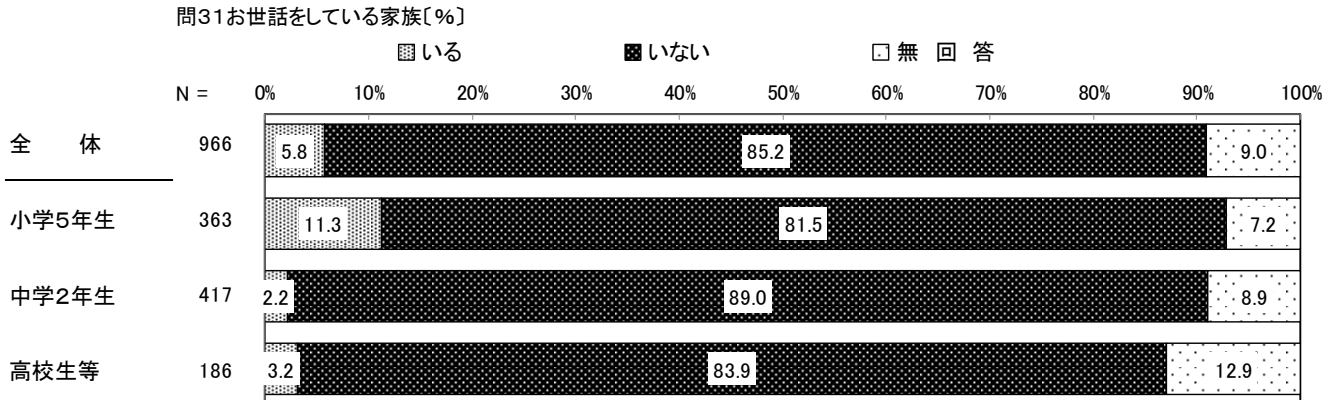
所得別では、低所得に該当する世帯で「アンケート」が40.3%となっている。



### 3.6 家族お世話

問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

全体では、5.8%が「いる」と回答している。小学5年生は「いる」が11.3%となっている。生活困窮別では、困窮家庭で「いる」が15.3%、「いない」が69.5%となっている。

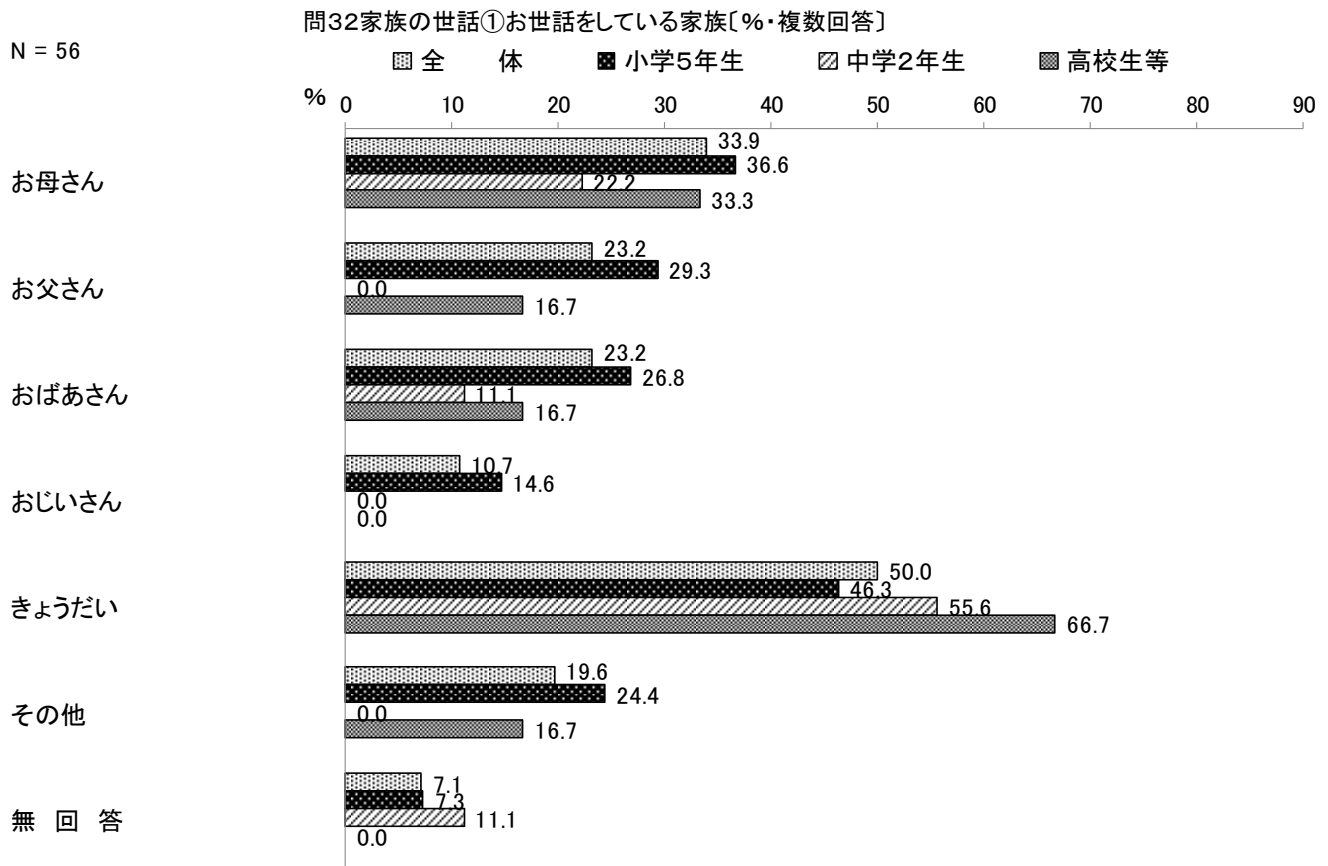


問 前問で「いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

#### ①あなたがお世話をしている人

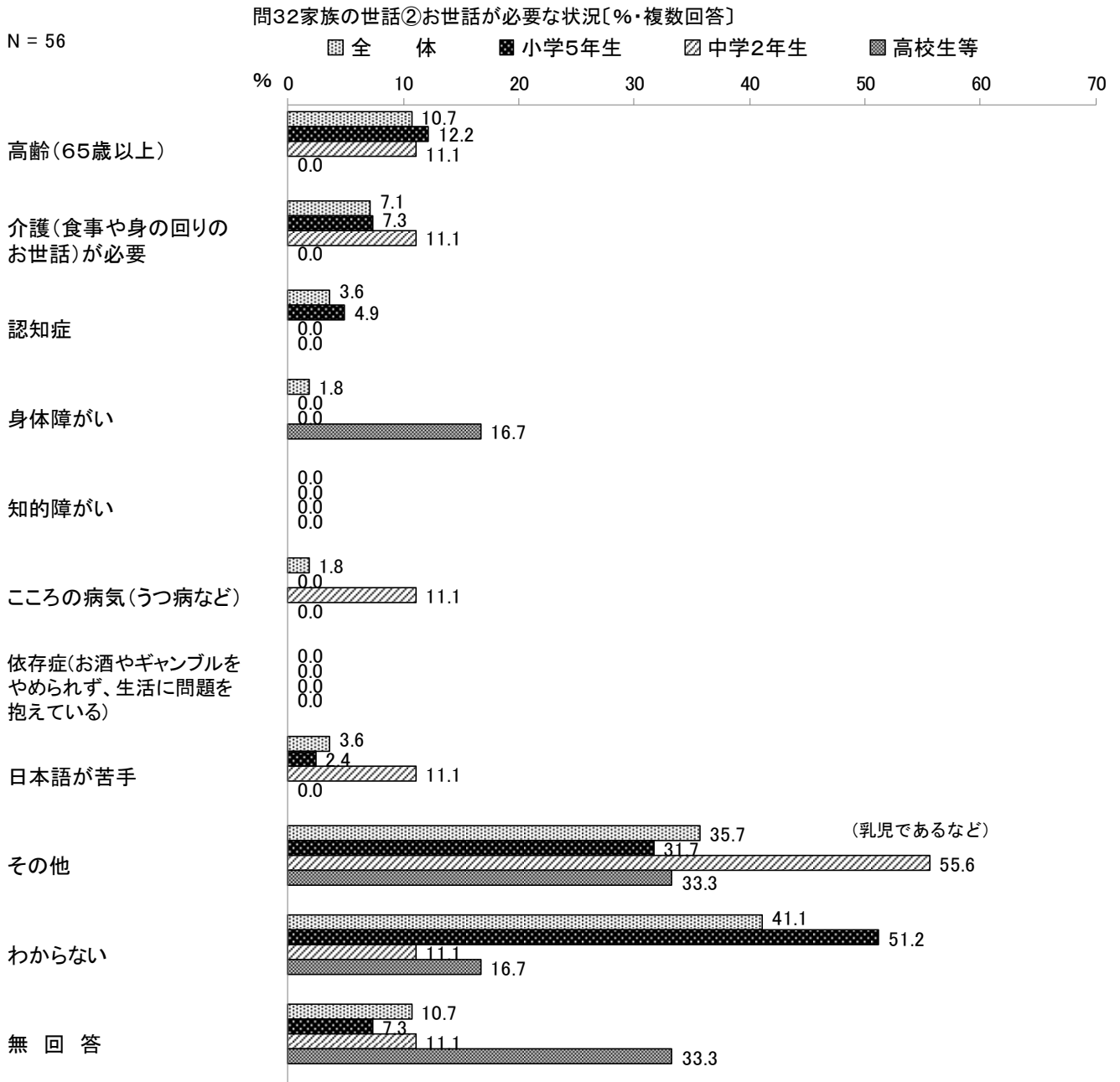
全体では、「きょうだい」が50.0%、「お母さん」が33.9%、「お父さん」と「おばあさん」がともに23.2%、「おじいさん」が10.7%である。年代が上がると「きょうだい」が多くなっている。

保護者の就業状況別では、共働き世帯で「きょうだい」が61.5%となっている。



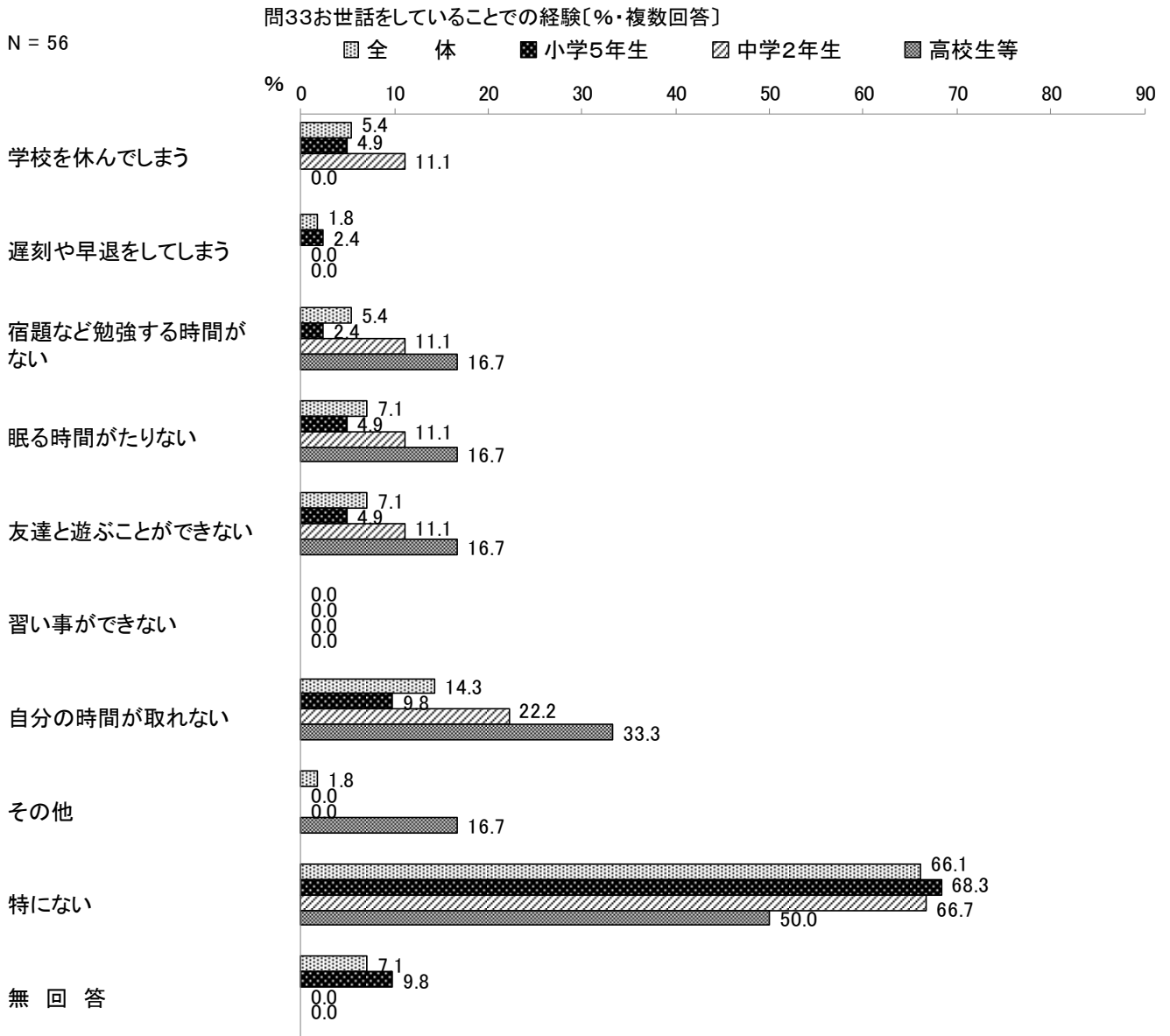
②お世話をしている人の状況について教えてください。

全体では、「高齢（65歳以上）」が10.7%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」が7.1%、「認知症」と「日本語が苦手」がともに3.6%などが回答されており、「わからない」が41.1%、「その他」が35.7%となっている。



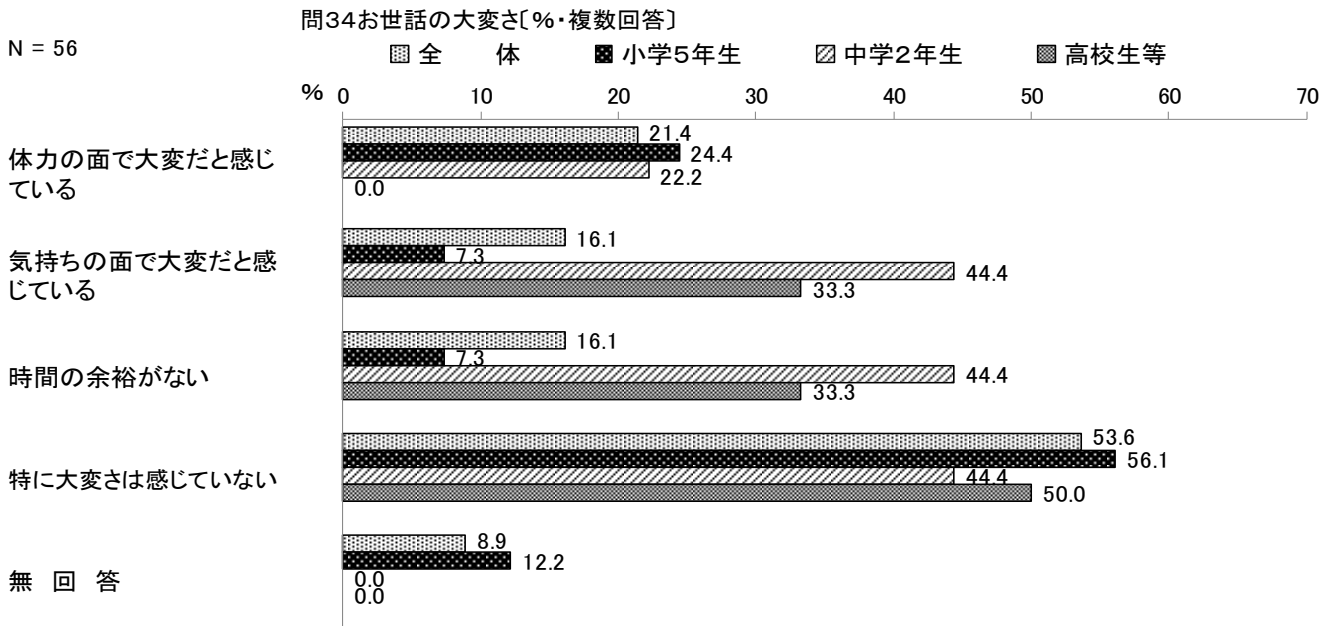
問 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

全体では、「特にない」が66.1%と多く、「自分の時間が取れない」が14.3%、「友達と遊ぶことができない」と「眠る時間がたりない」がともに7.1%となっている。



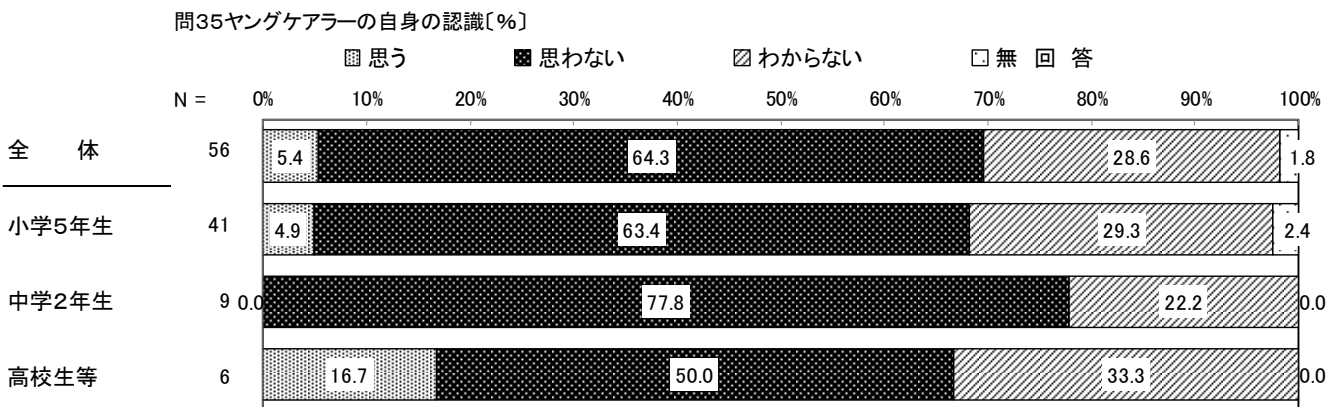
問 お世話をすることに大変さを感じていますか。

全体では、「特に大変さは感じていない」が 53.6%と多く、「体力の面で大変だと感じている」が 21.4%、「気持ちの面で大変だと感じている」と「時間の余裕がない」がともに 16.1%である。



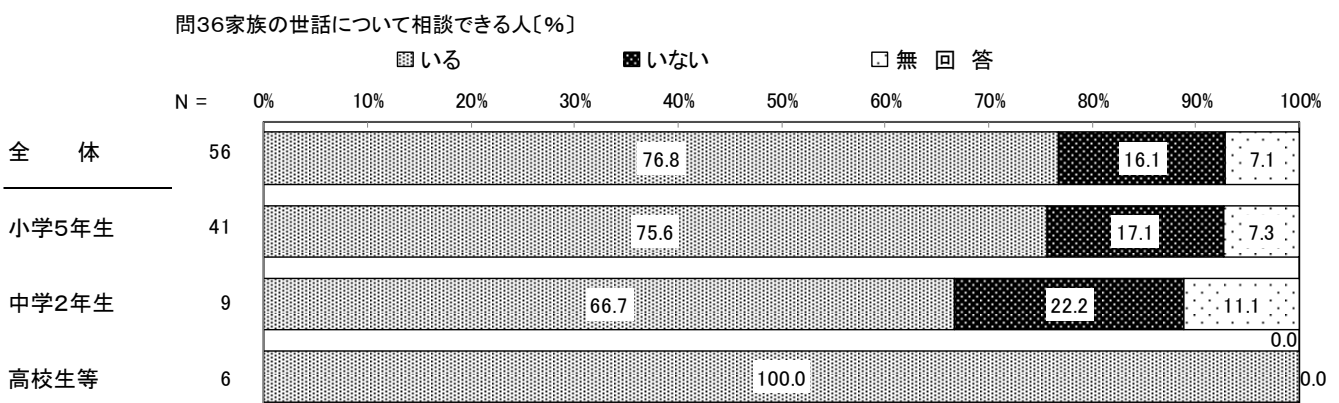
問 大人に代わって家事・家族の世話などをいつも行っている子どものことをヤングケアラーといいますが、あなたは自分がヤングケアラーだと思いますか。

全体では、「思わない」が 64.3%、「わからない」が 28.6%で、「思う」は 5.4%である。中学2年生は「思わない」、高校生等は「思う」が他の年代より多くなっている。



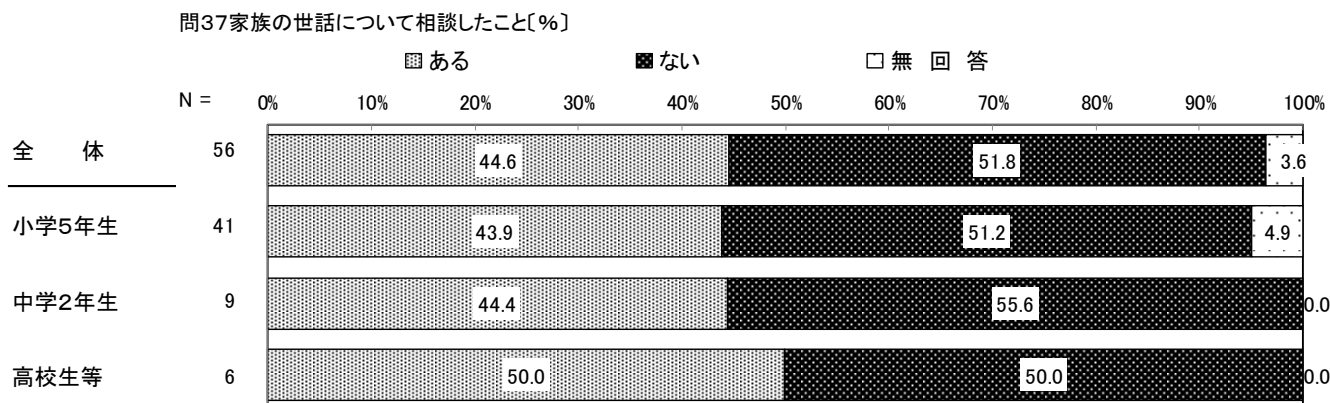
問 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

全体では、76.8%が「いる」と回答している。



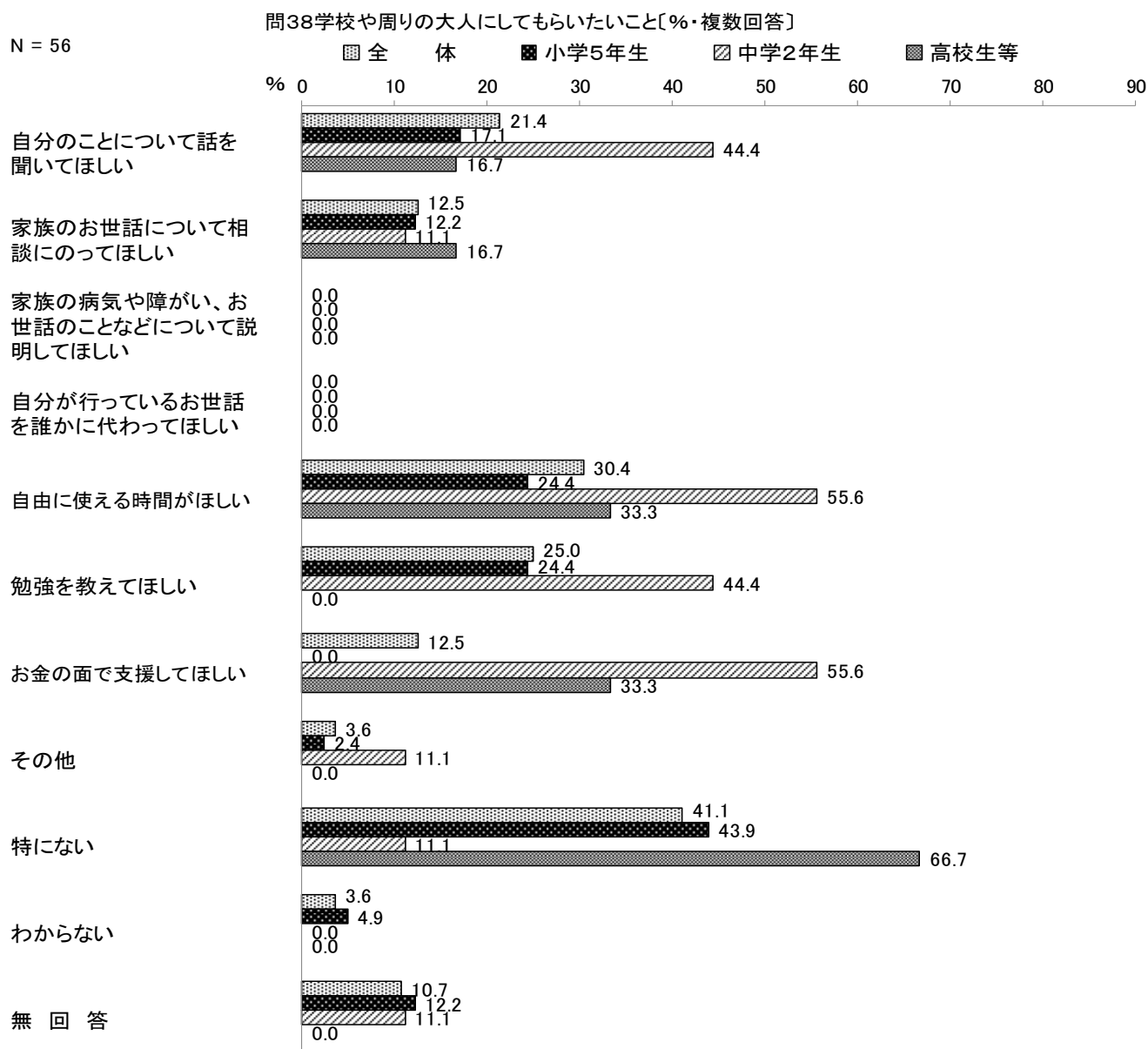
問 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。

全体では、44.6%が「ある」と回答している。



問 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

全体では、「特にない」が41.1%と多く、次いで「自由に使える時間がほしい」が30.4%、「勉強を教えてほしい」が25.0%、「自分のことについて話を聞いてほしい」が21.4%である。



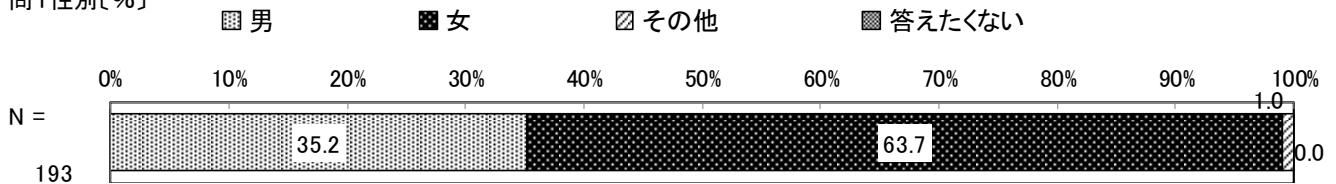
## 4. 若年調査

### 4.1 回答者の状況

問 あなたの性別をお答えください。

「女」が63.7%と多く、「男」が35.2%である。

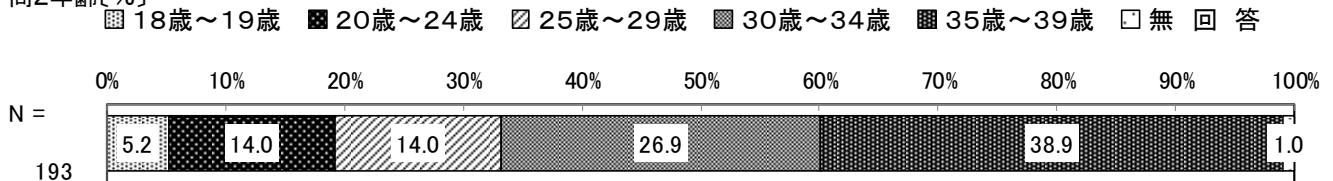
問1性別[%]



問 令和6年3月1日時点のあなたの年齢についてお答えください。

「35歳～39歳」が38.9%、「30歳～34歳」が26.9%、「20歳～24歳」と「25歳～29歳」がともに14.0%、「18歳～19歳」が5.2%である。

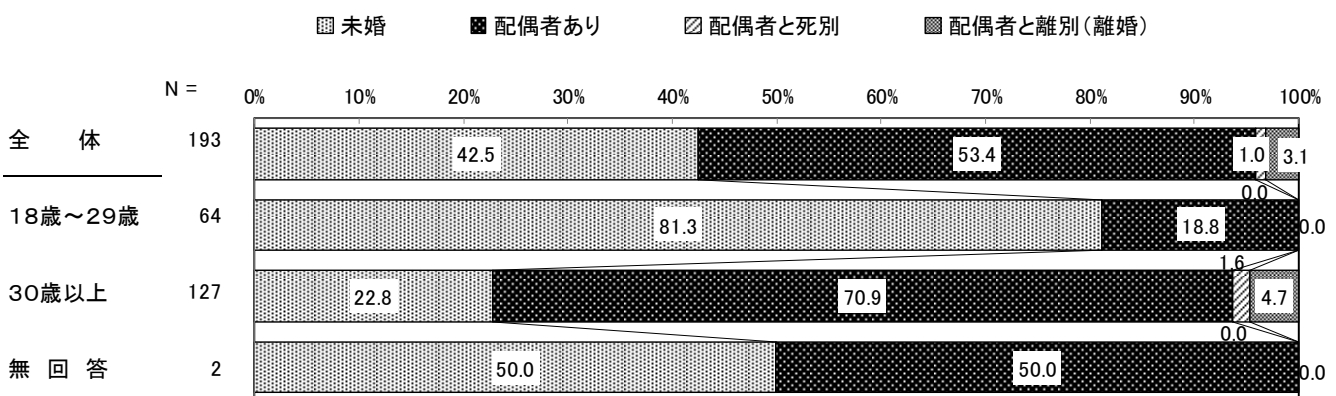
問2年齢[%]



問 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

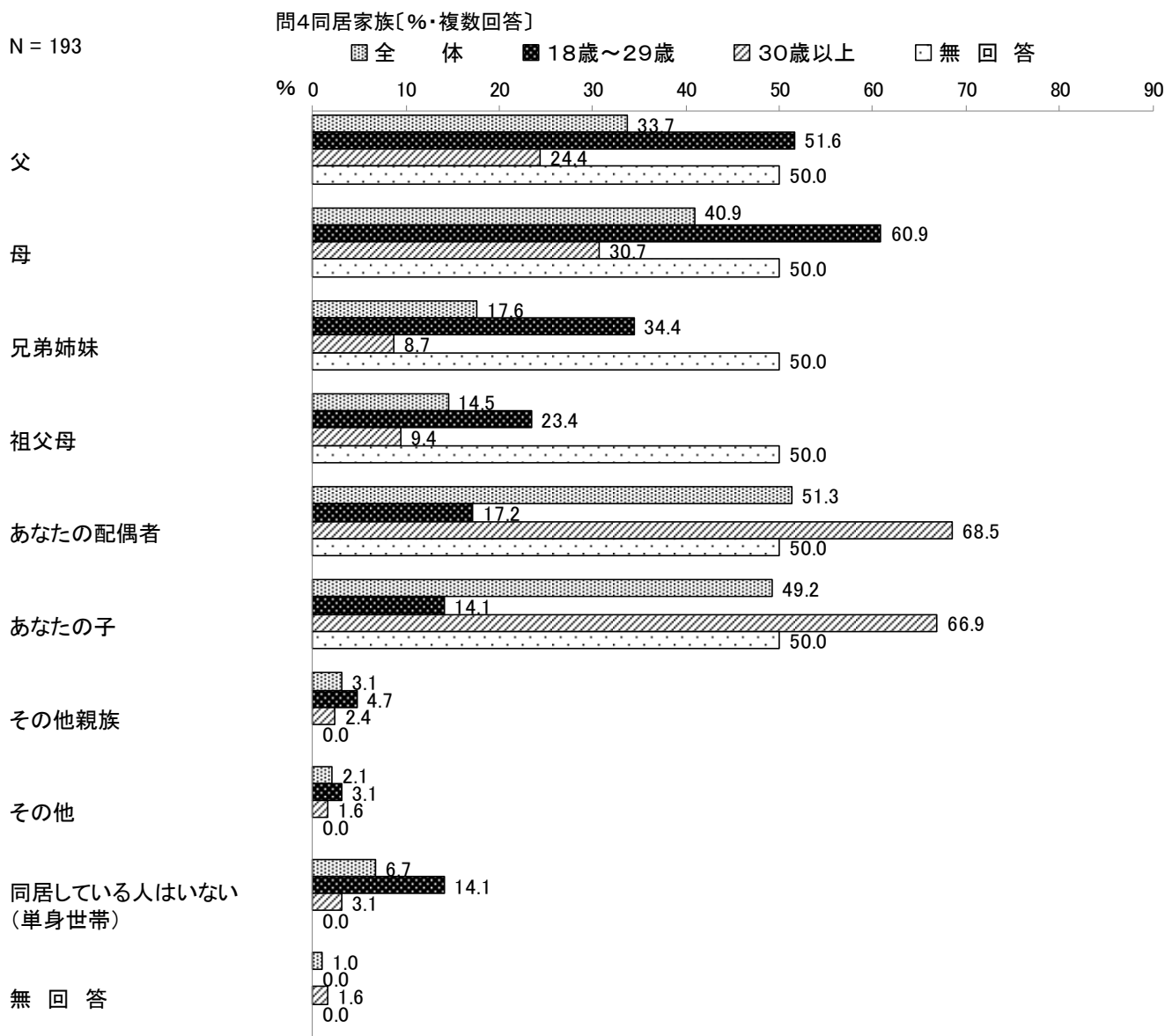
全体では、「配偶者あり」が53.4%と多く、「未婚」が42.5%、「配偶者と離別（離婚）」が3.1%、「配偶者と死別」が1.0%である。

問3婚姻状況[%]

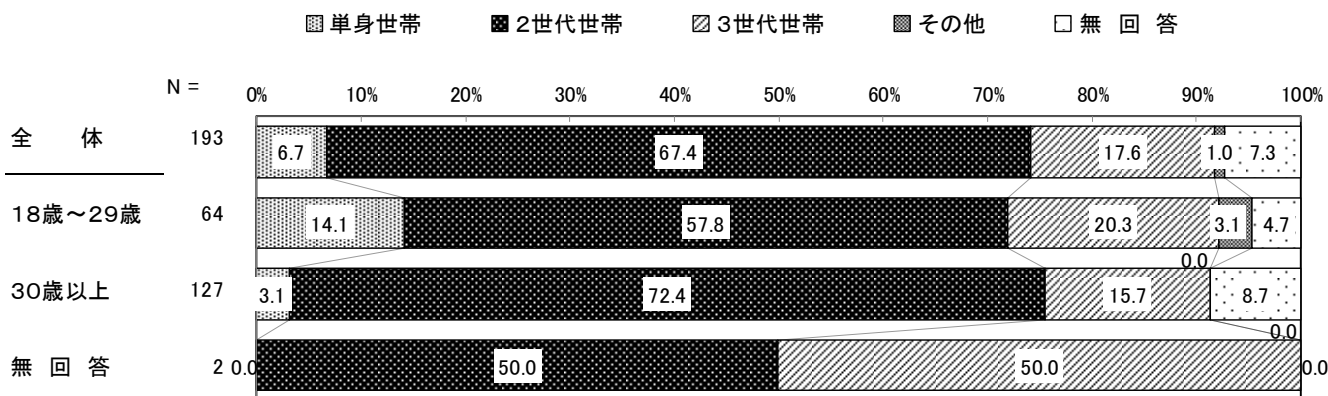


問 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「その他」をお選びください。

全体では、同居家族は、「あなたの配偶者」が 51.3%、「あなたの子」が 49.2%と多く、「母」が 40.9%、「父」が 33.7%である。世帯構成は、「2世代世帯」が 67.4%と多く、「3世代世帯」が 17.6%、「単身世帯」が 6.7%、世帯人数は、「3人」が 28.0%、「4人」と「5人以上」がともに 21.8%となっている。

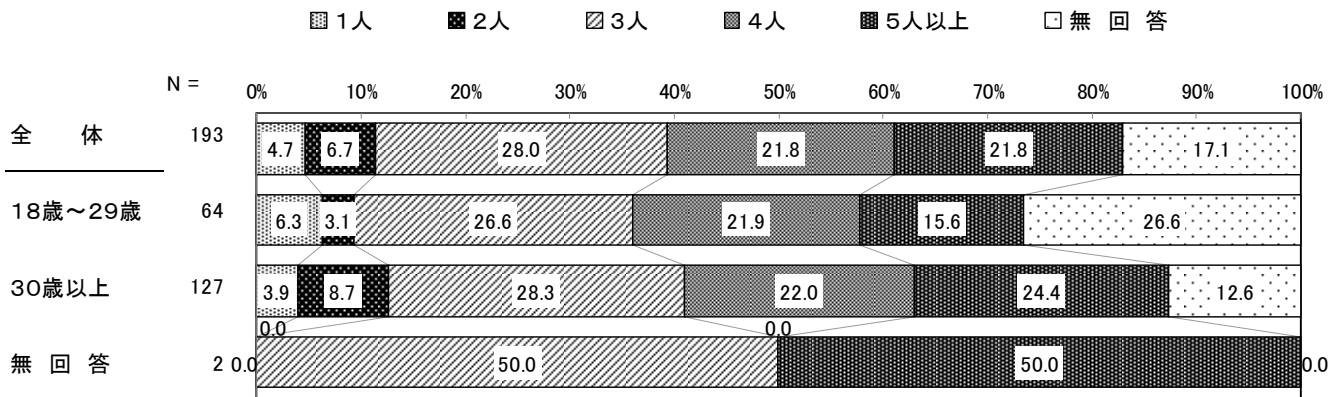


問4世帯構成[%]





問4世帯人数



問 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。

(1)生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。

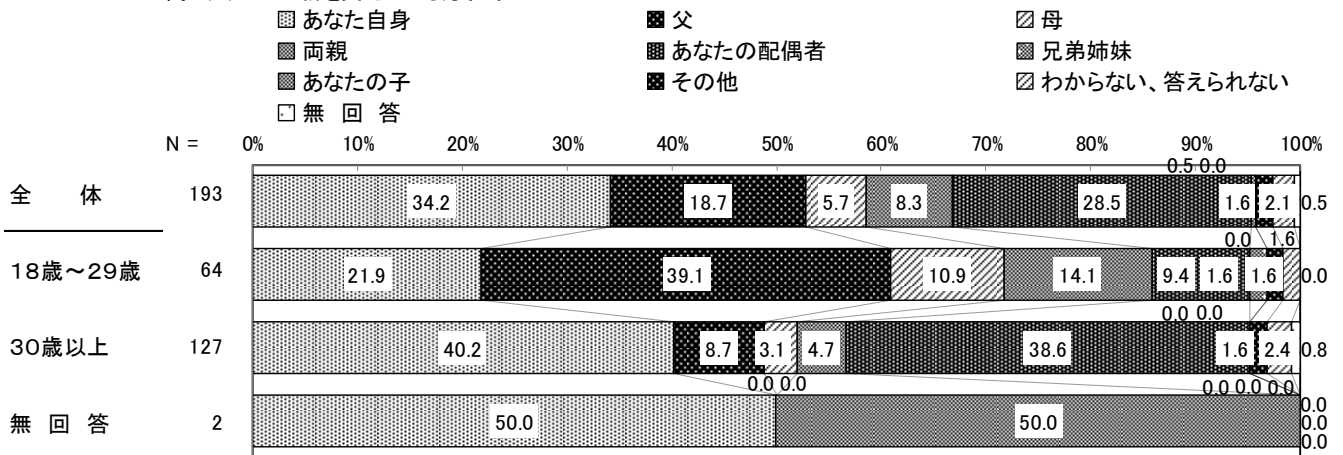
全体では、「あなた自身」が34.2%、「あなたの配偶者」が28.5%、「父」が18.7%、「両親」が8.3%、「母」が5.7%である。18~29歳は「父」が39.1%、30歳以上は「あなた自身」と「あなたの配偶者」がともに40%前後と多くなっている。

婚姻状況別では、未婚で「父」が40.2%と多くなっている。

就業状況別では、現在は就業していないが過去に就業経験がある回答者で「あなたの配偶者」が63.0%となっている。

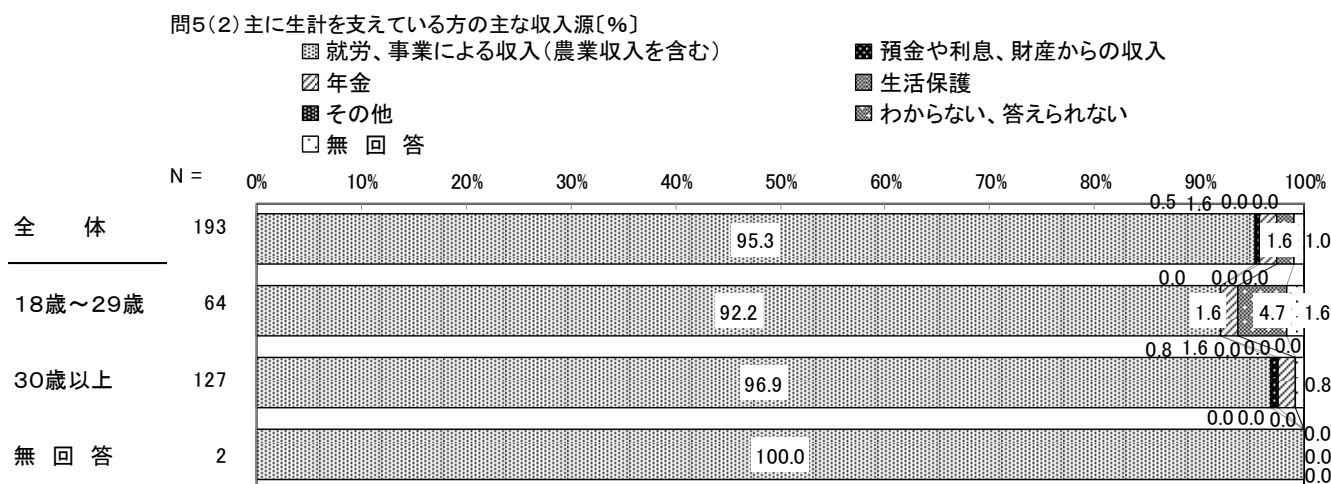
所得別では、低所得に該当する世帯で「あなた自身」が50.0%となっている。

問5(1)主に生計を支えている方〔%〕



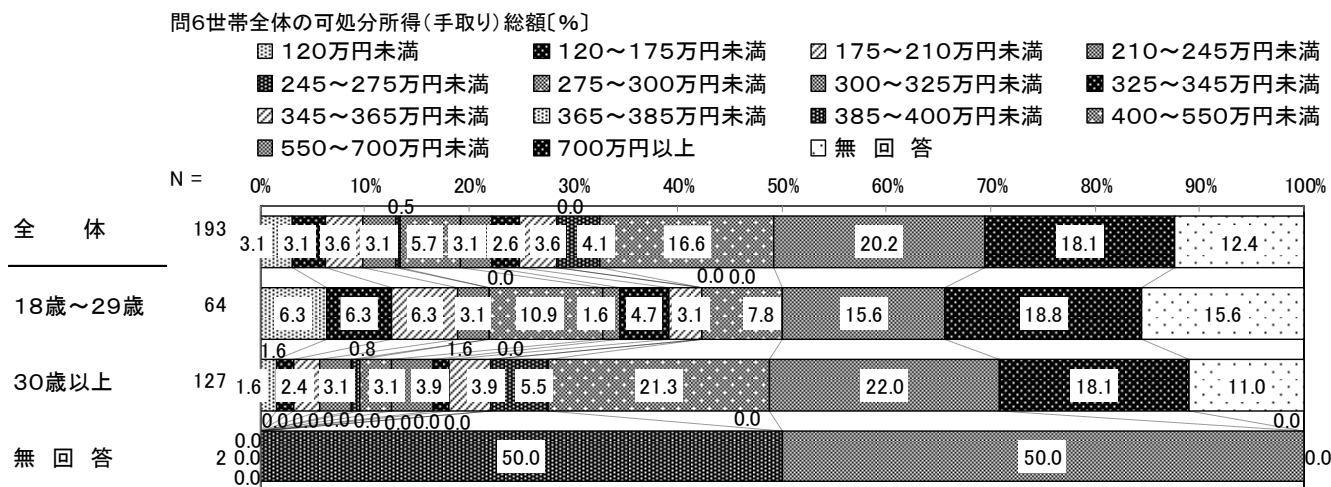
(2)主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。

全体では、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が95.3%とほとんどである。



問 令和5年（2023年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。

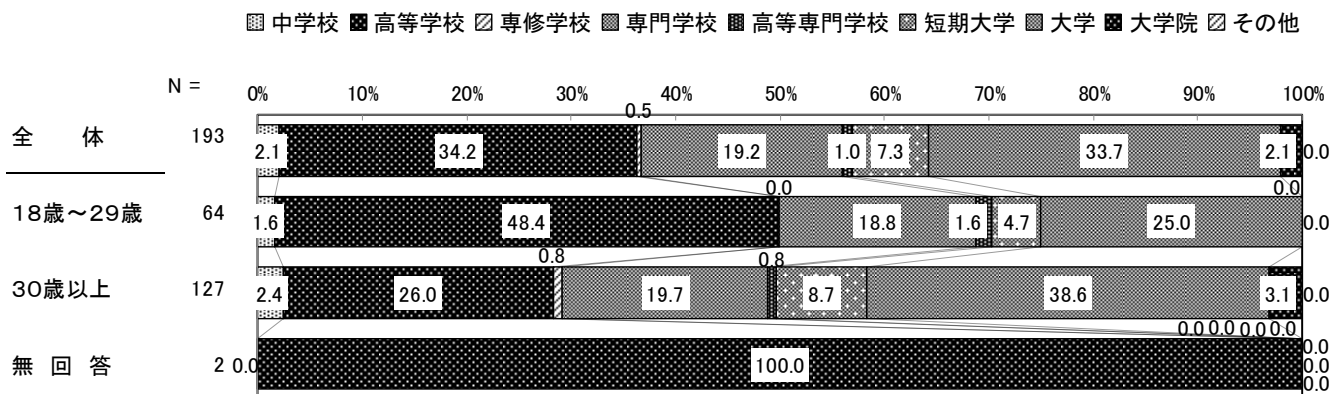
全体では、「550～700万円未満」が20.2%、「700万円以上」が18.1%、「400～550万円未満」が16.6%と多くなっている。30歳以上で「400～550万円未満」が21.3%と18～29歳の7.8%より多くなっている。



問 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

全体では、「高等学校」が34.2%、「大学」が33.7%と多く、「専門学校」が19.2%である。18～29歳は「高等学校」が48.4%、30歳以上で「大学」が38.6%とそれぞれの年代より多くなっている。

問7最終学歴[%]

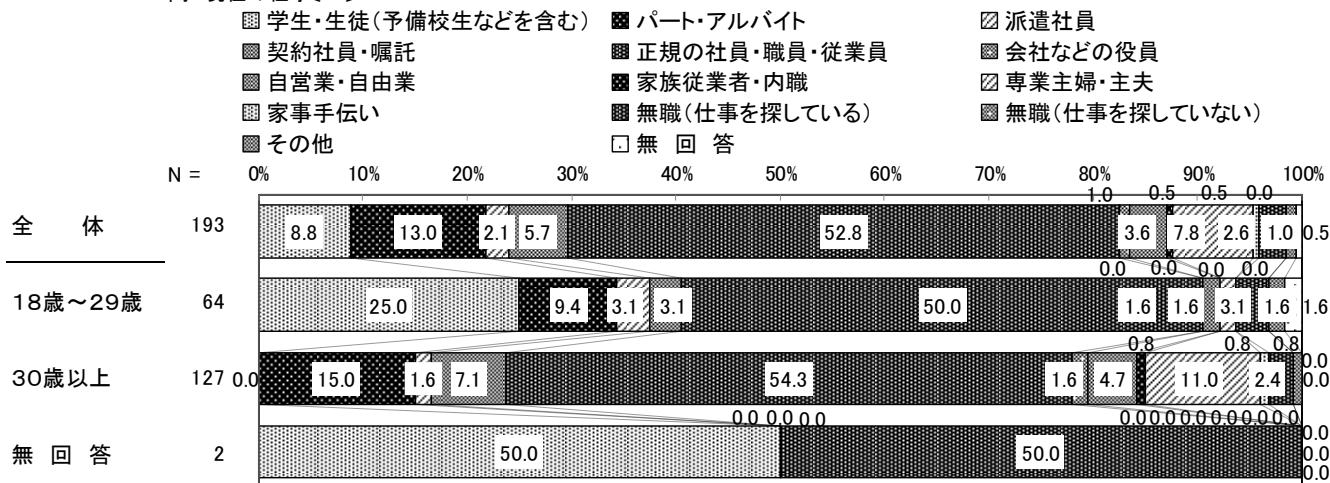


問 あなたの現在の仕事をお答えください。

全体では、「正規の社員・職員・従業員」が52.8%と多く、「パート・アルバイト」が13.0%、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が8.8%、「専業主婦・主夫」が7.8%である。18～29歳は「学生・生徒（予備校生などを含む）」が25.0%となっている。

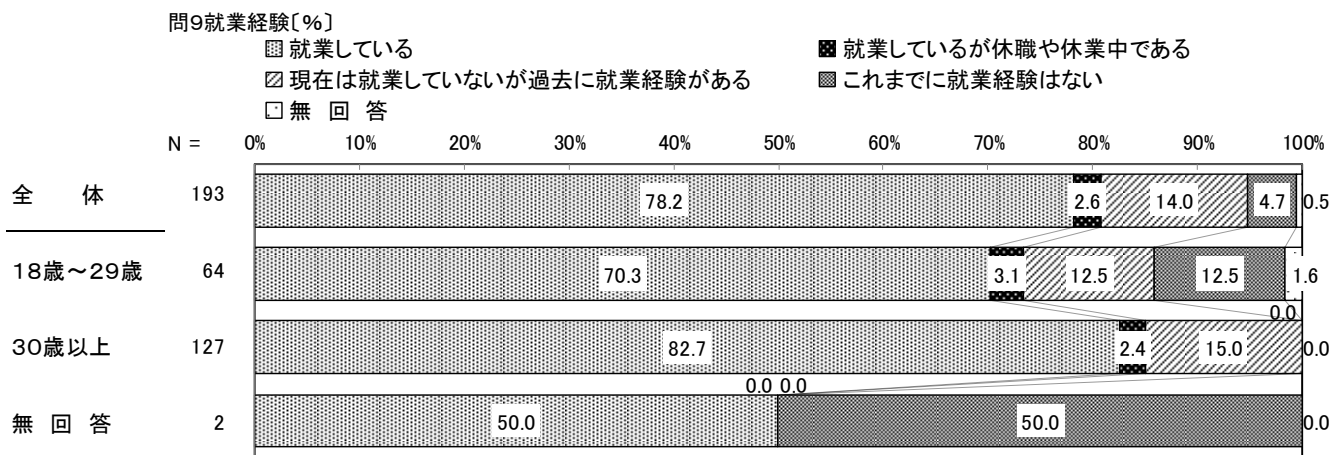
就業状況別では、現在は就業していないが過去に就業経験がある回答者で「専業主婦・主夫」が55.6%となっている。

問8現在の仕事[%]



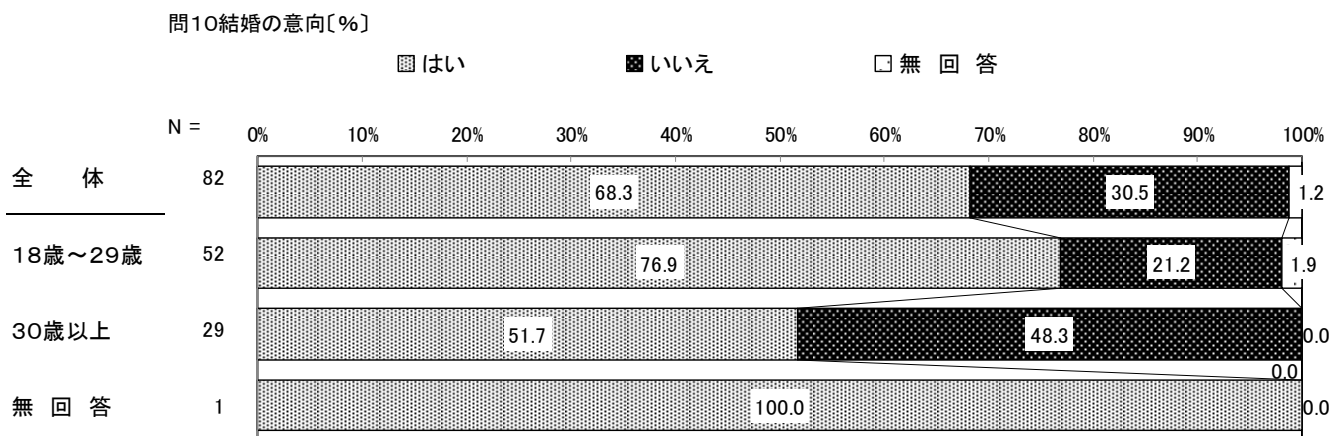
問 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)

全体では、「就業している」が 78.2%と多く、「現在は就業していないが過去に就業経験がある」が 14.0%、「これまでに就業経験はない」が 4.7%、「就業しているが休職や休業中である」が 2.6%である。



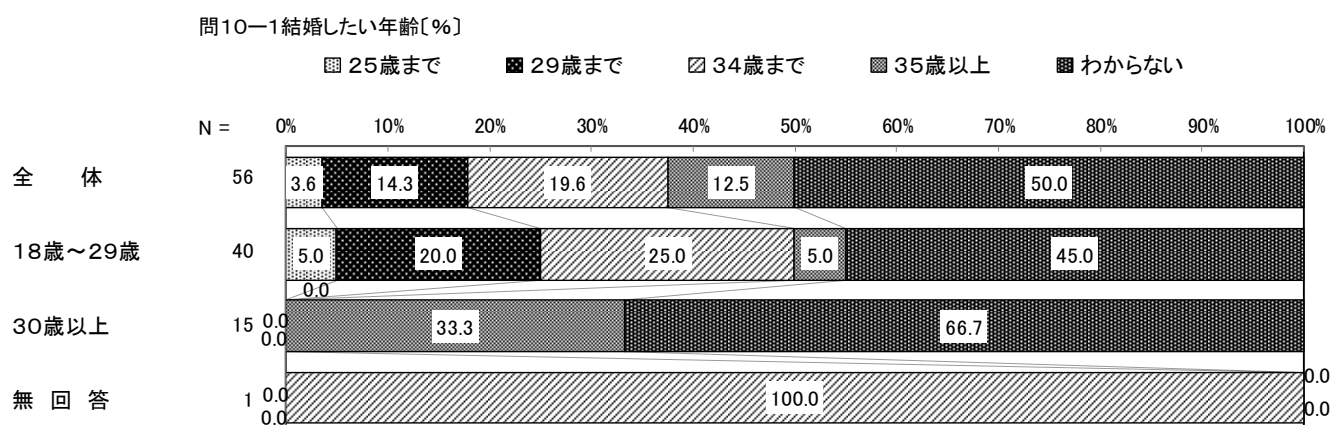
問 【未婚の方】あなたは、将来、結婚したいと思いますか。

全体では、68.3%が「はい」と回答している。30歳以上は「はい」が 51.7%と少なくなっている。



問 前問で「はい」を選んだ場合、何歳までに結婚したいと思いますか。

全体では、「わからない」が 50.0%と多く、「34歳まで」が 19.6%、「29歳まで」が 14.3%、「35歳以上」が 12.5%である。



## 問 結婚していない主な理由は何ですか。

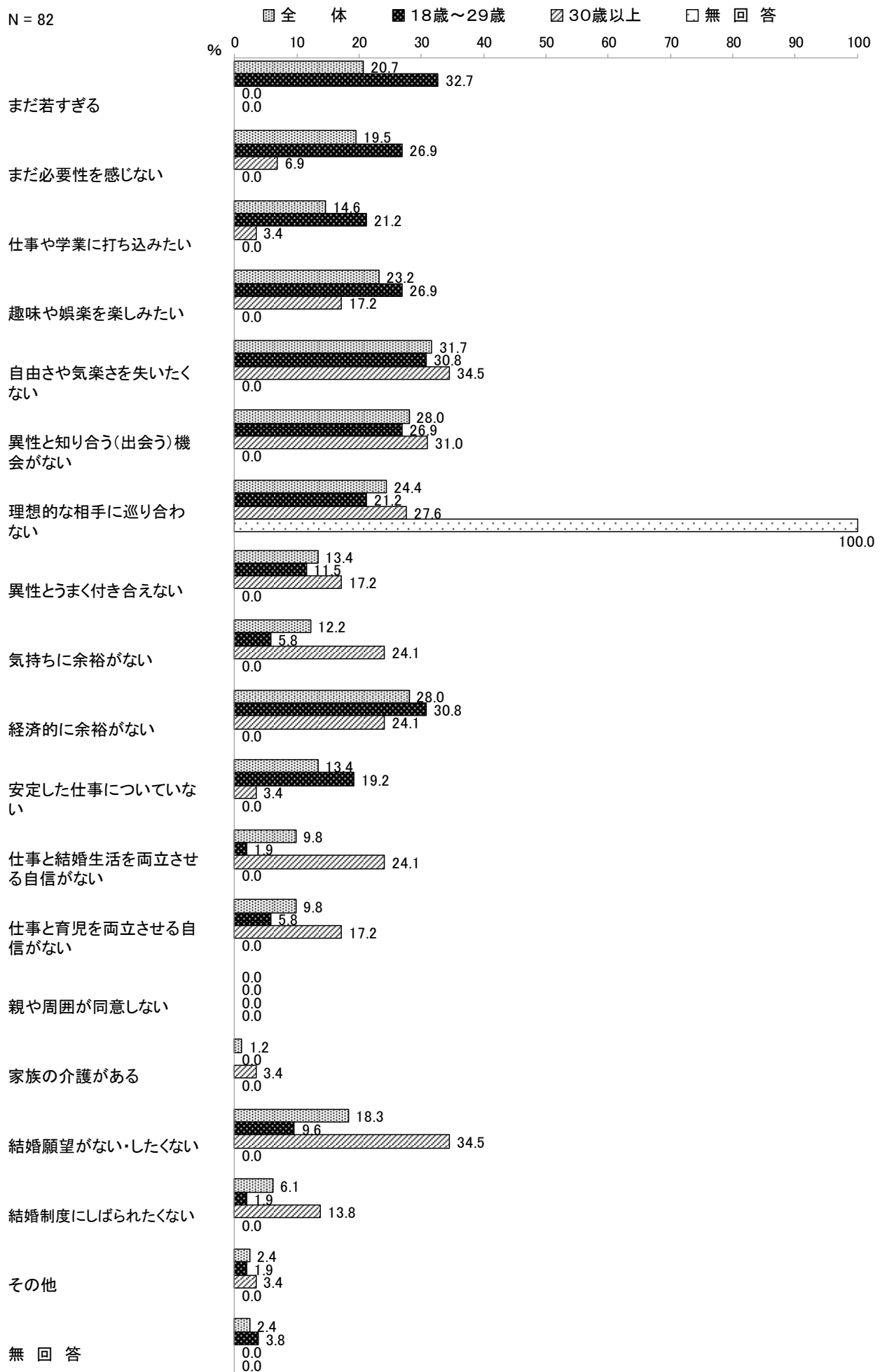
---

全体では、「自由さや気楽さを失いたくない」が 31.7%と多く、「異性と知り合う（出会う）機会がない」と「経済的に余裕がない」がともに 28.0%、「理想的な相手に巡り合わない」が 24.4%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が 23.2%となっている。30 歳以上は「仕事と結婚生活を両立させる自信がない」（24.1%）、「結婚願望がない・したくない」（34.5%）などが 18～29 歳より多くみられる。

性年齢別では、25～29 歳の男性で「自由さや気楽さを失いたくない」と「趣味や娯楽を楽しみたい」がともに 50.0%、25～29 歳の女性で「異性と知り合う（出会う）機会がない」と「経済的に余裕がない」がともに 45.5%となっている。

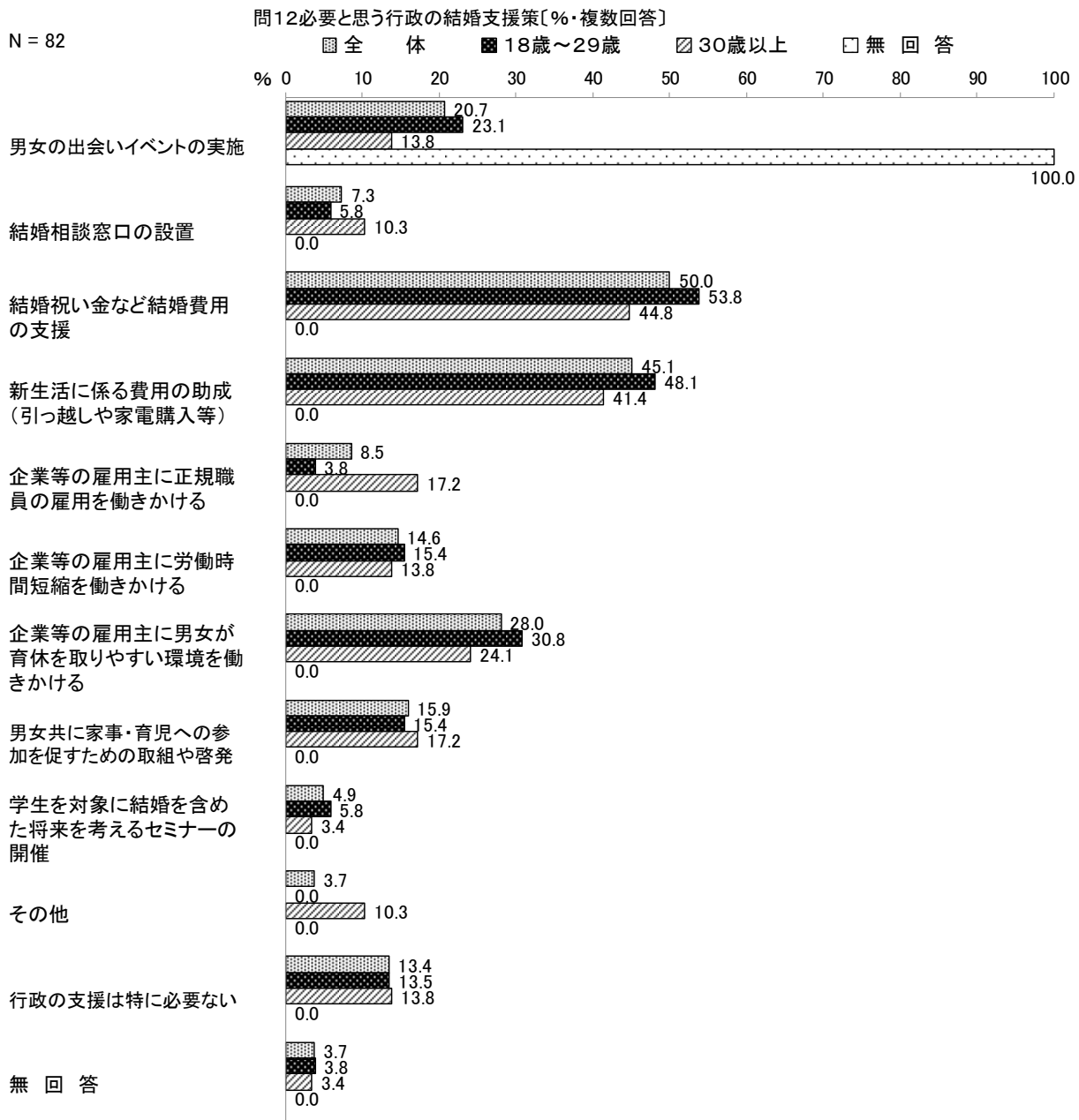
問11 結婚していない主な理由[%・複数回答]

N = 82



## 問 行政が行う結婚支援策として必要だと思うものは何ですか。

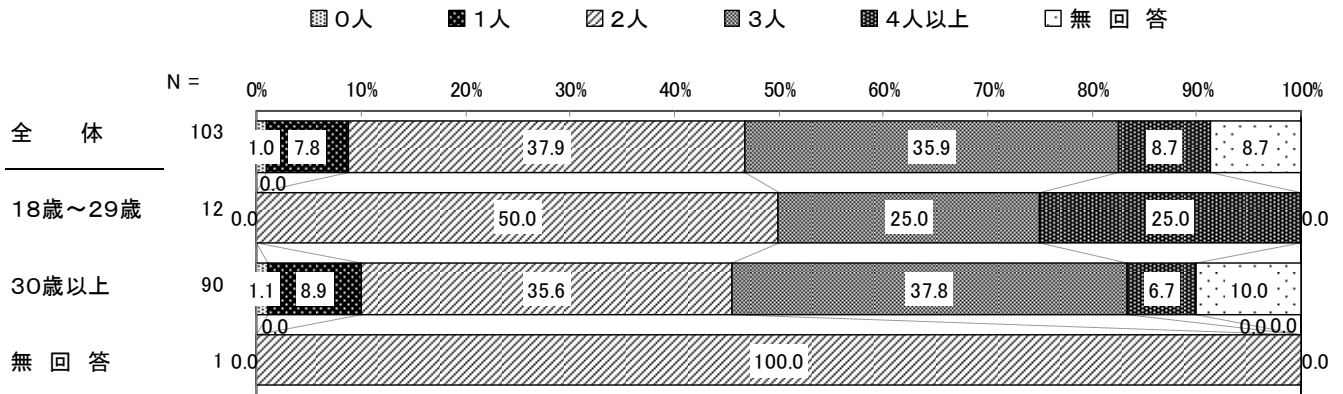
全体では、「結婚祝い金など結婚費用の支援」が 50.0%、「新生活に係る費用の助成（引っ越しや家電購入等）」が 45.1%と多く、「企業等の雇用主に男女が育休を取りやすい環境を働きかける」が 28.0%、「男女の出会いイベントの実施」が 20.7%となっている。



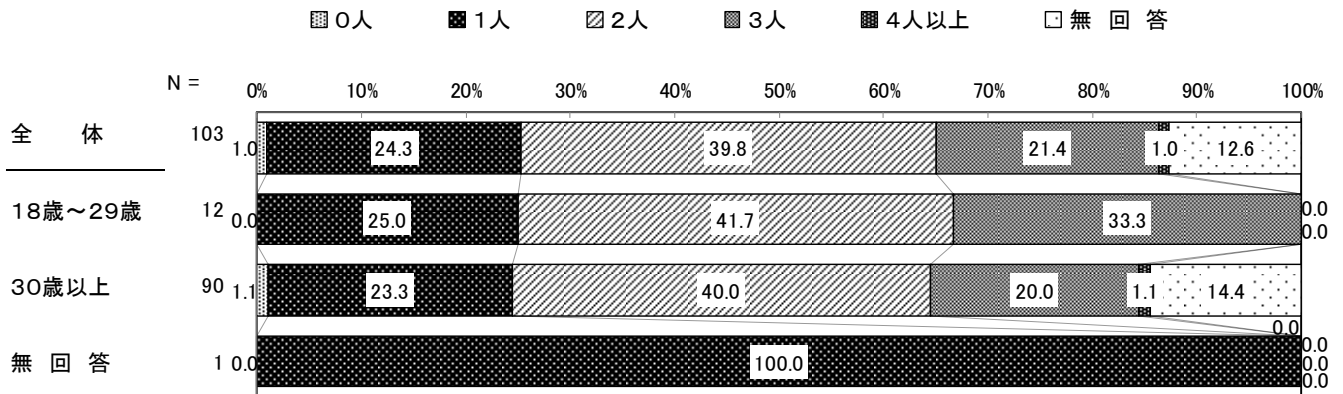
問 【既婚の方】 希望どおり持てるとした場合の理想の子どもの数と実際に予定している子どもの数は何人ですか。

全体では、理想の子ども数は「2人」が37.9%、「3人」が35.9%で、平均2.5人、予定の子ども数は「2人」が39.8%、「1人」が24.3%、「3人」が21.4%で、平均2.0人である。

問13理想の子ども数[%]



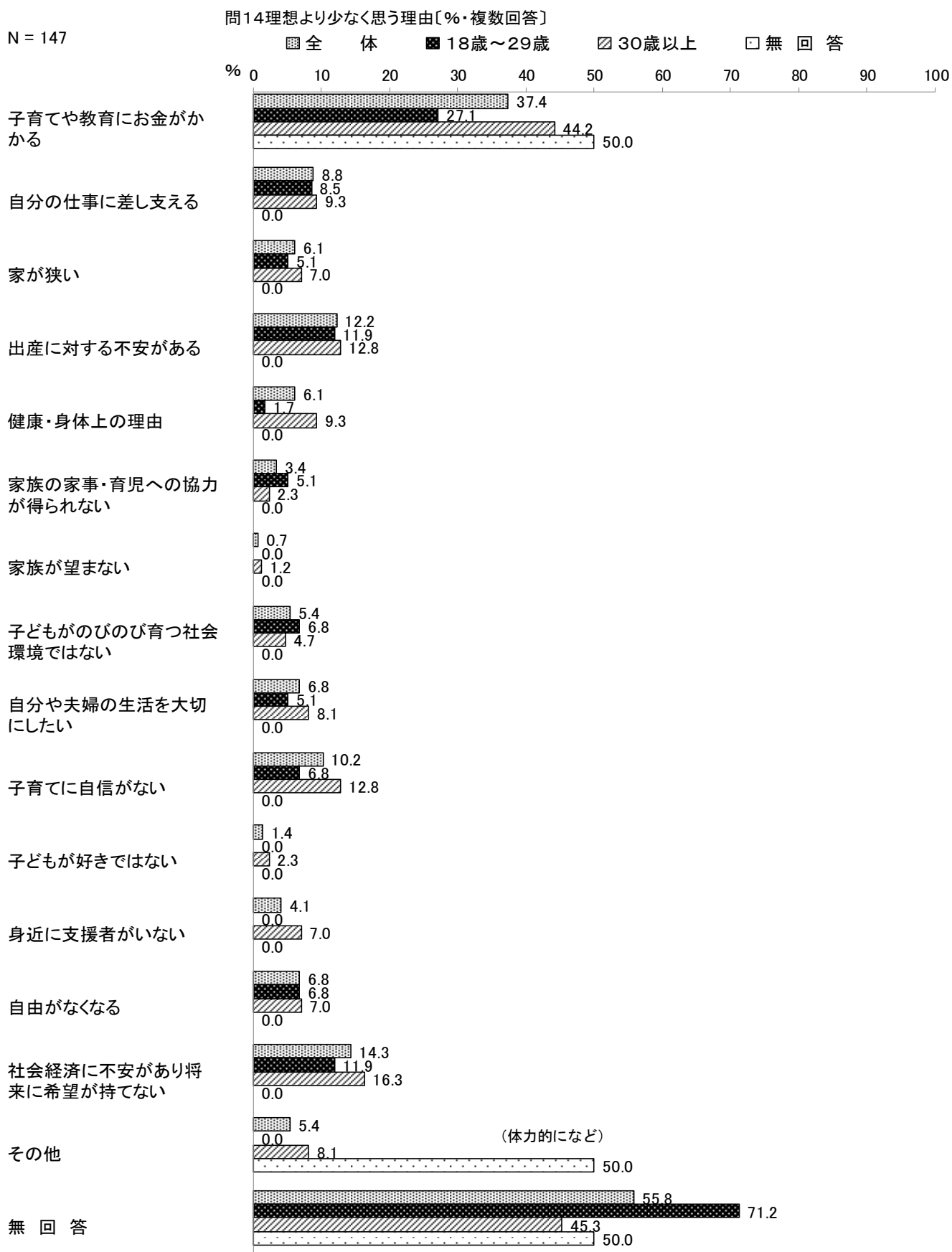
問13予定の子ども数[%]





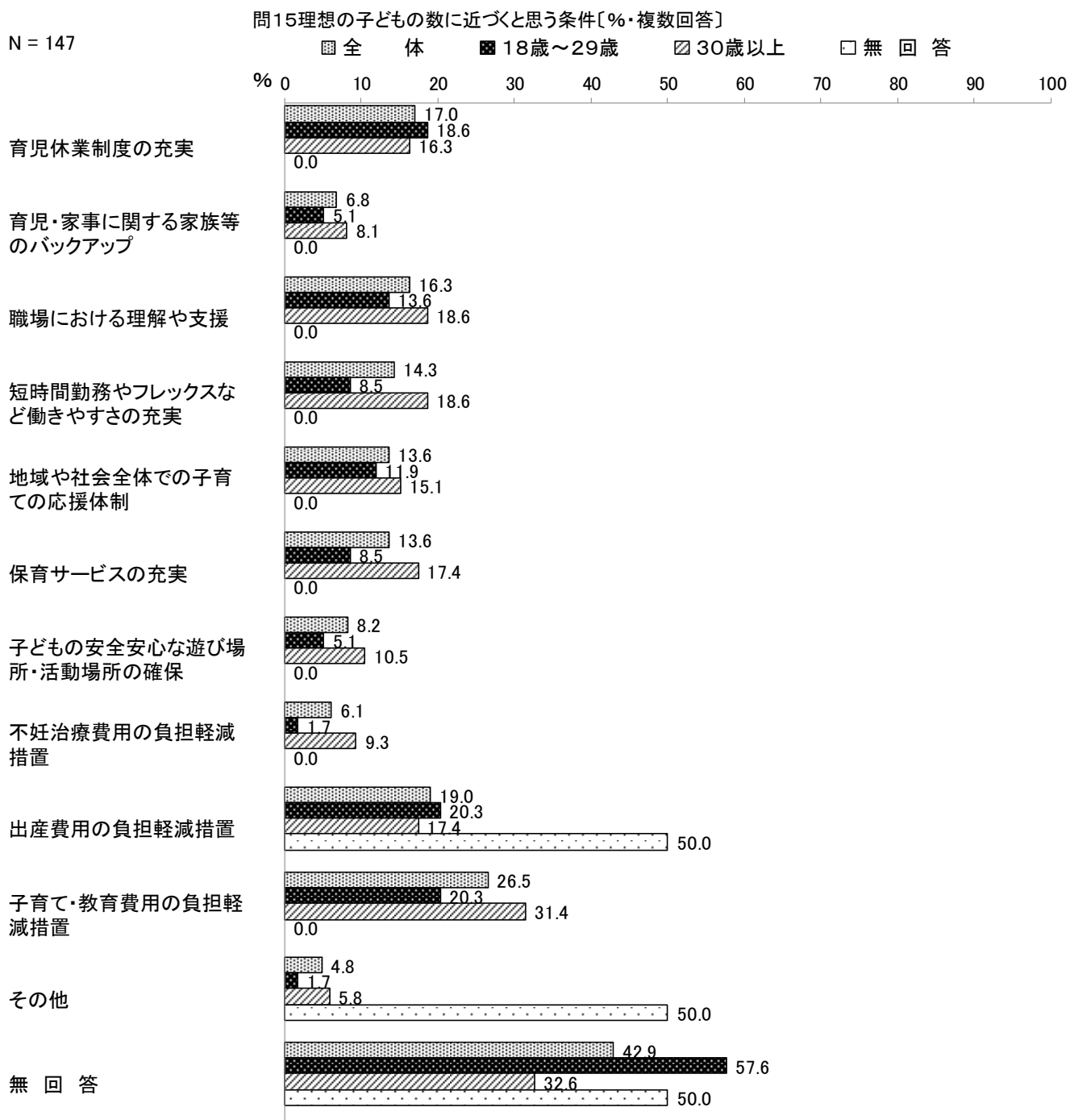
問 【理想の子ども数より予定の子ども数が少ない方、または望まない方】 その主な理由は何ですか。

全体では、「子育てや教育にお金がかかる」が 37.4%、「社会経済に不安があり将来に希望が持てない」が 14.3%、「出産に対する不安がある」が 12.2%、「子育てに自信がない」が 10.2%である。



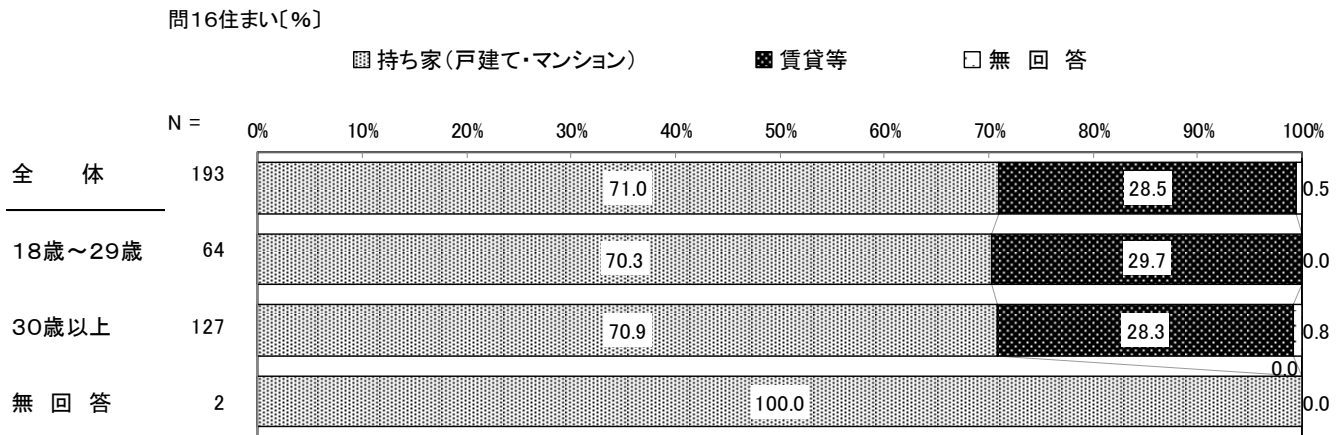
問 以下の項目について、あなたはどの条件が満たされていたら、理想の子どもの数に近づくと  
 思いますか。

全体では、「子育て・教育費用の負担軽減措置」が 26.5%、「出産費用の負担軽減措置」が  
 19.0%、「育児休業制度の充実」が 17.0%、「職場における理解や支援」が 16.3%となっている。



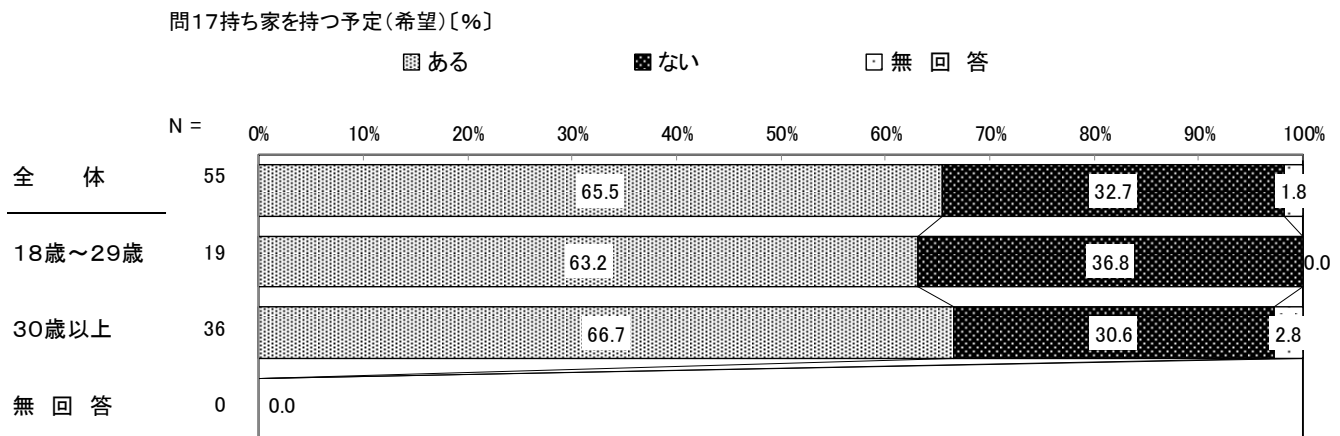
問 お住まいのことについてお聞きします。

全体では、「持ち家（戸建て・マンション）」が71.0%と多く、「賃貸等」は28.5%である。  
年齢別では、20～24歳で「賃貸等」が40.7%となっている。



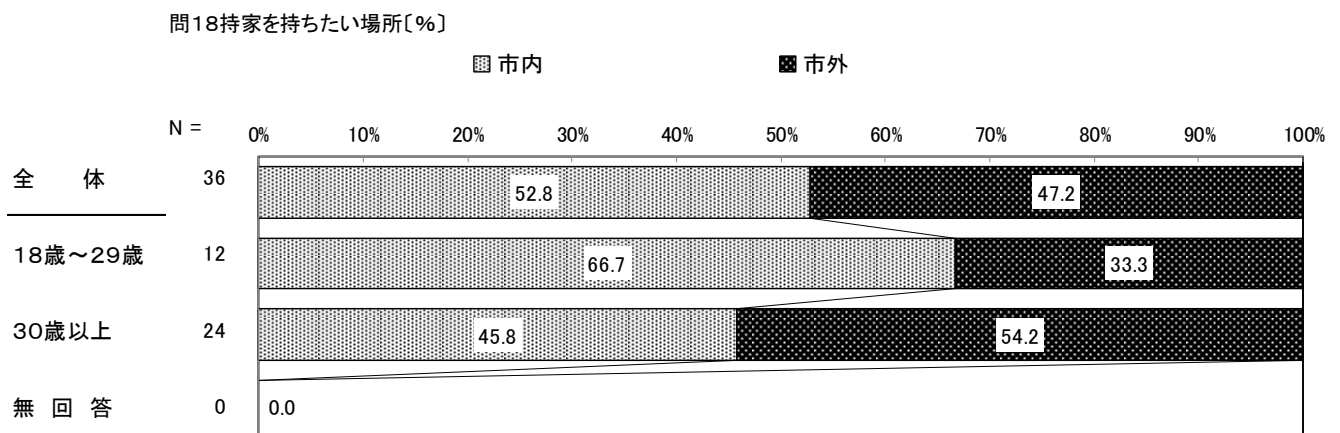
問 前問で「賃貸等」を選んだ場合、今後、持ち家を持つ予定（希望）はありますか。

全体では、65.5%が「ある」と回答している。  
婚姻状況別では、未婚で「ない」が42.1%となっている。

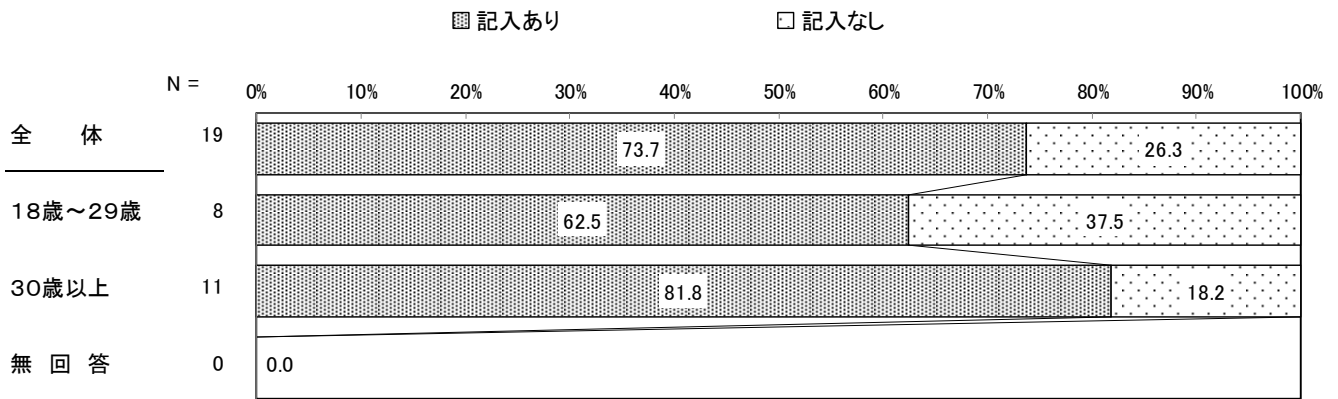


問 前問で「ある」を選んだ場合、どこを希望しますか。その理由をお書きください。

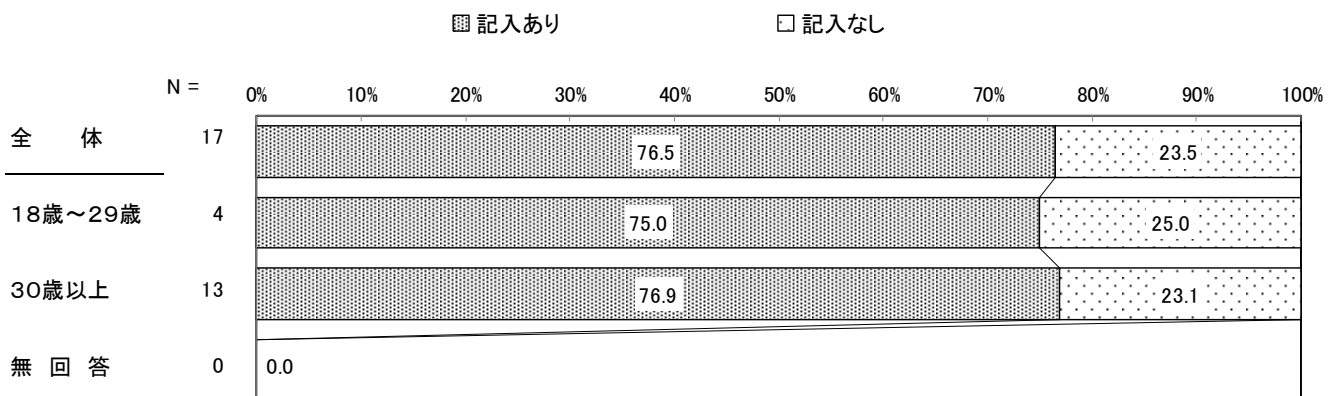
全体では、「市内」が52.8%、「市外」が47.2%と同程度である。回答数は少ないが、18～29歳は「市内」が66.7%と多くなっている。市内に持ちたい理由は73.7%、市外に持ちたい理由は76.5%が記入している。内容としては、「市内」では「職場上」、「ずっと住んでいるから、生まれた町だから」などの意見がみられる。「市外」では「実家の近くがよいから」、「転勤があるため」などの意見がみられる。



問18市内に持ちたい理由[%]



問18市外に持ちたい理由[%]



問 あなたは今後も、白河市に住みたいと思いますか。その理由をお書きください。

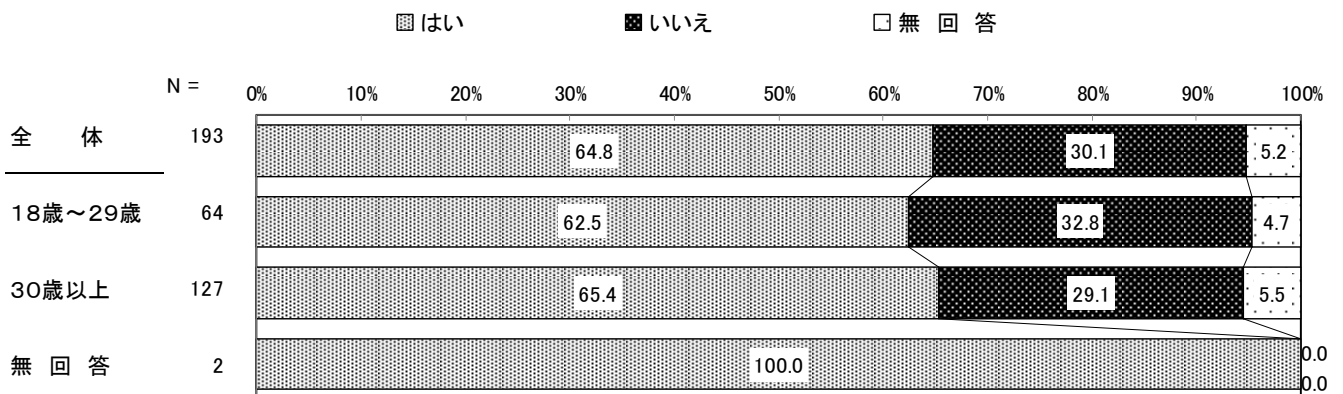
全体では、64.8%が「はい」と回答し、市内に住みたい理由は 83.2%、市外に住みたい理由は 79.3%が記入している。内容としては、「市内」では「持ち家がある」、「職場・学校」などの意見がみられる。「市外」では「利便性が悪い」、「市民税が高い」などの意見がみられる。

性年齢別では、20~24歳の女性で「いいえ」が53.3%となっている。

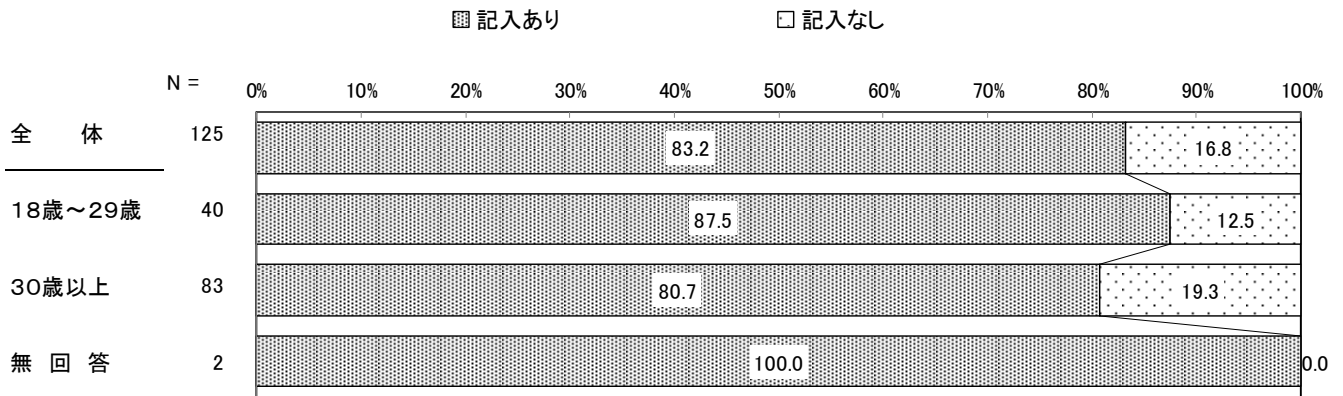
就業状況別では、現在は就業していないが過去に就業経験があるで「いいえ」が44.4%となっている。

自分が幸せだとどちらかといえば、そう思わない回答者で「いいえ」が54.5%となっている。

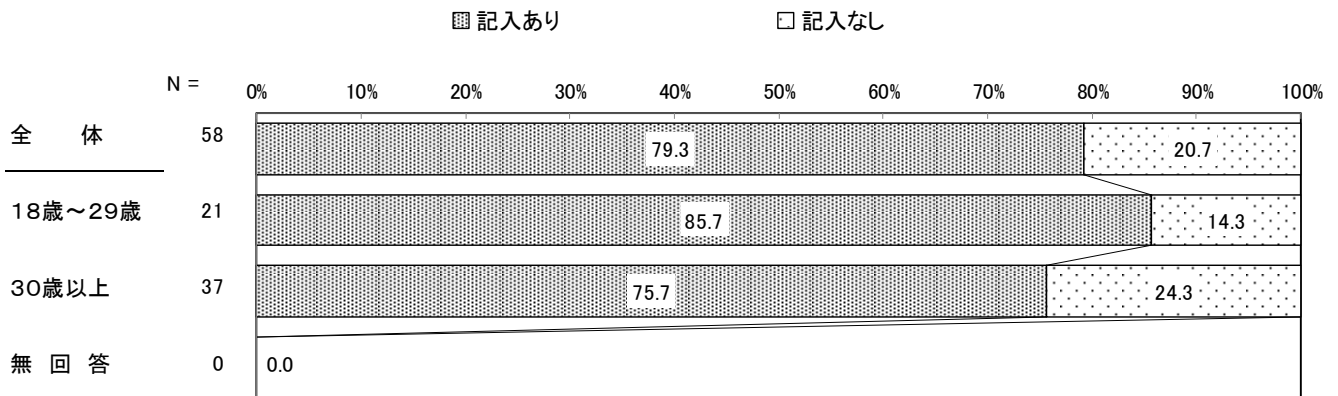
問19定住意向[%]



問19市内に住みたい理由〔%〕



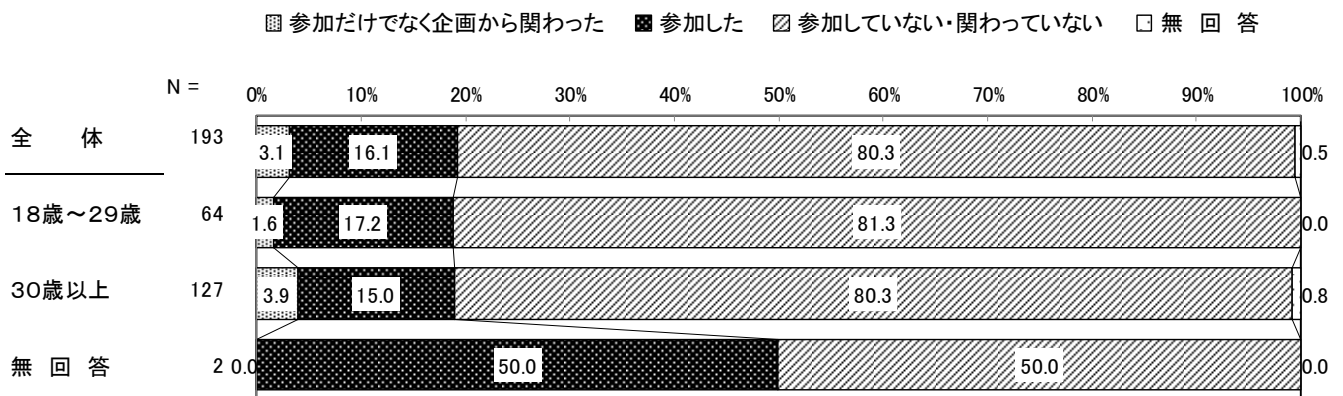
問19市外に住みたい理由〔%〕



問 あなたは最近2、3年の間に、学校や仕事以外で、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりましたか。

全体では、「参加した」が16.1%、「参加だけでなく企画から関わった」は3.1%である。

問20趣味の活動やイベント等の参画状況〔%〕

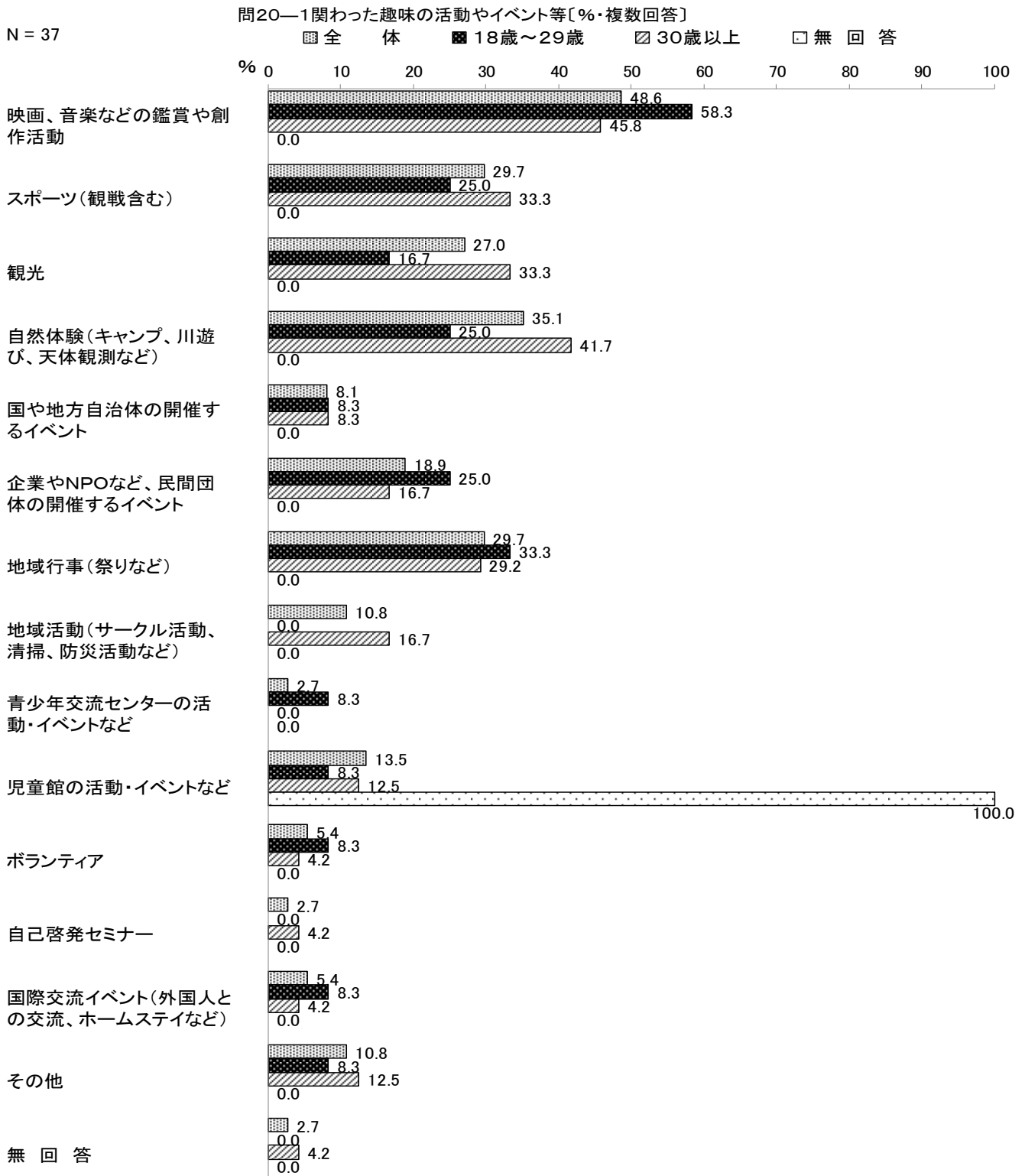


問 前問で「参加だけでなく企画から関わった」、「参加した」を選んだ場合、どのような趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりましたか。

全体では、「映画、音楽などの鑑賞や創作活動」が 48.6%と多く、次いで「自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）」が 35.1%、「スポーツ（観戦含む）」と「地域行事（祭りなど）」がともに 29.7%、「観光」が 27.0%である。

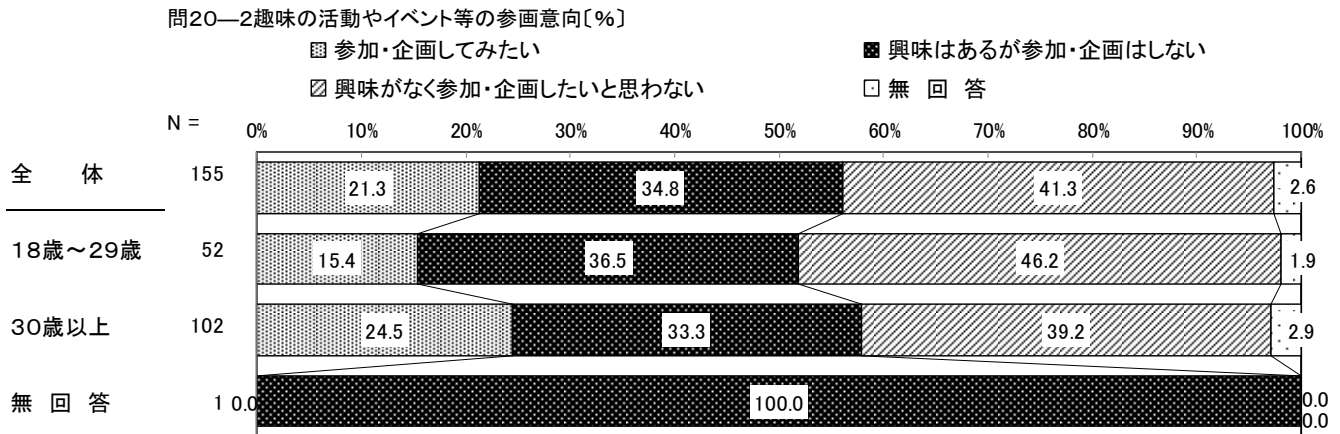
18～29 歳は「映画、音楽などの鑑賞や創作活動」が 58.3%となっている。

婚姻状況別では、未婚で「スポーツ（観戦含む）」が 41.2%、配偶者ありで「地域行事（祭りなど）」が 42.1%となっている。



問 前問で「参加していない・関わっていない」を選んだ場合、あなたは今後、趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりたいと思いますか。

全体では、「興味がなく参加・企画したいと思わない」が 41.3%と多く、「興味はあるが参加・企画はしない」が 34.8%、「参加・企画してみたい」が 21.3%である。30歳以上は「参加・企画してみたい」が 24.5%と 18～29歳より多くなっている。

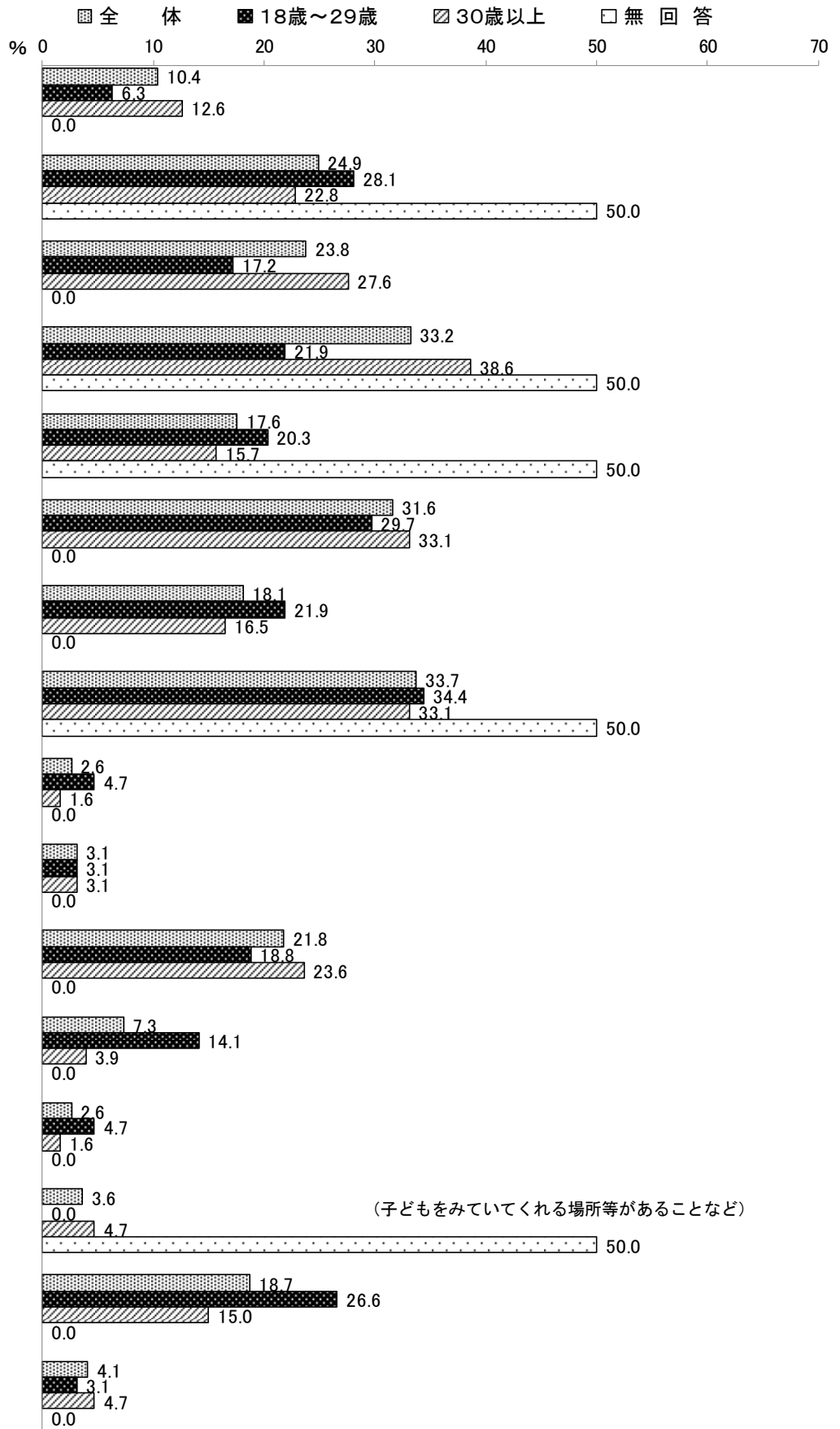


問 あなたは、どのような条件が整えば趣味の活動やイベント、ボランティアなどに参加・企画から関わりたいと思いますか。

全体では、「収入が得られるまたは活動のための費用がかからない」が 33.7%、「活動団体の雰囲気がい」が 33.2%、「短時間の活動や自分の都合にあわせて時間設定ができる」が 31.6%、「能力・スキルが発揮・習得できる」が 24.9%、「様々な情報が得られる」が 23.8%である。18～29歳で「参加・企画から関わりたいと思わない」が 26.6%と多くなっている。30歳以上で「様々な情報が得られる」「活動団体の雰囲気がよい」などで 18～29歳より多くなっている。

問21関わりたい趣味の活動やイベント等〔%・複数回答〕

N = 193





問 あなたは、白河市の制度や施策について、自分の考えを市に伝えたいと思いますか。

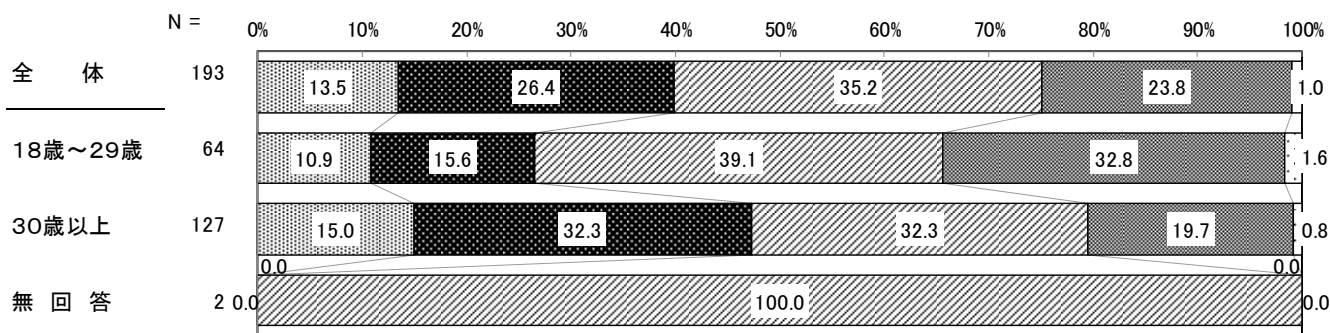
全体では、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）が 59.0%と多く、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計、以下同様）は 39.9%である。

18～29歳は『思う』が 26.5%と 30歳以上より少なくなっている。

性年齢別では、『思う』は 35～39歳の男性で 56.0%、30～34歳の男性で 55.0%、35～39歳の女性で 48.0%となっている。

問22白河市への意見伝達の意向[%]

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



問 前問で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ場合、それはどのような理由からですか。

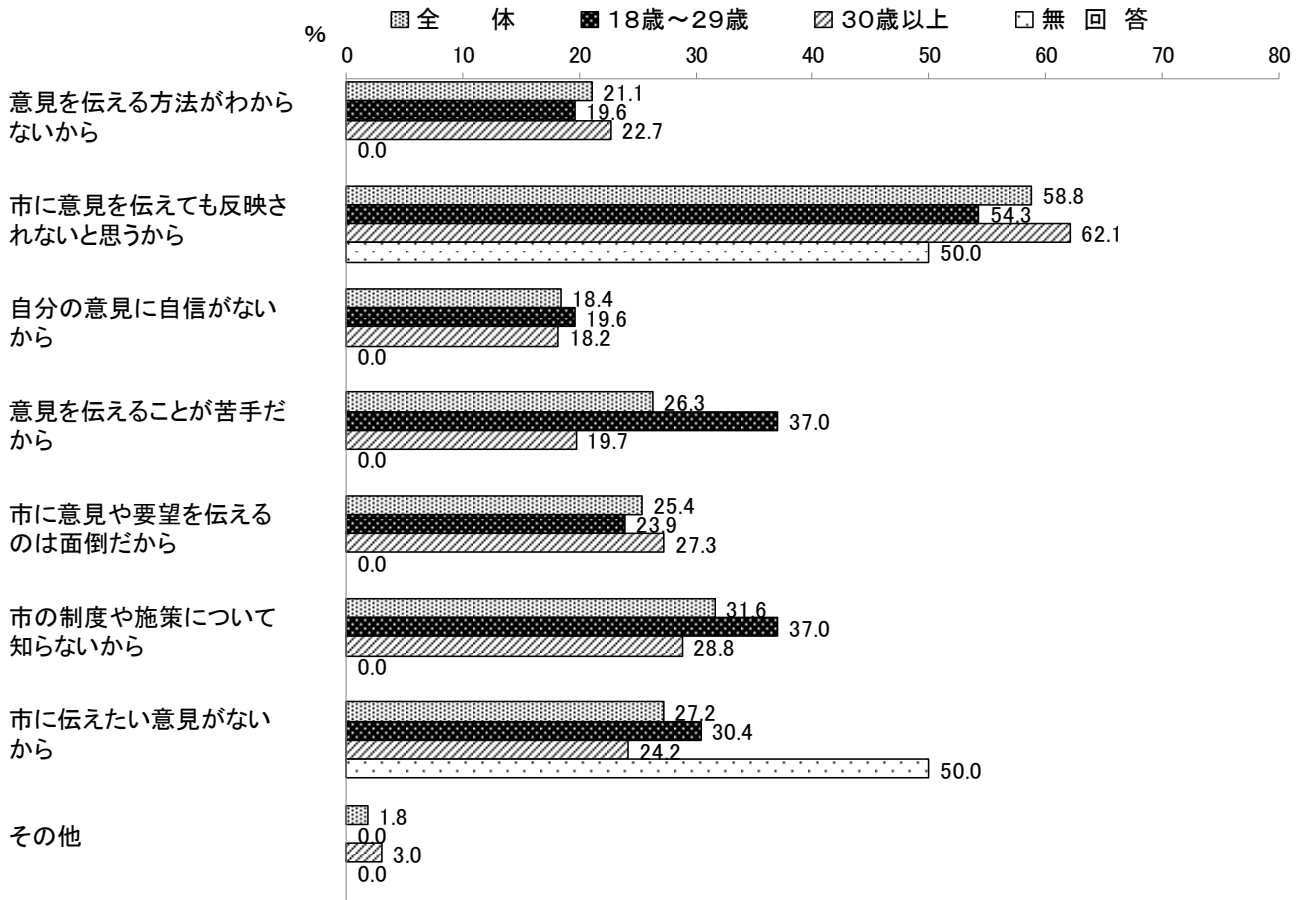
全体では、「市に意見を伝えても反映されないと思うから」が 58.8%と多く、「市の制度や施策について知らないから」が 31.6%、「意見を伝えることが苦手だから」が 26.3%、「市に意見や要望を伝えるのは面倒だから」が 25.4%である。

18～29歳で「意見を伝えることが苦手だから」と「市の制度や施策について知らないから」がともに 37.0%となっている。

性年齢別では、30～34歳の男性で「市に意見を伝えても反映されないと思うから」が 77.8%と多くなっている。

問22-1意見を伝えたいと思わない理由[%・複数回答]

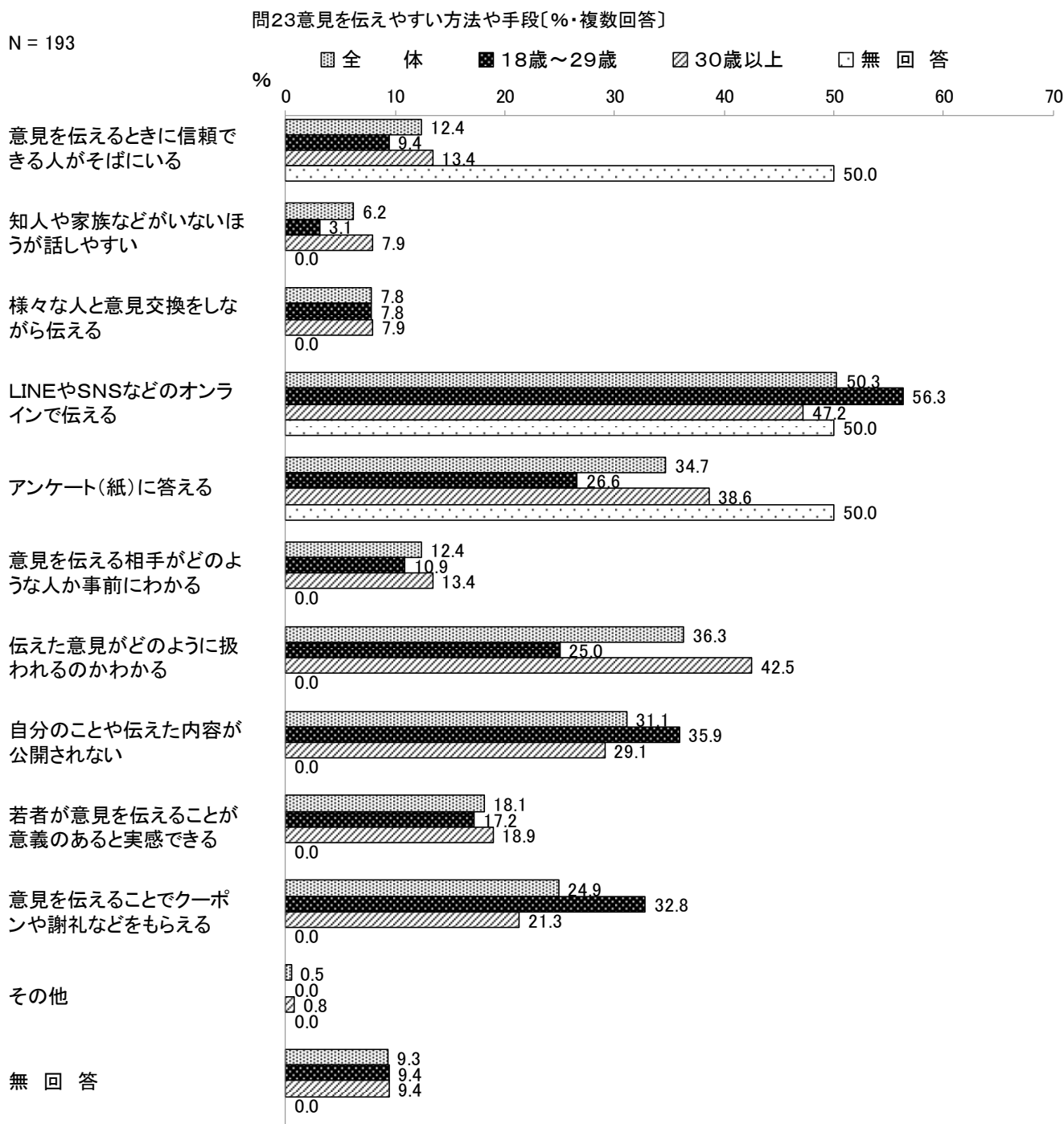
N = 114



問 どのような方法や手段があれば、あなたは白河市の制度や施策について意見を伝えやすいと思いますか。

全体では、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」が50.3%と半数を超え、「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる」が36.3%、「アンケート（紙）に答える」が34.7%、「自分のことや伝えた内容が公開されない」が31.1%となっている。

年齢別では、18～19歳で「自分のことや伝えた内容が公開されない」が60.0%、20～24歳、25～29歳と30～34歳で「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」がそれぞれ55.6%、66.7%、51.9%、35～39歳で「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる」が46.7%となっている。

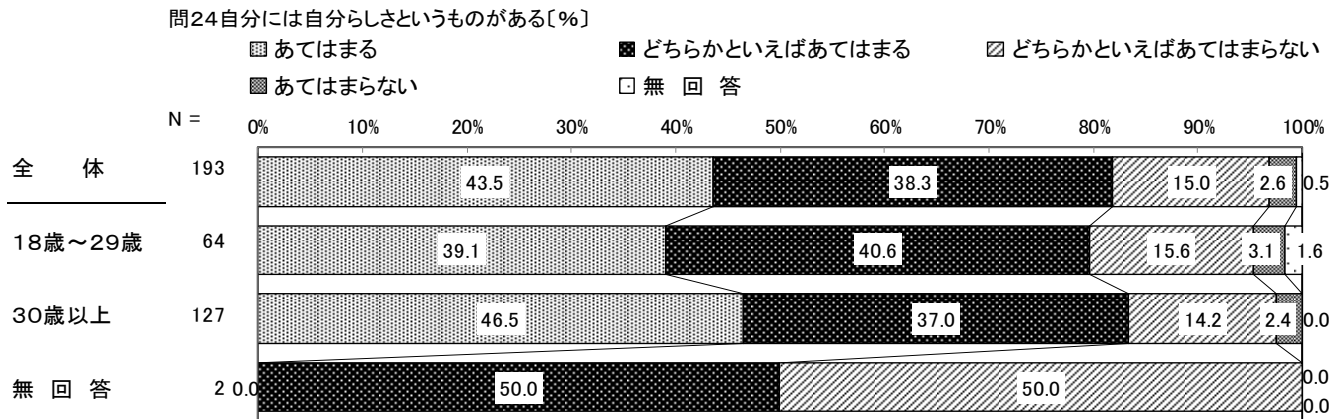


## 4.2 今の気持ちや状況

問 あなた自身について、次の項目にどのくらいあてはまりますか。

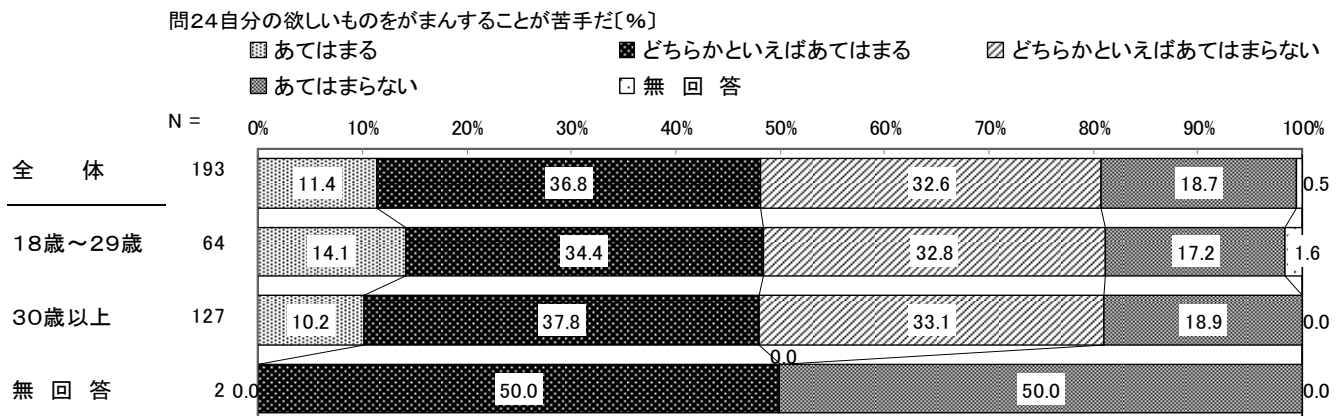
### (1)自分には自分らしさというものがある

全体では、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の計、以下同様）が 81.8%と多くを占め、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計、以下同様）が 17.6%である。



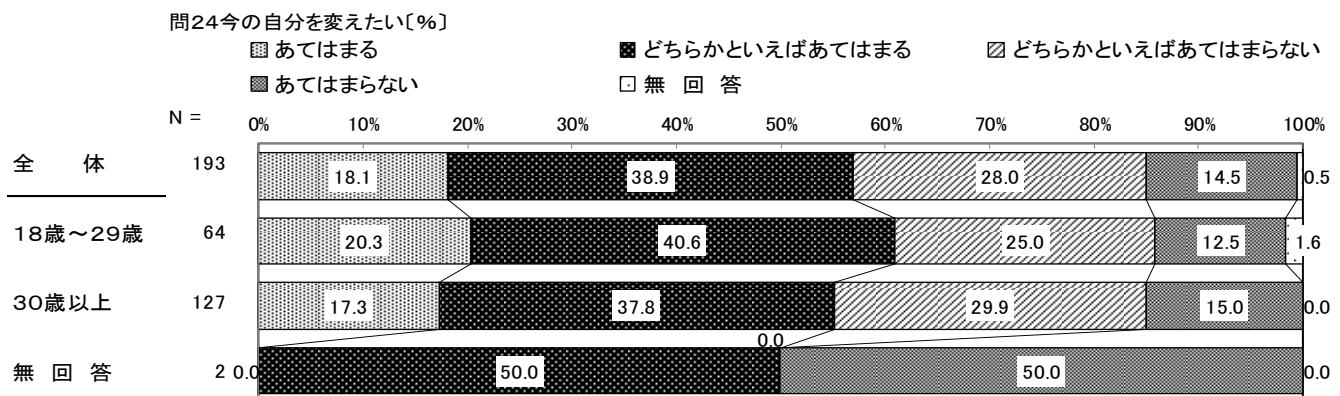
### (2)自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ

全体では、『あてはまらない』が 51.3%、『あてはまる』が 48.2%と同程度である。



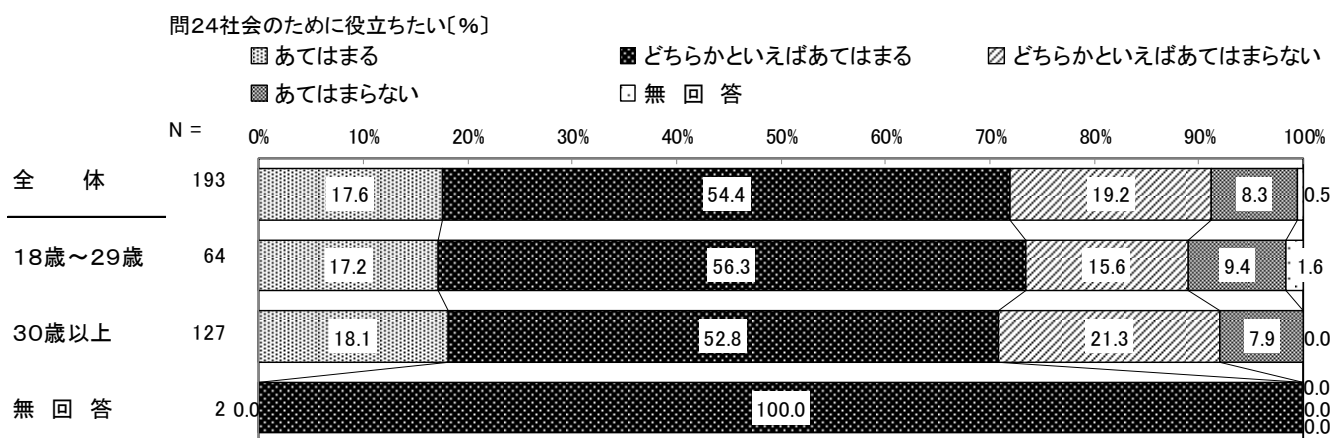
### (3)今の自分を変えたい

全体では、『あてはまる』が 57.0%と多く、『あてはまらない』が 42.5%である。



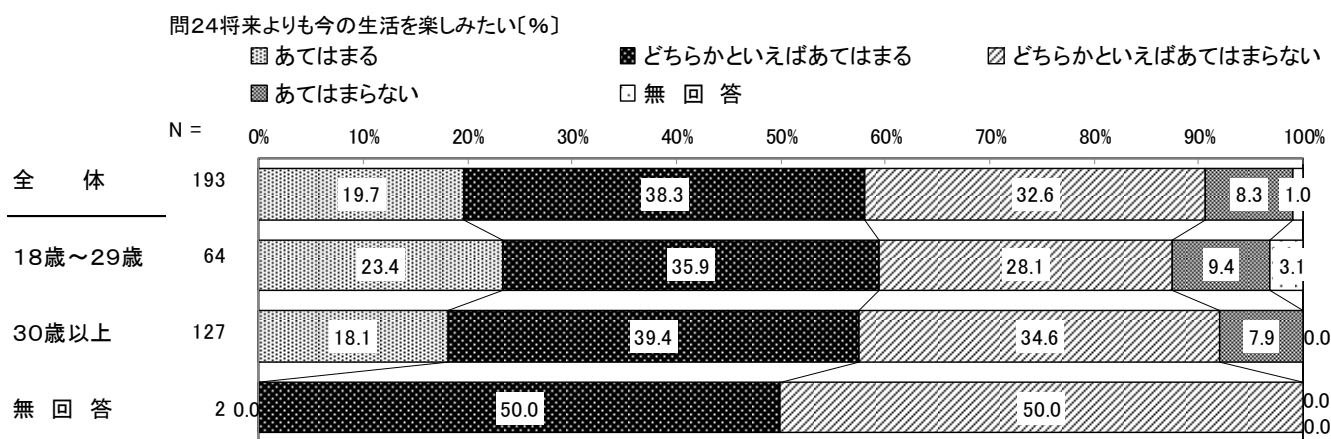
#### (4)社会のために役立ちたい

全体では、『あてはまる』が72.0%と多く、『あてはまらない』が27.5%である。



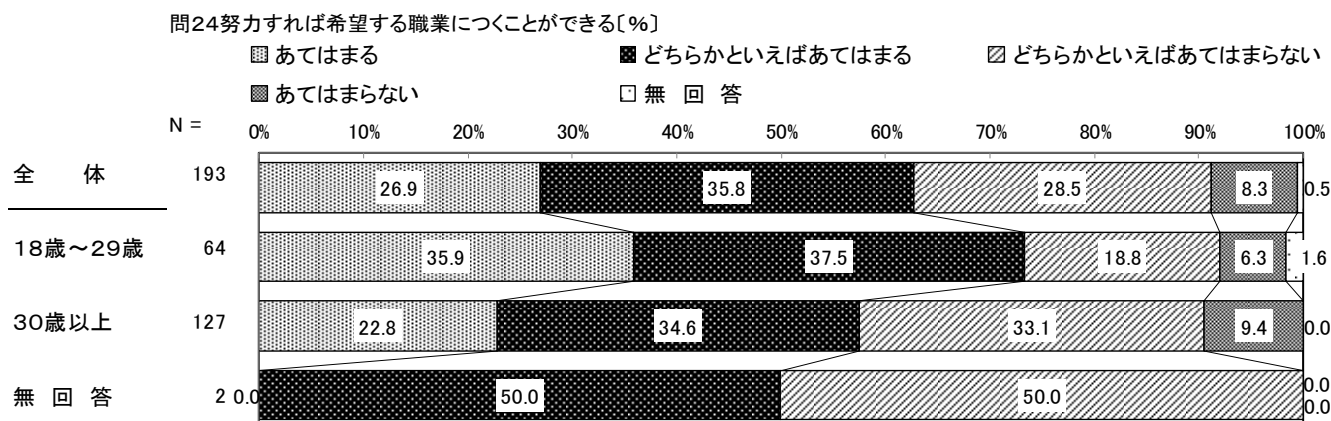
#### (5)将来よりも今の生活を楽しみたい

全体では、『あてはまる』が58.0%と多く、『あてはまらない』が40.9%である。



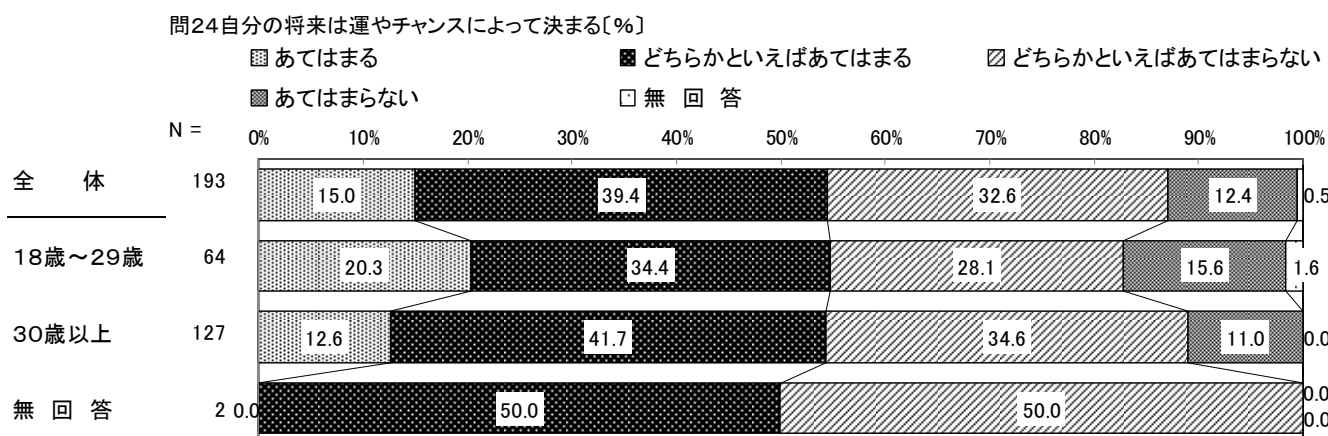
#### (6)努力すれば希望する職業につくことができる

全体では、『あてはまる』が62.7%と多く、『あてはまらない』が36.8%である。18～29歳は『あてはまる』が73.4%と多くなっている。



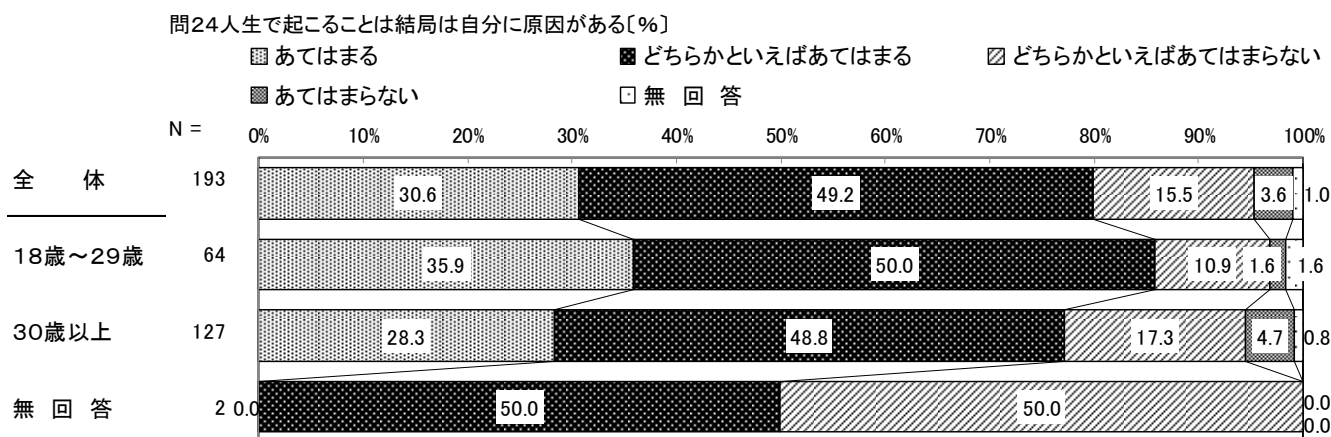
### (7)自分の将来は運やチャンスによって決まる

全体では、『あてはまる』が 54.4%と多く、『あてはまらない』が 45.0%である。



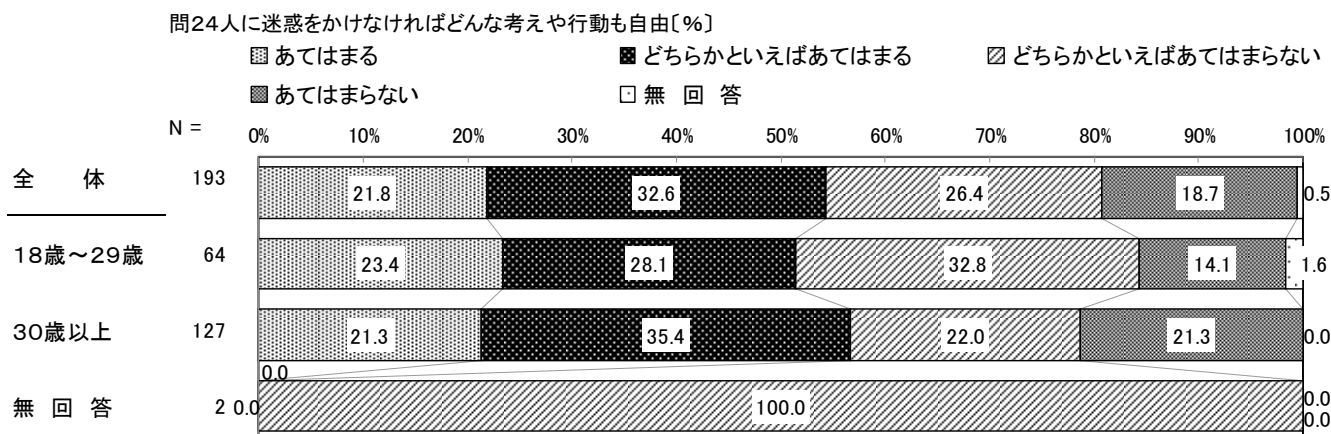
### (8)人生で起こることは、結局は自分に原因がある

全体では、『あてはまる』が 79.8%と多く、『あてはまらない』が 19.1%である。18～29歳は『あてはまる』が 85.9%と30歳以上より多くなっている。



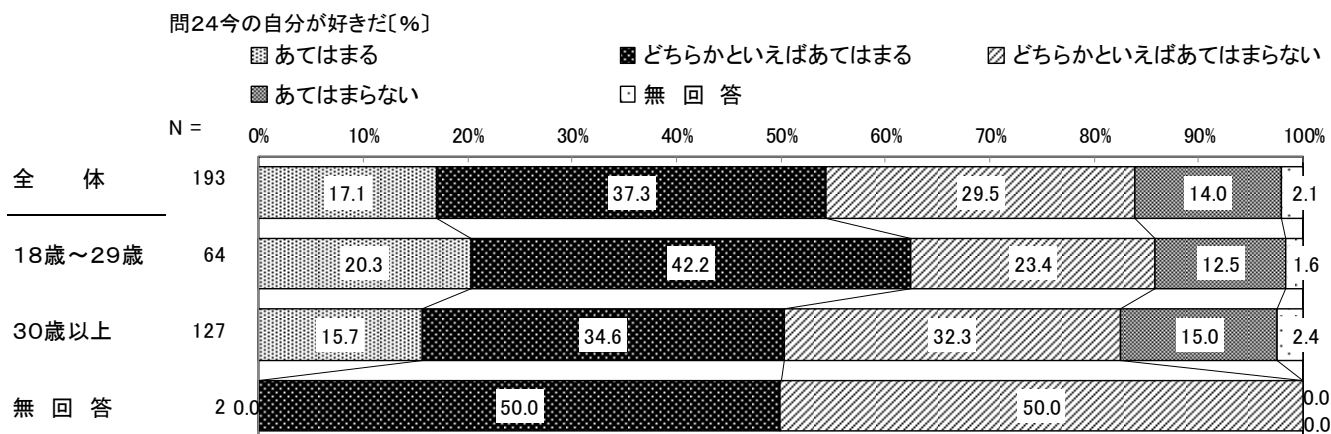
### (9)他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由

全体では、『あてはまる』が 54.4%、『あてはまらない』が 45.1%である



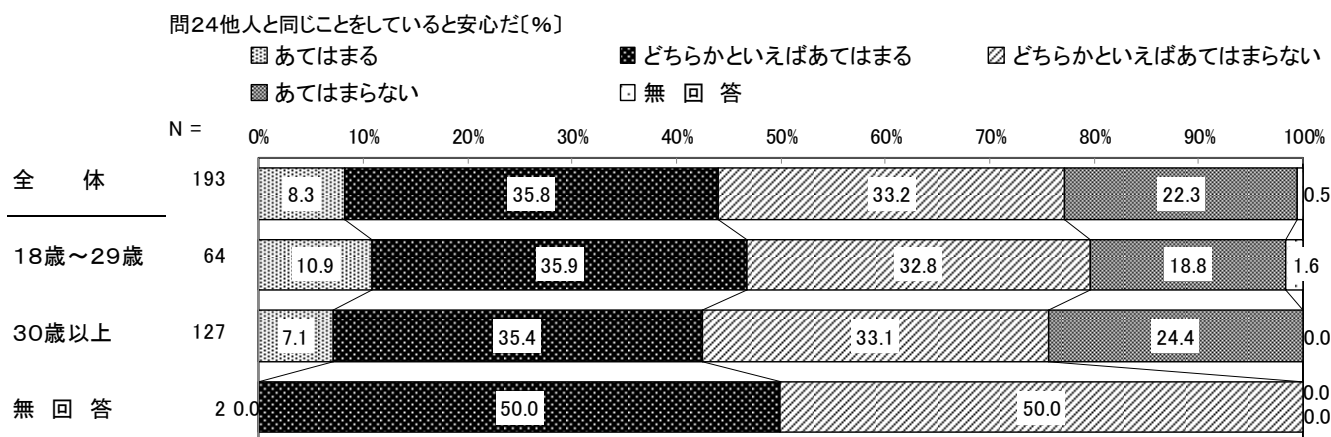
### (10)今の自分が好きだ

全体では、『あてはまる』が 54.4%、『あてはまらない』が 43.5%である。18～29 歳は『あてはまる』が 62.5%と 30 歳以上より多くなっている。



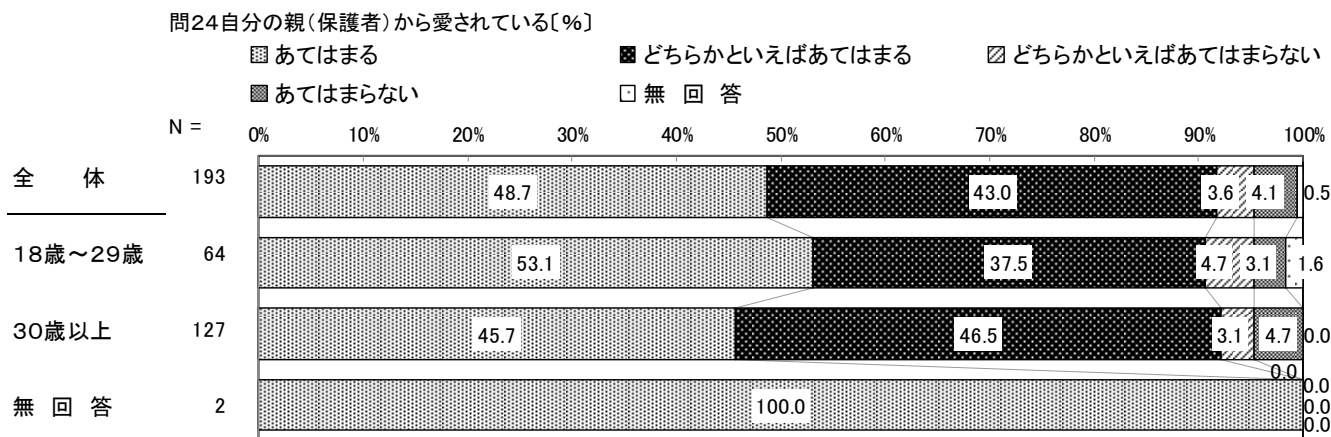
### (11)自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ

全体では、『あてはまらない』が 55.5%、『あてはまる』が 44.1%である



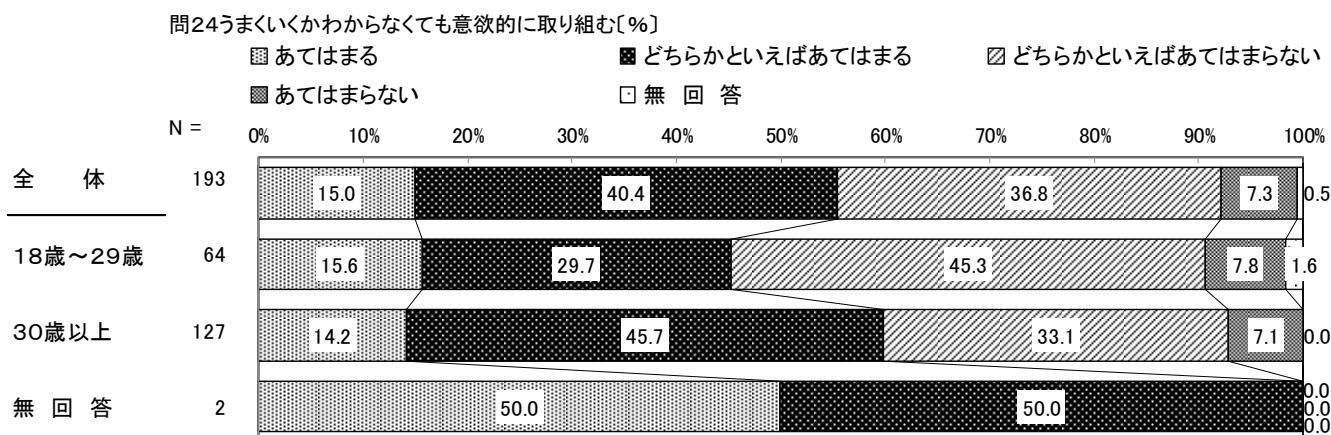
### (12)自分の親(保護者)から愛されている

全体では、『あてはまる』が 91.7%とほとんどである。



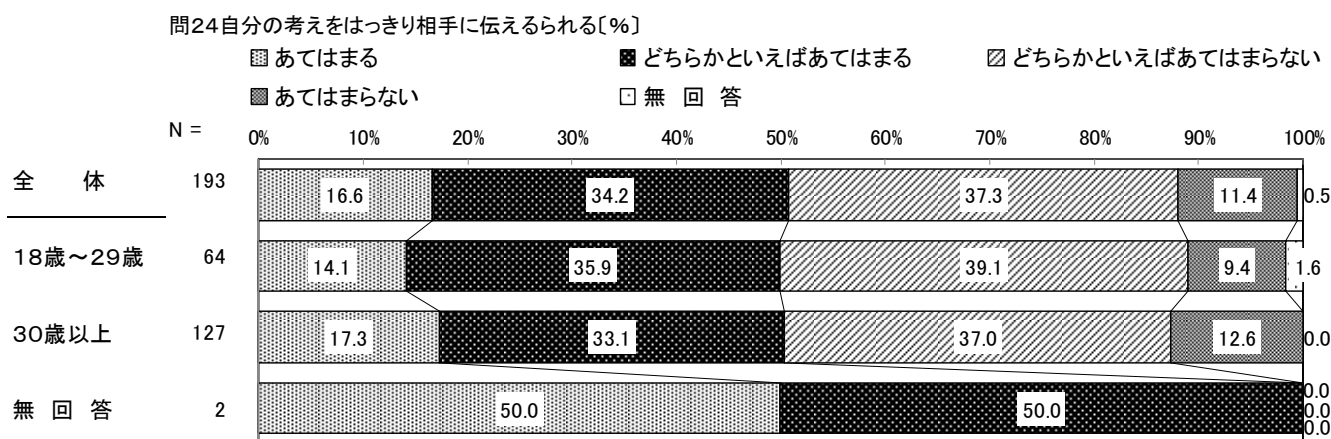
### (13)うまいくかわからないことにも意欲的に取り組む

全体では、『あてはまる』が 55.4%、『あてはまらない』が 44.1%である。18～29 歳は『あてはまる』が 45.3%と 30 歳以上より少なくなっている。



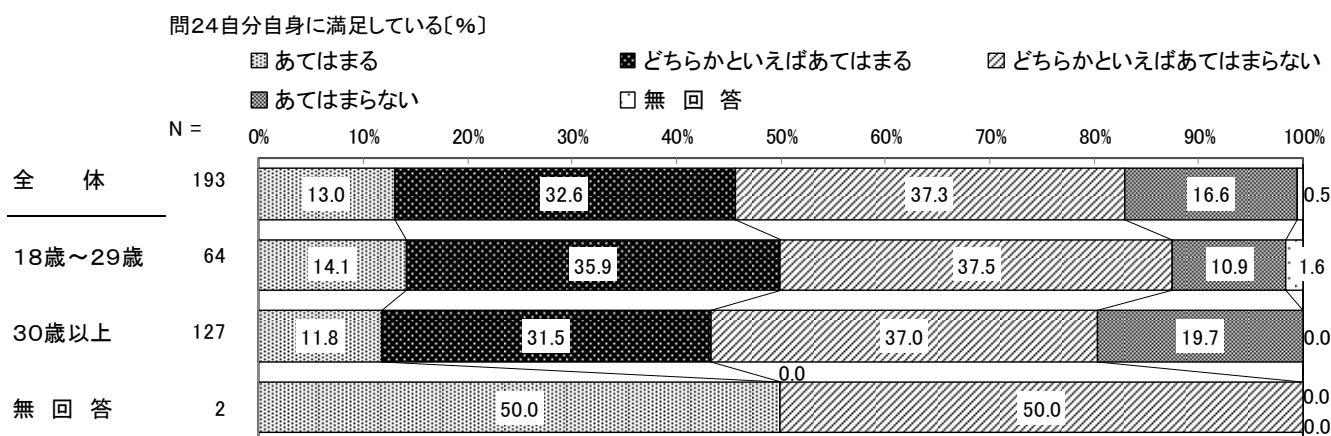
### (14)自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体では、『あてはまる』が 50.8%、『あてはまらない』が 48.7%と同程度である。



### (15)自分自身に満足している

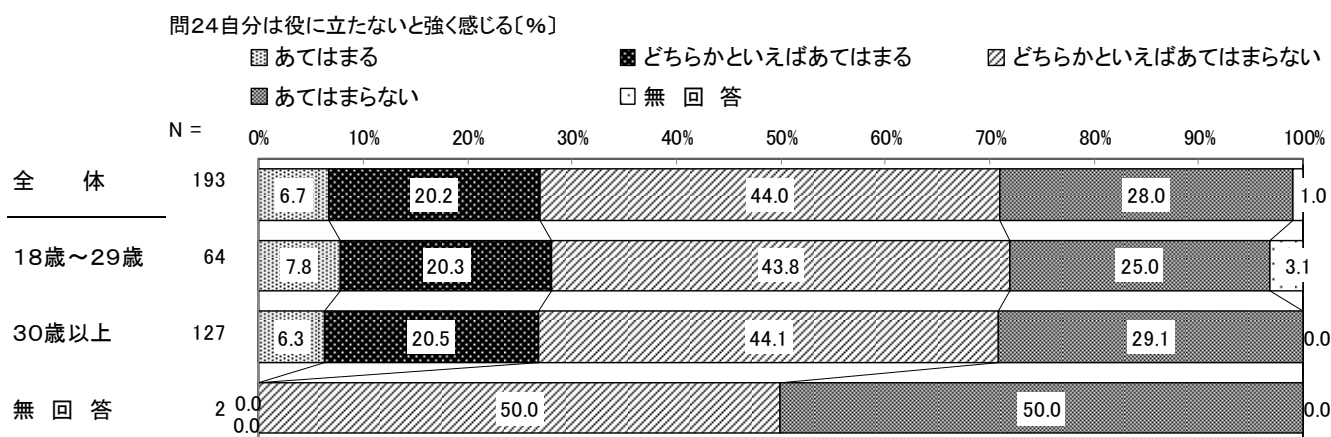
全体では、『あてはまらない』が 53.9%、『あてはまる』が 45.6%である。





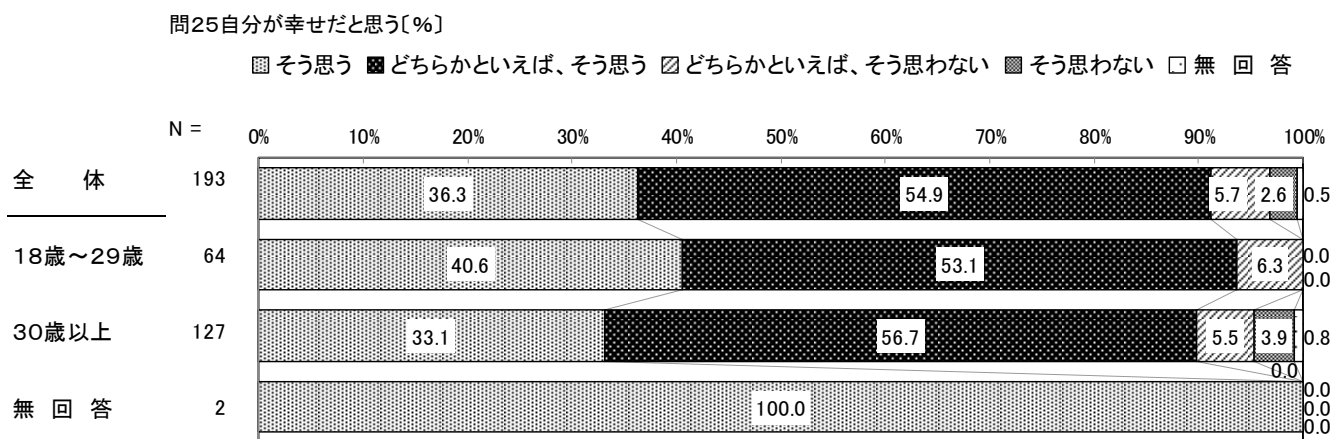
### (16)自分は役に立たないと強く感じる

全体では、『あてはまらない』が72.0%と多く、『あてはまる』が26.9%である。



### 問 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

全体では、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の計、以下同様）が91.2%とほとんどである。

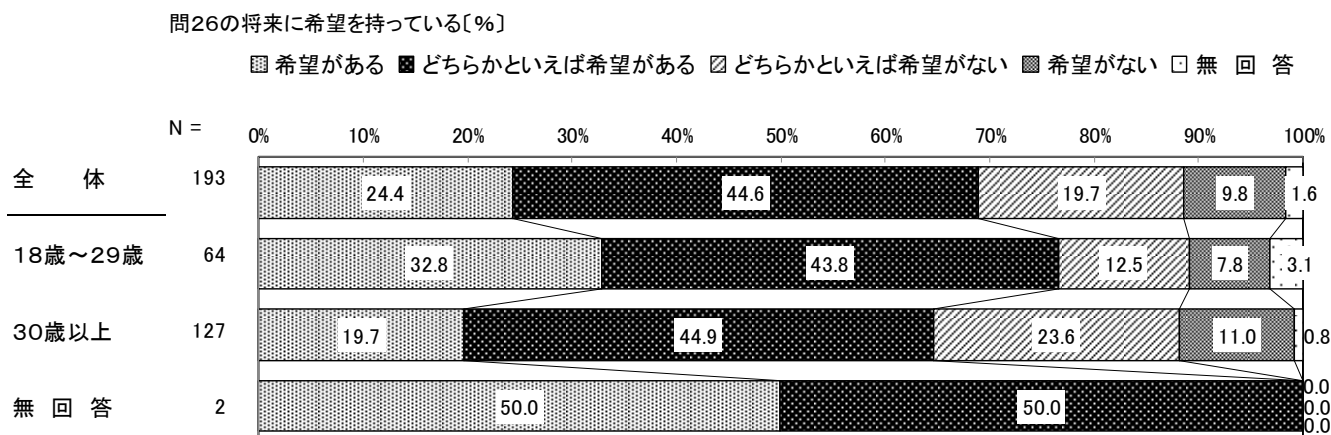


### 問 あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。最も近いものを選んでください。

全体では、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の計）が69.0%、『希望がない』（「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」の計、以下同様）が29.5%である。

30歳以上は『希望がない』が34.6%と18～29歳の20.3%より多くなっている。

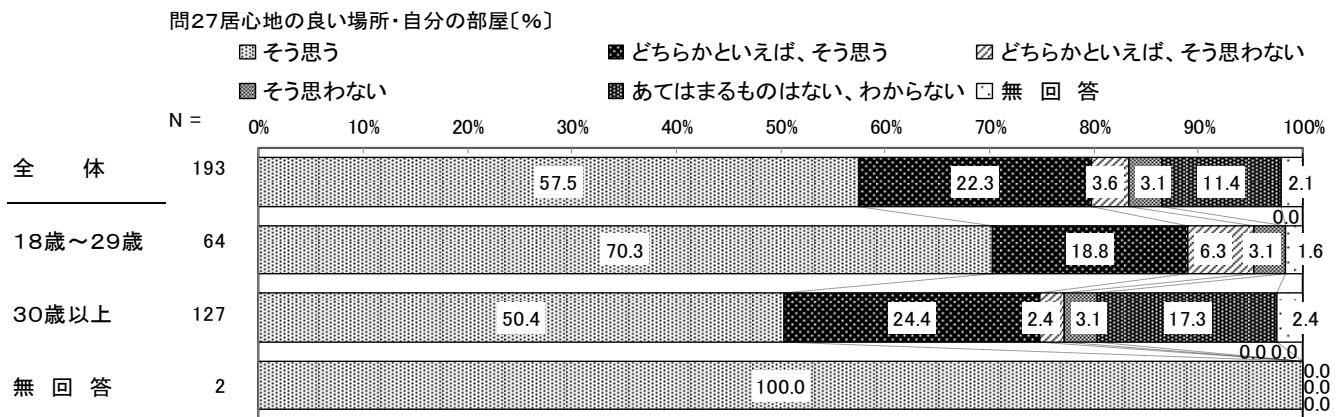
性年齢別では、『希望がない』は30～34歳と25～29歳の女性で45%前後となっている。



問 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

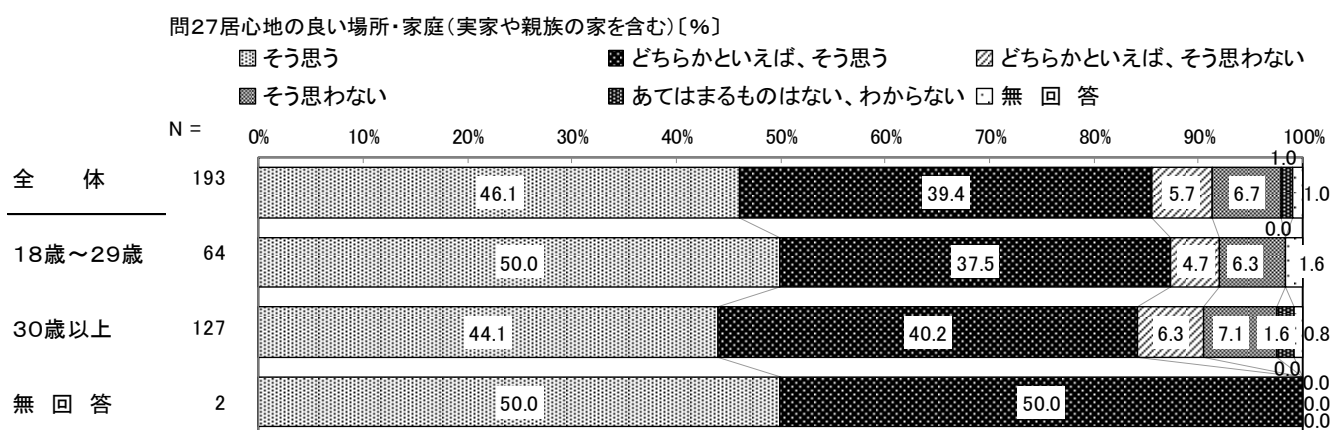
### (1)自分の部屋

全体では、『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計、以下同様）が79.8%、『そう思わない』（「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」の計、以下同様）が6.7%である。18～29歳は『そう思う』が89.1%と多くなっている。



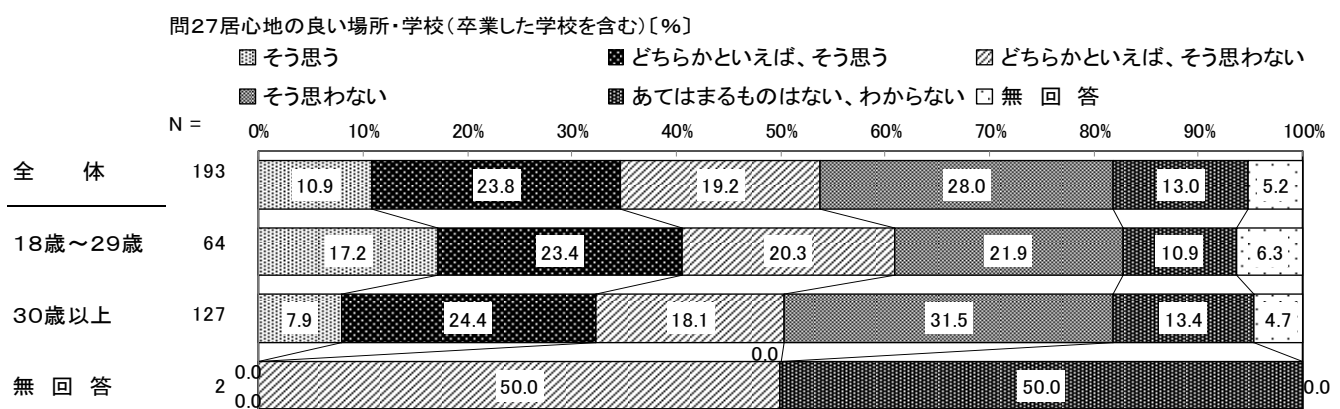
### (2)家庭(実家や親族の家を含む)

全体では、『そう思う』が85.5%と多く、『そう思わない』が12.4%である。



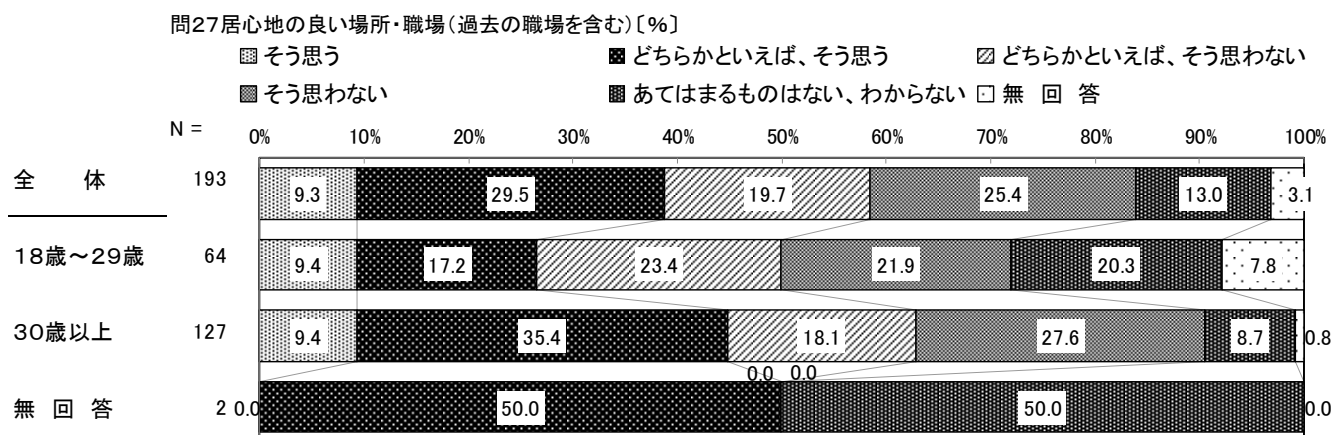
### (3)学校(卒業した学校を含む)

全体では、『そう思わない』が47.2%と多く、『そう思う』が34.7%である。18～29歳は『そう思う』が40.6%と30歳以上より多くなっている。



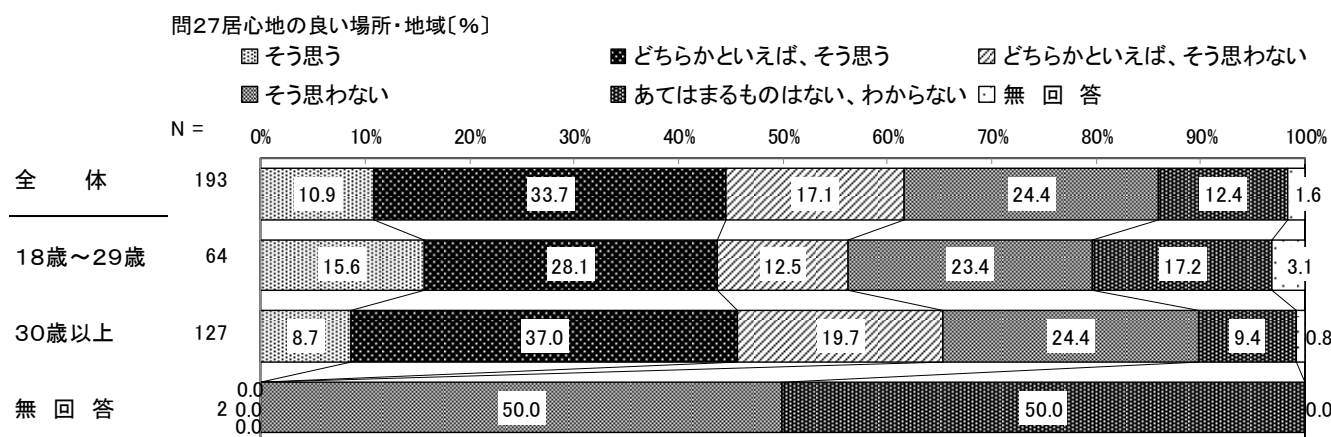
#### (4) 職場(過去の職場を含む)

全体では、『そう思わない』が45.1%、『そう思う』が38.8%である。18～29歳は『そう思う』が26.6%と少なく、「あてはまるものはない、わからない」が20.3%となっている。



#### (5) 地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)

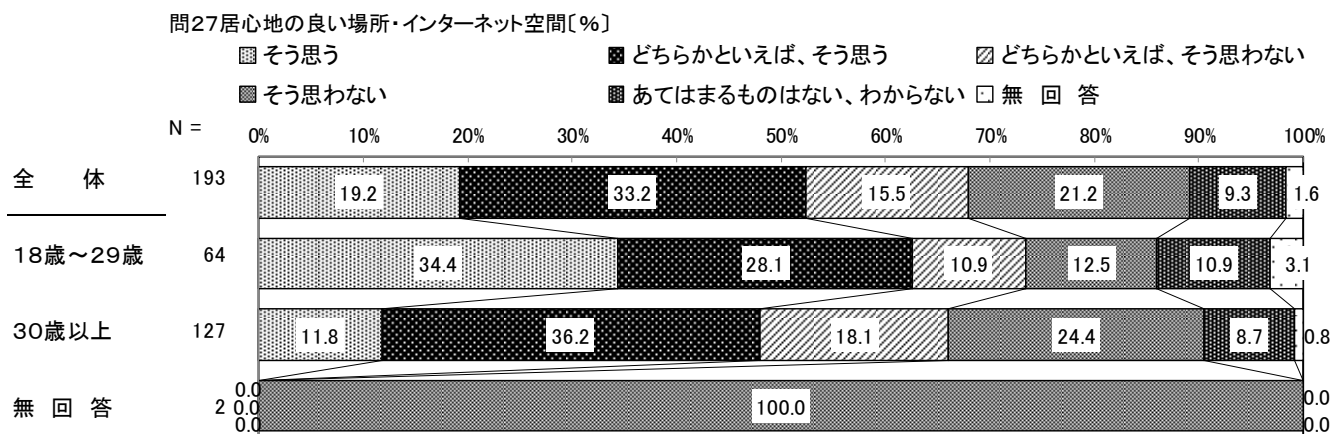
全体では、『そう思う』が44.6%、『そう思わない』が41.5%と同程度である。



#### (6) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)

全体では、『そう思う』が52.4%、『そう思わない』が36.7%である。

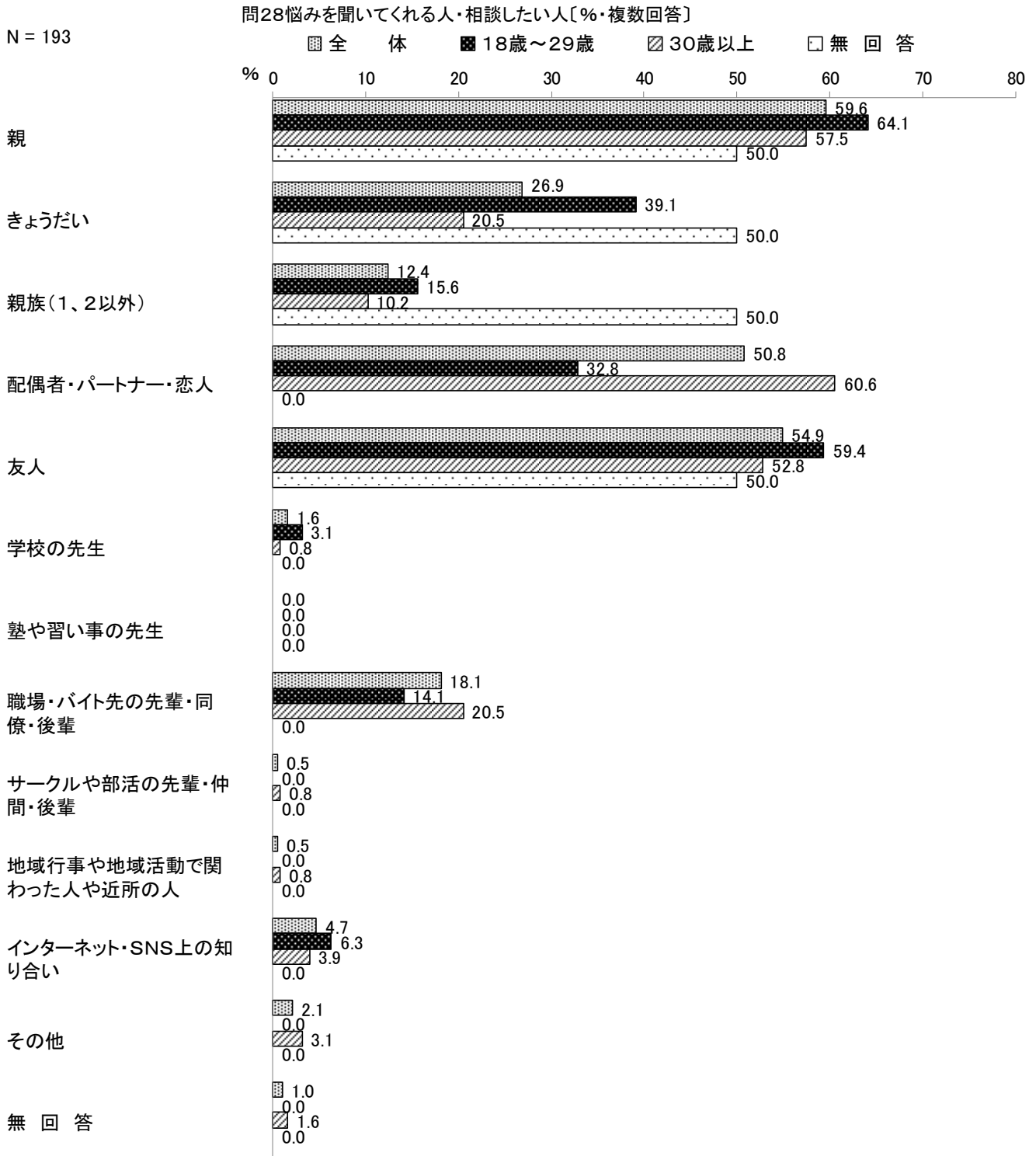
18～29歳は『そう思う』が62.5%と多くなっている。



問 悩んでいることや心配なことを聞いてくれる人、相談したい人は誰ですか。

全体では、「親」が59.6%、「友人」が54.9%、「配偶者・パートナー・恋人」が50.8%、「きょうだい」が26.9%、「職場・バイト先の先輩・同僚・後輩」が18.1%である。

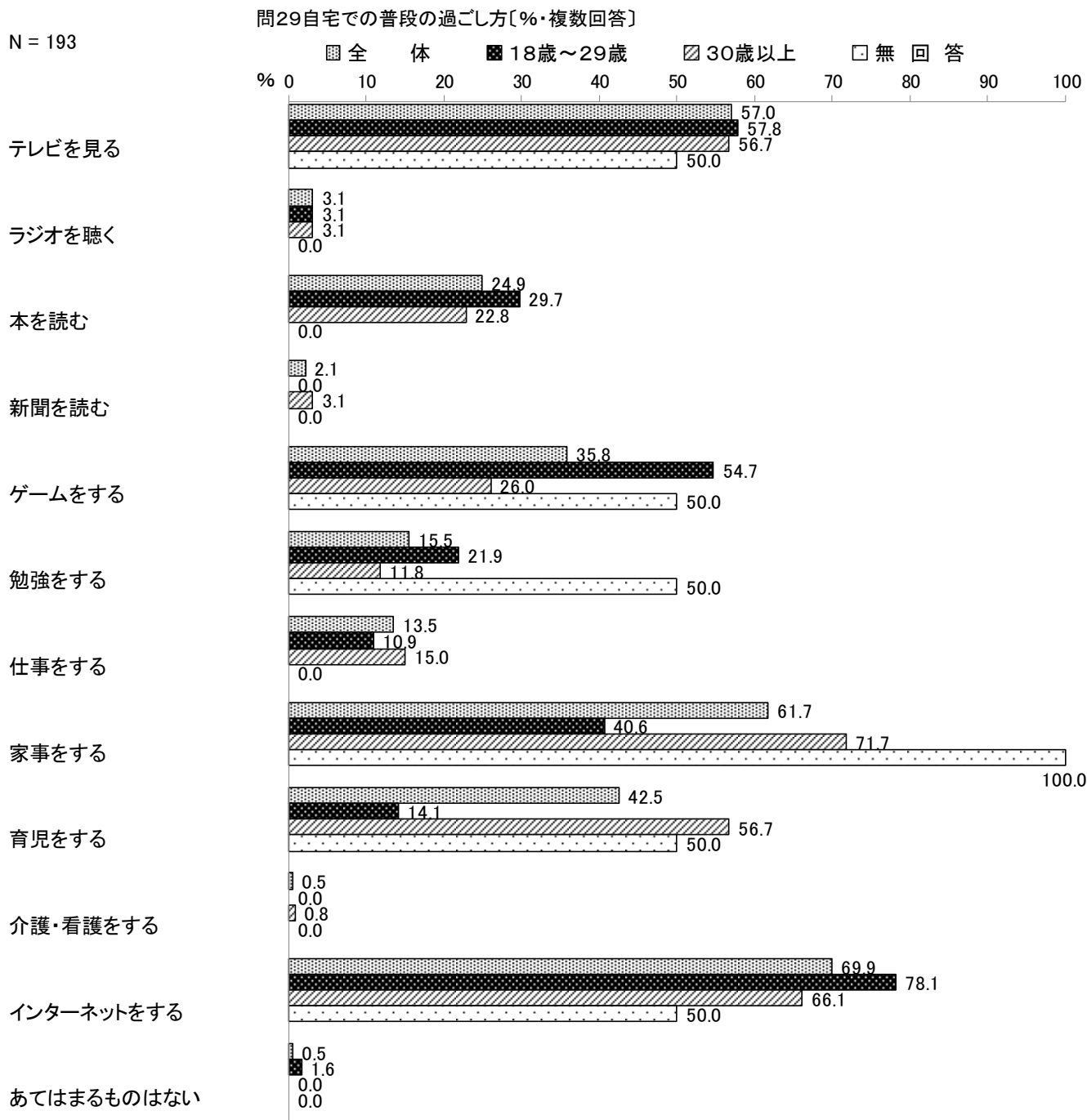
18～29歳は「親」「きょうだい」「友人」、30歳以上は「配偶者・パートナー・恋人」「職場・バイト先の先輩・同僚・後輩」などでそれぞれの年代より多くなっている。



### 4.3 現在の生活状況など

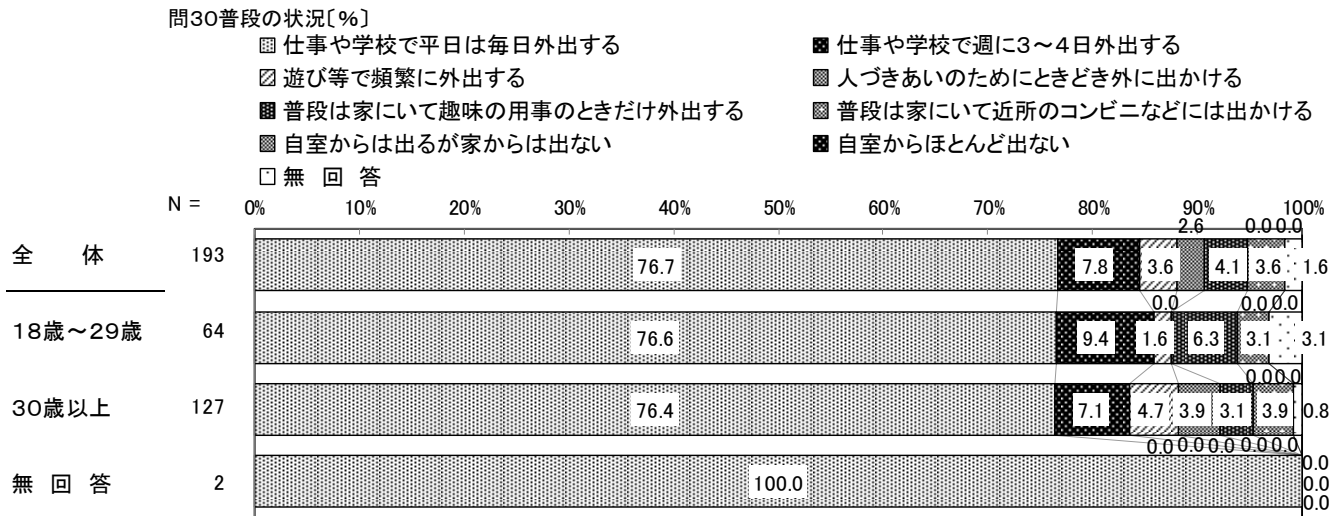
問 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。

全体では、「インターネットをする」が 69.9%、「家事をする」が 61.7%、「テレビを見る」が 57.0%、「育児をする」が 42.5%、「ゲームをする」が 35.8%などで多くなっている。18～29 歳で「ゲームをする」「インターネットをする」、30 歳以上で「家事をする」「育児をする」などでそれぞれより多くなっている。



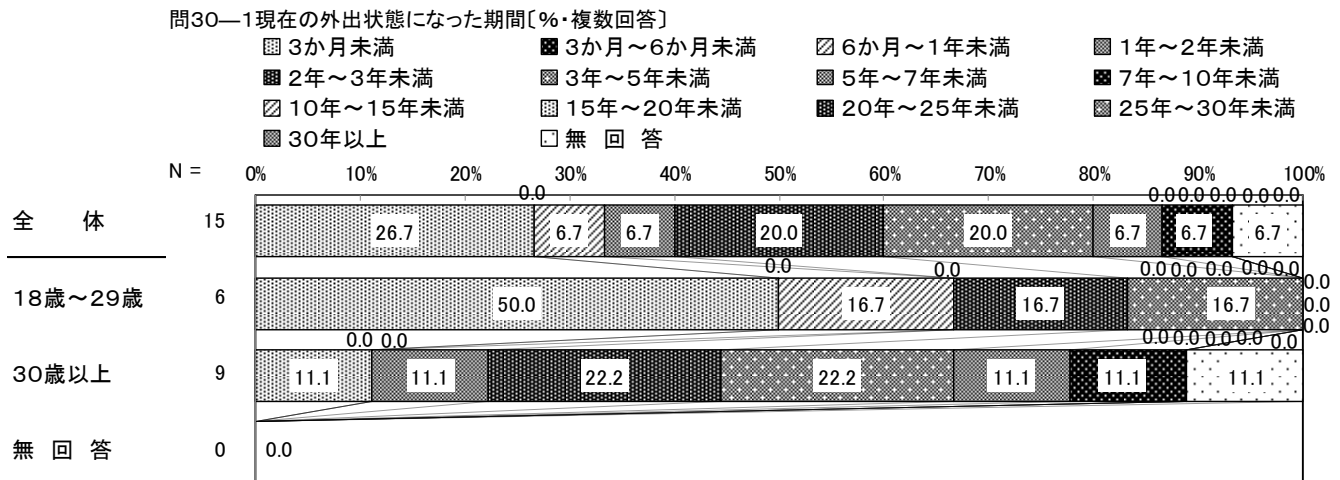
問 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

全体では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 76.7%と多く、「仕事や学校で週に3～4日外出する」が 7.8%、「普段は家にいて趣味の用事のときだけ外出する」が 4.1%などとなっている。



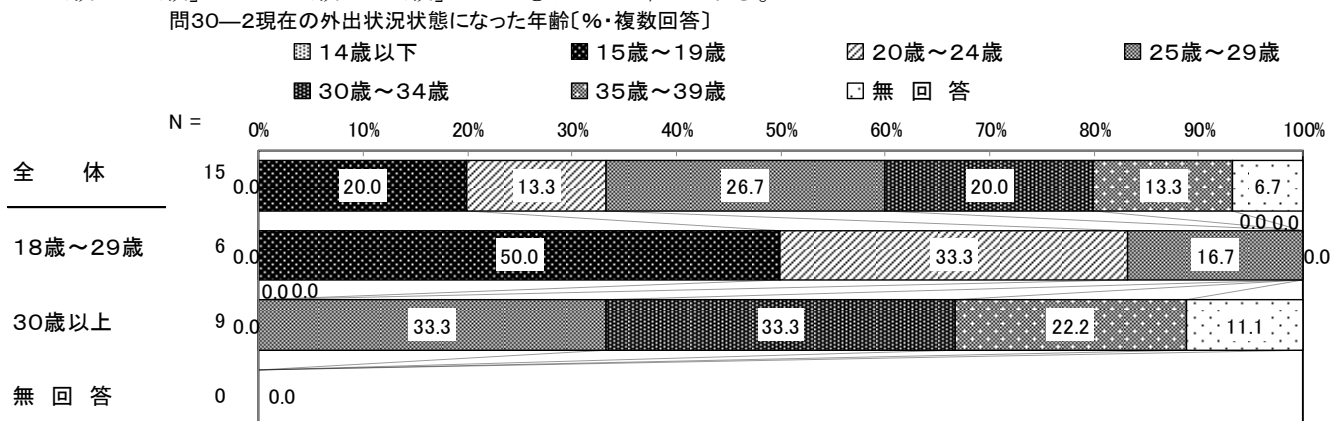
問 【前問で「普段は家にいて趣味の用事のときだけ外出する」、「普段は家にいて近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」を選んだ方】あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

全体では、「3か月未満」が 26.7%、「2年～3年未満」と「3年～5年未満」がともに 20.0%である。



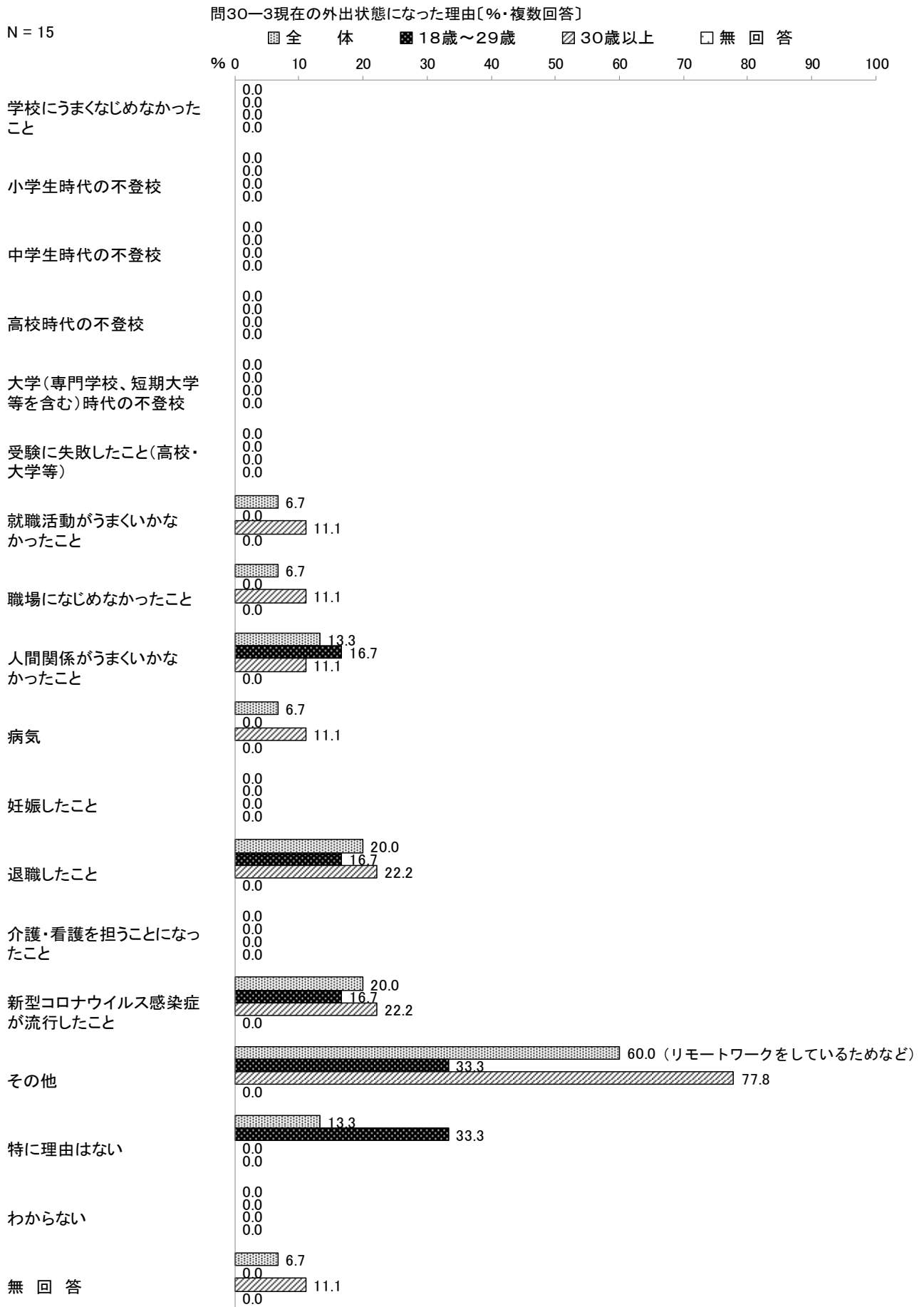
問 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

全体では、「25歳～29歳」が 26.7%、「15歳～19歳」と「30歳～34歳」がともに 20.0%、「20歳～24歳」と「35歳～39歳」がともに 13.3%である。



問 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。

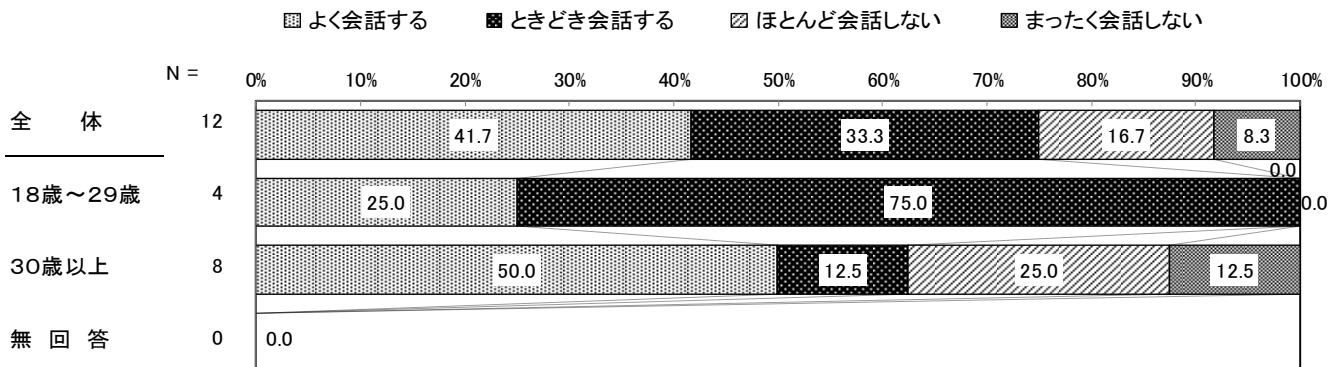
全体では、「退職したこと」「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」などが回答されている。



問 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。

回答数が少ないが、全体では『会話する』（「よく会話する」と「ときどき会話する」の計）が 75.0%、『会話しない』（「ほとんど会話しない」と「まったく会話しない」の計）が 25.0%である。

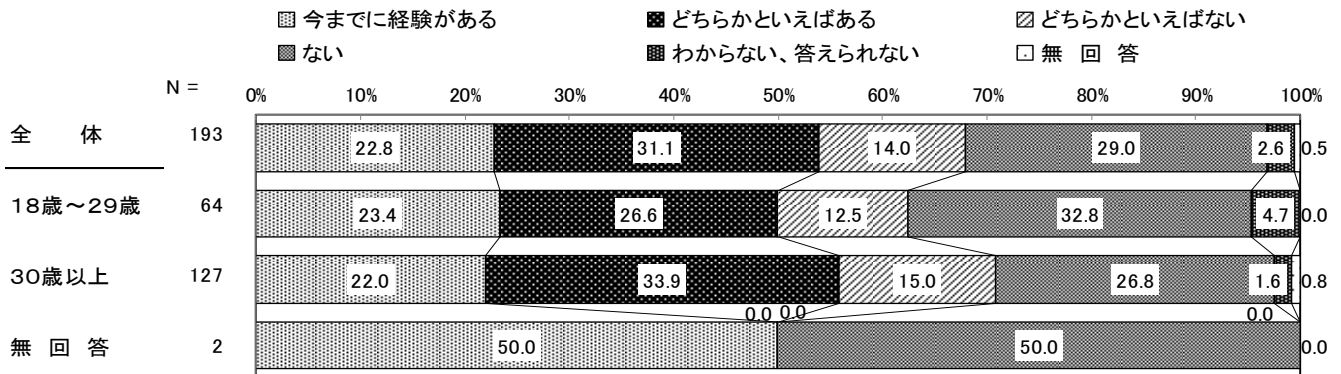
問30—4最近6か月間の家族以外の人との会話[%]



問 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。

全体では、『ある』（「今までに経験がある」と「どちらかといえばある」の計）が 53.9%と多く、『ない』（「どちらかといえはない」と「ない」の計）が 43.0%である。

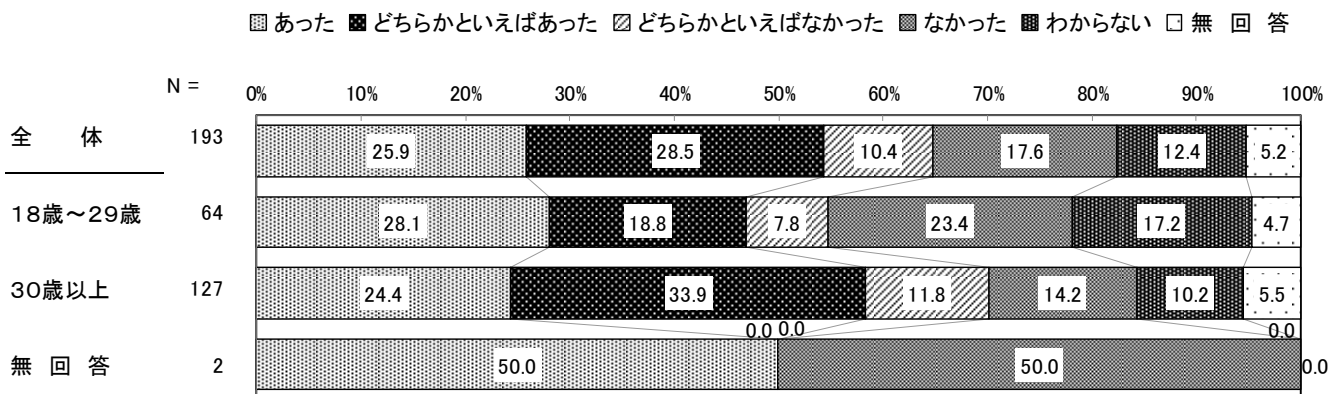
問31社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験[%]



問 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありますか。最も近いものを選んでください。

全体では、『あった』（「あった」と「どちらかといえばあった」の計、以下同様）が 54.4%、『なかった』（「どちらかといえなかった」と「なかった」の計）が 28.0%、「わからない」が 12.4%である。30歳以上は『あった』が 58.3%と18～29歳より多くなっている。

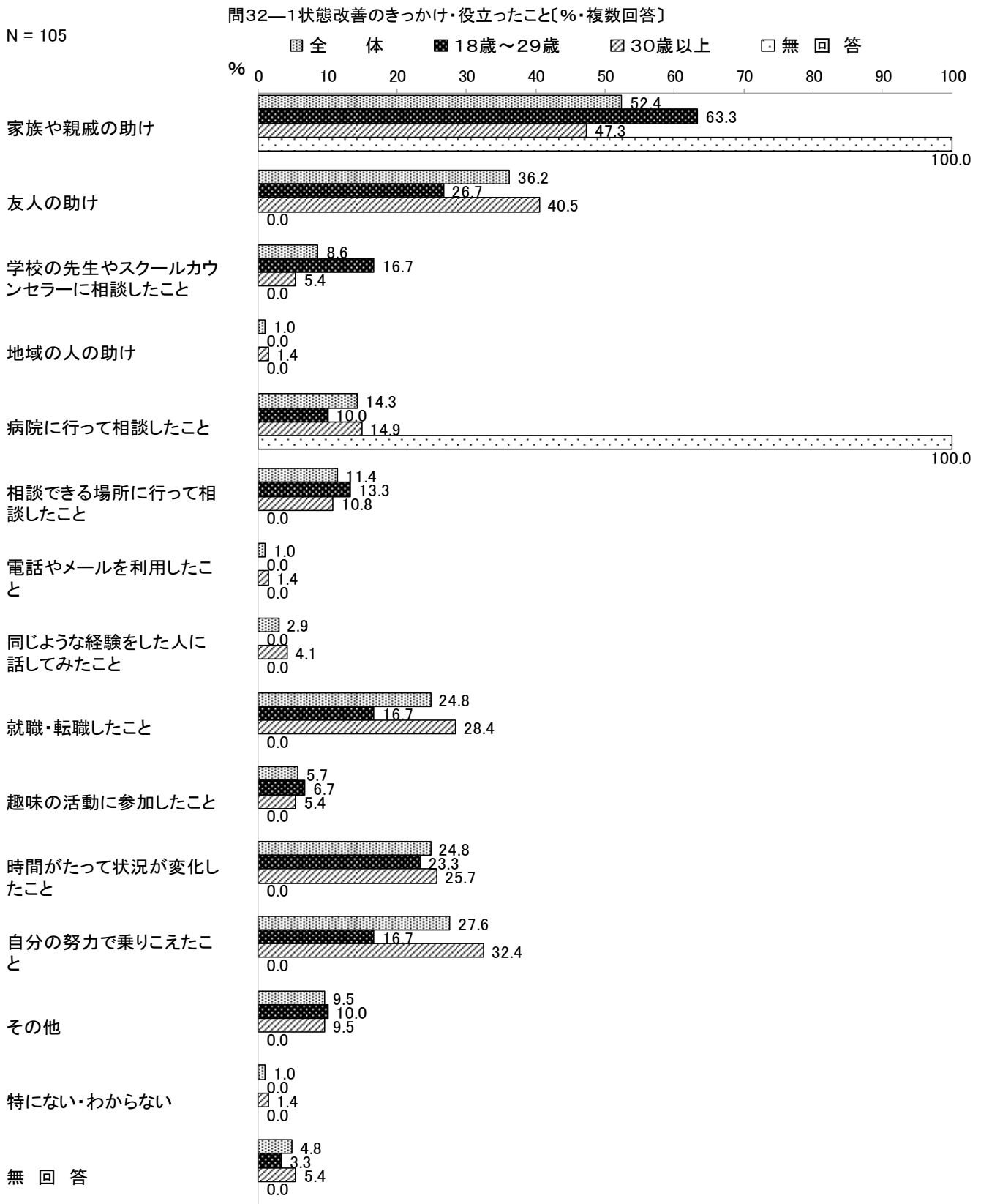
問32生活等を円滑に送れない状態からの改善[%・複数回答]





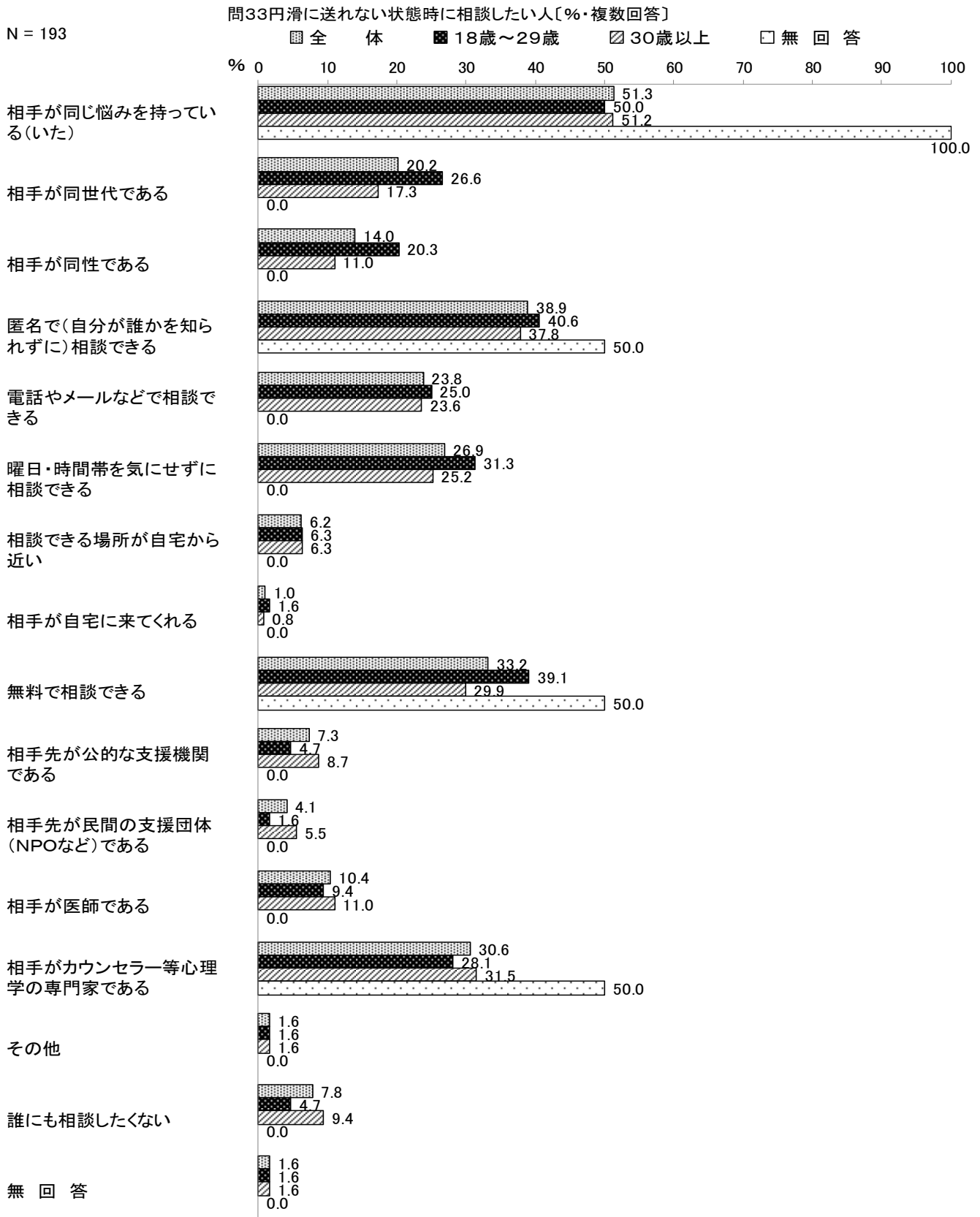
問 【前問で「あった」、「どちらかといえばあった」を選んだ方】状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いませんか。

全体では、「家族や親戚の助け」が 52.4%と半数を超え、「友人の助け」が 36.2%、「自分の努力で乗りこえたこと」が 27.6%、「就職・転職したこと」と「時間がたって状況が変化したこと」がともに 24.8%である。30 歳以上は「友人の助け」「就職・転職したこと」「自分の努力で乗りこえたこと」、18～29 歳は「家族や親戚の助け」、「学校の先生やスクールカウンセラーに相談したこと」などでそれぞれの年代より多くなっている。



問 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。

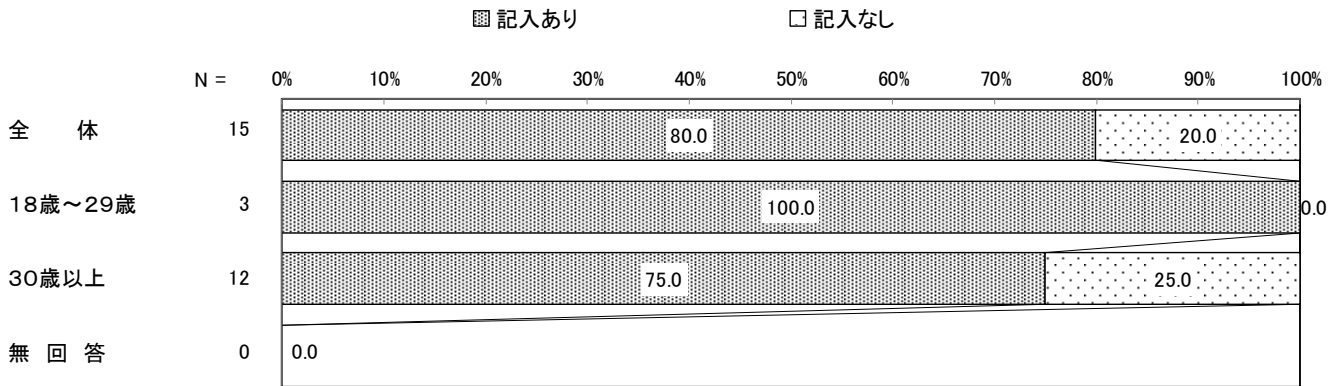
全体では、「相手が同じ悩みを持っている（いた）」が 51.3%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が 38.9%、「無料で相談できる」が 33.2%、「相手がカウンセラー等心理学の専門家である」が 30.6%などで多くなっている。18～29歳は「相手が同世代である」「相手が同性である」「無料で相談できる」などが30歳以上より多くなっている。



問 【前問で「誰にも相談したくない」を選んだ方】相談したくないと思う理由は何ですか。書ける範囲でお書きください。

「記入あり」が 80.0%である。内容としては、「自分で解決したいから」、「いいたくないから、恥ずかしいから」、「信用していないから」などがみられる。

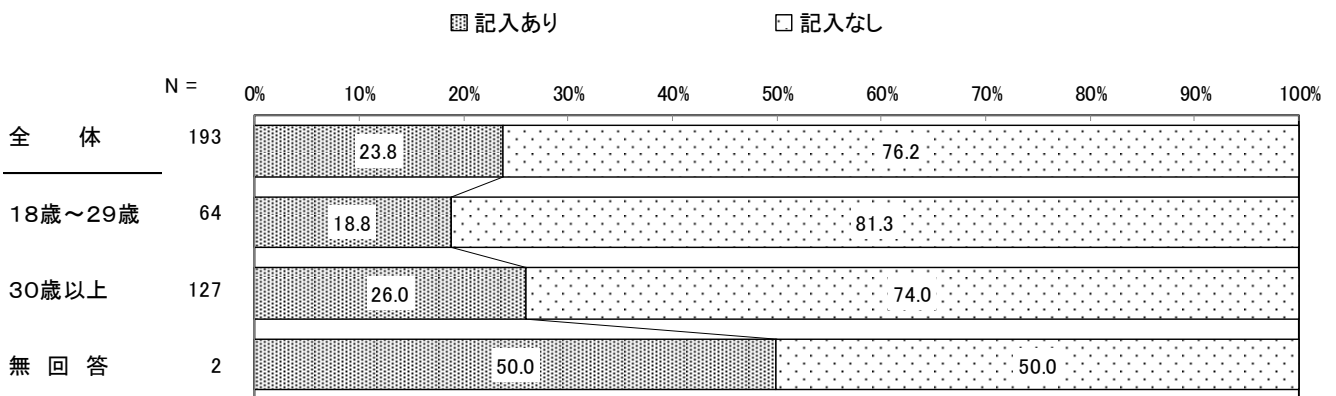
問33—1相談したくない理由[%]



問 社会生活や日常生活に関する不安や悩みまたはご意見など、ご自由にお書きください。

全体の 23.8%に記入があり、主な意見は「経済的支援に関すること」、「若者が住みたくなるような環境づくりに関すること」などがみられる。

問34自由意見[%]



順位	内容	(件)
1位	経済的支援に関すること	12
	今は実家暮らしだからいいけど1人暮らしをすることになった時にちゃんと生きていけるか不安だ。もし結婚して子どもができて金銭的に心配である。給料が安いのに住民税は高いと思う。埴や矢祭の方が良いと思う。	
2位	若者が住みたくなるような環境づくりに関すること	6
	白河駅前がもっと賑わうと若者が集える場になると考える。若者が行きたくなる、明るく楽しいイメージがあるイベントや催し物があると良いと思う。他の地域から移住したくなる制度、企業誘致等。美術館や映画館などの文化に触れる施設が少ない。	
3位	子どもへの経済的支援に関すること	5
	給食無料やランドセル5万円支給、子どもや国民(市民)手当が他よりも少ない。子育ての金銭支援がもっと充実していれば、ずっと住み続けたいと思う。ひとり親世帯には支援がたくさんあるのに、両親がいるとなかなか支援されないことが多い。	
	子育て支援策のこと	5
	(フルタイムで就労しているため)送り迎えができなくて習い事ができない。自分の知識を活かし、仕事をしたい反面、そうした仕事を選ぶ事で、子育てとの両立ができない事が現実。もう少し子どもに目を向けるような考えになるような取組みがあると良いと思う。	
交通・道路のこと	5	
	とにかく交通網が不便で困っている。できれば、バスの本数を増やしてほしい。市内循環バスを表郷にも来てもらうようお願いしたい。積雪時、家の前の道路が雪で埋まり大変なので、改善をお願いする。自宅の駐車場に車が水没するレベルで雨水がたまる。	

第3期白河市子ども子育て支援事業計画ニーズ調査・  
子どもの生活実態調査・ヤングケアラー実態調査報告書

発行日：令和6年3月

発行：白河市保健福祉部こども未来室  
こども支援課

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7-1

TEL：0248-28-5522 FAX：0248-23-1255